

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事

令和5年3月

建築工事(意匠)			建築工事(意匠)			電気設備工事			機械設備工事		
番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺
L-01	図面リスト	-	A-24	2・3階平面詳細図(改修前・改修後)	1/50	E-01	特記仕様書	-	M-01	機械設備工事特記仕様書	-
A-01	建築改修工事特記仕様書1	-	A-25	1階展開図(改修前)	1/50	E-02	電灯分電盤リスト-1	-	M-02	共通 給排水衛生器具設備 衛生器具リスト	-
A-02	建築改修工事特記仕様書2	-	A-26	1階展開図(改修後)	1/50	E-03	電灯分電盤リスト-2	-	A2学生厚生棟		
A-03	建築改修工事特記仕様書3	-	A-27	1階展開図(改修後)	1/100	A2学生厚生棟			M-03	給排水衛生設備	1/50
A-04	工事区分表	-	A-28	2・3階展開図(改修前)	1/100	E-04	電灯設備図	1/50	M-04	1階平面詳細図(改修前・改修後)	1/50
A-05	付近見取図	1/4000	A-29	2・3階展開図(改修後)	1/100	E-05	1階平面詳細図(改修前・後)	1/50	M-05	2階平面詳細図(改修前・改修後)	1/50
A-06	配置図	1/1500		矩計図	1/50	E-06	電灯設備図	1/50	M-05	換気設備	1/100
A-07	1階平面図	1/400				E-06	2階平面詳細図(改修前・後)	1/50	A4共通講義棟		
A-08	2階平面図	1/400	A-30	建具リスト(1)	1/50	E-07	幹線・コンセント設備図	1/50	M-06	給排水衛生設備	1/50
A-08	3階平面図	1/400	A-31	建具リスト(2)	1/50	E-07	1階平面詳細図(改修前・後)	1/50	M-07	1階平面詳細図(改修前・改修後)	1/50
A2学生厚生棟						E-08	2階平面詳細図(改修前・後)	1/50	M-07	給排水衛生設備	1/50
A-09	1階平面詳細図(改修前・改修後)	1/50	A-32	ビクトサイン詳細図	1/3	E-08	1階平面詳細図(改修前・後)	1/50	M-08	2階平面詳細図(改修前・改修後)	1/50
A-10	2階平面詳細図(改修前・改修後)	1/50	A-33	仮設計画図	1/500	E-09	2階平面詳細図(改修前・後)	1/50	M-08	給排水衛生設備	1/50
A-11	1階展開図(改修前)	1/50				A4共通講義棟			M-09	3階平面詳細図(改修前・改修後)	1/50
A-11	1階展開図(改修後)	1/100				E-10	電灯設備図	1/50	M-09	換気設備	1/100
A-12	1階展開図(改修後)	1/50				E-10	1階平面詳細図(改修前・後)	1/50	A5図書情報センター棟		
A-12	1階展開図(改修後)	1/100				E-11	電灯設備図	1/50	M-10	給排水衛生設備	1/50
A-13	1階展開図(改修前)	1/50				E-11	2・3階平面詳細図(改修前・後)	1/50	M-11	1階平面詳細図(改修前・改修後)	1/50
A-13	1階展開図(改修後)	1/100				E-12	幹線・コンセント設備図	1/50	M-11	給排水衛生設備	1/50
A-14	2階展開図(改修前)	1/50				E-12	1階平面詳細図(改修前・後)	1/50	M-12	2階平面詳細図(改修前・改修後)	1/50
A-14	2階展開図(改修後)	1/100				E-13	幹線・コンセント設備図	1/50	M-12	給排水衛生設備	1/50
A-15	矩計図	1/50				E-13	2・3階平面詳細図(改修前・後)	1/50	M-13	3階平面詳細図(改修前・改修後)	1/50
A4共通講義棟						E-14	弱電設備図	1/50	M-13	換気設備	1/100
A-16	1階平面詳細図(改修前・改修後)	1/50				E-14	1階平面詳細図(改修前・後)	1/50	M-14	共通 保温施工標準図 No.1	-
A-17	2・3階平面詳細図(改修前・改修後)	1/50				E-15	2・3階平面詳細図(改修前・後)	1/50	M-15	共通 保温施工標準図 No.2	-
A-18	1階展開図(改修前)	1/50				A5図書情報センター棟					
A-18	1階展開図(改修後)	1/100				E-16	電灯設備図	1/50			
A-19	1階展開図(改修前)	1/50				E-16	1階平面詳細図(改修前・後)	1/50			
A-19	1階展開図(改修後)	1/100				E-17	電灯設備図	1/50			
A-20	2・3階展開図(改修前)	1/50				E-17	2・3階平面詳細図(改修前・後)	1/50			
A-20	2・3階展開図(改修後)	1/100				E-18	幹線設備図	1/100			
A-21	2・3階展開図(改修前)	1/50				E-18	1階平面図(改修後)	1/100			
A-21	2・3階展開図(改修後)	1/100				E-19	幹線設備図	1/100			
A-22	矩計図	1/50				E-19	2・3階平面図(改修後)	1/100			
A5図書情報センター棟						E-20	幹線・差込設備図	1/50			
A-23	1階平面詳細図(改修前・改修後)	1/50				E-20	1階平面詳細図(改修前・後)	1/50			
						E-21	幹線・コンセント設備図	1/50			
						E-21	2・3階平面詳細図(改修前・後)	1/50			
						E-22	弱電設備図	1/50			
						E-22	1階平面詳細図(改修前・後)	1/50			
						E-23	弱電設備図	1/50			
						E-23	2・3階平面詳細図(改修前・後)	1/50			
						E-24	弱電設備図	1/100			
						E-24	1階平面図(改修後)	1/100			

株式会社 岩佐建築設計事務所

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 15 Left-side Work, 16 Building Work, and 17 Counter Work.

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 18 Coating Work, 19 Interior Work, and 20 Unit Work.

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 21 Drainage Work, 22 Tiling Work, and 23 Planting Work.

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 24 Unit Work, 25 Disassembly Work, and 26 Other Work.

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 27 Drainage Work, 28 Tiling Work, and 29 Planting Work.

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 30 Drainage Work, 31 Tiling Work, and 32 Planting Work.

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 33 Drainage Work, 34 Tiling Work, and 35 Planting Work.

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 36 Drainage Work, 37 Tiling Work, and 38 Planting Work.

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 39 Drainage Work, 40 Tiling Work, and 41 Planting Work.

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 42 Drainage Work, 43 Tiling Work, and 44 Planting Work.

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 45 Drainage Work, 46 Tiling Work, and 47 Planting Work.

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 48 Drainage Work, 49 Tiling Work, and 50 Planting Work.

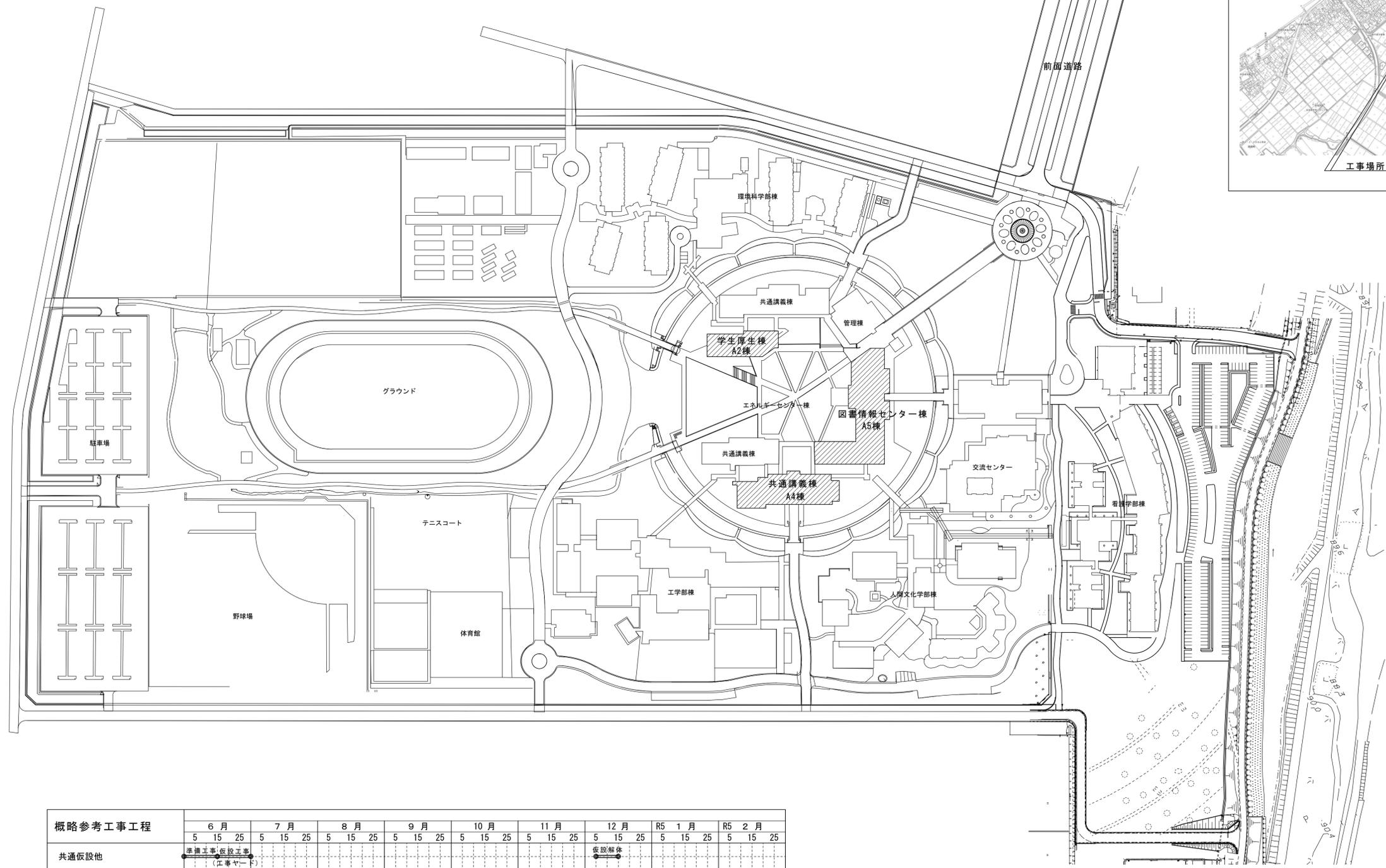
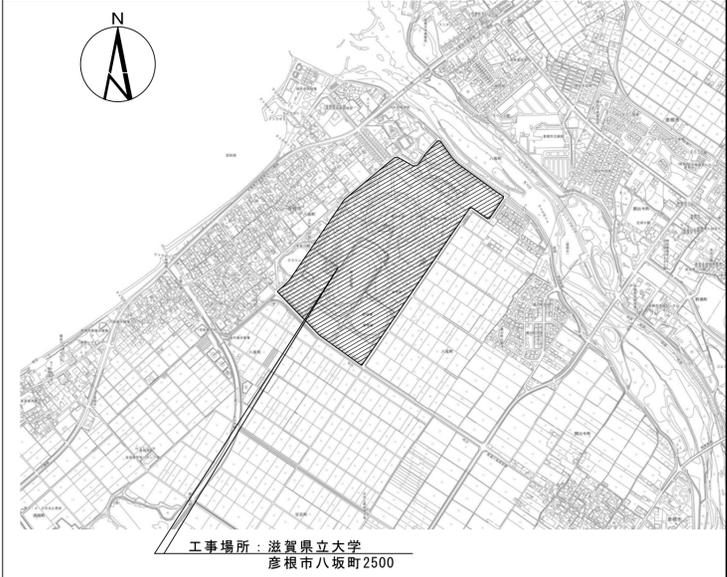
Project information block including '滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事' (Suzuka University Toilet Renovation Project), design office '株式会社岩佐建築設計事務所' (Iwasa Architectural Design Office), and contact details.

工 事 区 分 表										下記の項目は○印部分を区分して施工する。但し図面その他に特記のあるものは、それに従う。													
No	工 事 項 目	建	電	機	機	機	機	機	機	別	備	No	工 事 項 目	建	電	機	機	機	機	別	備		
1	躯体貫通スリーブ入・箱入、躯体貫通コア抜き、開口新設	○	○	○								47	電気錠の操作盤・制御盤										
2	躯体貫通孔・箱入れ部の施工後の孔埋め	○	○	○								48	電気錠の電源・配管・配線										
3	設備用躯体貫通の補強筋及び開口部補強筋	○										49	昇降機の一次側配管配線										
4	ALC板の補強を要しない貫通用の穴開け											50	昇降機の出入口・三方枠・カゴ内インターホン取付・制御盤・二次側配管配線										
5	ALC板の設備貫通用の開口補強、機器取付用下地補強											51	鉄骨構造階の出入口三方枠・敷居・押しボタン等の固定用鋼材の設置										
6	LGS壁下地の設備貫通用の開口補強、機器取付用下地補強	○										52	鉄骨構造階の出入口機器と壁面の耐火処理										
7	地下ピットの躯体内外防水仕上、マンホール、タラップ並びに連通管											53	鉄骨構造階における中間ビームの設置										
8	点検口の製作取付（床、壁、天井）	○										54	鉄骨構造階におけるレールブラケット・ポストアングル固定用ファスナの設置及び錆止メ塗装										
9	吹出口、吸込口等の埋込器具取付のための墨出し											55	昇降機のインターホン用配線										
10	吹出口、吸込口等の埋込器具取付のための孔開・補強											56	昇降機のインターホン用配管（シャフト内）										
11	建物外壁に取付く給・排気ガラの製作取付											57	昇降機のインターホン用配管（シャフト外）										
12	建具ガラの製作取付											58	昇降機監視室等のインターホン取付調整										
13	機械・機器類の基礎（建築図面記載のものに限る）											59	昇降機監視用モニターの設置										
14	機器用アンカーボルト（ " ）											60	昇降機ピット内点検用コンセント										
15	消火用充水槽											61	昇降路・ピットモルタル防水仕上										
16	受水槽・消火用充水槽基礎											62	昇降機機械室内ホイスティングフック										
17	流し台											63	昇降機各出入口・インジケータ押ボタン等の孔工事										
18	便所廻りの手摺			○								64	昇降機機械室床嵩上げコンクリート打設及び防護塗装										
19	換気扇			○								65	空調機への電源配管配線工事										
20	同上取付枠											66	同上内～外機への渡り配線（冷媒配管共巻き）										
21	天井扉・ダクト・ガラリ・ベントキャップ			○								67	空調機及び全熱交換器のリモコン用配線・取付・調整										
22	フードの製作・取付											68	既設土間コンクリートはつり、復旧	○								設備図記載のものは除く。	
23	電動シャッターの一次側配管配線											69	犬走り・側溝部分の撤去及び復旧										
24	電動シャッターの二次側配管配線・調整											70	設備配管改修に伴う下階既設天井仕上の撤去、復旧	○									
25	防火・防煙シャッターの煙感知器・連動装置・制御盤											71	建具に設置する換気扇取付または配管貫通用のアルミパネル									(建)…配管貫通用アルミパネル(開口共) (機)…換気扇取付	
26	防火扉の一次側配管配線											72	既存換気扇開口部の閉塞										
27	防火扉の二次側配管配線・調整、開放装置											73	機械警備用空配管（既設配管利用）										
28	同上煙感知器・連動装置・制御盤											74	構内舗装の撤去及び仮復旧	○									
29	液面電極棒の取付及び調整(消火用充水槽)											75	構内舗装復旧	○									
30	加圧ポンプユニット 電源配管配線											76	既存汚水貯留槽 汚泥抜き取り・清掃消毒										
31	同上 制御・警報用配管配線											77	既存浄化槽 機器・配管・槽撤去										
32	給湯設備の一次側配管配線及びリモコン用配管											78	既存グリストラップ 土工事・躯体撤去										
33	同上二次側配管配線及びリモコン用配管・調整											79	既存浄化槽 一次側電源撤去										
34	洗面カウンター			○								80	諸官庁等検査・申請手続き及び、それに伴う費用	○	○	○							
35	洗面カウンター用洗面器			○								81	監督員事務所										
36	消火ポンプユニット 電源配管配線											82	工事範囲の仮囲い、ゲート及び敷き鉄板等	○									
37	同上 制御・警報用配管配線											83	工事中に於ける水道、下水、ガス、電気の使用料金	○	○	○							現場事務所のみ適用
38	照明器具・配管・ライティングダクト等吊ボルト用インサート			○								84	既設高圧受変電設備・非常用発電機廻りフェンス工事										
39	ダクト・給排水管等吊りボルト用インサート			○								85	学生用仮設トイレ本体工事										
40	厨房器具											86	学生用仮設トイレ照明器具及び電源工事										
41	同上接続配管・電源接続工事											87	学生用仮設トイレ給排水配管及び接続工事										
42	消火器											88											
43	消火器ボックス											89											
44	化粧鏡(一般単体鏡 既製品)			○								90											
45	化粧鏡(大型鏡)			○																			
46	電気錠の取付																						

設 備 用 の 開 口 補 強 数 量 表		
1. 設備用躯体貫通補強筋及び開口補強筋		
1) 梁貫通補強筋（貫通孔D/3以下、梁巾=400以下の場合、Dは梁せい）		
貫 通 内 径 (φ)	数 量	備 考
100<H≤200		
200<H≤300		
300<H≤400		
※貫通内径100φ未満の時は補強を必要としない。 H:貫通内径mm		
2) スラブ開口補強筋		
開 口 面 積 (m ²)	数 量	備 考
A ≤ 0. 3		
0. 3 < A ≤ 1. 0		
1. 0 < A ≤ 2. 5		
※スラブ筋を切断しない場合は補強を必要としない。 A:開口面積m ²		
3) 壁開口補強		
開 口 寸 法 (mm)	数 量	備 考
※壁面を切断しない場合は補強を必要としない。		
2. 設備用下地材開口補強		
1) 壁開口補強 軽量鉄骨下地、木軸等		
開 口 寸 法 (m ²)	数 量	備 考
0. 0 ~ 0. 5 (床)		
0. 0 ~ 0. 5 (壁)		
1. 1 ~ 1. 5		
1. 6 ~ 2. 0		
2. 0 ~ 2. 5		
2) 天井開口補強		
開 口 面 積 (m ²)	数 量	備 考
0. 0 ~ 0. 5		
0. 0 ~ 0. 5		
0. 0 ~ 0. 5		
0. 6 ~ 1. 0		
1. 1 ~ 1. 5		
600×600 天井点検口		
450×450 天井点検口	48	詳細位置は現場指示
特記事項 1. この表（工事区分表）及び図面その他に記載がなく工事区分が不明なもの、または必要な工事については、協議の上監督員の指示により区分を決定する。 この場合、工事費の増減の対象とはしない。		

- 特記事項
- ・本工事は滋賀県立大学の「学生厚生棟 A2棟」「共通講義棟 A4棟」「図書情報センター棟 A5棟」にある便所の改修工事を行うものとする。
 - ・本工事は校内、開校中の工事となるため、学生、職員、来客者、の安全管理に十分留意すること。
 - ・施工計画において、作業曜日、作業開始時間、終了時間等の工程計画、工事場所の仮設間仕切り等、施設側と十分協議の上、作業計画を立てること。
 - ・必要に応じ休日、夜間工事も含めた立案とすること。
 - ・施工計画に際し、大学運営、学生、職員、来客の安全及び、騒音・振動が出る工事、埃が出る工事については最優先に考慮し、対策を講じ、施設側と協議すること。
 - ・内容については、施工場所の学生、大学職員、来客の動線及び工事場所以外の職員作業室の確保等を必要に応じ計画に含むものとする。
 - ・滋賀県立大学、監督職員と工程を含め施工計画を作成し関係者の承認を得ること。
 - ・本工事による便所以外の他部屋の給排水設備への影響を極力及ぼさぬよう、現地調査を十分にに行い、計画すること。
 - ・本工事により、既設建物・舗装等に損傷を与えた場合は、本工事内、請負者の責任において現状復旧を行うこと。
 - ・工事が完了した部分から、都度仕様承認等にて、請負者と大学側で執り行い、利用できるよう協力すること。

- 【工事概要】
- ・学生厚生棟 A2棟の1～2階男女便所の改修を行う。
 - ・共通講義棟 A4棟の1～3階男女便所の改修を行う。
 - ・図書情報センター棟 A5棟の1～3階男女便所の改修を行う。
 - ・上記に付随する機械設備・電気設備工事。



概略参考工事工程	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			R5 1月			R5 2月		
	5	15	25	5	15	25	5	15	25	5	15	25	5	15	25	5	15	25	5	15	25	5	15	25	5	15	25
共通仮設他	準備工事・仮設工事 (工事ヤード)																		仮設解体								
学生厚生棟 A2棟 便所改修				仮設工事 (仮間仕切り)			解体工事			内部改修工事 (建築・設備)			仮設撤去			美装 検査手直											
共通講義棟 A4棟 便所改修				仮設工事 (仮間仕切り)			解体工事			内部改修工事 (建築・設備)			仮設撤去			美装 検査手直											
図書情報センター棟 A5棟 便所改修				仮設工事 (仮間仕切り)			解体工事			内部改修工事 (建築・設備)			仮設撤去			美装 検査手直											
検査																検査 手直											
備考																											

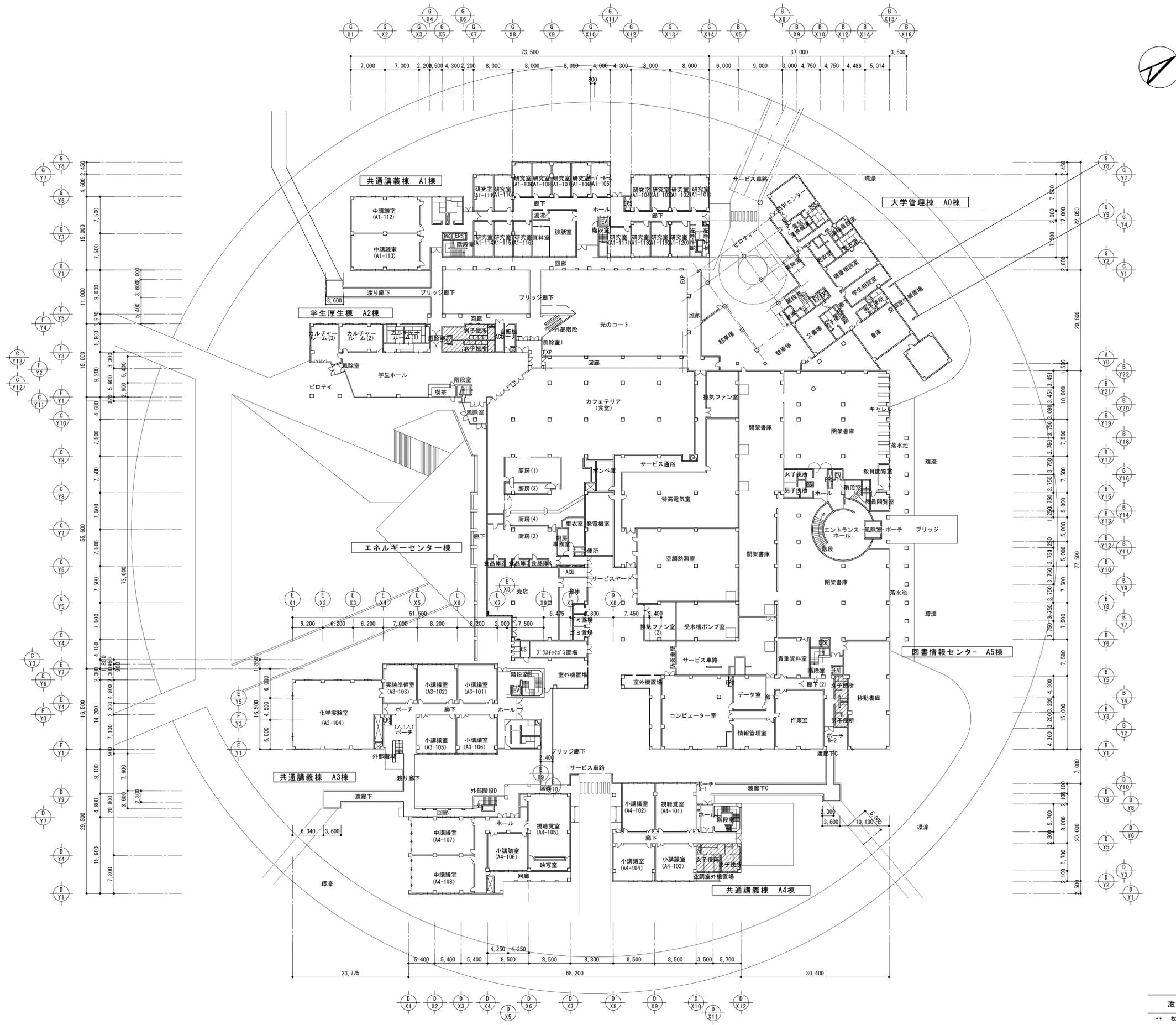
配置図 A1: S=1/4000 A3: S=1/2000 : 改修棟を示す。

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事 設計図

** 枚の内 付近見取図 A1: S=1/4000 A3: S=1/2000 D. R. 5. 0. 3

A-05 配置図 A1: S=1/1500 A3: S=1/3000 担 当

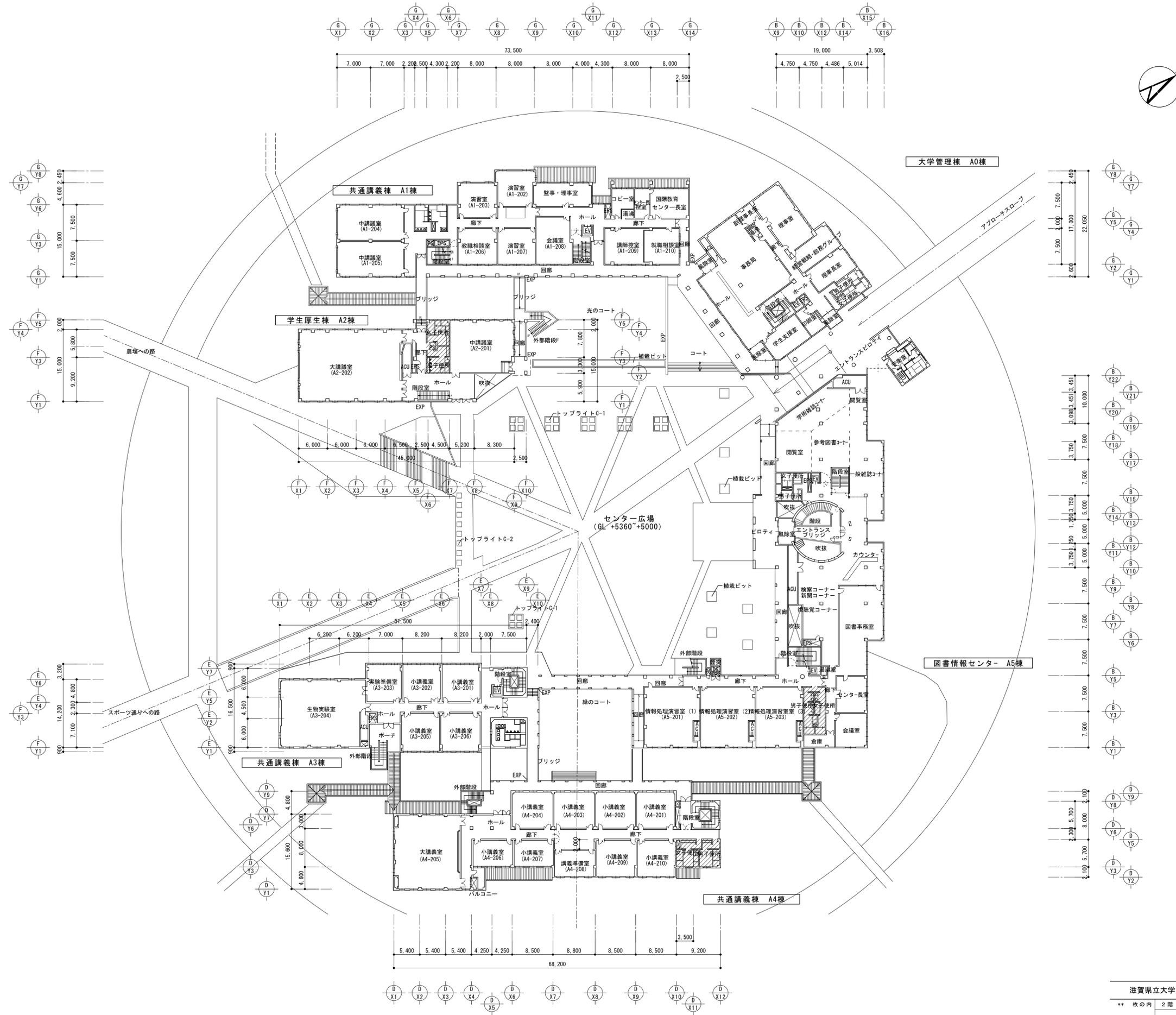
株式会社 岩佐建築設計事務所 一級建築士 No. 253120 横江 敏 幸



滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事 設計図

** 枚の内	1階 平面図	A1:S=1/400 A3:S=1/800	D. R. 5. 0. 3
A-06			担 当

株式会社 岩佐建築設計事務所 一級建築士 No. 253120 横江 敬 幸

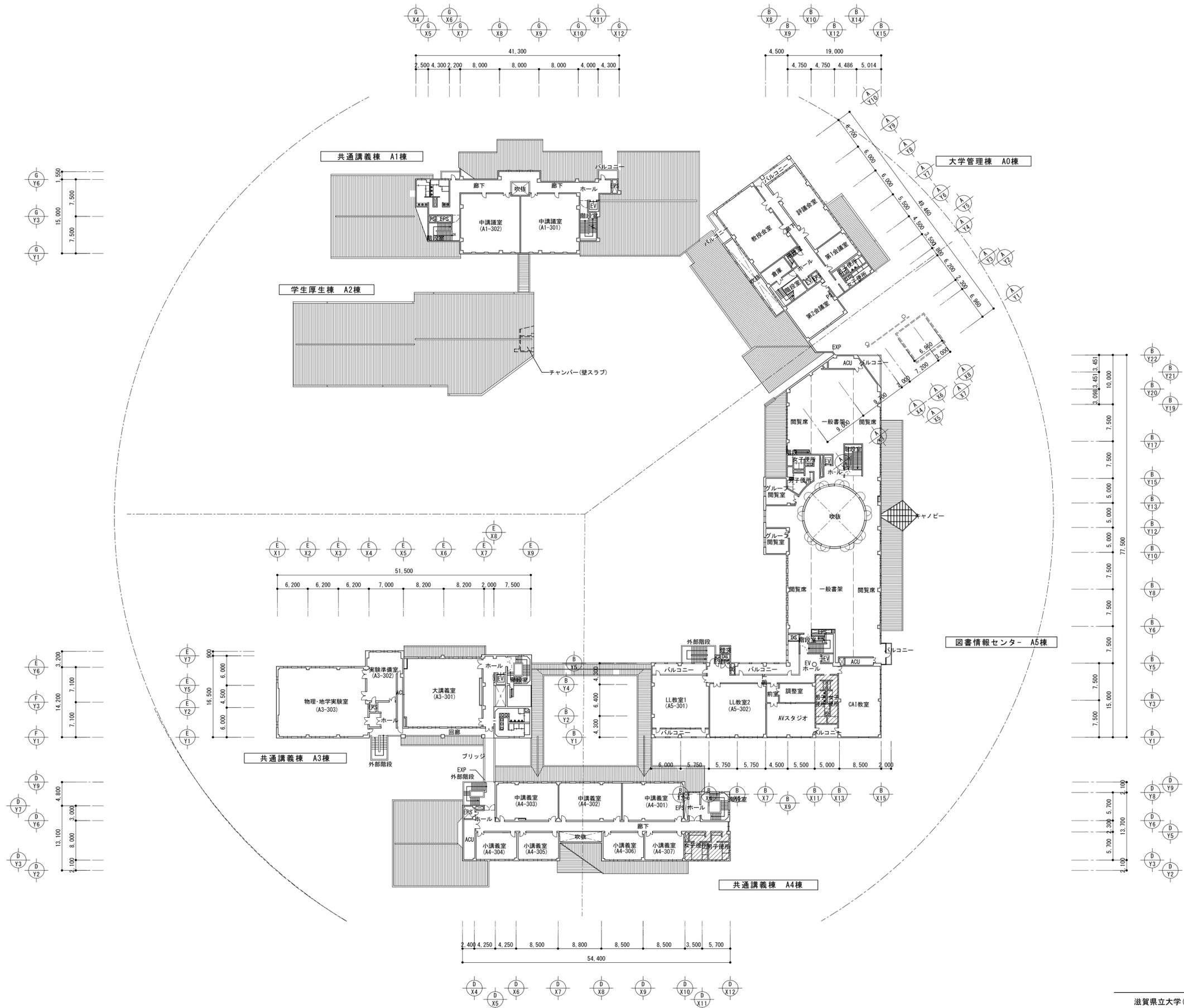


滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事 設計図

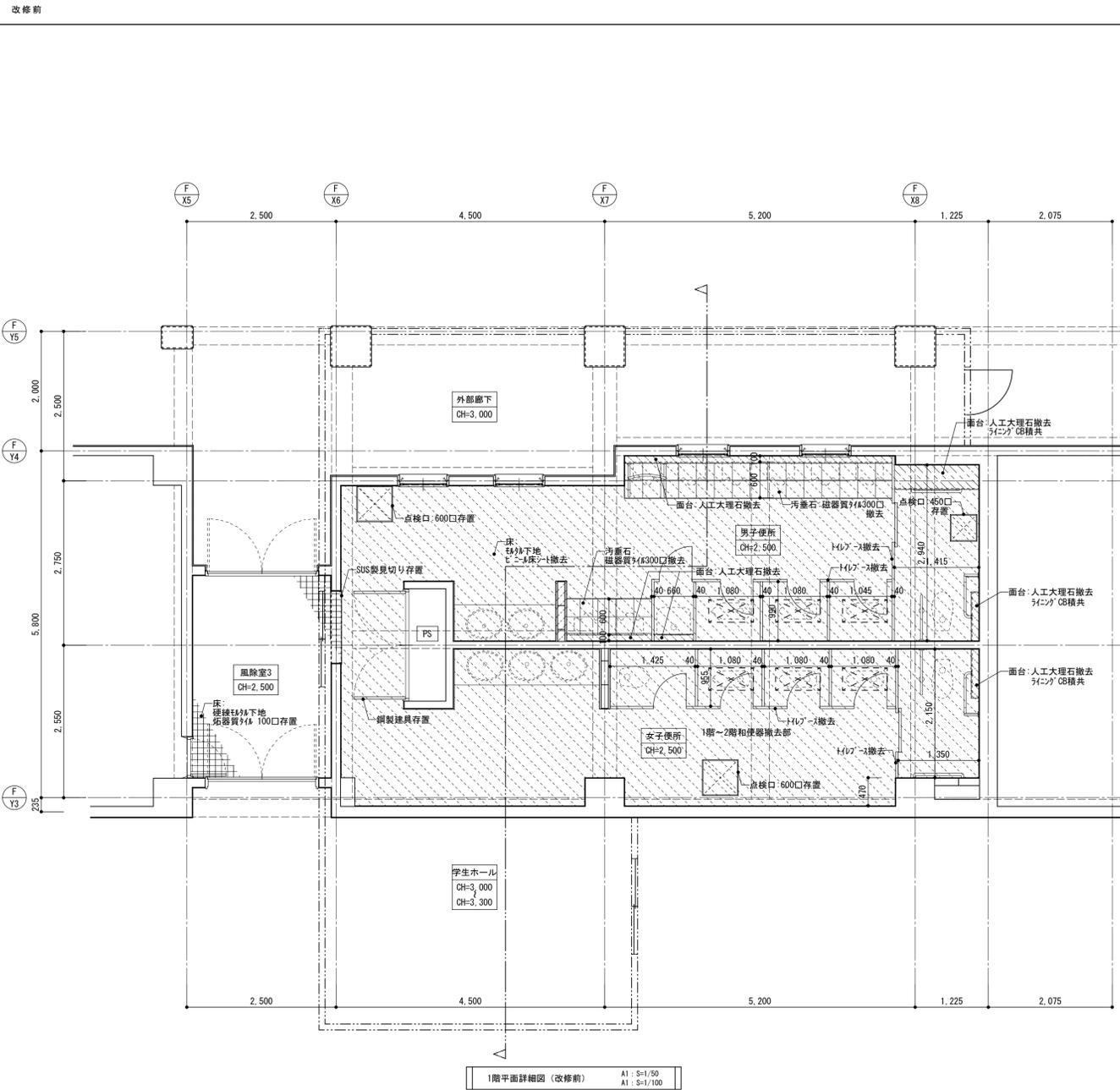
** 枚の内 2階 平面図 A1:S=1/400 A3:S=1/800 D.R. 5.03

A-07 担 当 一級建築士 No.253120 横江 敏 幸

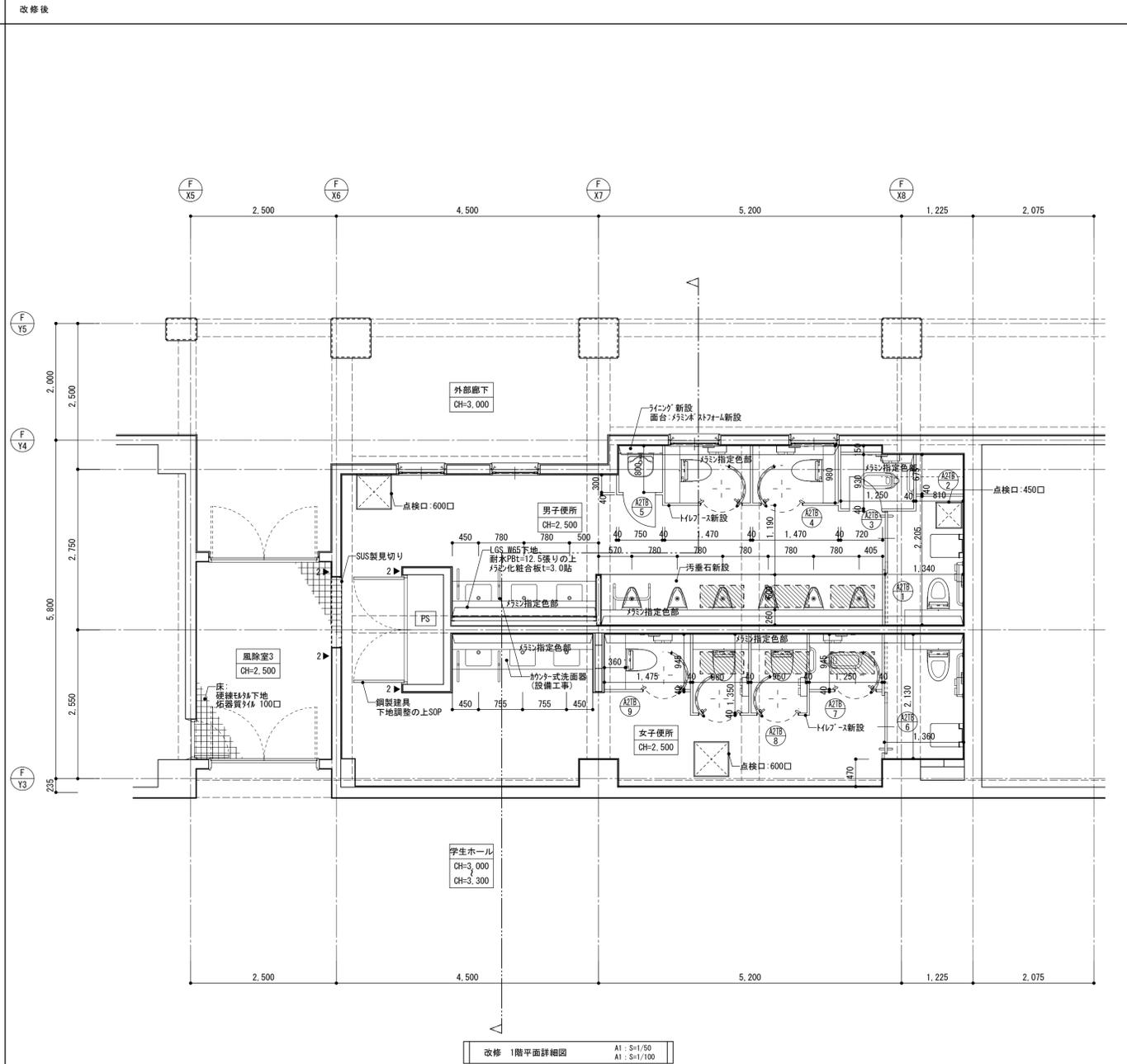
株式会社 岩佐建築設計事務所



滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図
** 枚の内	3冊 平面図	A1-S:1/7400 A3-S:1/8000
A-08		D. R. 5. 0 3 担 当
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士 No.253120 横江 敏 幸



1階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50 A1: S=1/100



改修 1階平面詳細図 A1: S=1/50 A1: S=1/100

- ※トイレ・ス全撤去 (外部は、GB-S t12.5程度とする。)
- ※衛生器具等撤去 (機械設備) (衛生陶器、配管、手摺、洗面カックル、鏡)
- ※照明器具等撤去 (電気設備)
- 仮設間仕切り壁、工事用出入口 (LGS65 GB-R t12.5程度) (外部は、GB-S t12.5程度とする。)
- 解体撤去範囲を示す
- 間仕切り壁撤去: CBt=100積下地 床下地 EP
- ラインゴ 腰壁撤去: 人研ノック天板, CBt=100下地 100角タイル張
- 和便器撤去部、カックル切上コンクリート57 撤去範囲を示す。
- 矩計図断面位置を示す。

- ▲1 : 突出サッシ設置位置を示す (サッシ詳細図参照)
- ▲2 : 平付サッシ設置位置を示す (サッシ詳細図参照)
- : 下階床既存RC梁位置を示す
- 和便器撤去部、スリ開口閉塞範囲を示す。コンクリート直挿入 t=150 D13@200DC あと施工アックル: FC21-18-20N
- 矩計図断面位置を示す。

階数		室名	床高	天井高	床		巾木		腰壁		壁		天井		廻り縁	室名	備考
			基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上		
1階	男子便所	改修前	±0	2,500	MO	ビニル床シート t=2.5貼 (撤去)	汚垂石 300角タイル張 (撤去)	ビニル巾木H=75 (撤去)	MO	100角タイル貼 (撤去)	MO	VE塗り 塗膜除去	LGS (撤去)	岩綿吸音板t=12 (下地貼共撤去)	塩ビ製 (撤去)	男子便所	衛生器具、手摺、手洗カックル、鏡撤去 (機械設備)・トイレ・ス撤去 CB間仕切り壁撤去、ラインゴ CB種撤去
		改修後	±0	2,500	下地調整	超防汚性ビニル床シート t=2.0貼 (新設)	床材巻上げ巾木 H=100 (新設)	-	-	下地調整	防火化粧板 t3.0貼 (新設) 「色分け: 3種類」	LGS (新設)	PBT=9.5下地、岩綿吸音板t=12 (新設)	塩ビ製 (新設)	男子便所	ラインゴ天板・人工大理石甲板 t20、タイル・スリ開口閉塞、大型鏡 L型手摺・小便器手摺 (機械設備)、和便器撤去跡スリ開口閉塞	
1階	女子便所	改修前	±0	2,500	MO	ビニル床シート t=2.5貼 (撤去)	汚垂石 300角タイル張 (撤去)	ビニル巾木H=75 (撤去)	-	-	MO	VE塗り 塗膜除去	LGS (撤去)	岩綿吸音板t=12 (下地貼共撤去)	塩ビ製 (撤去)	女子便所	衛生器具、手摺、手洗カックル、鏡撤去 (機械設備)・トイレ・ス撤去 ラインゴ CB種撤去
		改修後	±0	2,500	下地調整	超防汚性ビニル床シート t=2.0貼 (新設)	床材巻上げ巾木 H=100 (新設)	-	-	下地調整	防火化粧板 t3.0貼 (新設) 「色分け: 3種類」	LGS (新設)	PBT=9.5下地、岩綿吸音板t=12 (新設)	塩ビ製 (新設)	女子便所	ラインゴ天板・人工大理石甲板 t20、タイル・スリ開口閉塞、大型鏡 L型手摺・小便器手摺 (機械設備)、和便器撤去跡スリ開口閉塞	

下地凡例		防火材料認定番号 (認定番号は参考)				特記事項	
C	コンクリート下地	W	木下地	EP塗・EP-G塗	不燃 NM-8585	床既設面下地調整については、速成型調整材にて下地を行うこと。	
MO	タイル張			石膏ボード (GB-R) t=9.5	準不燃 OM-9828	塩ビ製廻り縁は目透かしタイプとする。	
LGS	軽量鉄骨下地			石膏ボード (GB-R) t=12.5	不燃 NM-8619	防火化粧板貼り端部及び巾木取合部には7mm製見切りを取り付けること。	
CB	コンクリートノック			岩綿吸音板t=12	不燃 NM-8599	防火化粧板 (柄) は、7mm工業 カラータイル 同等品とする。	
SL	タイル・レインゴ			防火化粧板t=3.0	不燃 NM-2183	衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替え構造用合板にて補強を行うこと。	
						天井点検口450角を適宜設けること。	
						防火化粧板 (指定色) は、7mm工業 カラー SYSTEM FIT カラー 同等品とする。	
						防火化粧板 (柄) は、7mm工業 カラータイル 同等品とする。	
						防火化粧板下地材については十分な養生期間を待ち、施工要領にて乾燥状態にて施工を行うこと。	
						内部仕上げ材料は、F☆☆☆☆仕様とする	
						天井裏・小屋裏の使用材料は、F☆☆☆☆仕様とする	
						天井点検口 内部450角とする	

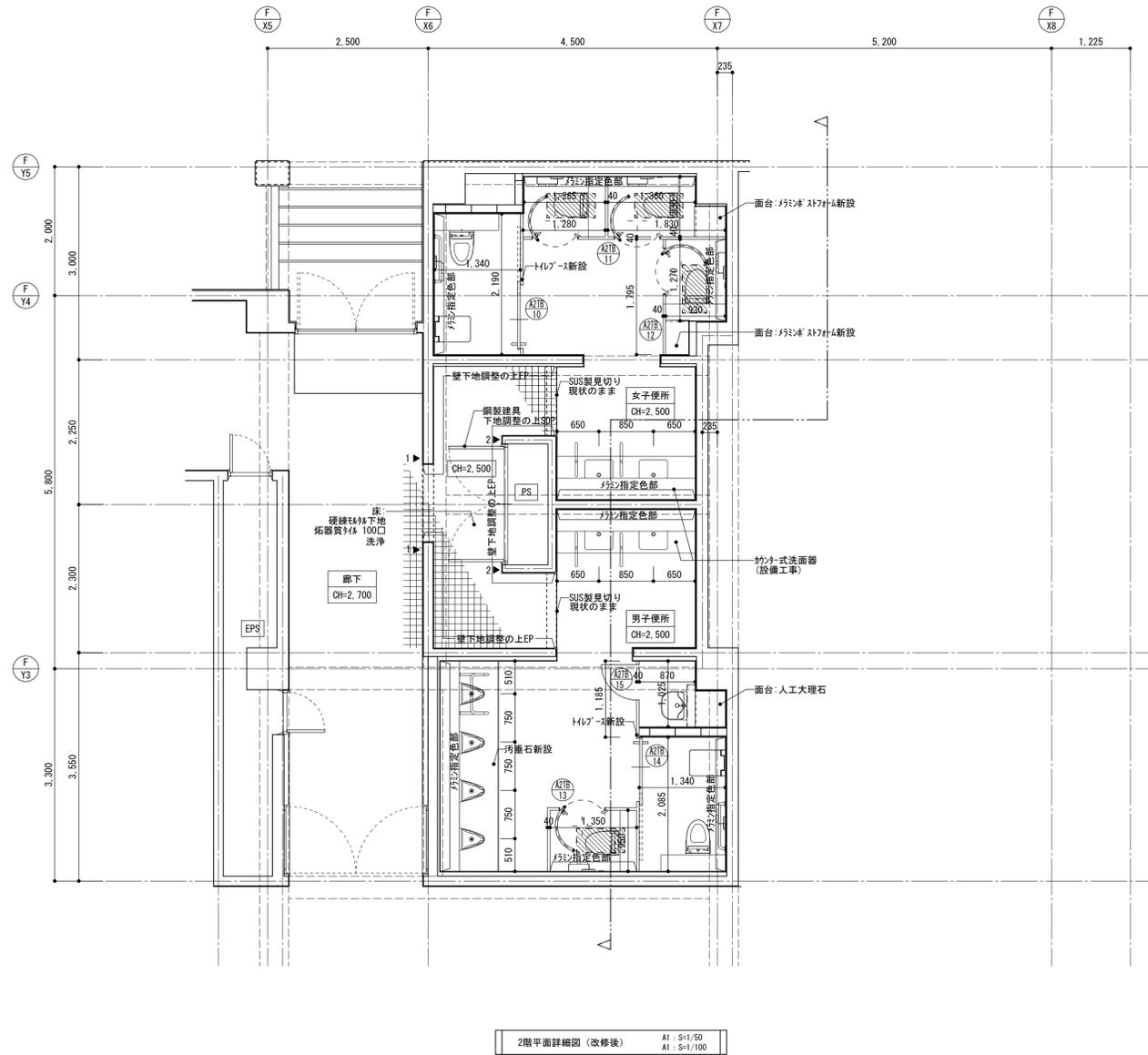
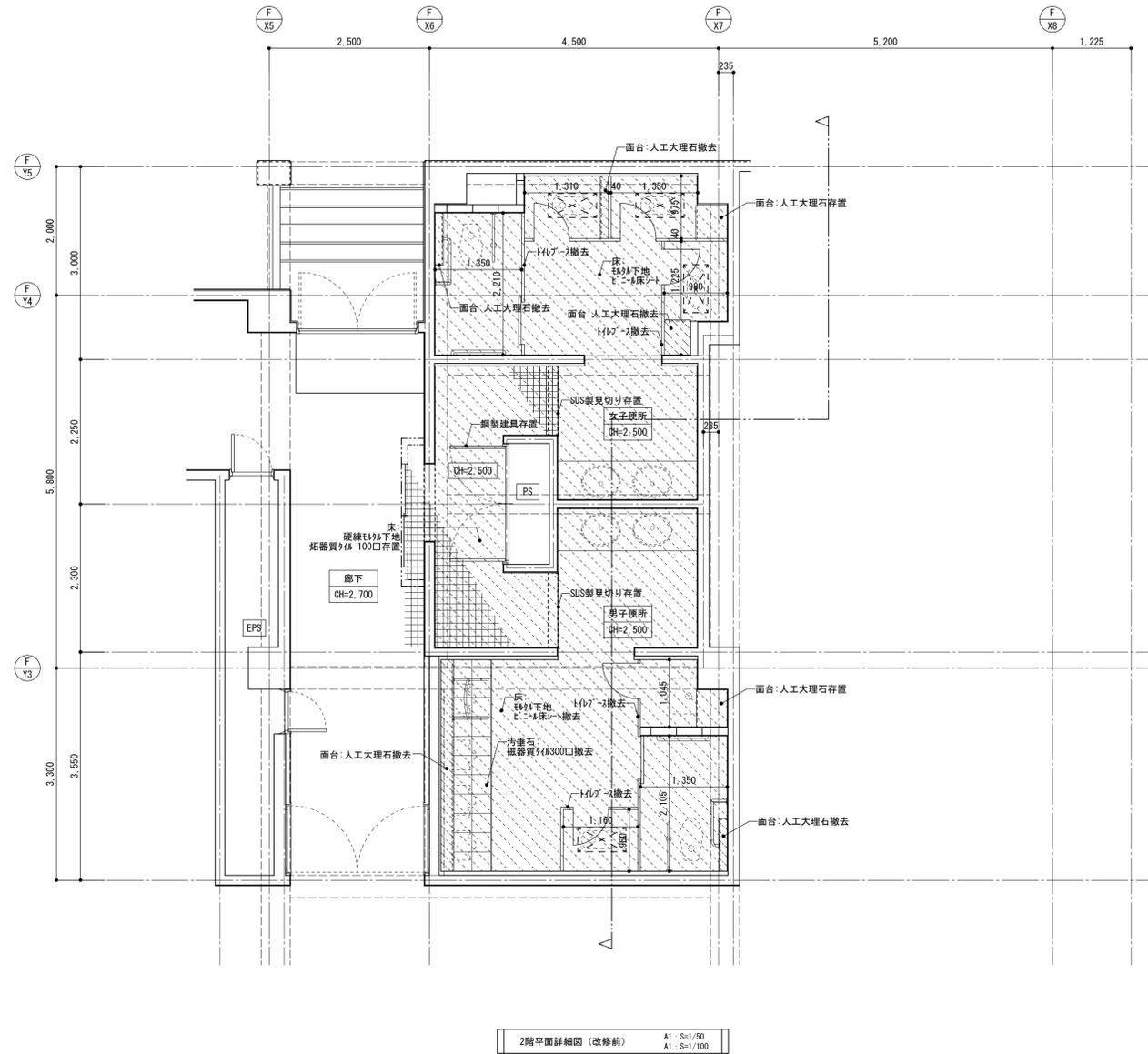
滋賀県立大学 (第3期) トイレ改修工事 設計図

校の内 A2学生厚生棟 D. R. 5. 0. 3

A-09 1階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50 A2: S=1/100 担当 当

1階平面詳細図 (改修後)

株式会社 岩佐建築設計事務所 一級建築士 堀江 敏 幸



- ※トイレノズル撤去
- ※衛生器具等撤去(機械設備)
(衛生陶器、配管、手摺、洗面カケ、鏡)
- ※照明器具等撤去(電気設備)
- 仮設間仕切壁、工事用出入口 (LGS50 GB-R t12.5程度)
- 解体撤去範囲を示す
- 間仕切壁撤去: CBt=100積下地 毛布下地 EP
- ラインゲ 腰壁撤去: 人研700天板、CBt=100下地 100角枠張
- 和便器撤去部、カケ切上コンクリート537 撤去範囲を示す。
- 矩形断面位置を示す。

- ▲1 : 突出タイン設置位置を示す (タイン詳細図参照)
- ▲2 : 平付タイン設置位置を示す (タイン詳細図参照)
- 下階床既存RC梁位置を示す
- 和便器撤去部、タイン開口閉塞範囲を示す。
コンクリート直挿入 t=150 D13#200DC あと施工アンカー:FC21-18-20N
- 矩形断面位置を示す。

内部仕上表																			
階数	室名		床高		床				巾木		腰壁		壁		天井		廻り縁	室名	備考
			基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	仕上			
1階	男子便所	改修前	±0	2.500	MO	ビニル床シート t=2.5貼 (撤去) 汚雑石 300角枠張 (撤去)	ビニル巾木H=75 (撤去)	MO	100角枠貼 (撤去)	MO	VE塗り 塗膜除去	LGS(撤去)	岩綿吸音板t=12 (下地貼共撤去)	塩ビ製 (撤去)	男子便所	衛生器具、手摺、手洗カケ、鏡撤去(機械設備)・トイレノズル撤去 CB間仕切壁撤去・ラインゲCB積撤去 ラインゲ天板:人工大理石甲板t20、ラインゲストン面台、トイレノズル新設、大型鏡 L型手摺/小便器手摺(機械設備)、和便器撤去跡タイン開口閉塞			
		改修後	±0	2.500	下地調整	超防汚性ビニル床シート t=2.0貼 (新設)	床材巻上げ巾木 H=100 (新設)	-	-	下地調整	タイン化粧板 t3.0貼 (新設) [色分け:3種類]	LGS(新設)	Pbt=9.5下地、岩綿吸音板t=12 (新設)	塩ビ製 (新設)					
	女子便所	改修前	±0	2.500	MO	ビニル床シート t=2.5貼 (撤去)	ビニル巾木H=75 (撤去)	-	-	MO	VE塗り 塗膜除去	LGS(撤去)	岩綿吸音板t=12 (下地貼共撤去)	塩ビ製 (撤去)					
		改修後	±0	2.500	下地調整	超防汚性ビニル床シート t=2.0貼 (新設)	床材巻上げ巾木 H=100 (新設)	-	-	下地調整	タイン化粧板 t3.0貼 (新設) [色分け:3種類]	LGS(新設)	Pbt=9.5下地、岩綿吸音板t=12 (新設)	塩ビ製 (新設)					

下地凡例				防火材料認定番号 (認定番号は参考)				特記事項					
C	コンクリート下地	W	木下地	EP塗-EP-G塗	不燃 NM-8585	床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。				タイン化粧板は、7代工業 セール 同等品とする。		内部仕上材料は、F☆☆☆☆仕様とする	
MO	毛布塗			石膏ボード (GB-R) t=9.5	準不燃 OM-9828	塩ビ製廻り縁は目透かしタインとする。				タイン化粧板 (指定色) は、7代工業 COLOR SYSTEM FIT セール 同等品とする。		天井裏・小屋裏の使用材料は、F☆☆☆☆仕様とする	
LGS	軽量鉄骨下地			石膏ボード (GB-R) t=12.5	不燃 NM-8619	タイン化粧板貼り端部及び巾木取合部には7代製見切りを取り付けること				タイン化粧板 (柄) は、7代工業 セール同等品とする。		天井点検口 内部450角とする	
CB	コンクリートブロック			岩綿吸音板t=12	不燃 NM-8599	衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-SIに替え構造用合板にて補強を行うこと。				タイン化粧板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行うこと。			
S.L	毛布ペリソク			タイン化粧板t=3.0	不燃 NM-2183	天井点検口450角を適宜設けること。							

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事 設計図

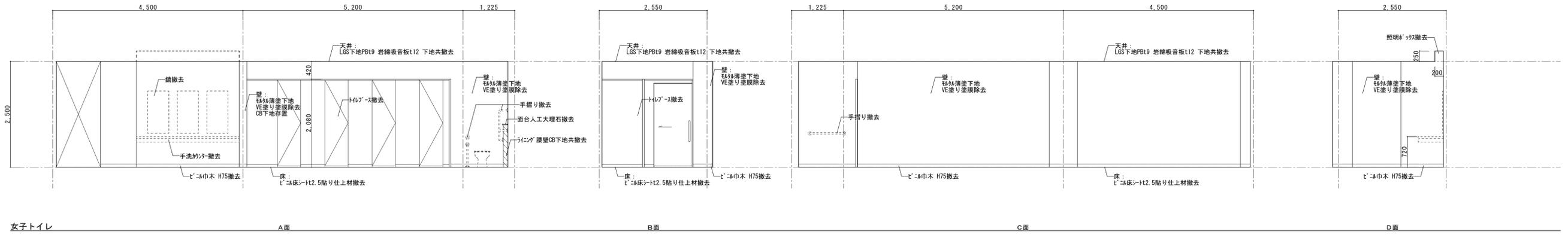
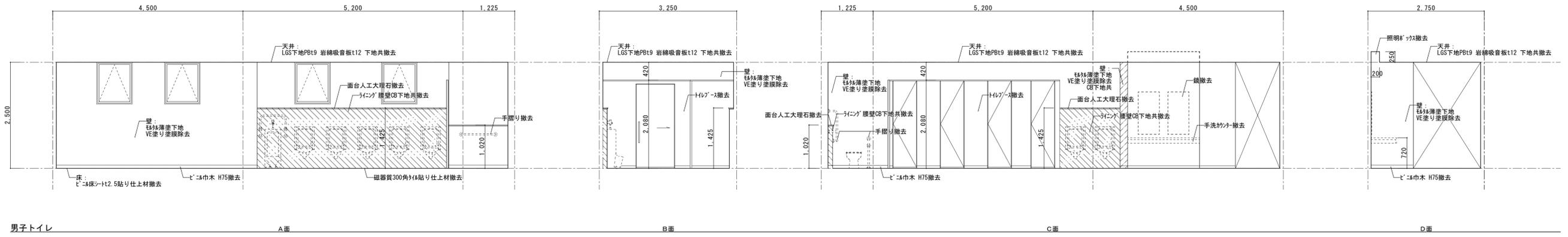
** 枚の内 | A2学生厚生棟 | D. R. 5. 0. 3

A-10 | 2階平面詳細図(改修前) | A1:S=1/50 | 担 | 当

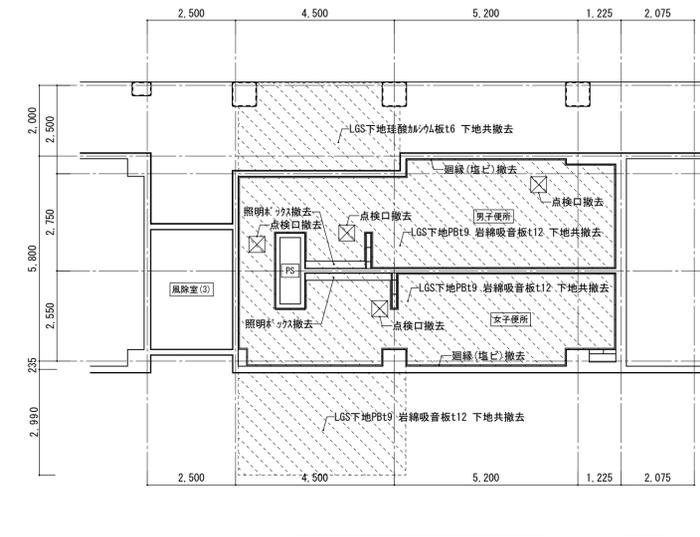
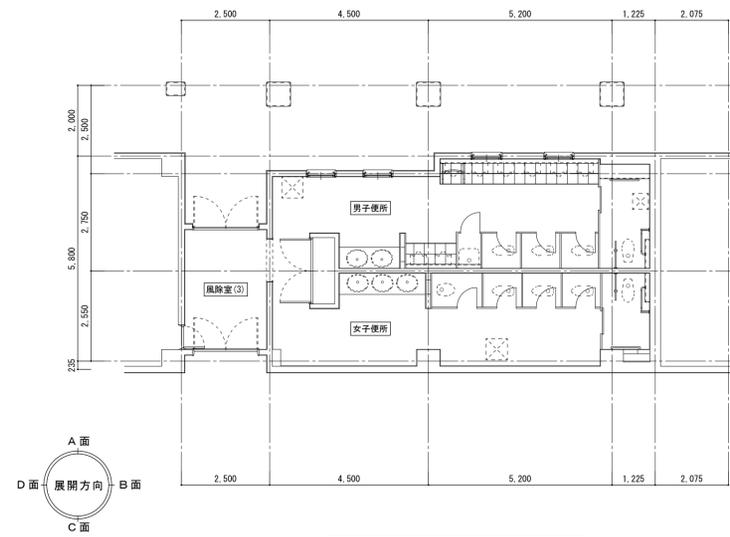
A-10 | 2階平面詳細図(改修後) | A2:S=1/100

株式会社 岩佐建築設計事務所 | 一級建築士 No.253120 | 横江 敬 章

改修前

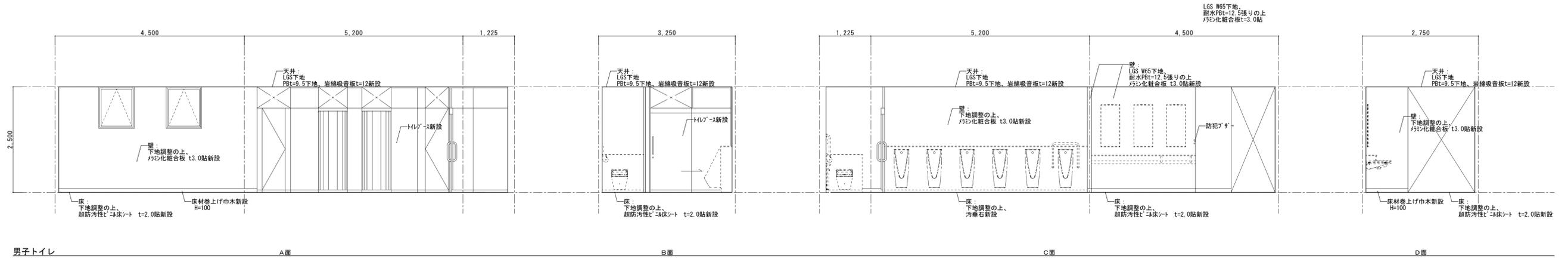


- 間仕切壁撤去: CBt=100積下地 珪砂下地 EP
- ラインウオール撤去: 人研アロック天板, CBt=100下地 100角タテ張
- ※トイレノス全撤去
- ※衛生器具等撤去(機械設備)
(衛生陶器、配管、手摺、洗面カケ、鏡)
- ※照明器具等撤去(電気設備)

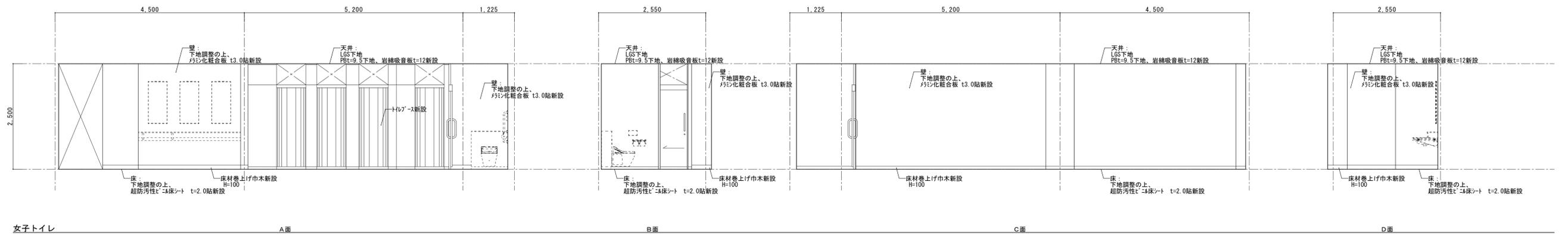


滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図
** 枚の内	A2学生厚生棟	D. R. 5. 03
A-11	1階展開図 (改修前)	A1: S=1/50 A3: S=1/100
	1階天井伏図 (改修前)	A1: S=1/100 A3: S=1/200
	1階キープラン (改修前)	A1: S=1/100 A3: S=1/200
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士 No. 253120 横江 敬 幸

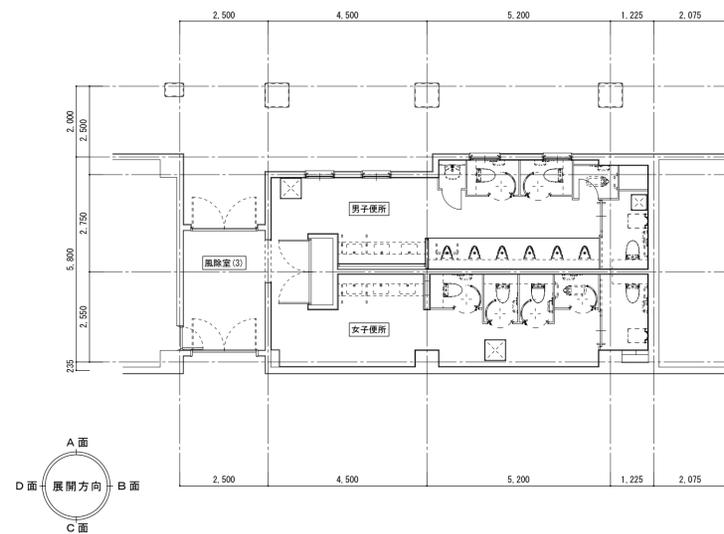
改修後



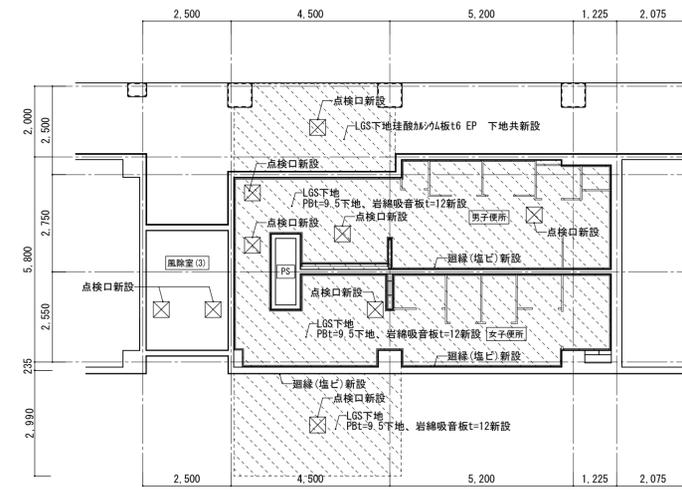
男子トイレ



女子トイレ



1階キープラン (改修後) A1: S=1/100 A3: S=1/200



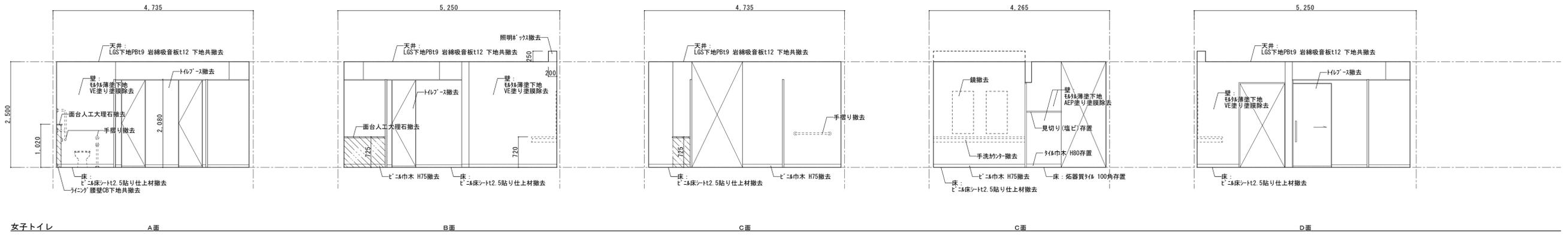
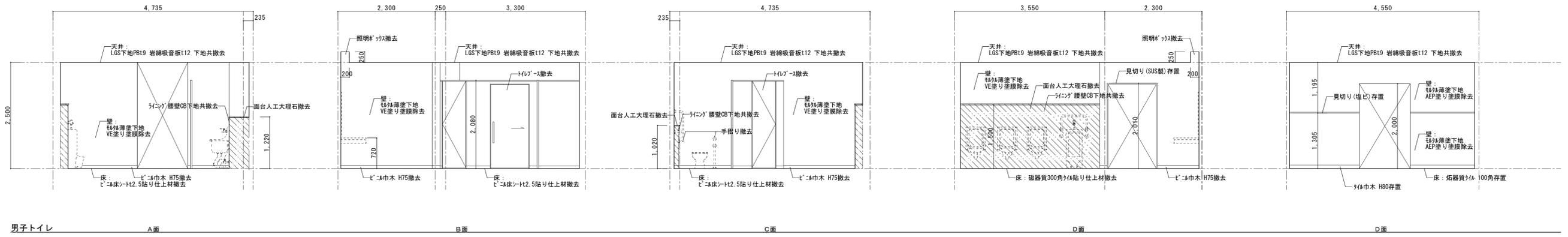
1階天井伏図 (改修後) A1: S=1/100 A3: S=1/200

新設範囲を示す
※天井点検口450角(内部450角)を適宜設けること。

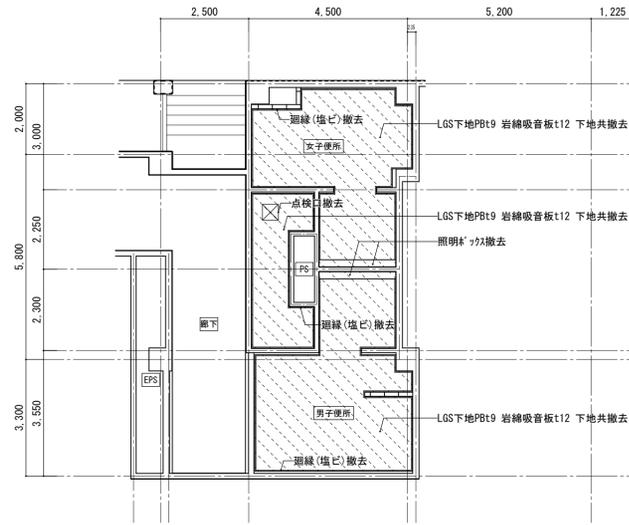
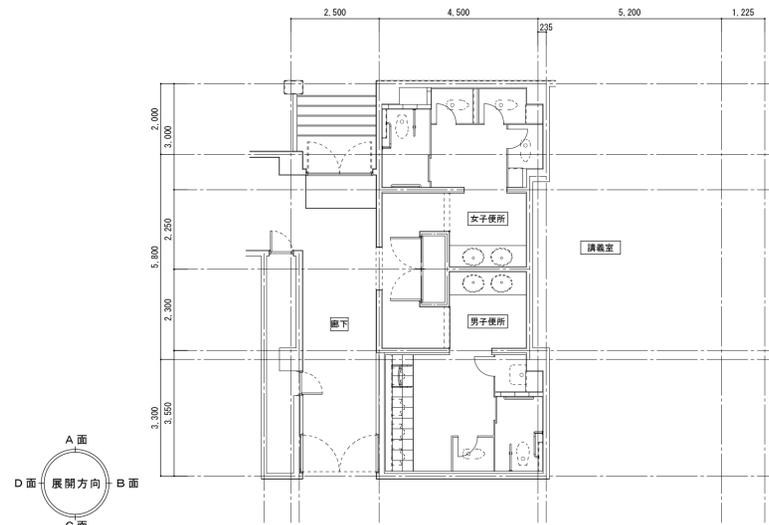
滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図	
** 枚の内	A2学生厚生棟	D. R. 5. 03	
A-12	1階展開図 (改修後)	A1: S=1/50 A3: S=1/100	担 当
	1階天井伏図 (改修後)	A1: S=1/100 A3: S=1/200	

一級建築士 No.253120
株式会社 岩佐建築設計事務所
横江 敏 幸

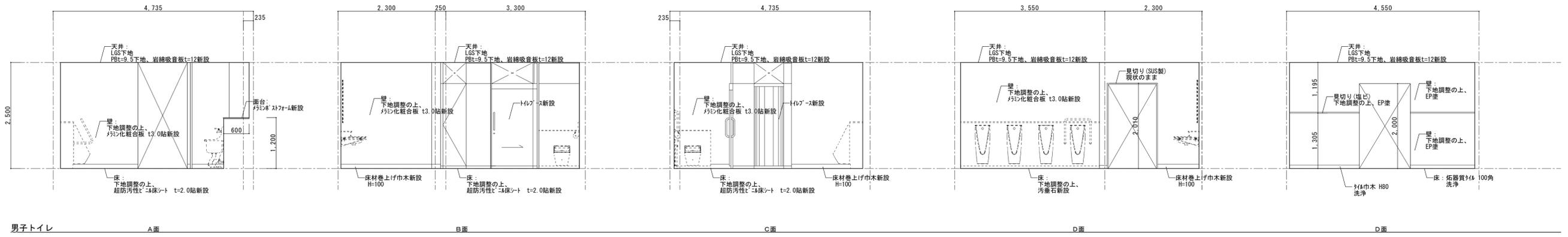
改修前



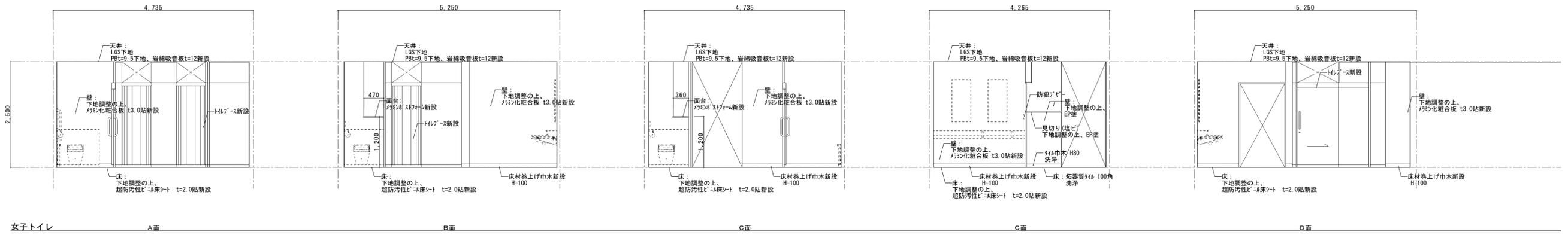
- 間仕切壁撤去: CBt=100積下地 珧葺下地 EP
- 珧葺腰壁撤去: 人研ブロッカ天板, CBt=100下地 100角珧葺張
- ※トイレ全撤去
- ※衛生器具等撤去(機械設備)
(衛生陶器、配管、手摺、洗面カウチ、鏡)
- ※照明器具等撤去(電気設備)



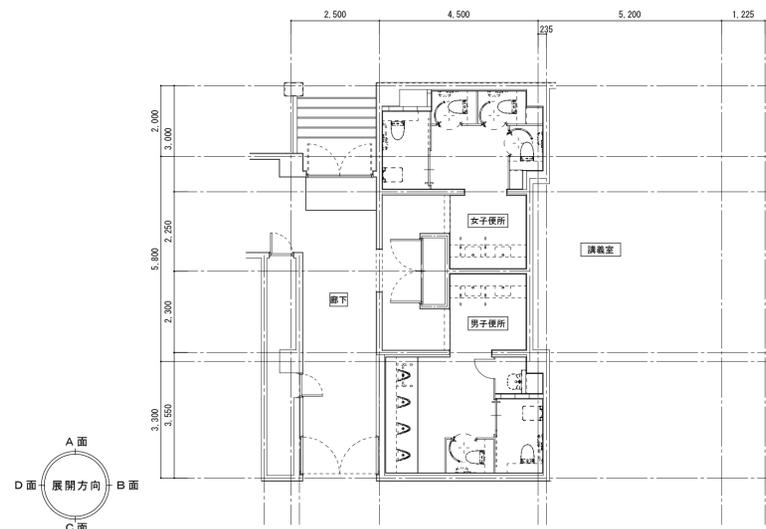
滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図
** 枚の内	A2学生厚生棟	D. R. 5. 03
A-13	2階展開図(改修前)	A1: S=1/50 A3: S=1/100
	2階天井伏図(改修前)	A1: S=1/100 A3: S=1/200
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士 No. 253120 横江 敬 幸



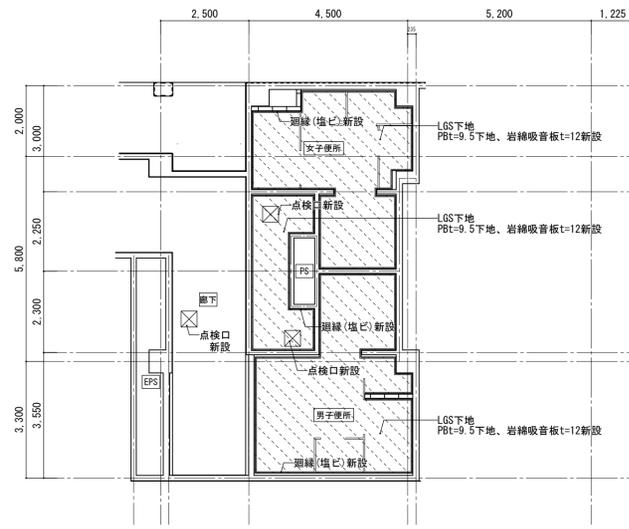
男子トイレ



女子トイレ



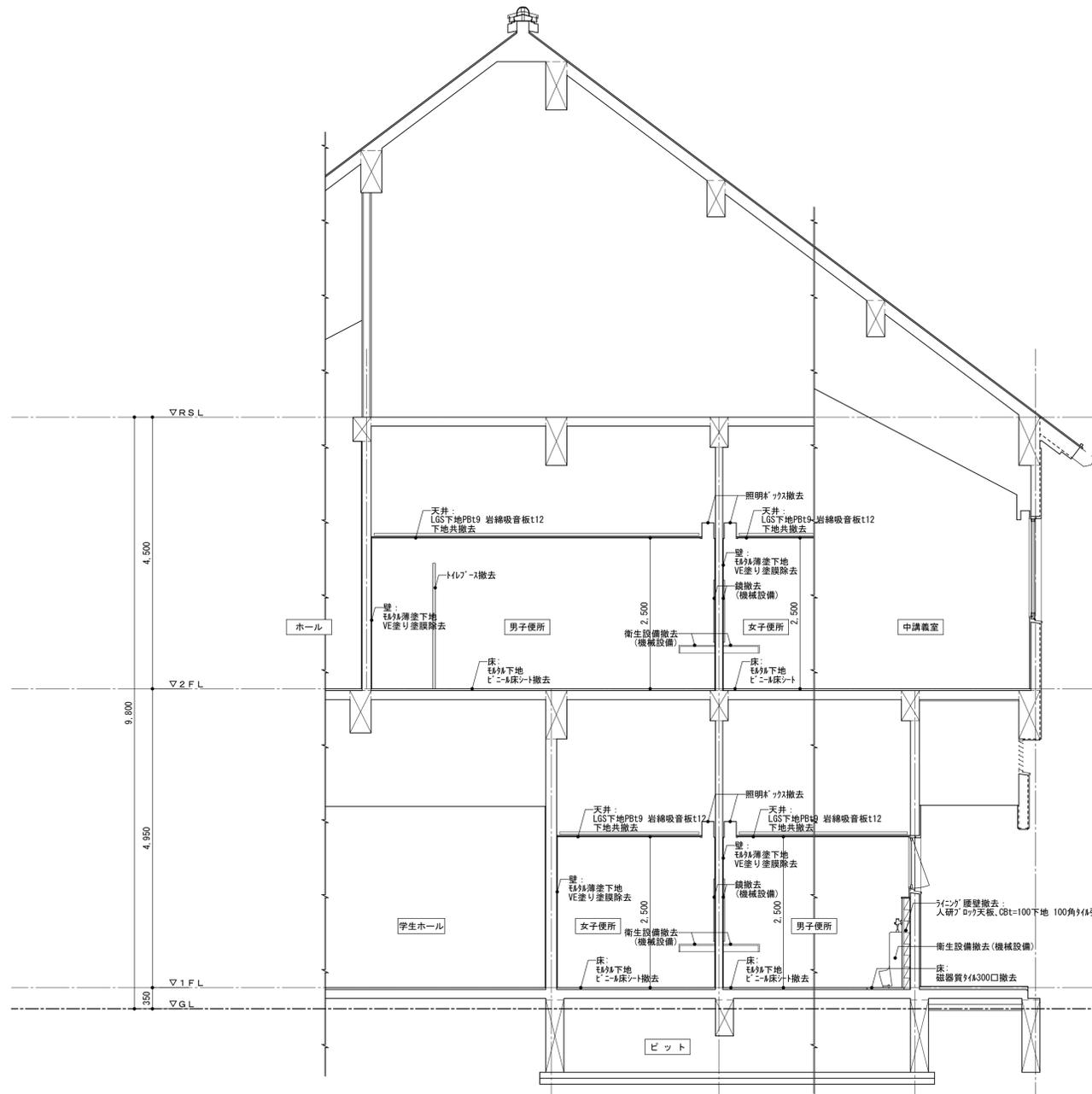
2階キープラン (改修後) A1: S=1/100 A3: S=1/200



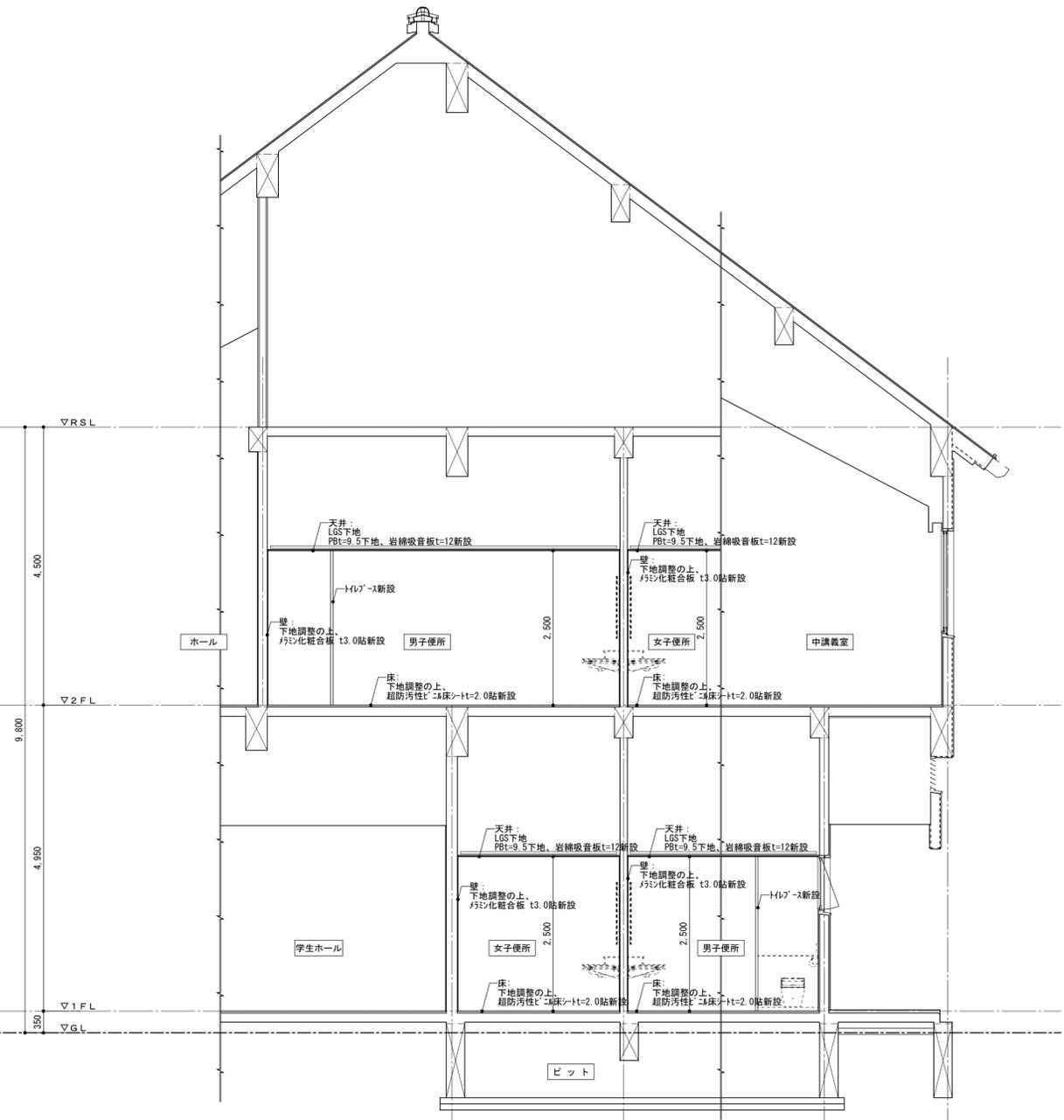
2階天井伏図 (改修後) A1: S=1/100 A3: S=1/200

新設範囲を示す
※天井点検口450角(内部450角)を適宜設けること。

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図
** 枚の内	A2学生厚生棟	D. R. 5. 0. 3
A-14	2階展開図(改修後)	A1: S=1/50 A3: S=1/100
	2階天井伏図(改修後)	A1: S=1/100 A3: S=1/200
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士 No. 253120 横江 敬 幸

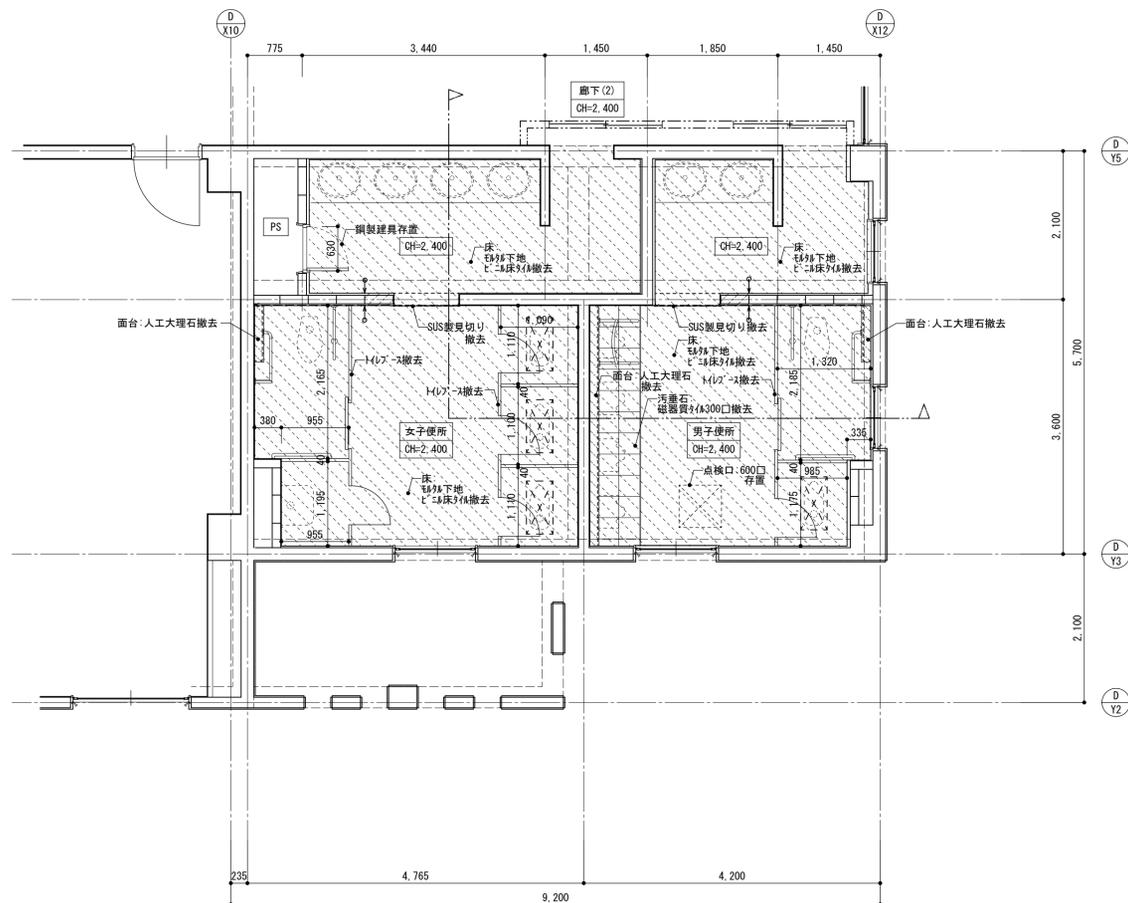


矩計詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A1: S=1/100

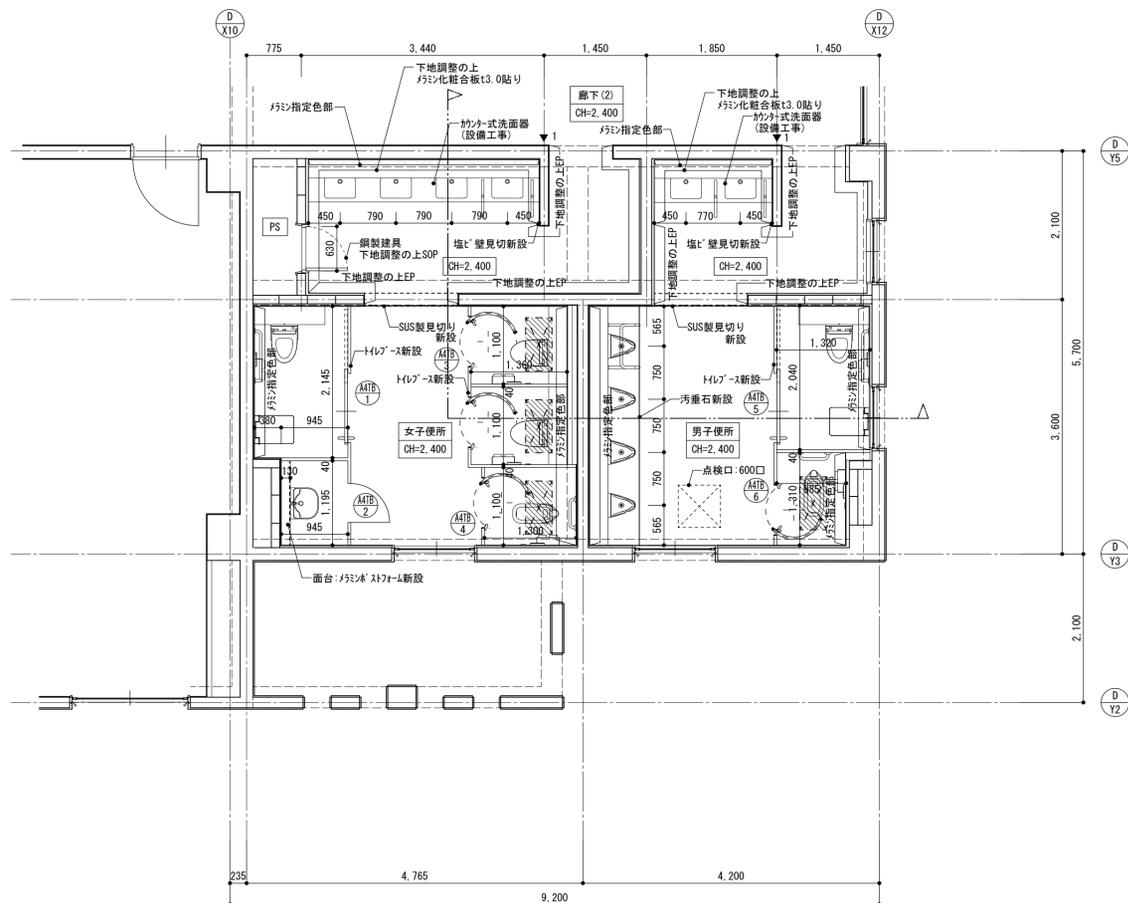


矩計詳細図 (改修後) A1: S=1/50
A1: S=1/100

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図
** 枚の内	A2学生厚生棟	D. R. 5. 0.3
A-15	矩計詳細図 (改修前)	担 当
	矩計詳細図 (改修後)	
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士 No.253120 横江 敏 幸



1階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50 A2: S=1/100



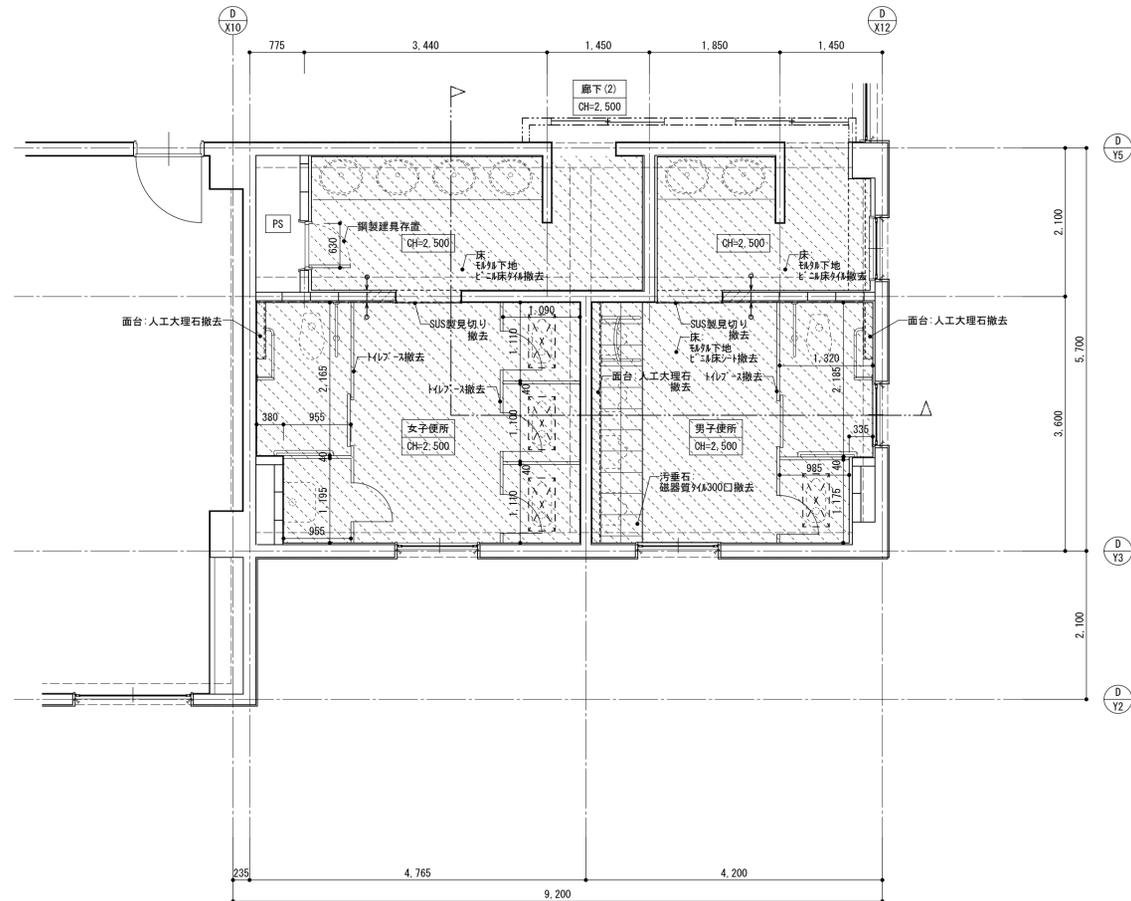
1階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50 A2: S=1/100

- ※トイレ・ス全撤去
- ※衛生器具等撤去(機械設備)
- (衛生陶器、配管、手摺、洗面ボウル、鏡)
- ※照明器具等撤去(電気設備)
- 仮設間仕切り壁、工事用出入口 (LG550 GB-R t12.5程度)
- 解体撤去範囲を示す
- 間仕切り壁撤去: CBt=100積下地 床下地 EP
- ラインク 腰壁撤去: 人研ボック天板, CBt=100下地 100角タイル張
- 和便器撤去部、カクテル式トイレ撤去範囲を示す。
- 壁カクテル位置を示す。
- 矩形断面位置を示す。

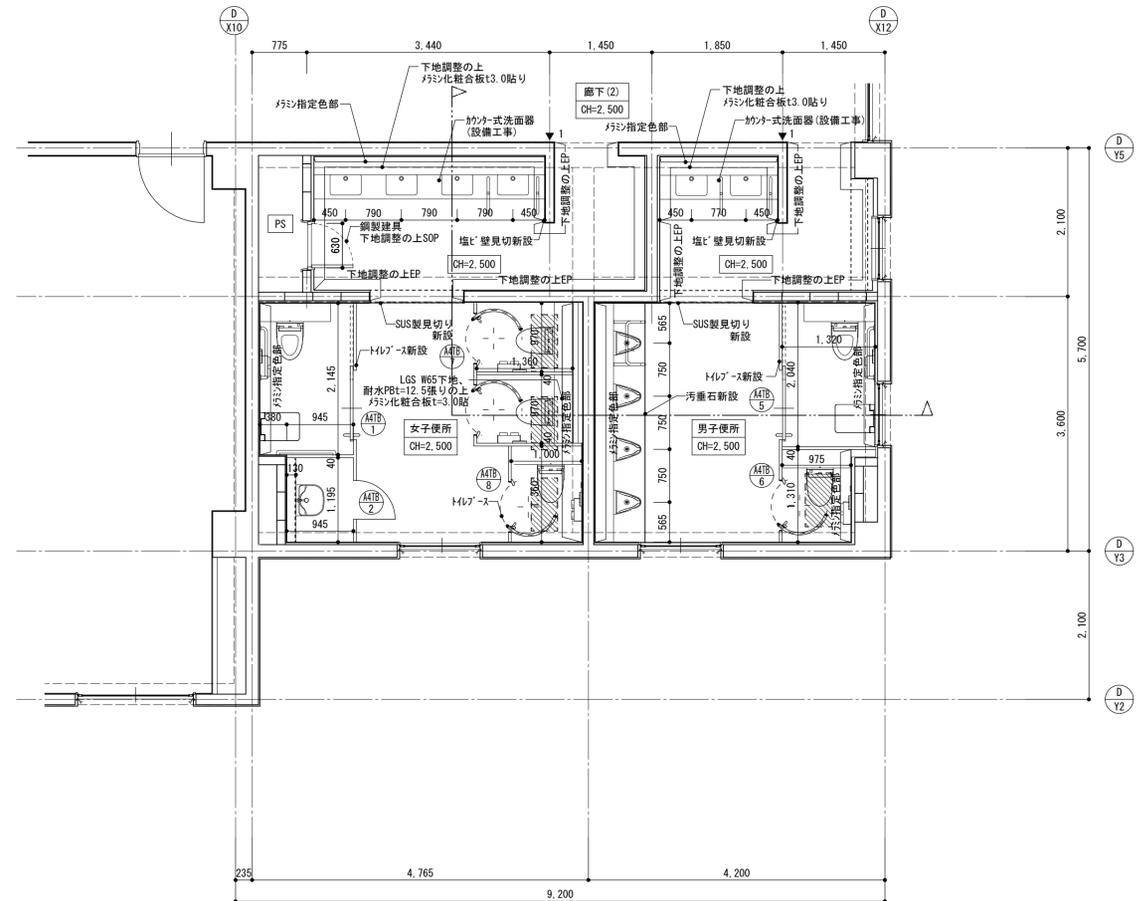
- ▲ 1 : 突出タイル設置位置を示す (タイル詳細図参照)
- ▲ 2 : 平付タイル設置位置を示す (タイル詳細図参照)
- : 下階床既存RC梁位置を示す
- 和便器撤去部、スリット開口閉塞範囲を示す。コンクリート直挿え t=150 D13#200DC あと施工アジャコンクリート: FC21-18-20N
- 矩形断面位置を示す。

階数	室名	改修前	改修後	床高		床		巾木		腰壁		壁		天井		廻り縁		室名	備考
				基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地		
1階	男子便所	改修前	改修後	±0	2,400	MO	ビニル床シート t=2.5貼 (撤去) 汚垂石 300角タイル張 (撤去)	ビニル巾木H=75 (撤去)	MO	100角タイル貼 (撤去)	MO	VE塗り 塗膜除去	LGS(撤去)	岩綿吸音板t=12 (下地貼共撤去)	塩ビ製 (撤去)	男子便所	衛生器具、手摺、手洗ボウル、鏡撤去(機械設備)・トイレ・ス撤去 CB間仕切り壁撤去、ラインク CB撤去 ラインク 天板:人工大理石甲板 t=20、樹脂ボック天板、トイレ・ス新設、大型鏡 L型手摺/小便器手摺(機械設備)、和便器撤去跡スリット開口閉塞 衛生器具、手摺、手洗ボウル、鏡撤去(機械設備)・トイレ・ス撤去 ラインク CB撤去		
		改修前	改修後	±0	2,400	MO	ビニル床シート t=2.5貼 (撤去) 超防汚性ビニル床シート t=2.0貼 (新設)	床材巻上げ巾木 H=100 (新設)	-	-	下地調整	樹脂化粧合板 t3.0貼 (新設) 【色分け:3種類】	LGS(新設)	PBT=9.5下地、岩綿吸音板t=12 (新設)	塩ビ製(新設)				
1階	女子便所	改修前	改修後	±0	2,400	MO	ビニル床シート t=2.5貼 (撤去) 超防汚性ビニル床シート t=2.0貼 (新設)	ビニル巾木H=75 (撤去)	-	-	MO	VE塗り 塗膜除去	LGS(撤去)	岩綿吸音板t=12 (下地貼共撤去)	塩ビ製 (撤去)	女子便所	ラインク 天板:人工大理石甲板 t=20、樹脂ボック天板、トイレ・ス新設、大型鏡 L型手摺/小便器手摺(機械設備)、和便器撤去跡スリット開口閉塞		
		改修前	改修後	±0	2,400	MO	ビニル床シート t=2.5貼 (撤去) 超防汚性ビニル床シート t=2.0貼 (新設)	床材巻上げ巾木 H=100 (新設)	-	-	下地調整	樹脂化粧合板 t3.0貼 (新設) 【色分け:3種類】	LGS(新設)	PBT=9.5下地、岩綿吸音板t=12 (新設)	塩ビ製(新設)				

下地凡例				防火材料認定番号 (認定番号は参考)				特記事項			
C	コンクリート下地	W	木下地	EP塗・EP-G塗	不燃 NM-8585	床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。				樹脂化粧合板は、7材工業 カラー 同等品とする。	内部仕上げ材料は、F☆☆☆☆仕様とする
MO	モルタル塗			石膏ボード (GB-R) t=9.5	準不燃 QM-9828	塩ビ製廻り縁は目透かしタイプとする。				樹脂化粧合板 (指定色) は、7材工業 COLOR SYSTEM FIT カラー 同等品とする。	天井裏・小屋裏の使用材料は、F☆☆☆☆仕様とする
LGS	軽量鉄骨下地			石膏ボード (GB-R) t=12.5	不燃 NM-8619	樹脂化粧合板貼り端部及び巾木取合部には7材製見切りを取り付けること。				樹脂化粧合板 (柄) は、7材工業 カラー 同等品とする。	天井点検口 内部450角とする
CB	コンクリートブロック			岩綿吸音板t=12	不燃 NM-8599	衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-SIに替え構造用合板にて補強を行うこと。				樹脂化粧合板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領にて補強を行うこと。	
SL	セメントレンガ			樹脂化粧合板t=3.0	不燃 NM-2183	天井点検口450角を適宜設けること。					



2-3階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A1: S=1/100



2-3階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50
A1: S=1/100

- ※トイレ撤去
- ※衛生器具等撤去(機械設備)
(衛生陶器、配管、手摺、洗面カウンター、鏡)
- ※照明器具等撤去(電気設備)
- 仮設間仕切壁、工事用出入口 (LGS50 GB-R t12.5程度)
- 解体撤去範囲を示す
- 間仕切壁撤去: CBt=100積下地 床下地 EP
- ライン' 腰壁撤去: 人研' ロック天板、CBt=100下地 100角'張
- 和便器撤去部、カウンター'撤去'撤去範囲を示す。
- 壁'切'位置を示す。
- 矩計図断面位置を示す。

- ▲ 1 : 突出'設置位置を示す (詳細図参照)
- ▲ 2 : 平付'設置位置を示す (詳細図参照)
- : 下階床既存RC梁位置を示す
- コンクリートFC21-18-20N
- 矩計図断面位置を示す。

内部仕上表																							
階数	室名	改修前	改修後	床高		床			巾木			腰壁			壁			天井			廻り縁	室名	備考
				基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	仕上				
1階	男子便所	改修前	±0	2.500	MO	ビニル床シート t=2.5貼 (撤去)	汚垂石 300角'張 (撤去)	ビニル巾木H=75 (撤去)	MO	100角'貼 (撤去)	MO	VE塗り 塗膜除去	LGS (撤去)	岩綿吸音板t=12 (下地貼共撤去)	塩ビ'製 (撤去)	男子便所	衛生器具、手摺、手洗'器、鏡撤去(機械設備)・トイレ'撤去 CB間仕切壁撤去、ライン' CB撤去 ライン'天板、人工大理石'面台、トイレ'新設、大型鏡 L型手摺/小便器手摺(機械設備)、和便器撤去跡'開口閉塞						
		改修後	±0	2.500	下地調整	超防汚性ビニル床シート t=2.0貼 (新設)	床材巻上げ巾木 H=100 (新設)	-	-	下地調整	珪藻土'化粧板 t3.0貼 (新設) 「色分け: 3種類」	LGS (新設)	PBT=9.5下地、岩綿吸音板t=12 (新設)	塩ビ'製 (新設)									
1階	女子便所	改修前	±0	2.500	MO	ビニル床シート t=2.5貼 (撤去)	ビニル巾木H=75 (撤去)	-	-	MO	VE塗り 塗膜除去	LGS (撤去)	岩綿吸音板t=12 (下地貼共撤去)	塩ビ'製 (撤去)	女子便所	衛生器具、手摺、手洗'器、鏡撤去(機械設備)・トイレ'撤去 ライン' CB撤去 ライン'天板、人工大理石'面台、トイレ'新設、大型鏡 L型手摺/小便器手摺(機械設備)、和便器撤去跡'開口閉塞							
		改修後	±0	2.500	下地調整	超防汚性ビニル床シート t=2.0貼 (新設)	床材巻上げ巾木 H=100 (新設)	-	-	下地調整	珪藻土'化粧板 t3.0貼 (新設) 「色分け: 3種類」	LGS (新設)	PBT=9.5下地、岩綿吸音板t=12 (新設)	塩ビ'製 (新設)									

下地凡例		防火材料認定番号 (認定番号は参考)				特記事項			
C	コンクリート下地	W	木下地	EP塗-EP-G塗	不燃 NM-8585	床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。			
MO	珪藻土'張			石膏'ボード (GB-R) t=9.5	準不燃 OM-9828	塩ビ'製廻り縁は自透かし'とする。			
LGS	軽量鉄骨下地			石膏'ボード (GB-R) t=12.5	不燃 NM-8619	珪藻土'化粧板貼り端部及び巾木取合部には7'製見切りを取り付けること。			
CB	コンクリート'ロカ			岩綿吸音板t=12	不燃 NM-8599	珪藻土'化粧板(柄)は、7'角工業'同等品とする。			
SL	珪藻土'リソグ			珪藻土'化粧板t=3.0	不燃 NM-2183	珪藻土'化粧板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領にて乾燥状態にて施工を行うこと。			

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事 設計図

校の内 A4共通調書様

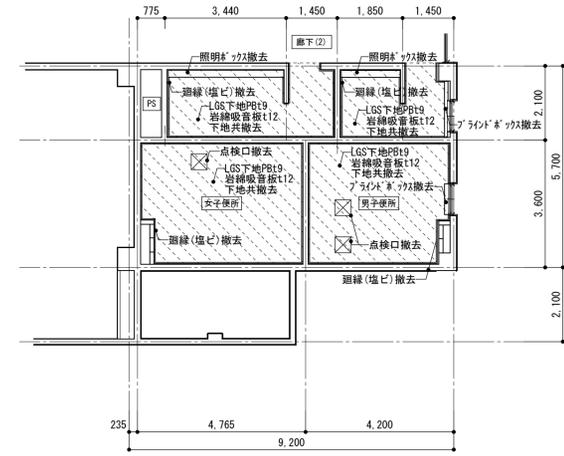
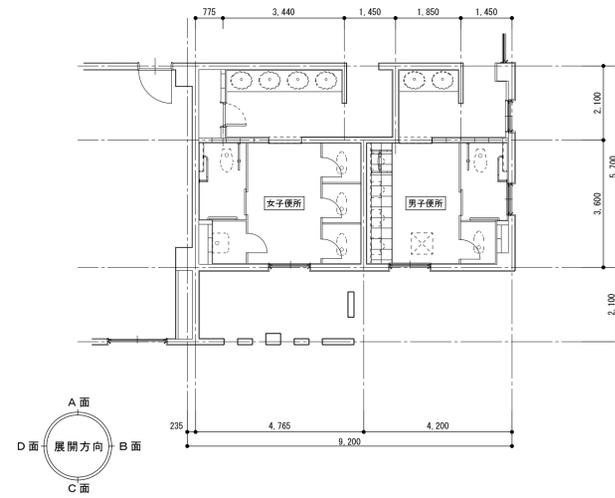
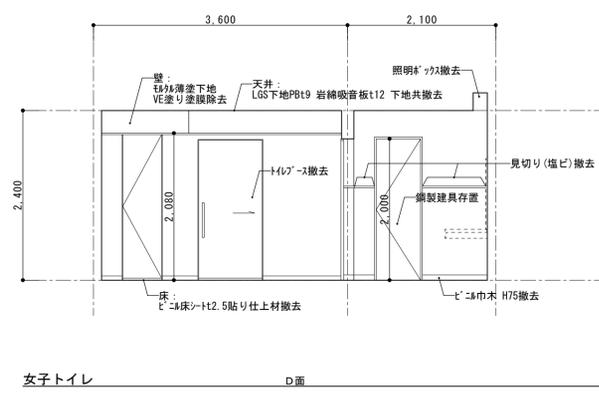
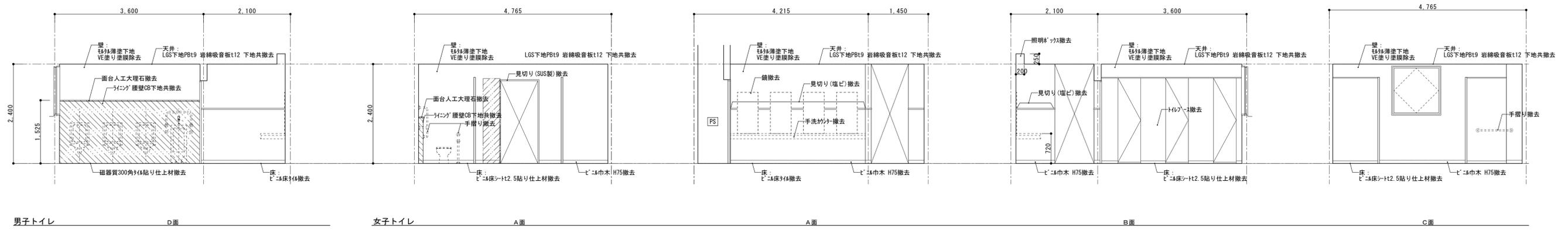
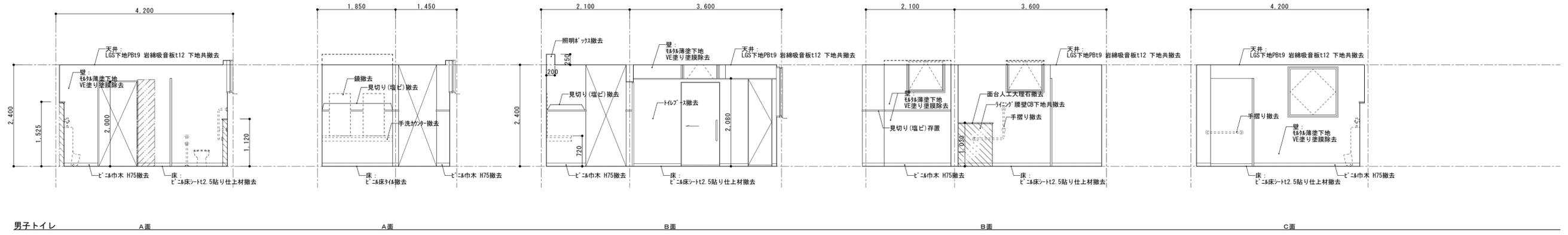
2-3階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50
2-3階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/100

担 当

株式会社 岩佐建築設計事務所

一級建築士 No.253120
横江 敏 幸

改修前



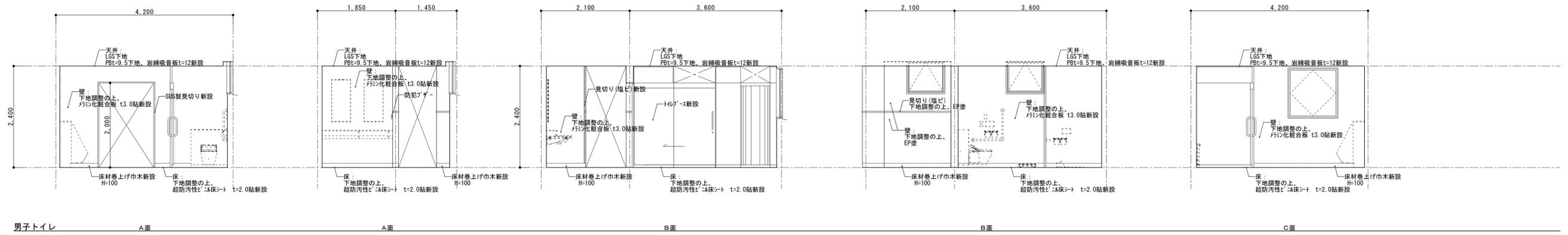
- 間仕切壁撤去: CBt=100積下地 珪砂下地 EP
- ラインク 腰壁撤去: 人研7 ロック天板, CBt=100下地 100角タテ張
- ※トイレノブ全撤去
- ※衛生器具等撤去 (機械設備)
- ※衛生陶器、配管、手摺、洗面かみ、鏡
- ※照明器具等撤去 (電気設備)

1階キープラン (改修前) A1: S=1/100 A3: S=1/200

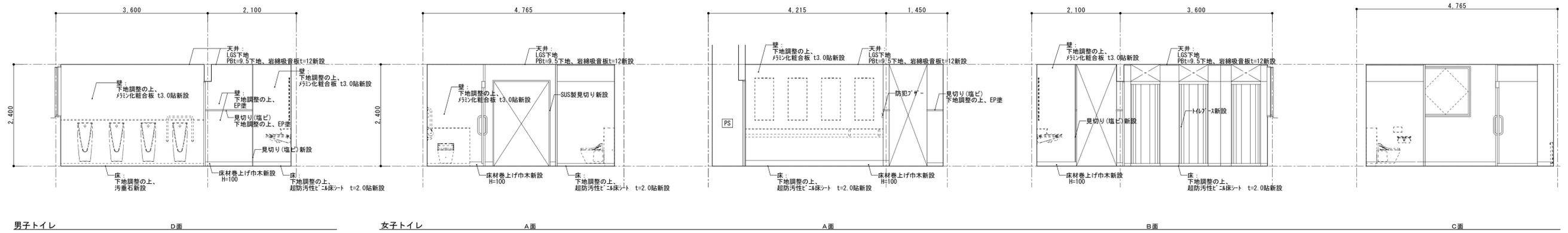
1階天井伏図 (改修前) A1: S=1/100 A3: S=1/200

解体撤去範囲を示す

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図
** 枚の内	A4共通議義様	D. R. 5. 03
A-18	1階展開図 (改修前)	担 当
	1階天井伏図 (改修前)	
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士 No. 253120 横江 敏 幸

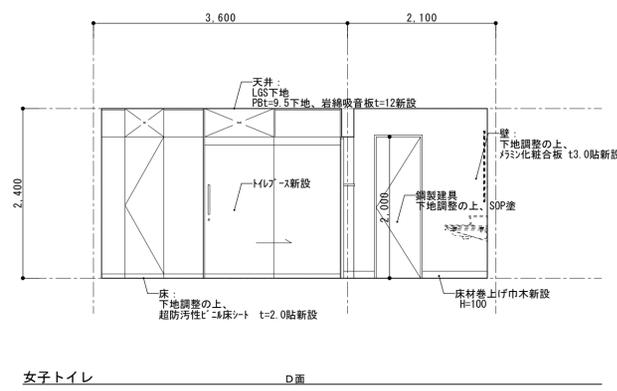


男子トイレ

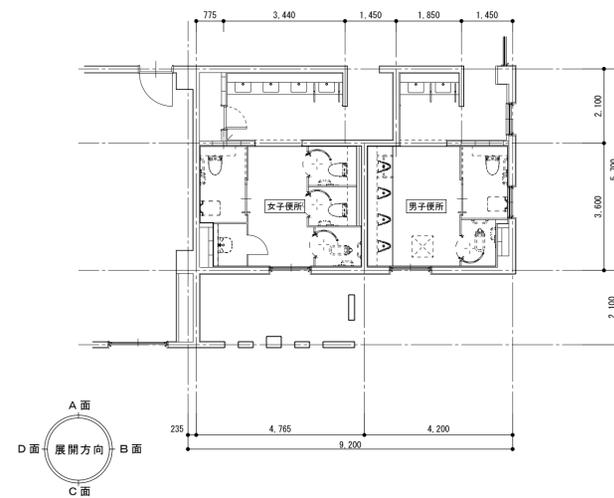


男子トイレ

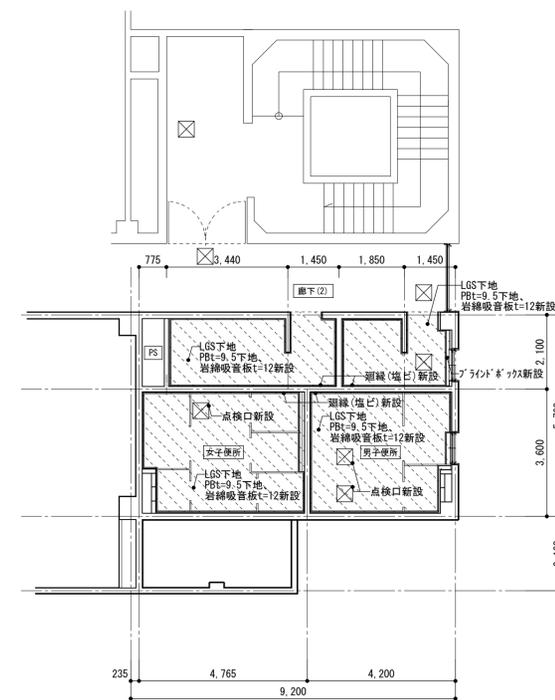
女子トイレ



女子トイレ



1階キープラン (改修後) A1: S=1/100 A3: S=1/200



1階天井伏図 (改修後) A1: S=1/100 A3: S=1/200

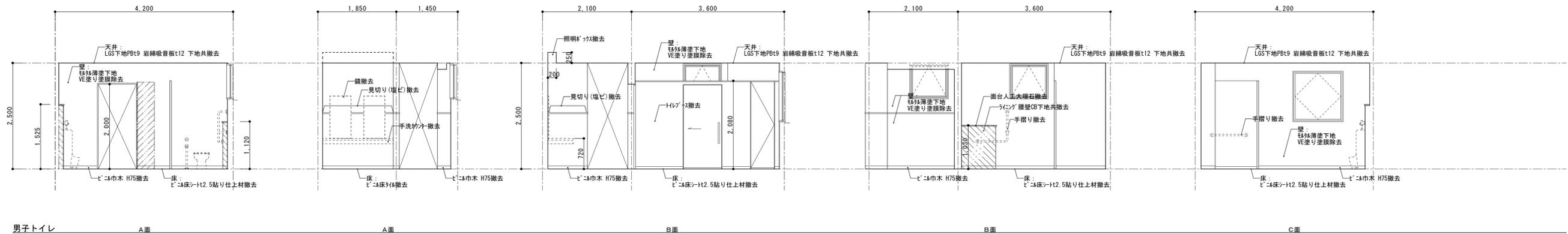
新設範囲を示す

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事 設計図

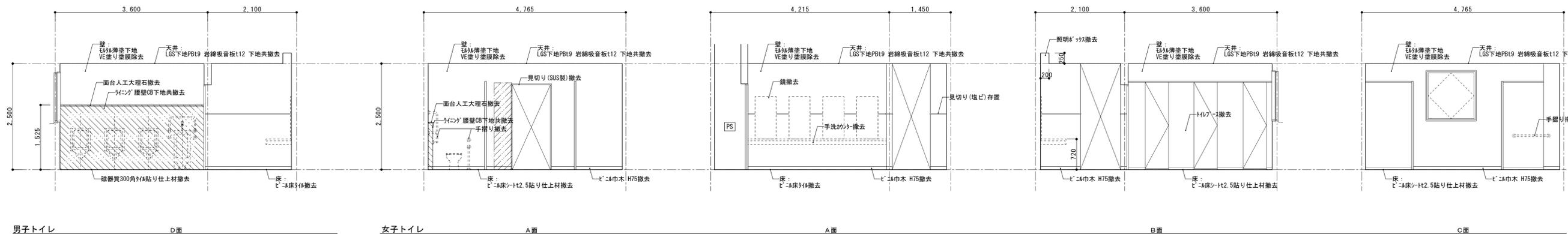
** 枚の内	A4共通仕様	D. R. 5. 03
A-19	1階展開図 (改修後)	A1: S=1/50 A3: S=1/100 担 当
	1階天井伏図 (改修後)	A1: S=1/100 A3: S=1/200

株式会社 岩佐建築設計事務所 一級建築士 No. 253120 横江 敏 幸

改修前

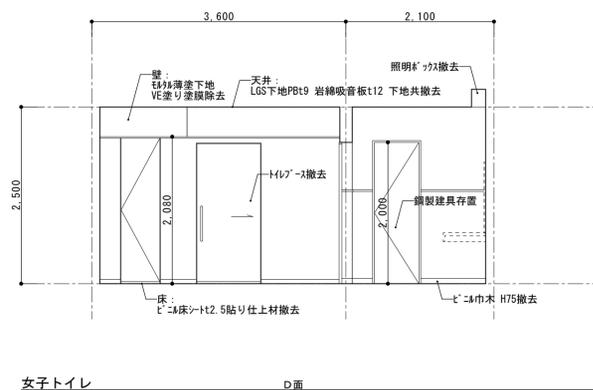


男子トイレ

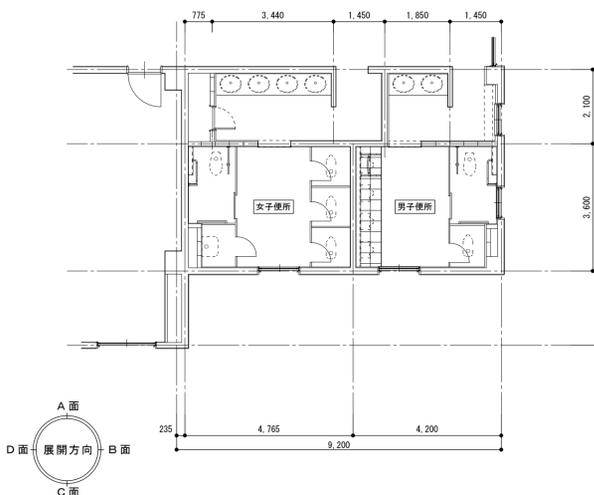


男子トイレ

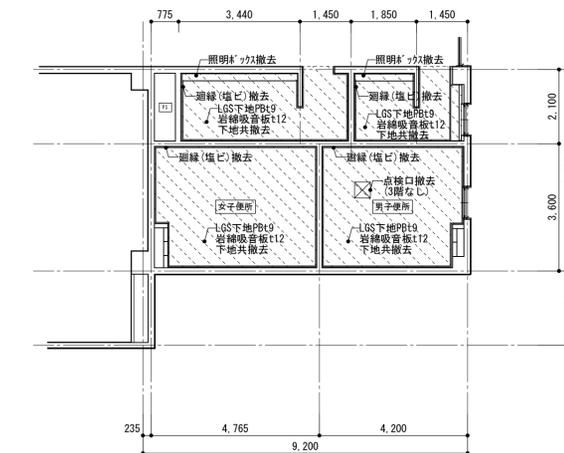
女子トイレ



女子トイレ



2・3階キープラン (改修前) A1: S1/100 A3: S1/200

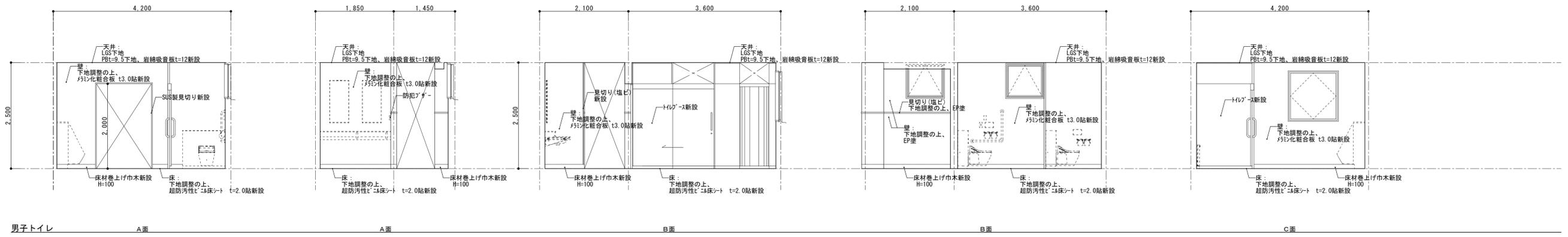


2・3階天井伏図 (改修前) A1: S1/100 A3: S1/200

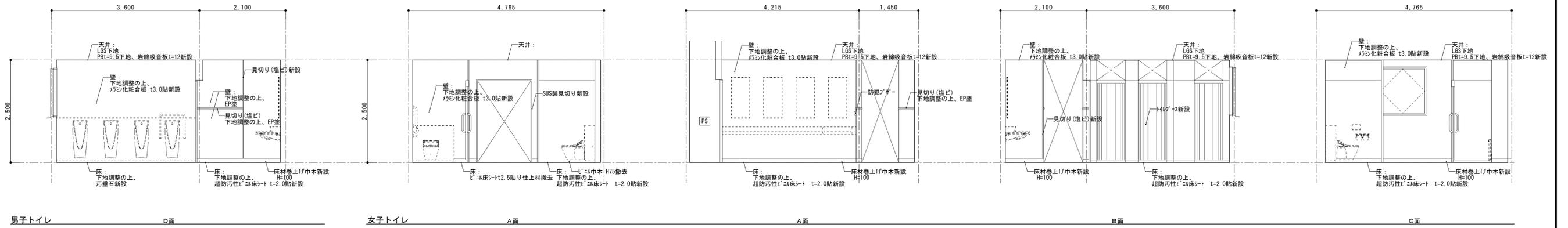
解体撤去範囲を示す

- 間仕切壁撤去: CBt=100横下地 珪藻土下地 EP
- ラインウレ壁撤去: 入研ブロック天板、CBt=100下地 100角9x9張
- ※トイレノブ全撤去
- ※衛生器具等撤去(機械設備)
(衛生陶器、配管、手摺、洗面カタン、鏡)
- ※照明器具等撤去(電気設備)

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図	
** 枚の内	A4共通議定書	D, R, 5, 03	
A-20	2・3階展開図 (改修前)	A1: S1/750 A3: S1/100	担 当
	2・3階天井伏図 (改修前)	A1: S1/100 A3: S1/200	
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士 No.253120 横江 敬 彦	

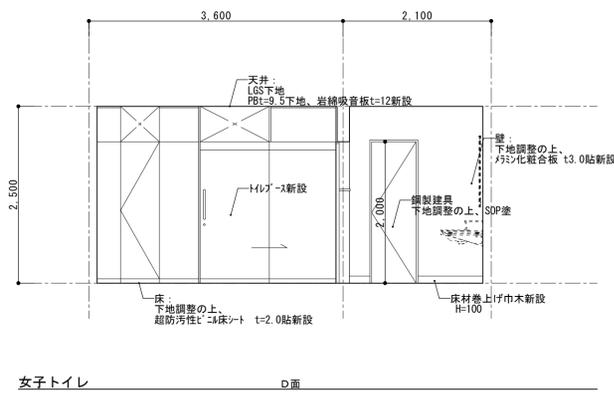


男子トイレ

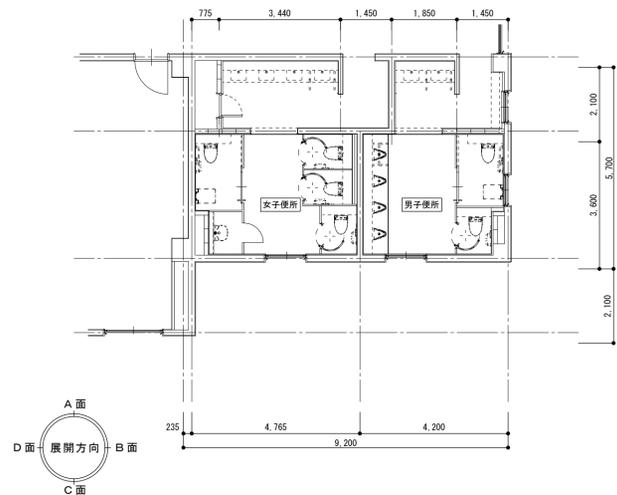


男子トイレ

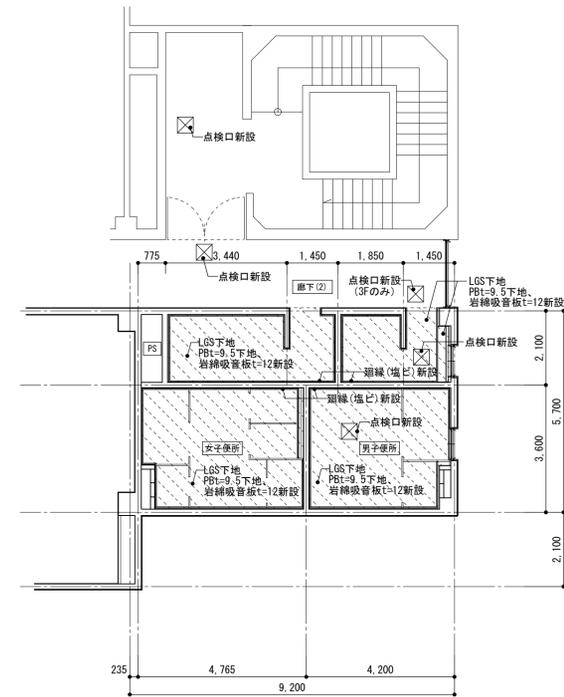
女子トイレ



女子トイレ



2・3階キープラン (改修後) A1: S=1/100 A3: S=1/200

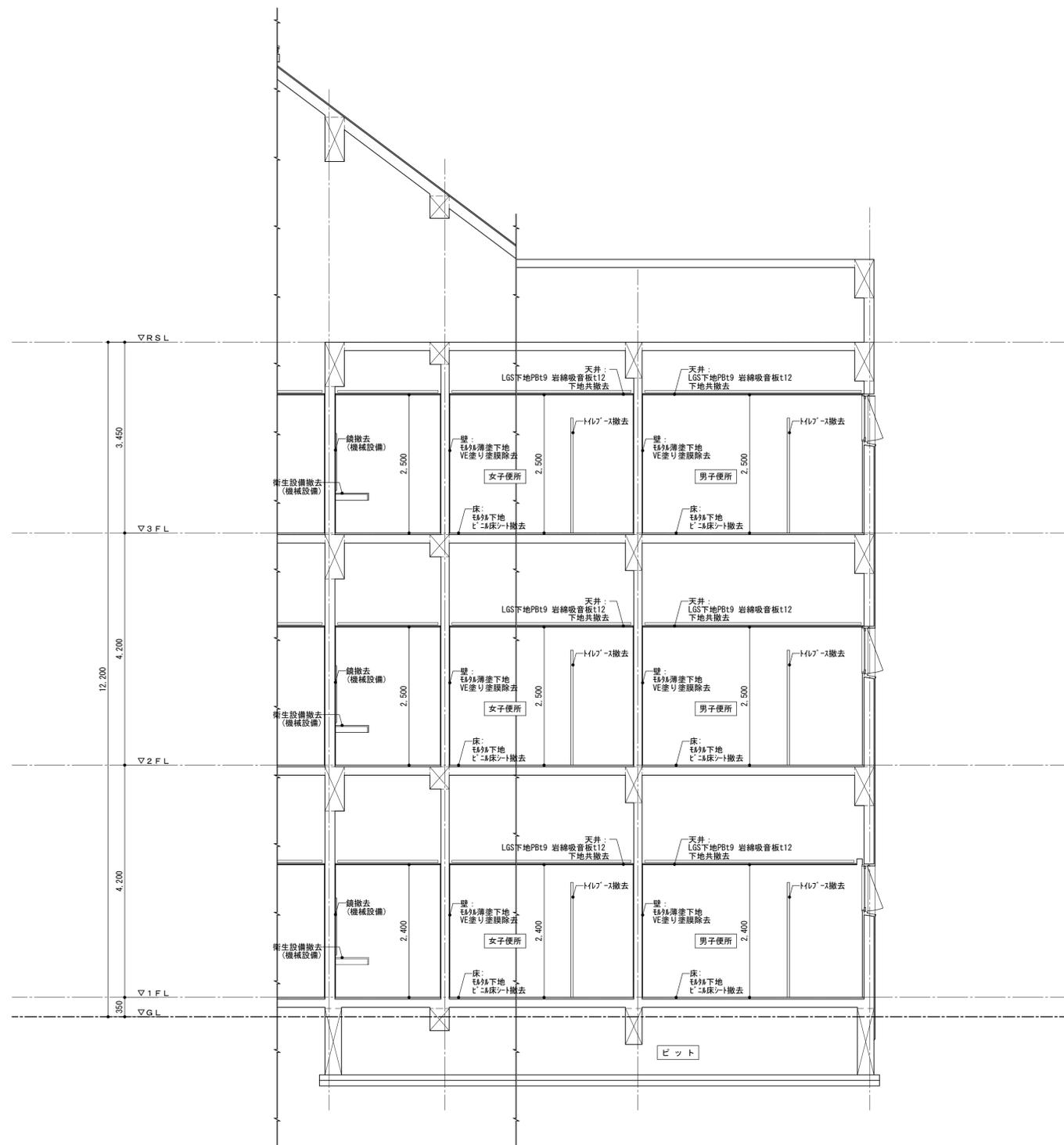


2・3階天井伏図 (改修後) A1: S=1/100 A3: S=1/200

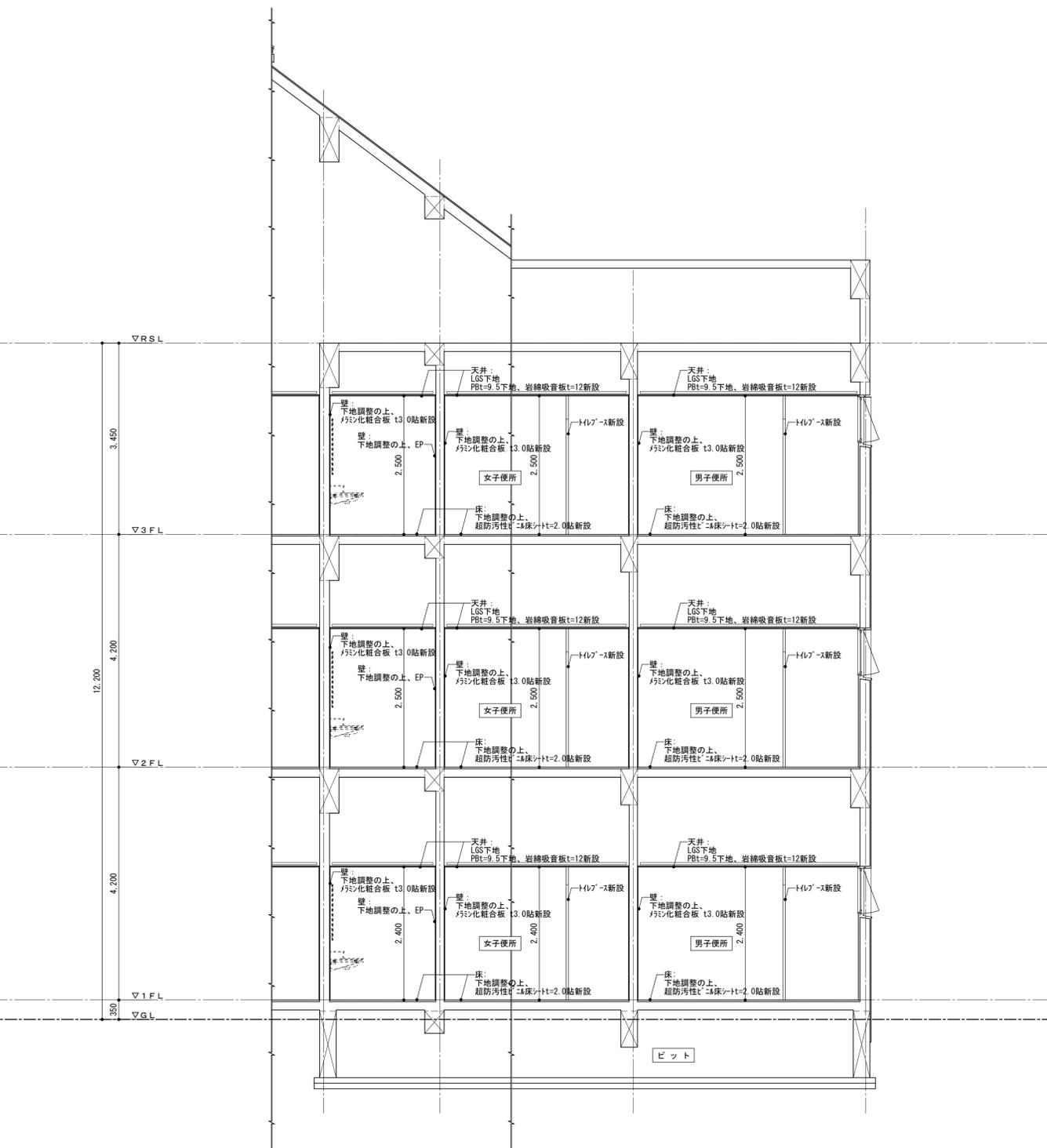
新設範囲を示す

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事 設計図

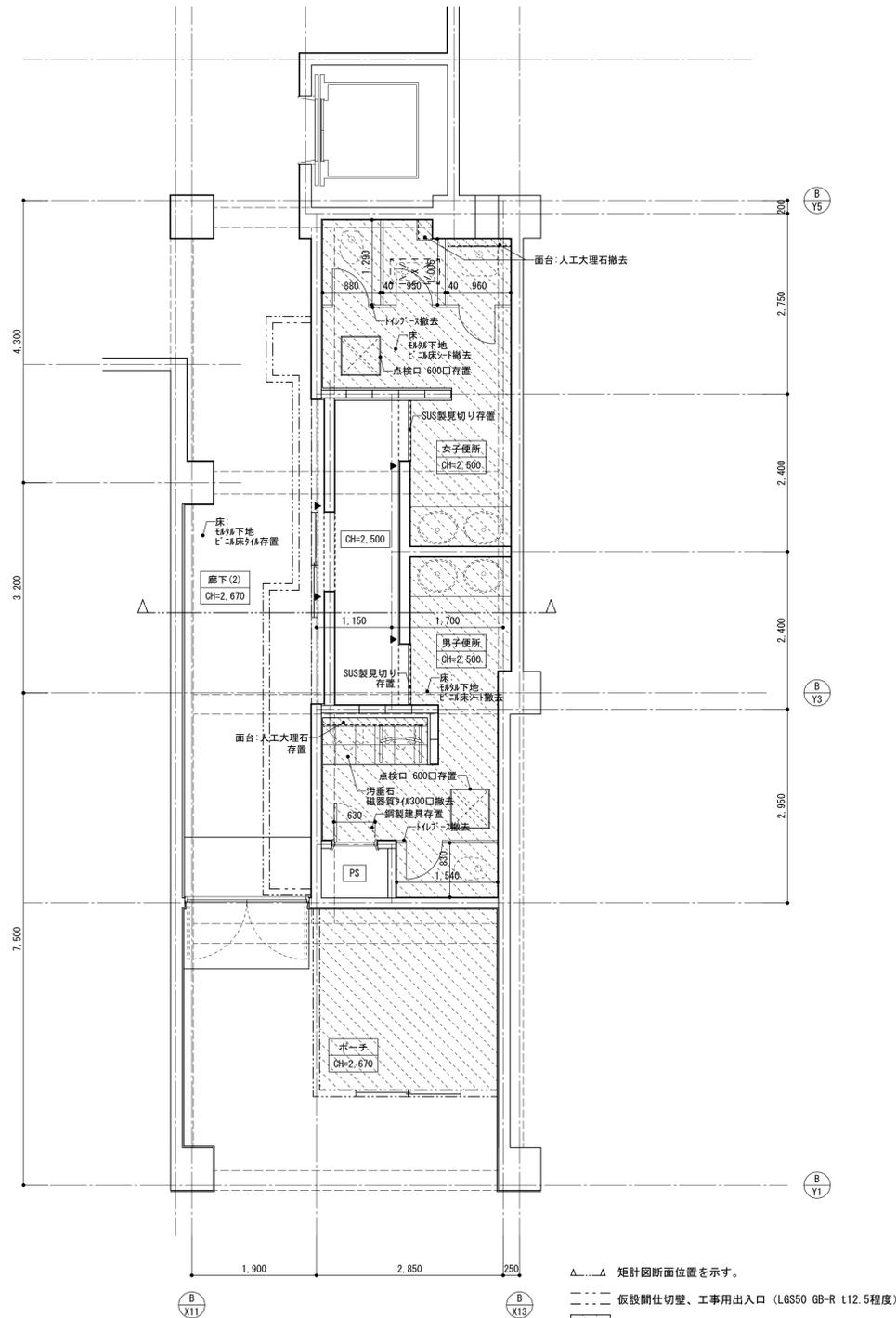
** 枚の内	A4共通仕様	D. R. 5. 0.3
A-21	2・3階展開図 (改修後)	A1: S=1/50 A3: S=1/100
	2・3階天井伏図 (改修後)	A1: S=1/100 A3: S=1/200



矩計詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A1: S=1/100



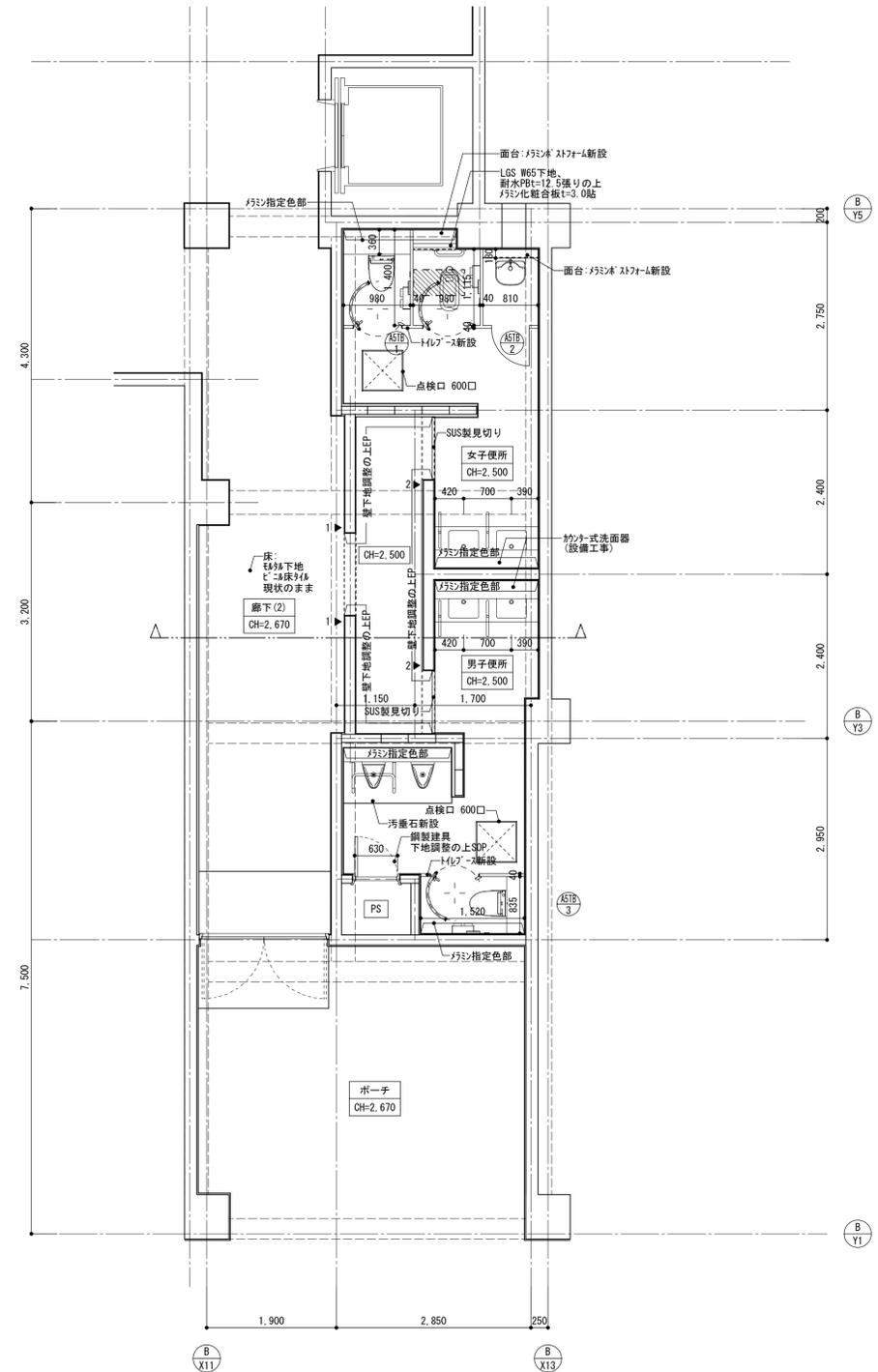
矩計詳細図 (改修後) A1: S=1/50
A1: S=1/100



- ※トイレ・洗面撤去
- ※衛生器具等撤去(機械設備)
(衛生陶器、配管、手摺、洗面台・鏡)
- ※照明器具等撤去(電気設備)

1階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A1: S=1/100

- △.....△ 矩計図断面位置を示す。
- 仮設間仕切壁、工事用出入口 (LGS50 GB-R t12.5程度)
- ▨ 解体撤去範囲を示す
- ▨ 間仕切壁撤去: CBt=100積下地 砂利下地 EP
- ▨ ラインウオール壁撤去: 人研プロック天板、CBt=100下地 100角枠張
- ▨ 和便器撤去部、カッター切上コンクリート撤去範囲を示す。



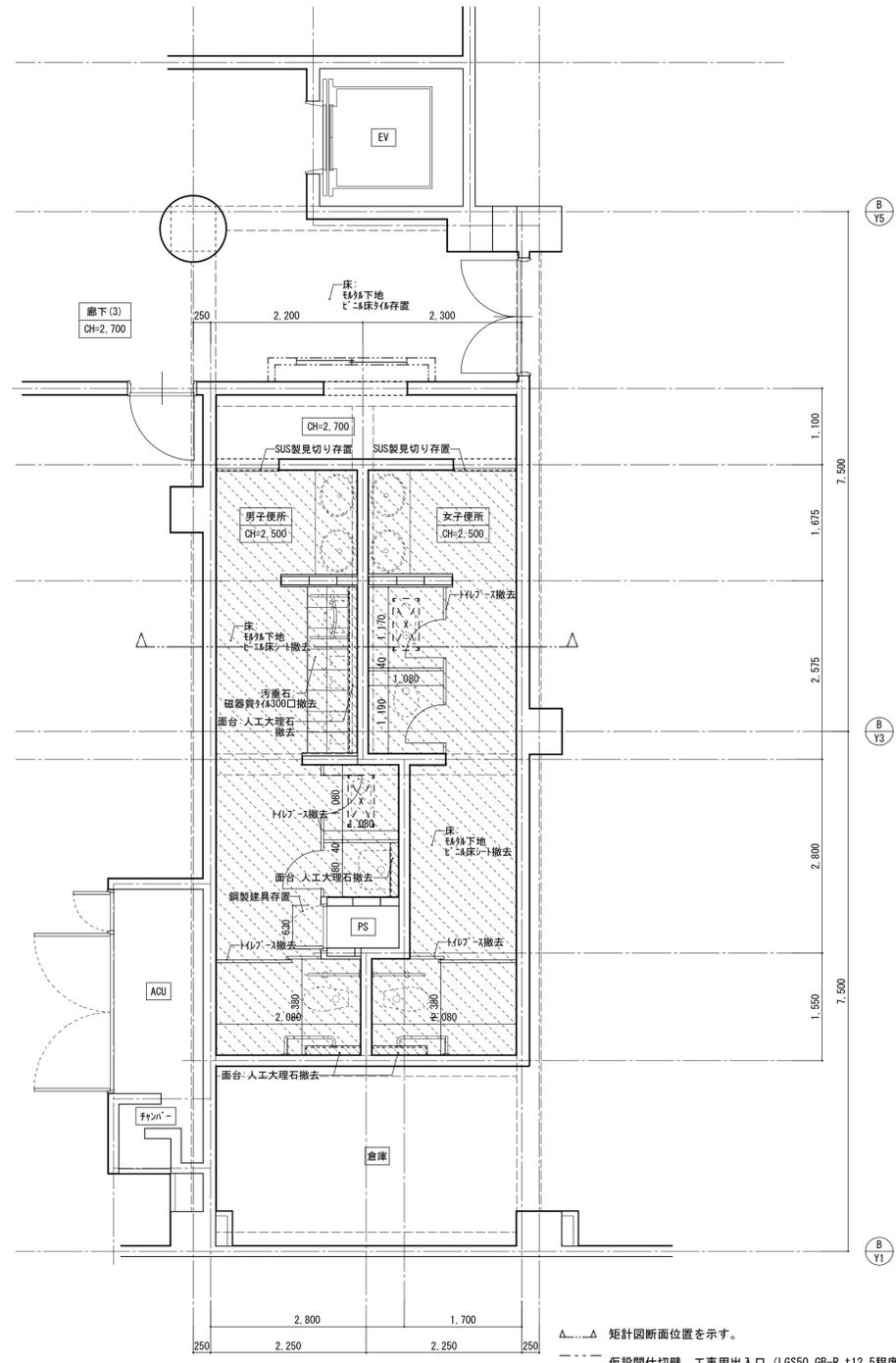
- ▲1 : 突出物設置位置を示す (詳細図参照)
- ▲2 : 平付物設置位置を示す (詳細図参照)
- 下階床既存RC梁位置を示す

1階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50
A1: S=1/100

- ▨ 和便器撤去部、トイレ開口閉塞範囲を示す。
コンクリート直挿え、t=150 D13#200DC あと施工コンクリート:FC21-18-20N
- △.....△ 矩計図断面位置を示す。

階数		室名	床高	天井高	床		巾木		腰壁		壁		天井		廻り縁	室名	備考
			基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上		
1階	男子便所	改修前	±0	2.500	MO	ビニルシート t=2.5貼 (撤去) 汚濁石 300角枠張 (撤去)	ビニル巾木H=75 (撤去)	MO	100角枠貼 (撤去)	MO	VE塗り 塗膜除去	LGS (撤去)	岩綿吸音板t=12 (下地貼共撤去)	塩ビ製 (撤去)		男子便所	衛生器具、手摺、手洗台・鏡撤去(機械設備)・トイレ撤去 CB間仕切壁撤去、ラインウオール撤去 ラインウオール天板・人工大理石甲板 t=20、トイレ・洗面撤去、大型鏡 L型手摺/小便器手摺(機械設備)、和便器撤去跡トイレ開口閉塞
		改修後	±0	2.500	下地調整	超防汚性ビニルシート t=2.0貼 (新設)	床材巻上げ巾木 H=100 (新設)	-	-	下地調整	ライン化粧合板 t3.0貼 (新設) [色分け:3種類]	LGS (新設)	PBt=9.5下地、岩綿吸音板t=12 (新設)	塩ビ製 (新設)			
1階	女子便所	改修前	±0	2.500	MO	ビニルシート t=2.5貼 (撤去)	ビニル巾木H=75 (撤去)	-	-	MO	VE塗り 塗膜除去	LGS (撤去)	岩綿吸音板t=12 (下地貼共撤去)	塩ビ製 (撤去)		女子便所	衛生器具、手摺、手洗台・鏡撤去(機械設備)・トイレ撤去 ラインウオール撤去 ラインウオール天板・人工大理石甲板 t=20、トイレ・洗面撤去、大型鏡 L型手摺/小便器手摺(機械設備)、和便器撤去跡トイレ開口閉塞
		改修後	±0	2.500	下地調整	超防汚性ビニルシート t=2.0貼 (新設)	床材巻上げ巾木 H=100 (新設)	-	-	下地調整	ライン化粧合板 t3.0貼 (新設) [色分け:3種類]	LGS (新設)	PBt=9.5下地、岩綿吸音板t=12 (新設)	塩ビ製 (新設)			

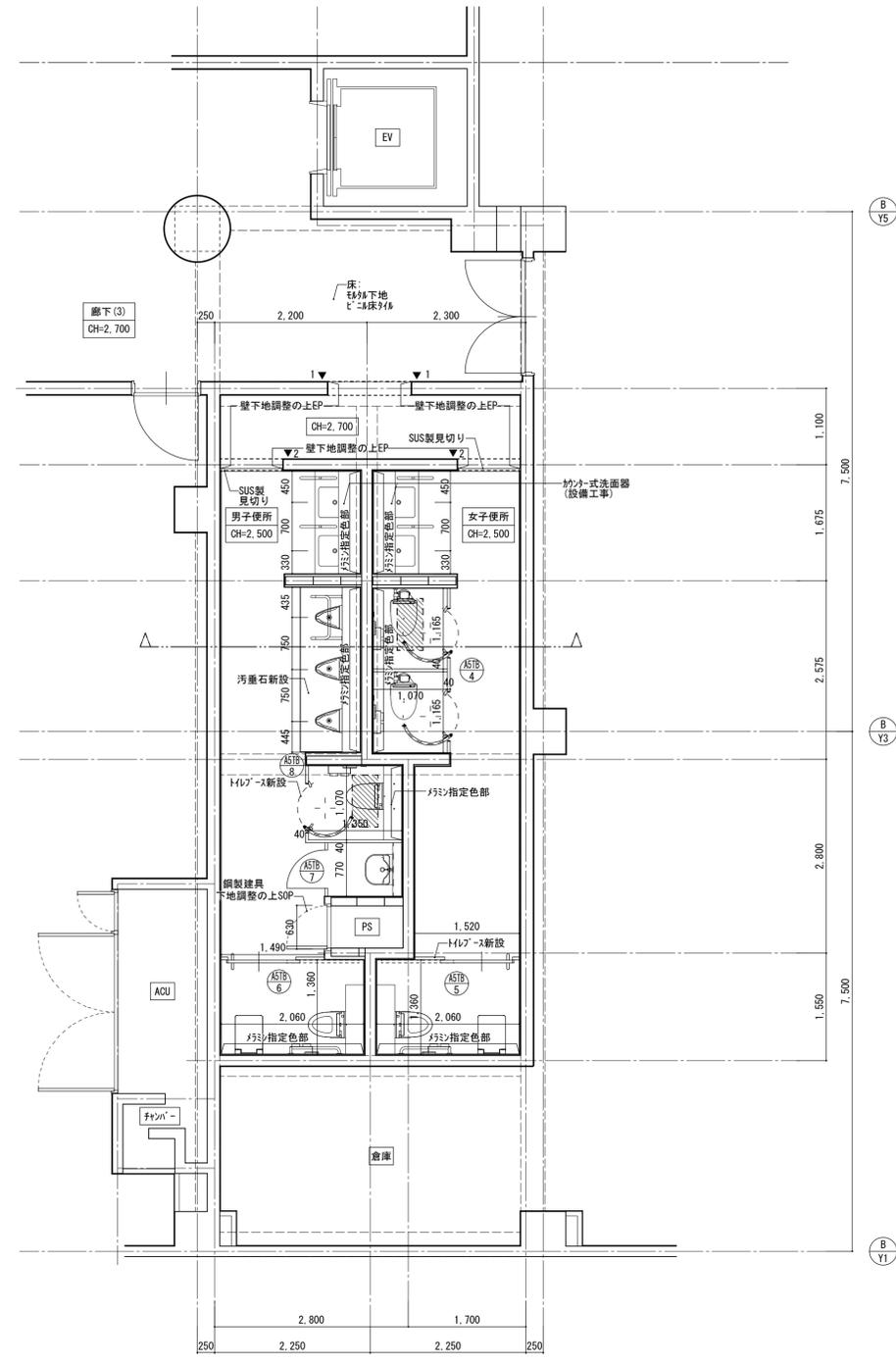
下地凡例				防火材料認定番号 (認定番号は参考)				特記事項					
C	コンクリート下地	W	木下地	EP塗・EP-G塗	不燃 NM-8585	床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。				ライン化粧合板は、7材工業 特等品とする。		内部仕上げ材料は、F☆☆☆☆仕様とする	
MO	砂利塗			石膏ボード (GB-R) t=9.5	準不燃 QM-9828	塩ビ製廻り縁は目透かし枠とする。				ライン化粧合板 (指定色) は、7材工業 COLOR SYSTEM FIT 特等品とする。		天井裏・小屋裏の使用材料は、F☆☆☆☆仕様とする	
LGS	軽量鉄骨下地			石膏ボード (GB-R) t=12.5	不燃 NM-8619	ライン化粧合板貼付端部及び巾木取合部には7材製見切りを取り付けること。				ライン化粧合板 (柄) は、7材工業 特等品とする。		天井点検口 内部450角とする	
CB	コンクリートロク			岩綿吸音板t=12	不燃 NM-8599	衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-SIに替え構造用合板にて補強を行うこと。				ライン化粧合板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行うこと。			
SL	砂利・リン			ライン化粧合板t=3.0	不燃 NM-2183	天井点検口450角を適宜設けること。							



- ※トイレノブ全撤去
- ※衛生器具等撤去(機械設備)
(衛生陶器、配管、手摺、洗面カタン、鏡)
- ※照明器具等撤去(電気設備)

2-3階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A1: S=1/100

- △...△ 矩計図断面位置を示す。
- 仮設間仕切壁、工事用出入口 (LGS50 GB-R t12.5程度)
- - - 解体撤去範囲を示す
- 間仕切壁撤去: CBt=100積下地 仕様下地 EP
- ラインゲ 腰壁撤去: 人研アロック天板, CBt=100下地 100角仕様
- 和便器撤去部、カッターコンクリートスラブ撤去範囲を示す。



- ▲ 1 : 突出サッシ設置位置を示す (サッシ詳細参照)
- ▲ 2 : 平付サッシ設置位置を示す (サッシ詳細参照)
- - - : 下階床既存RC梁位置を示す

2-3階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50
A1: S=1/100

- 和便器撤去部、スリ開口閉塞範囲を示す。
コンクリート直挿入 t=150 DT38200DC あと施工アコ
コンクリート-FC21-18-20N
- △...△ 矩計図断面位置を示す。

階数	室名		床高		床		巾木		腰壁		壁		天井		廻り縁	室名	備考
			基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上				
1階	男子便所	改修前	±0	2.500	MO	ビニル床シート t=2.5貼 (撤去) 汚垂石 300角仕様 (撤去)	ビニル巾木H=75 (撤去)	MO	100角仕様 (撤去)	MO	VE塗り 塗膜除去	LGS(撤去)	岩綿吸音板t=12 (下地貼共撤去)	塩ビ製 (撤去)	男子便所	衛生器具、手摺、洗面カタン、鏡撤去(機械設備)・トイレノブ撤去 CB間仕切壁撤去、ラインゲ CB積撤去 ラインゲ 天板/人工大理石甲板 t=20、ガラススリット/洗面台、トイレノブ新設、大型鏡 L型手摺/小便器手摺(機械設備)、和便器撤去跡スリット開口閉塞 衛生器具、手摺、洗面カタン、鏡撤去(機械設備)・トイレノブ撤去 ラインゲ CB積撤去	
		改修後	±0	2.500	下地調整	超防汚性ビニル床シート t=2.0貼 (新設)	床材巻上げ巾木 H=100 (新設)	-	-	下地調整	珪藻土化粧板 t3.0貼 (新設) [色分け: 3種類]	LGS(新設)	PBt=9.5下地、岩綿吸音板t=12 (新設)	塩ビ製 (新設)			
	女子便所	改修前	±0	2.500	MO	ビニル床シート t=2.5貼 (撤去)	ビニル巾木H=75 (撤去)	-	-	MO	VE塗り 塗膜除去	LGS(撤去)	岩綿吸音板t=12 (下地貼共撤去)	塩ビ製 (撤去)	女子便所	衛生器具、手摺、洗面カタン、鏡撤去(機械設備)・トイレノブ撤去 ラインゲ 天板/人工大理石甲板 t=20、ガラススリット/洗面台、トイレノブ新設、大型鏡 L型手摺/小便器手摺(機械設備)、和便器撤去跡スリット開口閉塞	
		改修後	±0	2.500	下地調整	超防汚性ビニル床シート t=2.0貼 (新設)	床材巻上げ巾木 H=100 (新設)	-	-	下地調整	珪藻土化粧板 t3.0貼 (新設) [色分け: 3種類]	LGS(新設)	PBt=9.5下地、岩綿吸音板t=12 (新設)	塩ビ製 (新設)			
下地凡例					防火材料認定番号 (認定番号は参考)					特記事項							
C	コンクリート下地	W	木下地	EP塗-EP-G塗	不燃 NM-8585	床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。					珪藻土化粧板は、7材工業 カラー 同等品とする。					内部仕上げ材料は、F☆☆☆☆仕様とする	
MO	珪藻土			石膏ボード (GB-R) t=9.5	準不燃 QM-9828	塩ビ製廻り縁は目透かしタイプとする。					珪藻土化粧板 (指定色) は、7材工業 COLOR SYSTEM FIT カラー 同等品とする。					天井裏・小屋裏の使用材料は、F☆☆☆☆仕様とする	
LGS	軽量鉄骨下地			石膏ボード (GB-R) t=12.5	不燃 NM-8619	珪藻土化粧板貼り端部及び巾木取合部には7材製見切りを取り付けること。					珪藻土化粧板 (柄) は、7材工業 カラー 同等品とする。					天井点検口 内部450角とする	
CB	コンクリートブロック			岩綿吸音板t=12	不燃 NM-8599	衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-SIに替え構造用合板にて補強を行うこと。					珪藻土化粧板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領にて補強を行うこと。						
SL	珪藻土リソリ			珪藻土化粧板t=3.0	不燃 NM-2183	天井点検口450角を適宜設けること。											

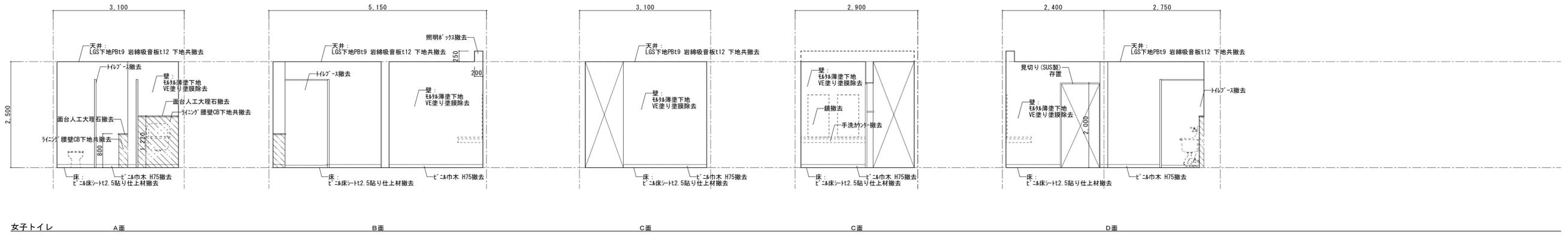
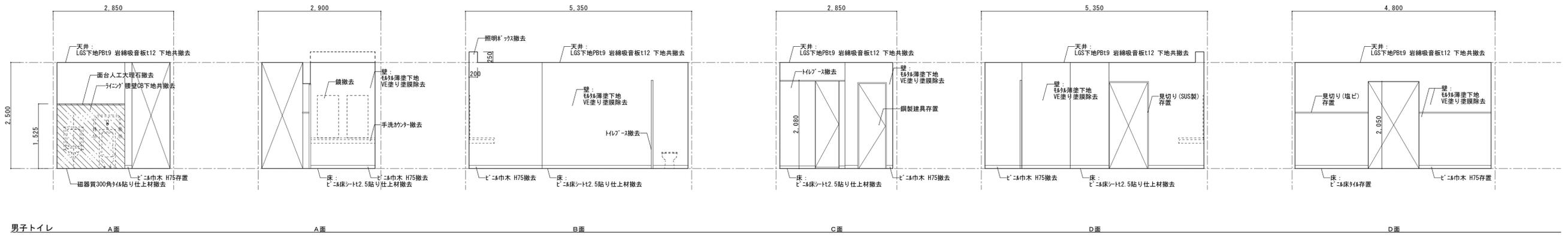
滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事 設計図

** 枚の内 A5図書情報センター様 D. R. 5. 03

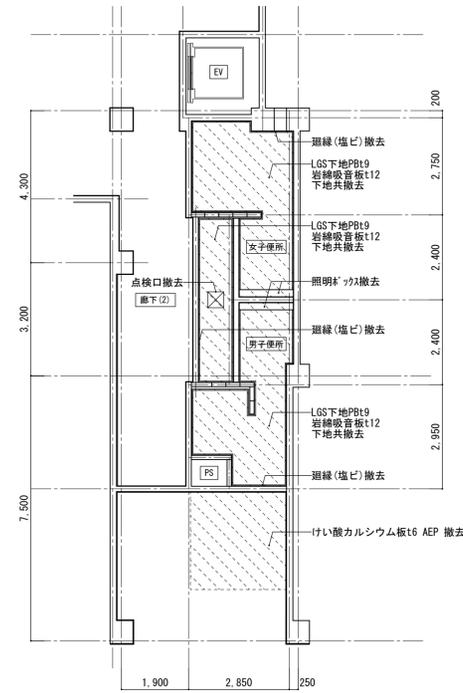
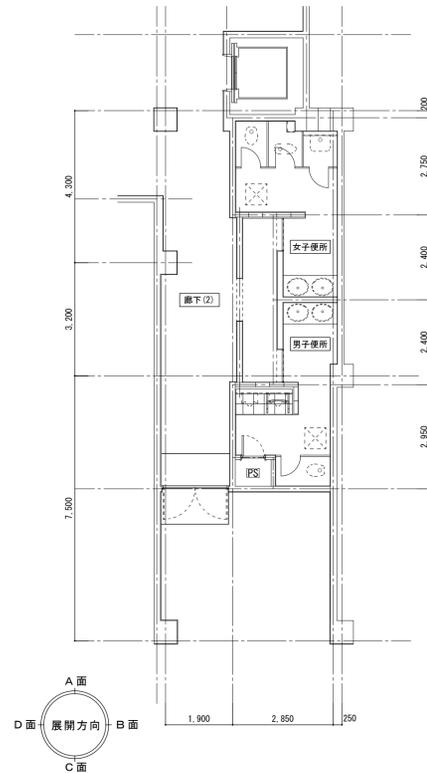
A-24 2-3階平面詳細図 A1: S=1/50 A3: S=1/100 担 当

株式会社 岩佐建築設計事務所 一級建築士 No.253120 横江 敏 幸

改修前



- 間仕切壁撤去: CBT=100積下地 珧珧下地 EP
- 珧珧 腰壁撤去: 人研珧珧天板, CBT=100下地 100角珧珧張
- ※トイレ珧全撤去
- ※衛生器具等撤去(機械設備)
(衛生陶器、配管、手摺、洗面珧珧、鏡)
- ※照明器具等撤去(電気設備)

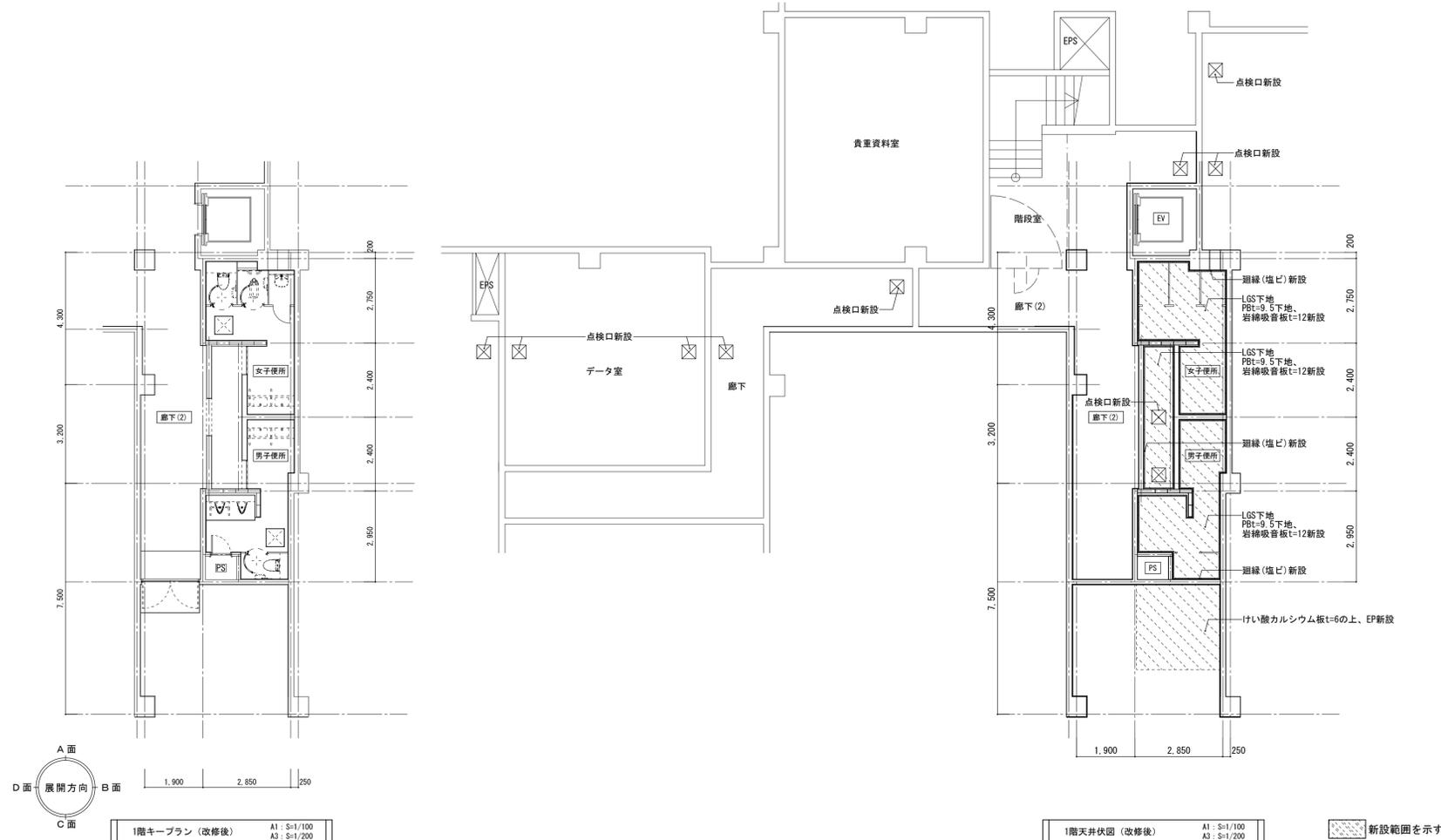
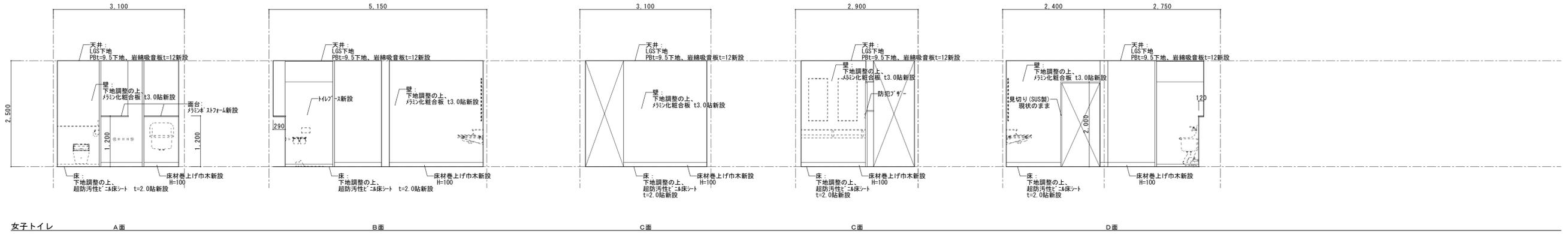
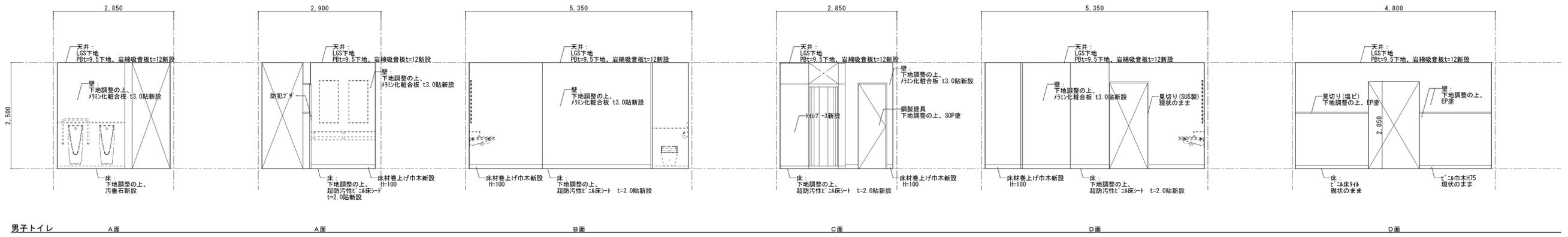


解体撤去範囲を示す

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事 設計図

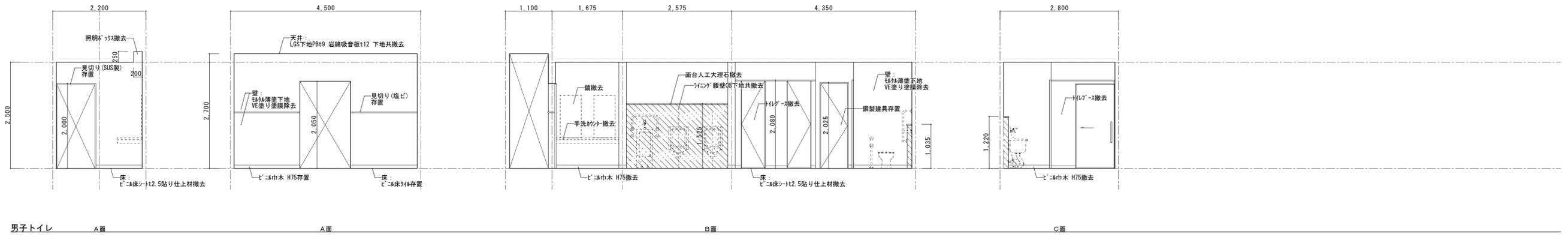
** 枚の内	A5図書情報センター棟	D. R. 5. 03
A-25	1階展開図(改修前)	担 当
	1階天井伏図(改修前)	

株式会社岩佐建築設計事務所 一級建築士 No.253120 横江 敬 幸

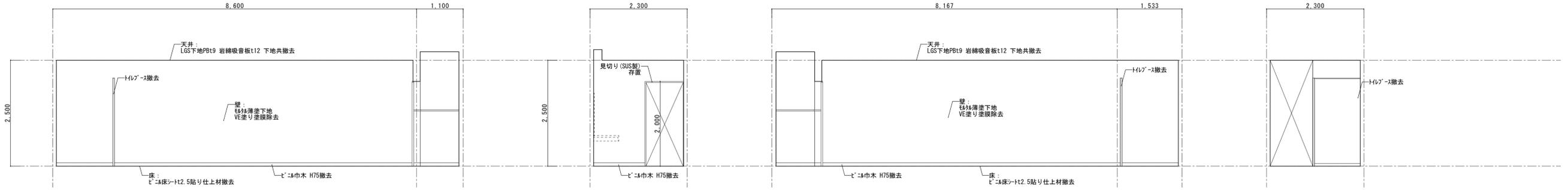


滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図
** 枚の内	A5図書情報センター様	D. R. 5. 0. 3
A-26	1階展開図 (改修後)	A1: S=1/50 担 当
	1階天井伏図 (改修後)	A1: S=1/100
		A1: S=1/100
		A3: S=1/200
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士 No. 253120
		横江 敏 幸

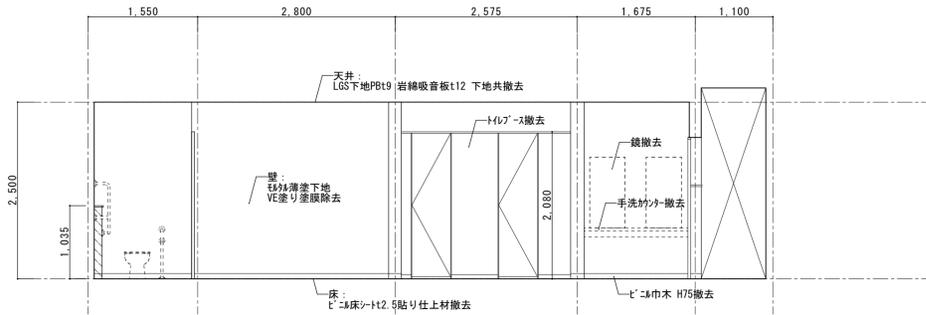
改修前



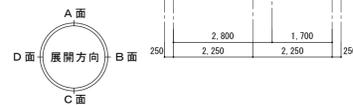
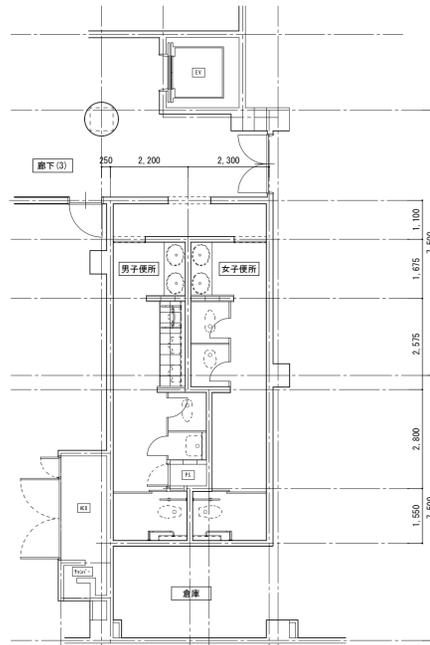
男子トイレ A面 B面 C面



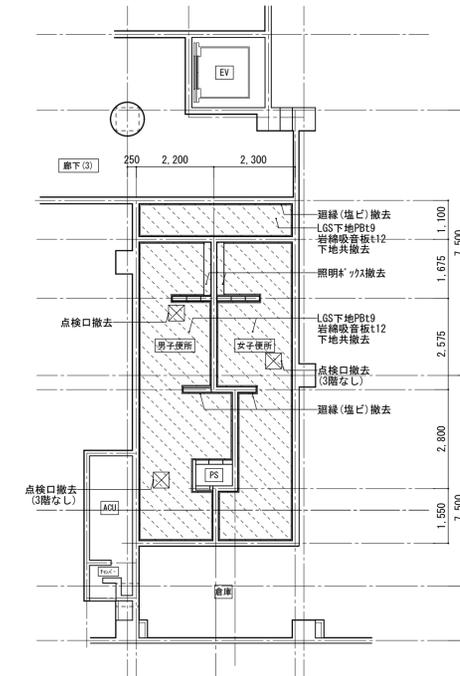
女子トイレ D面 A面 B面 C面



女子トイレ D面



2・3階キープラン (改修前) A1: S=1/100 A3: S=1/200

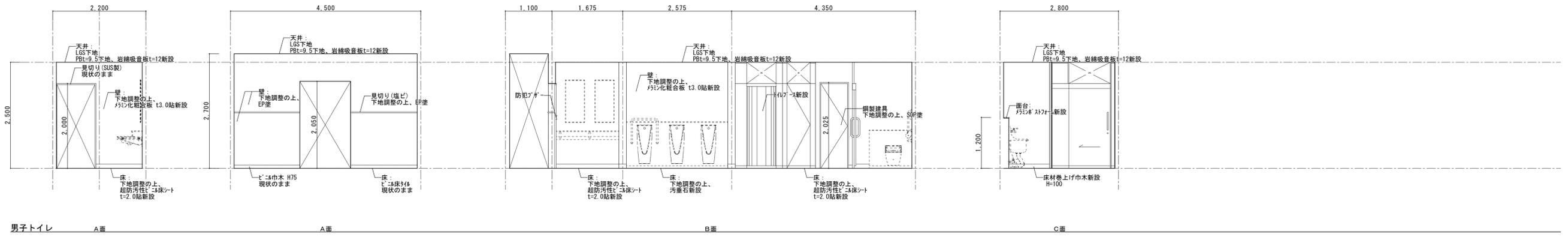


2・3階天井伏図 (改修前) A1: S=1/100 A3: S=1/200

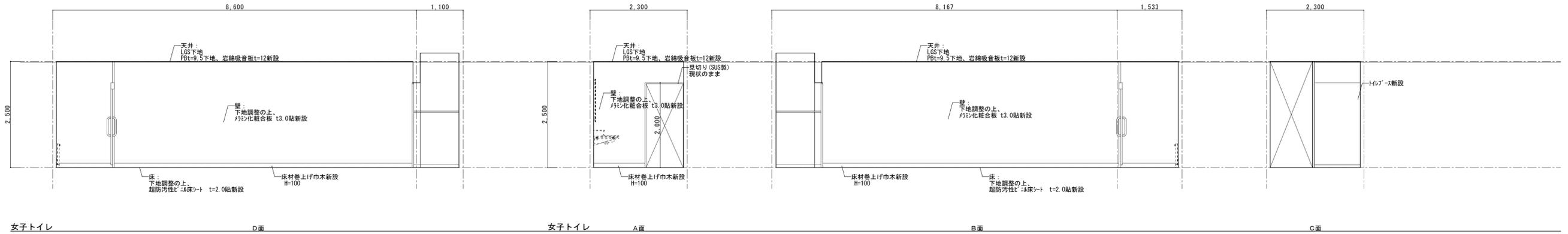
解体撤去範囲を示す

- 間仕切壁撤去: CBt=100積下地 珪藻土下地 EP
- ライノグ 護壁撤去: 人研アロカ天板, CBt=100下地 100角タテ張
- ※トイレノズル全撤去
- ※衛生器具等撤去(機械設備)
(衛生陶器、配管、手摺、洗面台ノズル、鏡)
- ※照明器具等撤去(電気設備)

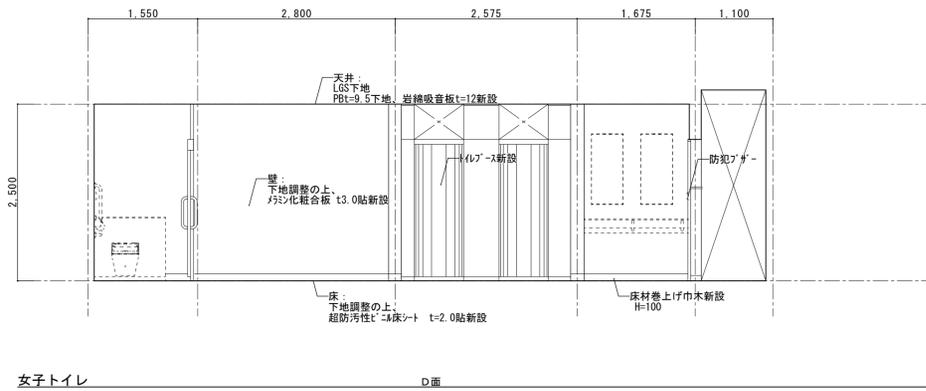
滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図
** 枚の内	A5図書情報センター棟	D. R. 5. 03
A-27	2・3階展開図(改修前)	A1: S=1/50 A3: S=1/100 担 当
	2・3階天井伏図(改修前)	A1: S=1/100 A3: S=1/200
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士 No. 253120 横江 敏 幸



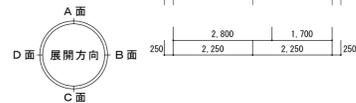
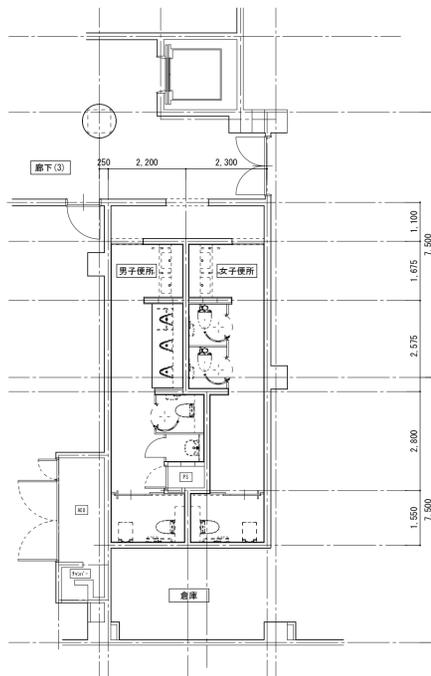
男子トイレ A面 B面 C面



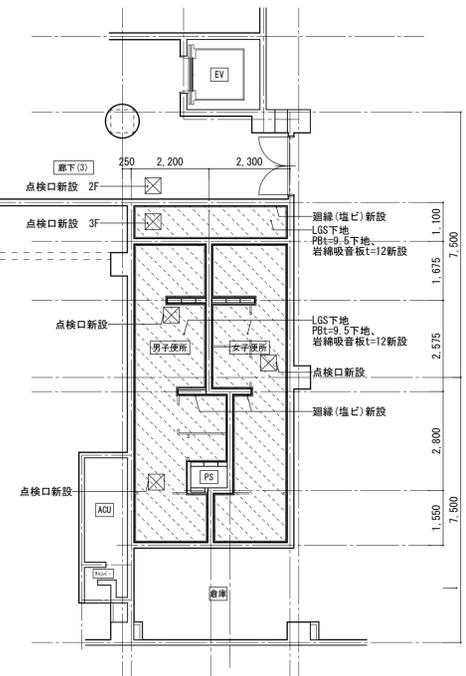
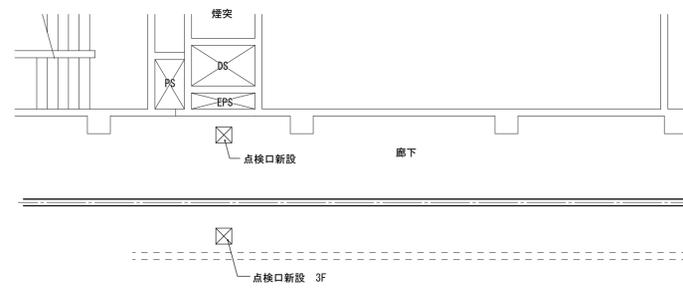
女子トイレ D面 A面 B面 C面



女子トイレ D面



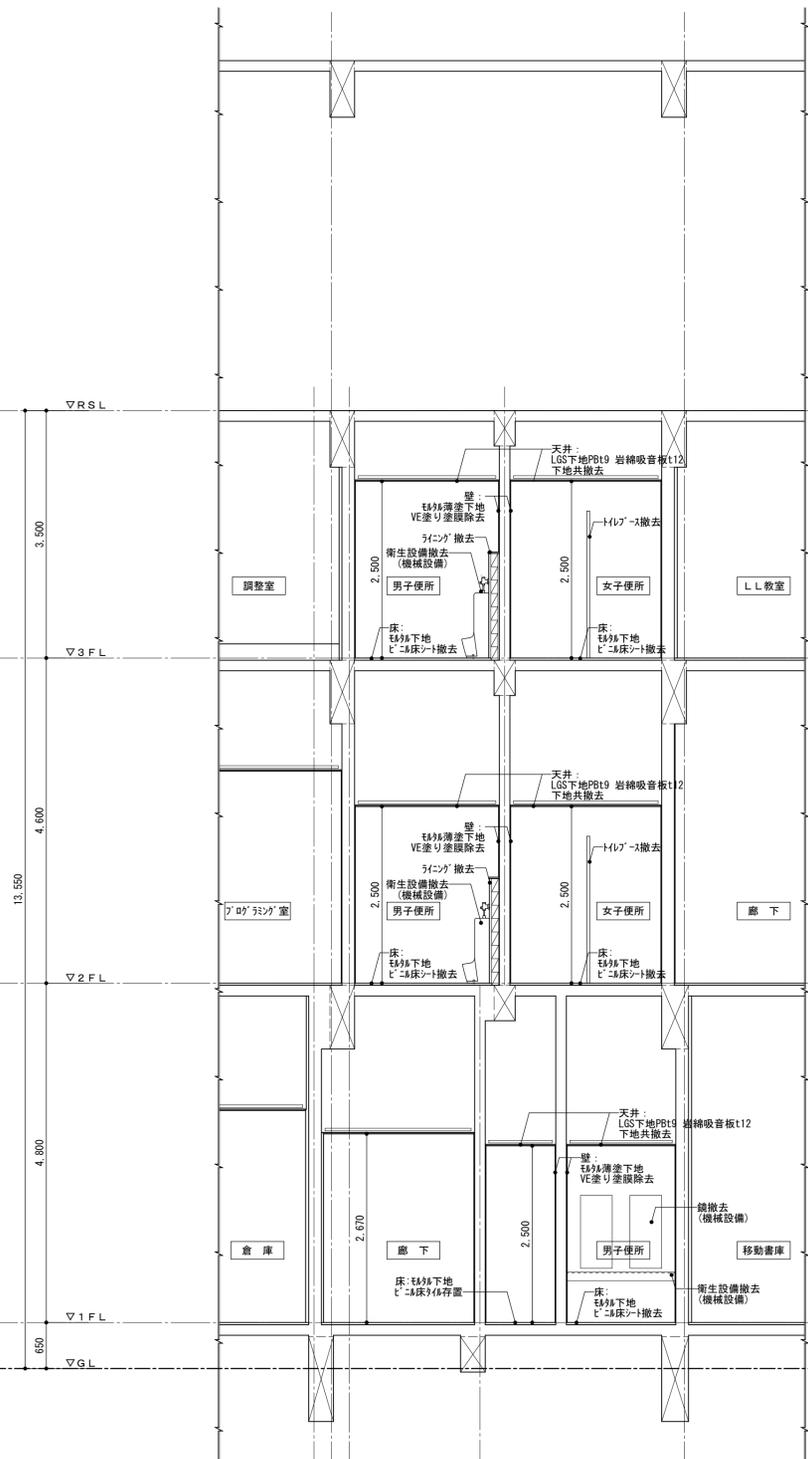
2・3階キープラン (改修後) A1: S=1/100 A3: S=1/200



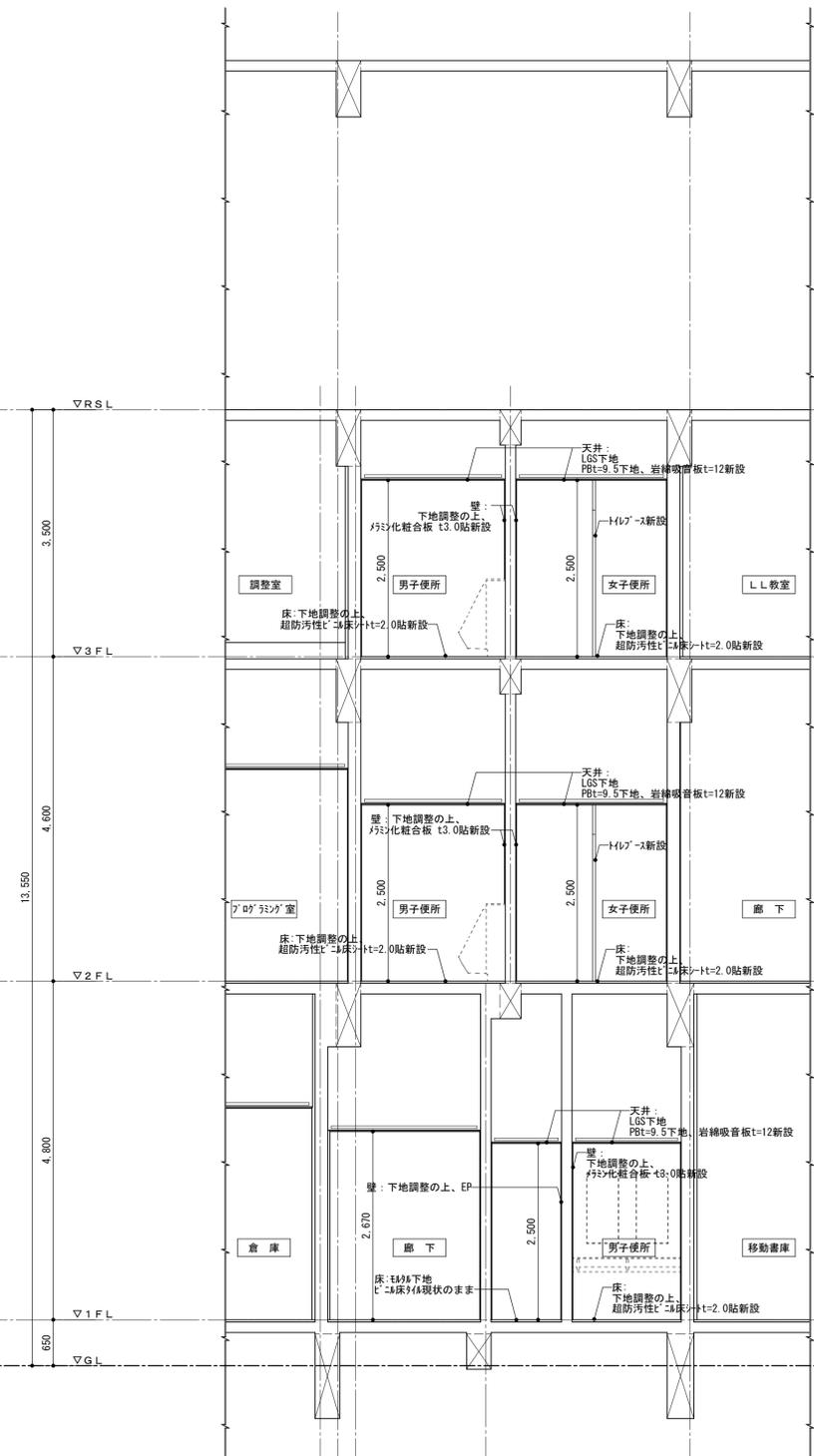
2・3階天井伏図 (改修後) A1: S=1/100 A3: S=1/200

新設範囲を示す

** 枚の内	A5図書情報センター棟	D. R. 5. 03
A-28	2・3階展開図 (改修後)	A1: S=1/50 A3: S=1/100
	2・3階天井伏図 (改修後)	A1: S=1/100 A3: S=1/200



矩計詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A1: S=1/100



矩計詳細図 (改修後) A1: S=1/50
A1: S=1/100

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図
枚の内	A5図書情報センター棟	D. R. 5. 03
A-29	矩計詳細図 (改修前)	A1: S=1/50 A3: S=1/100
	矩計詳細図 (改修後)	担 当
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士 No. 253120 横江 敏 幸

符号	A2TB 1		トイレブース		A2TB 2		トイレブース		A2TB 3		トイレブース		A2TB 4		トイレブース		A2TB 5		トイレブース		A2TB 6		トイレブース			
姿図																										
室名	数量	見込	A2学生厚生棟 1階男子便所		1	4 0	A2学生厚生棟 1階男子便所		1	4 0	A2学生厚生棟 1階男子便所		1	4 0	A2学生厚生棟 1階男子便所		1	3 8	A2学生厚生棟 1階男子便所		1	4 0	A2学生厚生棟 1階女子便所		1	4 0
材質	仕上	ガラス	珪藻土化粧板		-		珪藻土化粧板		-		珪藻土化粧板		-		珪藻土化粧板		-		珪藻土化粧板		-		珪藻土化粧板		-	
金物	備考	SUS巾木、戸当りゴム、表示錠（開錠機能付）、大型ドアハンドル、フック ウェイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 標準品 同等品(常開タイプ)																								
符号	A2TB 7		トイレブース		A2TB 8		トイレブース		A2TB 9		トイレブース		A2TB 10		トイレブース		A2TB 11		トイレブース		A2TB 12		トイレブース			
姿図																										
室名	数量	見込	A2学生厚生棟 1階女子便所		1	3 8	A2学生厚生棟 1階女子便所		1	3 8	A2学生厚生棟 1階女子便所		1	3 8	A2学生厚生棟 2階女子便所		1	4 0	A2学生厚生棟 2階女子便所		1	3 8	A2学生厚生棟 2階女子便所		1	3 8
材質	仕上	ガラス	珪藻土化粧板		-		珪藻土化粧板		-		珪藻土化粧板		-		珪藻土化粧板		-		珪藻土化粧板		-		珪藻土化粧板		-	
金物	備考	SUS巾木、ALレール、回転ラッチ、戸当り金具、パニッシャー、大型ドアハンドル、フック ウェイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 標準品 同等品(常開タイプ)																								
符号	A2TB 13		トイレブース		A2TB 14		トイレブース		A2TB 5		トイレブース															
姿図																										
室名	数量	見込	A2学生厚生棟 2階男子便所		1	3 8	A2学生厚生棟 2階男子便所		1	4 0	A2学生厚生棟 2階男子便所		1	4 0												
材質	仕上	ガラス	珪藻土化粧板		-		珪藻土化粧板		-		珪藻土化粧板		-													
金物	備考	SUS巾木、ALレール、回転ラッチ、戸当り金具、パニッシャー、大型ドアハンドル、フック ウェイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 標準品 同等品(常開タイプ)																								
符号																										
姿図																										
室名	数量																									
材質	仕上	ガラス																								
金物	備考																									

符号	(A4TB 1)	トイレブース	(A4TB 2)	トイレブース	(A4TB 3)	トイレブース	(A4TB 4)	トイレブース	(A4TB 5)	トイレブース	(A2TB 6)	トイレブース		
姿図														
室名	数量	見込	A4共通講義棟 1階・2階・3階女子便所	3	40	A4共通講義棟 1階・2階・3階女子便所	3	40	A4共通講義棟 1階女子便所	1	38	A4共通講義棟 1階女子便所	1	38
材質	仕上	加工	珪藻土化粧板	-		珪藻土化粧板	-		珪藻土化粧板	-		珪藻土化粧板	-	
金物	備考		SUS巾木、戸当りゴム、表示錠（開錠機能付）、大型ドアハンドル、フック クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)			SUS巾木、取手 クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)			SUS巾木、ALレール、回転ラッチ、戸当り金具、ハニッケーブロン、大型ドアハンドル、フック クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)			SUS巾木、戸当りゴム、表示錠（開錠機能付）、大型ドアハンドル、フック クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)		
符号	(A4TB 7)	トイレブース	(A4TB 8)	トイレブース	(A5TB 1)	トイレブース	(A5TB 2)	トイレブース	(A5TB 3)	トイレブース	(A5TB 4)	トイレブース		
姿図														
室名	数量	見込	A4共通講義棟 2階・3階女子便所	2	38	A4共通講義棟 2階・3階女子便所	2	38	A5図書情報センター棟 1階女子便所	1	38	A5図書情報センター棟 1階女子便所	1	40
材質	仕上	加工	珪藻土化粧板	-		珪藻土化粧板	-		珪藻土化粧板	-		珪藻土化粧板	-	
金物	備考		SUS巾木、ALレール、回転ラッチ、戸当り金具、ハニッケーブロン、大型ドアハンドル、フック クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)			SUS巾木、ALレール、回転ラッチ、戸当り金具、ハニッケーブロン、大型ドアハンドル、フック クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)			SUS巾木、戸当りゴム、表示錠（開錠機能付）、大型ドアハンドル、フック クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)			SUS巾木、取手 クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)		
符号	(A5TB 5)	トイレブース	(A5TB 6)	トイレブース	(A5TB 7)	トイレブース	(A5TB 8)	トイレブース	(A5TB 9)	トイレブース	(A5TB 10)	トイレブース		
姿図														
室名	数量	見込	A5図書情報センター棟 2階・3階女子便所	2	38	A5図書情報センター棟 2階・3階女子便所	2	40	A5図書情報センター棟 2階・3階男子便所	2	40	A5図書情報センター棟 2階・3階男子便所	2	38
材質	仕上	加工	珪藻土化粧板	-		珪藻土化粧板	-		珪藻土化粧板	-		珪藻土化粧板	-	
金物	備考		SUS巾木、ALレール、回転ラッチ、戸当り金具、ハニッケーブロン、大型ドアハンドル、フック クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)			SUS巾木、戸当りゴム、表示錠（開錠機能付）、大型ドアハンドル、フック クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)			SUS巾木、取手 クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)			SUS巾木、ALレール、回転ラッチ、戸当り金具、ハニッケーブロン、大型ドアハンドル、フック クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)		
符号	(A5TB 11)	トイレブース	(A5TB 12)	トイレブース	(A5TB 13)	トイレブース	(A5TB 14)	トイレブース	(A5TB 15)	トイレブース	(A5TB 16)	トイレブース		
姿図														
室名	数量	見込	A5図書情報センター棟 2階・3階男子便所	2	38	A5図書情報センター棟 2階・3階男子便所	2	40	A5図書情報センター棟 2階・3階男子便所	2	40	A5図書情報センター棟 2階・3階男子便所	2	38
材質	仕上	加工	珪藻土化粧板	-		珪藻土化粧板	-		珪藻土化粧板	-		珪藻土化粧板	-	
金物	備考		SUS巾木、ALレール、回転ラッチ、戸当り金具、ハニッケーブロン、大型ドアハンドル、フック クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)			SUS巾木、戸当りゴム、表示錠（開錠機能付）、大型ドアハンドル、フック クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)			SUS巾木、取手 クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)			SUS巾木、ALレール、回転ラッチ、戸当り金具、ハニッケーブロン、大型ドアハンドル、フック クエイレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 棚材L5 同等品(常開タイプ)		
室名	数量	見込												
材質	仕上	加工												
金物	備考													

<p>突出型男子トイレサイン(▲1)</p> <p>※取付ビス位置</p>	<p>突出型女子トイレサイン(▲1)</p> <p>※取付ビス位置</p>	<p>平付型男子トイレサイン(▲2)</p> <p>※スライドロック機構 脱着式 (ABS樹脂成形)</p>
<p>設置場所 学生厚生棟 A2棟 2F 共通講義棟 A4棟 1F・2F・3F 図書情報センター A5棟 1F・2F・3F</p> <p>数量 7</p>	<p>設置場所 学生厚生棟 A2棟 2F 共通講義棟 A4棟 1F・2F・3F 図書情報センター A5棟 1F・2F・3F</p> <p>数量 7</p>	<p>設置場所 学生厚生棟 A2棟 1F</p> <p>数量 1</p>
<p>平付型女子トイレサイン(▲2)</p> <p>※スライドロック機構 脱着式 (ABS樹脂成形)</p>	<p>平付型男子トイレサイン(▲2)</p> <p>※スライドロック機構 脱着式 (ABS樹脂成形)</p>	<p>平付型女子トイレサイン(▲2)</p> <p>※スライドロック機構 脱着式 (ABS樹脂成形)</p>
<p>設置場所 学生厚生棟 A2棟 1F</p> <p>数量 1</p>	<p>設置場所 学生厚生棟 A2棟 2F 図書情報センター A5棟 2F・3F</p> <p>数量 3</p>	<p>設置場所 学生厚生棟 A2棟 2F 図書情報センター A5棟 2F・3F</p> <p>数量 3</p>
<p>平付型女子トイレサイン(▲2)</p> <p>※スライドロック機構 脱着式 (ABS樹脂成形)</p>	<p>平付型男子トイレサイン(▲2)</p> <p>※スライドロック機構 脱着式 (ABS樹脂成形)</p>	<p>平付型女子トイレサイン(▲2)</p> <p>※スライドロック機構 脱着式 (ABS樹脂成形)</p>
<p>設置場所 図書情報センター A5棟 1F</p> <p>数量 1</p>	<p>設置場所 学生厚生棟 A2棟 1F(風除室3) 図書情報センター A5棟 1F</p> <p>数量 2</p>	<p>設置場所 学生厚生棟 A2棟 1F(風除室3)</p> <p>数量 1</p>

■サイン特記仕様

(1) 使用材料

- 木材 : VOC商品(ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応)とする。
- アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5(アルミ押出型材)
- アクリル : JIS-K-6718
- ステンレス : JIS-G4305 SUS304、HL仕上

(2) フォント

- 書体については、丸ゴシックは「スーラDB」、角ゴシックは「新ゴM」を基準とする。
※ただし、係員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。

(3) ビクトグラム

- 図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。

(4) カラーユニバーサル

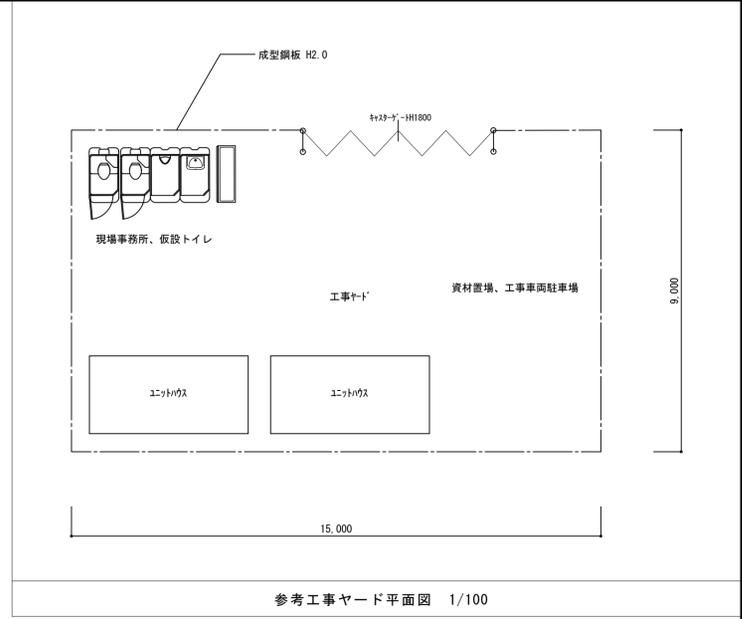
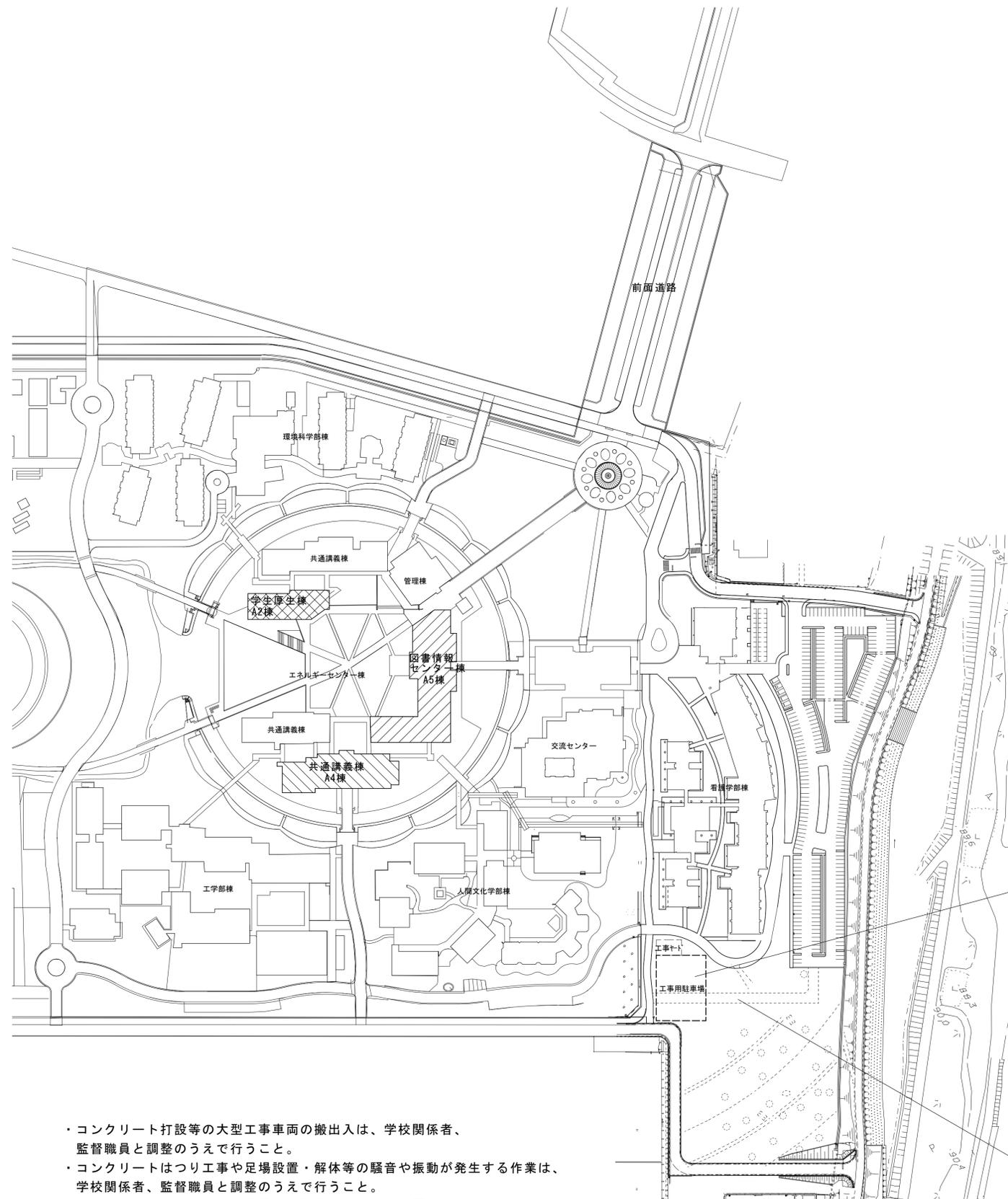
- CIDカラー認証取得業者での製作とする。

(5) 取付位置・方法

- 取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。
- 取付方法については、取付位置の下部などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。
- 障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。

(6) その他

- 室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。
又、室名札脱着の際には スライドロック機構、専用吸盤などを利用し商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様とすること。
- サイン計画については、当施設他工事と十分に調整協議をすること。



- ・コンクリート打設等の大型工事車両の搬出入は、学校関係者、監督職員と調整のうえで行うこと。
- ・コンクリートはつり工事や足場設置・解体等の騒音や振動が発生する作業は、学校関係者、監督職員と調整のうえで行うこと。
- ・工事ヤード・作業ヤード・足場・仮設間仕切等は工事関係者以外の者が立入ることがないように、出入口を施錠すること。

- 改修工事範囲 凡例
-  ① 学生厚生棟 A2棟 1～2階 男女便所改修工事
 -  ② 共通講義棟 A4棟 1～3階 男女便所改修工事
 -  ③ 図書情報センター棟 A5棟 1～3階 男女便所改修工事

仮設計画図 A1: S=1/500 A3: S=1/1000

砕石敷等により場外へ泥を持ち出さないこと

車両用通路確保のこと

参考図

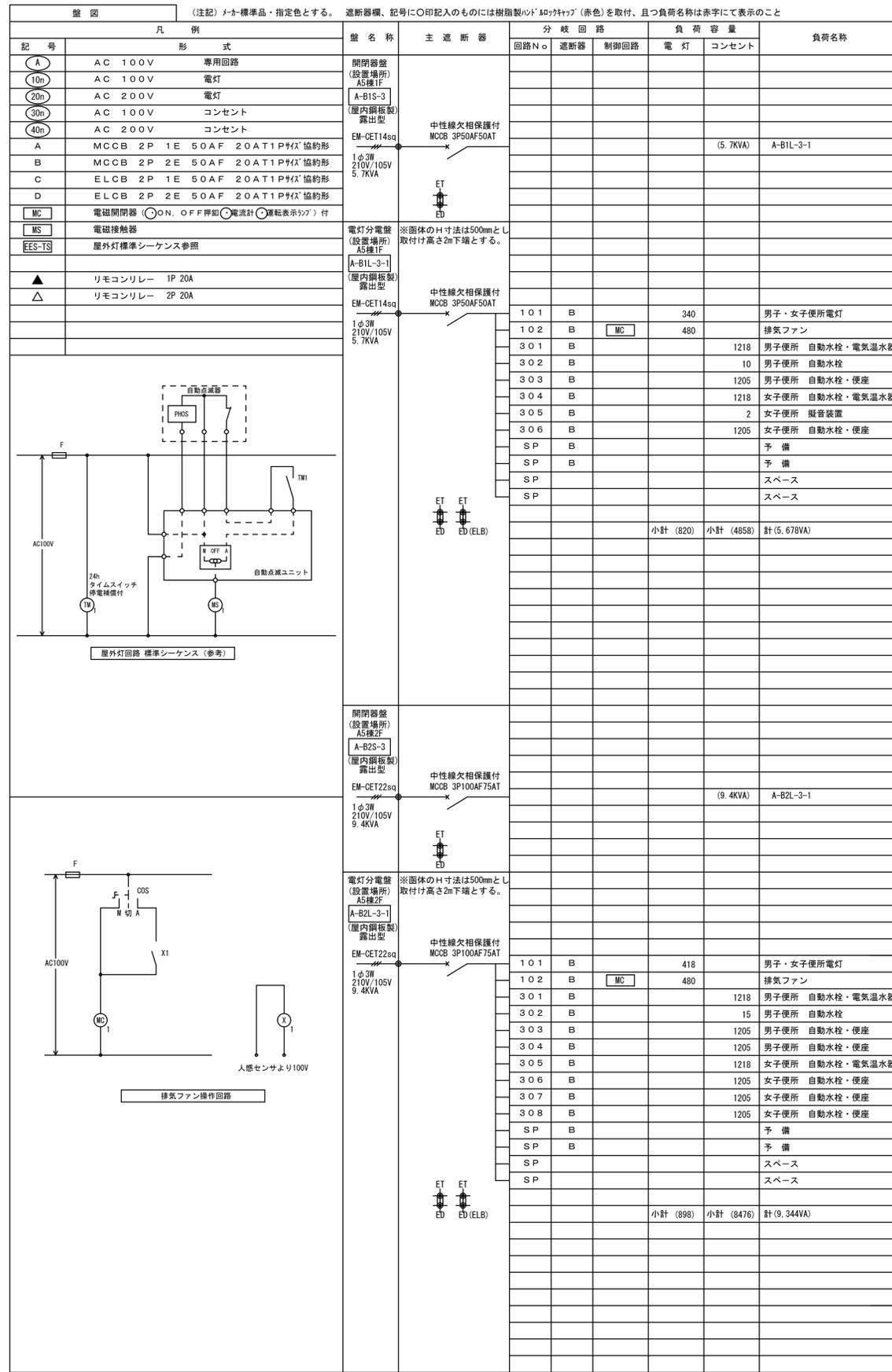
滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図
枚の内	仮設計画図 A1: S=1/500 A3: S=1/1000	D. R. 5. 03
A-33		担 当
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士 No. 253120 横江 敬幸

滋賀県電気設備工事特記仕様書				
工	工事名称 滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事			
	工事場所 滋賀県彦根市八坂町2-5-0			
事	工事期間・期 令和 5年 12月 25日まで			
	工事概要説明 ・本工事はA2棟、A4棟、A5棟トイレ改修に伴う電気設備工事の一切を行う。			
概	※該当工事に適用欄に○印を附す。			
	適用 No	工事項目	工 種	備 考
	1	高(低)圧引込設備	新設	
	2	受 変 電 設 備		
	3	電 灯 ・ 動 力 幹 線 設 備	○	
	4	電 灯 ・ コンセント設備		
	5	動 力 設 備		
	6	配 線 設 備		
	7	電 話 設 備		
	8	電 気 時 計 表 示 設 備		
	9	通 信 ・ 信 号 設 備	○	トイレ呼出設備
	10	テレビ共聴聴設備		
	11	自動火災警報設備		
	12	ガス漏れ警報設備		
	13	防 火 戸 自 閉 設 備		
	14	雷 保 護 設 備		
	15	自 家 発 電 設 備		
16	機 械 警 備 設 備			
要	別途工事			
	・工事区分による。			
電	1. 図面及び仕様書に記載されていない事項は、すべて、国土交通省大臣官庁官庁整備部建築公共建築工事標準仕様書、同改修工事標準仕様書及び設備工事標準図(電気設備工事編)最新版(以下、「仕様」という)による。			
	2. 項目は、○印の付いたものを適用する。			
設	項目 特記事項			
	適用項目	一般共通事項の扱い、本工事が複数の工事業又は分業の場合は以下の項目を適用し、他工事に含まれる一括発注の場合は、※印を付したものを適用する。		
共	※1 施工基準	イ 本工事は、工事請負契約書及び約款を遵守し、本特記仕様書、図面、資料および仕様により完全に施工する。なお上記相互間のある場合の優先順位は記載の順序とする。 ロ 必要関係機関等への申請手続き等は、全て受注者の負担とし、速やかに処理する。 ハ 本図は、工事の必要を示すものであるから、詳細図等については監督職員と打合せの上、その指示に従い急に施工する。 ニ その他関係法規に基づき完全に施工する。		
	※2 監理指針	国土交通省大臣官庁官庁整備部建築電気設備工事監理指針(最新版)による。		
	※3 施工監理手続	施工に際し、施工手引き書である電気設備工事施工監理チェックリスト(滋賀県土木交通建設課 最新版)に従う。		
	※4 完成図	完成図の種類、記入内容および様式は仕様により作成し、原因、CADデータおよび複製ファイル(縮小版A4サイズ) 部を提出するものとする。 なお、仕様を表1.7.1.0の完成図の種類に本特記仕様書を加えたものとする。		
	※5 保全に関する資料	保全に関する資料は仕様により作成し、監督職員に指示された必要数の作成、複写および電子データを提供するものとする。なお、作成に際しては、国土交通省の定める「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」を参考とし、詳細については監督職員の指示による。		
	※6 工事写真	区分 分類・規格 撮影枚数 部数(本が枚に付) 備 考 着工前 約〜枚/ピス 3・⑦ 1 状況によつて写真 工事中 約〜枚/ピス 1 必要に応じ 完成時 約〜枚/ピス 6・⑦ 2 定期提出 約〜枚/ピス 3・⑦ 2 月末報告用 完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。工事写真は全て工事写真機に貼り付け提出する。写真撮影は、国土交通省大臣官庁官庁整備部監修「工事写真撮影ガイドブック」に準ずる。		
	※7 現場代理人	原則として、現場代理人は他の工事と重複して従事することはできない。 契約約款第10条第3項の規定に基づく現場代理人の常駐義務を緩和する期間および本工事における現場代理人が他の工事の現場代理人を兼務できる条件は、別に定める「現場代理人の常駐に関する運用基準(滋賀県土木交通部)」による。 ○現場代理人の常駐を要しない期間 ・請負契約の締結の日から令和 年 月 日までの期間については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。 ○請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。 ○現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 ○工事完成し、事務手続き、後片付けのみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。 現場代理人は、受注者との直接的な雇用関係が確認できる資料を監督職員に提出すること。 受注者は、建設業法で定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し、技術管理にあたること。 ① 技術者の専任を要しない期間 ・請負契約の締結日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。 ○請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査を完了した日とは、発注者が契約約款第31条第2項に基づく当該検査の結果を通知した日(契約約款第31条第6項に該当するものと看做)とする。 なお、日程上の都合上、契約期間満了後に検査が行われた場合は、契約期間満了後の監理技術者等の工事現場への専任を要しない。 建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受け監督技術者および監理技術者の取扱いについて 1. 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受け監督技術者(以下、「特別監理技術者」という。)の配置を行う場合は以下の(1)～(8)の要件を全て満たさなければならない。 (1)建設業法第26条第3項ただし書に定める監督技術者の職務を補佐する者(以下、「監理技術者補佐」という。)を専任で配置すること。 (2)監理技術者補佐は、一級施工管理士等の国家資格者、学歴や業務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定科目は、特別監理技術者に求める		
	※8 技術管理	受注者は、建設業法で定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し、技術管理にあたること。 ① 技術者の専任を要しない期間 ・請負契約の締結日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。 ○請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査を完了した日とは、発注者が契約約款第31条第2項に基づく当該検査の結果を通知した日(契約約款第31条第6項に該当するものと看做)とする。 なお、日程上の都合上、契約期間満了後に検査が行われた場合は、契約期間満了後の監理技術者等の工事現場への専任を要しない。 建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受け監督技術者および監理技術者の取扱いについて 1. 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受け監督技術者(以下、「特別監理技術者」という。)の配置を行う場合は以下の(1)～(8)の要件を全て満たさなければならない。 (1)建設業法第26条第3項ただし書に定める監督技術者の職務を補佐する者(以下、「監理技術者補佐」という。)を専任で配置すること。 (2)監理技術者補佐は、一級施工管理士等の国家資格者、学歴や業務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定科目は、特別監理技術者に求める		

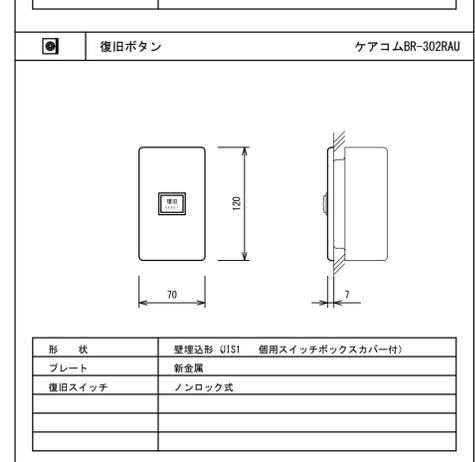
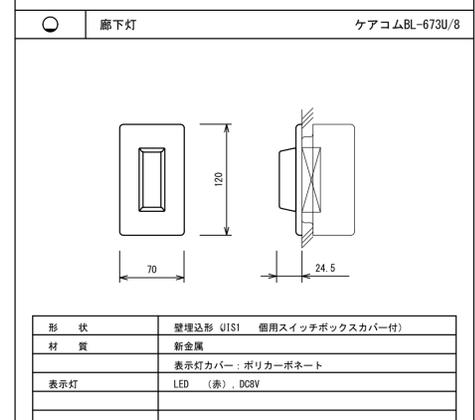
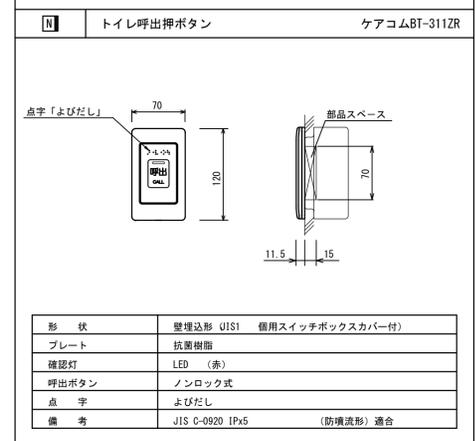
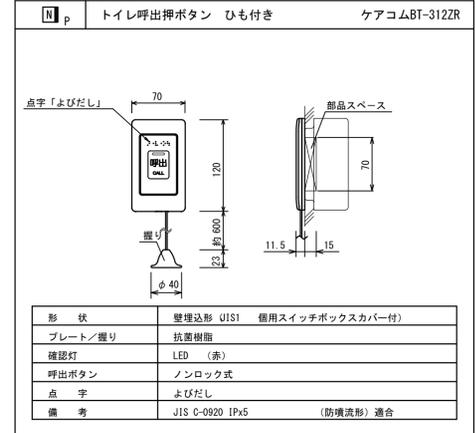
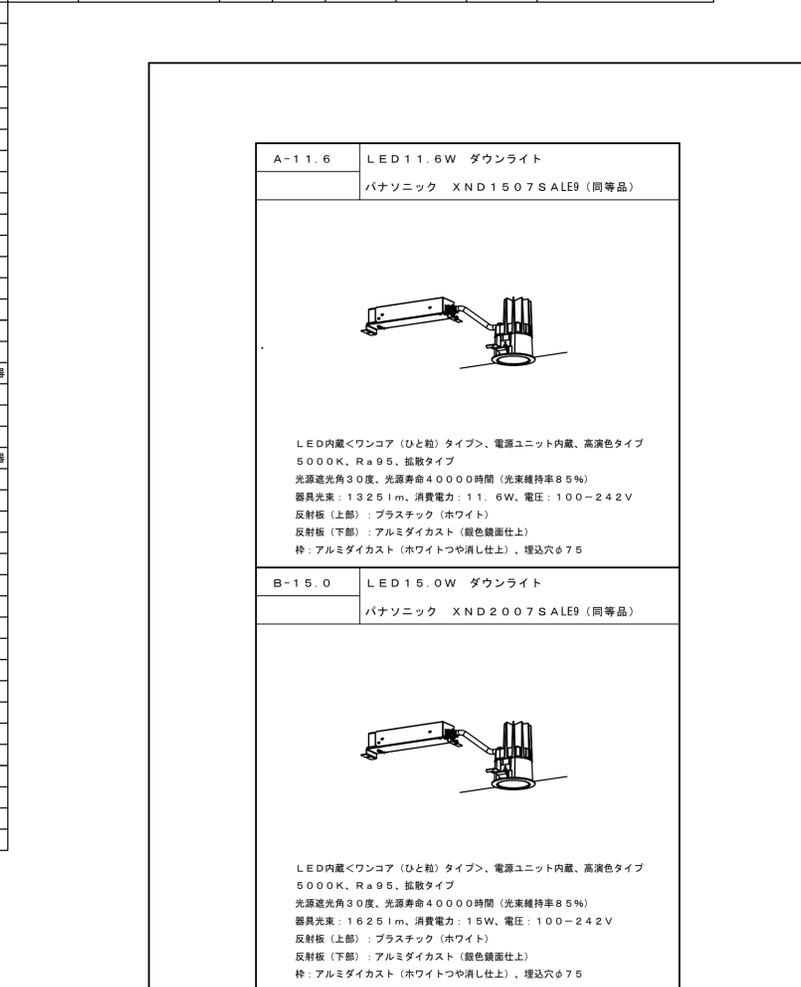
項目	特記事項
3	技術検定科目と同じであること。 (3)監理技術者補佐は入札参加者との直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。 (4)同一の特別監理技術者が配置できる工事の数は、本工事を含め同時に2件までとする。 (ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約期間の重複する複数の請負契約に係る工事であつて、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体化認められるもの(当初の請負契約以外の請負契約が随時契約により締結される場合に限る。))については、これら複数の工事を一の工事とみなす。 (5)特別監理技術者が兼務できる工事とは同一土木事務所内(土木事務所、支所)の工事であらなければならない。 (6)特別監理技術者は、施工における主要な企画への参加、現場の巡回および主要な工程の立会等の職務を専任で履行しなければならない。 (7)特別監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡がとれる体制であること。 (8)監理技術者補佐が担当業務について、明らかにすること。 2. 本工事の監理技術者が特別監理技術者として兼務する事となる場合、前項(1)～(8)の事項について確認できる書類を下記より提出すること。 (1)監理技術者補佐の資格を有する書類(一級施工管理士等の国家資格などの合格証など) (2)(1)の提出書類と同じ (3)監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類(3カ月以上の雇用関係を証明できる健康保険被保険者証の写しなど) (4)特別監理技術者が兼務する工事のCORINSの写し等 (5)(4)の提出書類と同じ (6)業務分担、連絡体制等を記載した書類(施工計画書など) (7)(6)の提出書類と同じ (8)(6)の提出書類と同じ 3. 本工事において、特別監理技術者および監理技術者補佐の配置を行う場合または配置を要さなくなった場合は適切にCORINSへの登録を行うこと。
9	電気保安技術者 (該当する者には○) 電気保安技術者は、次による者とし、監督職員の承認を受けること。 ・ 国土交通省大臣官庁官庁整備部監修電気設備工事監理指針 令和元年版 の定めによる者 ・ 第1種電気工事士 (電気事業法第52条第2項に規定される電気主任技術者を選任しないことができる自家用電気工作物および自家用電気工作物(需要設備)のうち、電圧六百ボルト以下で使用する電気工作物、に係る工事の場合) ・ その他()
※10	下請業者機材等の選定 各種下請業者、機材材料等関係で供給できるものについては、権力県内業者、県産品を選定することとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は、監督職員の承認を受ける。
※11	検査 受注者は完成検査前に関係電気保安協会等検査機関の検査を受け合格すること。 監督職員の指示により社内測定検査のみとする場合がある。(測定記録書提出)
※12	検査合格書等 各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書または保証書及びその写し各一部を提出すること。なお、責任施工のものとは、請負契約書、施工下請業者、材料製造関連書とする。コンクリート部分の床・壁・床の貫通部補強及び仕上部分の軽質鉄筋天井下地、同層下地の開口部補強は建築工事とするも、事前に施工図を作成し、監督職員、建築工事業者承認の上とする。
※14	既存設備関係 施工に際し、既設内容、取扱いをよく調査すると共に既存施設の担当者等と十分協議を行い、その機能を低下せしめてはならない。 工事着手前に付記の状況を調査し、公費対策は工事竣工まで講ずること。
※16	産業廃棄物の処理 受注者は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承認を受けること。 (1)本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)を遵守し、分別解体及び再資源化等を実施すること。また、着工前の同法第11条の「通知」は受注者が提出すること。 (2)「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)及び建設副産物適正処理推進条例を遵守し、一定規模以上の工事においては、再生資源利用「促進」計画書及び同実施書を作成し速やかに報告のこと。 (3)受注者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法」を遵守し、同法12条の3によるマニフェストシステムにより的確に実施すること。 (4)発生材の引渡 受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事保険等を工事的目的に付するものとする。 18 保険等 規模 1号 2号 3号 4号 5号 取付がない 19 監督職員事務所 備品 机、いす、書櫃、黒板、図板、ゴム長靴、雨がけは、保護帽、受注者加入保険の子機、次機ロック、冷暖房機器、消火器等監督職員の指示によること。 ※20 安全対策 工事現場の出入りについては、危険防止に努めること。又、必要に応じて交通安全員を配置すると共に、近隣住民に騒音、振動等公害発生のないよう配慮し、全般に支障なき様方策を講ずること。又、事故発生に際しては、担当者と共に迅速な対応に努めること。 ※21 統合安全衛生管理職者 労働安全衛生法第30条第2項の統合安全衛生管理職者には、「(建設工事) 電気設備工事機械設備工事」の受注者による。 ※22 創業工夫等実施状況 受注者は、工事現場において、自ら立案実施した創業工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに提出することができ。 ただし、工事概算決定においての高度技術、創業工夫または地域社会への貢献(以下「創業工夫」という)に対する評価は、施工計画書にそのことが記載され、または事前に受注者から自主的に創業工夫等にかかる資料が監督職員から提出され、それらの項目が創業工夫等に該当すると判断し、施工等に反映されていた場合に評価するものとし、実施前に施工計画書に記載または資料等の提出がなされていない場合は評価しないものとする。
※23	別途工事との連絡協議 受注者は、工事別の業者間で互いに連絡をとり、定期的に協議を行い、工事施工上の調整を図ること。又、工事区分の取合いについて関係あるも施工時に必要に応じ協議を行い連絡を密にすること。
※24	シナジー等の安全管理 シナジー等については、工事現場に設置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止すると共に、保管数量についても作業前、作業終了後の確認等実地管理を行うものとする。
※25	フロン類の回収等 冷媒はフロン類を使用している機器の撤去においては、フロン抽出装置に基づきフロン類を全量回収し、大気放出をしない処理を行うこと。また、施工に当たっては特定フロンを使用した材料、工法を用いないこと。
※26	工事実績情報 受注者は、工事請負金 500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(GORINS)入システムに基づき、「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けた後、(一財)日本情報総合センター(JACIC)に登録するとともに、センター発行の「登録内容確認書(工事実績)」の写しを監督職員に提出しなければならない。提出の期間は、以下のとおりとする。 (1) 登録登録の期間は、契約締結後10日以内とする。 (2) 竣工登録の期間は、工事完成後10日以内とする。 (3) 登録登録の内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に登録登録を行うこと。
※27	工事関係車両の電法遵守 受注者は電法を遵守し、不法無届動を搭載した工事車両を使用しないものとする。また、現場において不法無届動を搭載していると疑わしい車両を確認したときは、速やかに監督職員にその旨を報告する。
※28	通線機の防着措置 受注者は通線機等の違法運行防止を図るため、道路交通法を遵守する旨を記載した施工計画書を提出し徹底を図ること。
※29	現場検査 工事施工中において、適宜中間現場検査を実施する。
※30	施工上の留意事項等 イ 電線管について、図面ない限り屋内露出配管をねじ止め電線管(EG管)、屋内いんべい配管は合成樹脂製可とう電線管(PF管)、屋外露出配管は薄鋼電線管(OP管)、屋外埋設配管は波打硬質ポリエチレン管(FEP管)を使用する。なお、高圧配線の地中埋設配管については、ポリエチレンライニング電線管(PE管)とする。 ロ 図面ない限り配線器具プレートは新金製またはステンレス製とする。 ハ スイッチが多数ある場合には監督職員と協議し、ホームスイッチを使用する。 ニ 建物EXP部分及び機器機殻等に使用し得る可とう電線管は、ビニル被覆付きとする。 ヘ 照明器具は原則として、LED器具及び汎用器具を使用すること。 ヘ 将来予備配管については、ビニル被覆線(1.6mm)を挿し、名札を貼付すること。 ト ルボボックスは工場製品を使用する。 チ 次に示す部以外の露出配管は、全て塗装する。(機械室、電気室内の塗装 要・否) ○ リ 露出配管を行う場合は、施工前に溝地ならし(エンタングプライマー等)と下塗りを行い、配管施工後に仕上塗装を行う。 ニ 機器据付・設置については、「建設設備制置設計・施工指針」に準ずる。 ハ 当該工事において、既設配管・既設埋設配管があった場合は、監督職員の指示により注回等

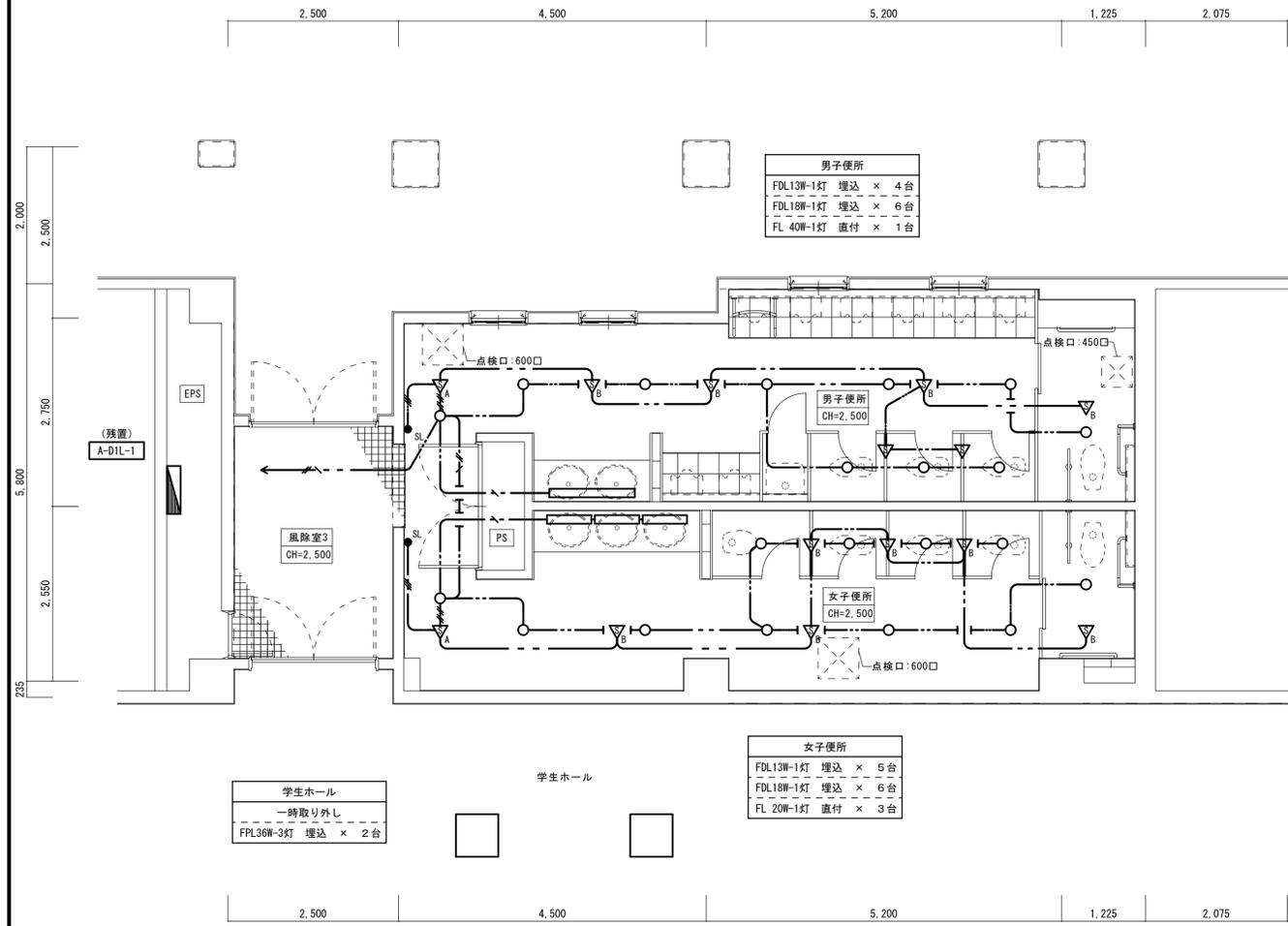
項目	特記事項
※31	31 暴風雨等による不介入の排除 滋賀県の発注する建設工事等における暴風雨等による不介入の排除について(「不介入に関する通報制度」の徹底について) 1 受注者は、暴風雨等(暴風雨の構成員および暴風雨関係者、その他発注工事等に対して不介入をしようとするすべての者をいう。)による不介入(不当な要求または業務の妨害)を受けた場合は、直ちにこれを拒否するとともに、不介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行うものとする。 2 受注者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書(別記様式第1号)により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。 また、受注者は、以上のことについて、下請負人(再委託の協力者を含む)に対して、十分に指導を行うものとする。 3 受注者は、暴風雨等による不介入を受けたことが明らかにあり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
※32	環境配慮指針 公共事業に係る環境配慮指針実施指針に基づく、チェックシートを作成し提出すること。 33 建設工事 建設業法(昭和24年法律100号)第25条の2第2項の規定に基づく「建設工事公衆災害防止対策要綱(国土交通省告示第496号 令和元年2月2日、以下「新要綱」)」が告示されたため、公共建設工事標準仕様書に位置付けのある「建設工事公衆災害防止対策要綱」は新要綱に読み替える。 34 事故の付保及び事故の補償(法定外の労務保護の付保) 本工事において、受注者は法定外の労務保険に付さなければならない。 ※35 施工計画書 受注者は、施工計画書の作成にあたり、「その他」の事項として新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を記載するものとする。 必要と認める拡大防止対策のうち共通要請および現場管理の範囲を超え、受注者が追加で費用を要する拡大防止対策を行う場合は、受注者間で設置変更の協議を行うこととする。協議における資料は受注者の負担により作成するものとする。 ※36 余裕期間制度(任意書方式) 1. 本工事は、受注者の円滑な工事実施体制の確保を図るため、事前に建設費、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間(契約締結日から工事開始日の前日までの期間)を設定した工事であり、発注者が示した工事開始日以前までの間で、受注者は工事開始日を任意で設定することができる。なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、所定の様式により、工事開始日を通知すること。取扱いについては、滋賀県ホームページ掲載の「工事における余裕期間制度実施要領(令和2年2月)(滋賀県)」および「建設工事における余裕期間制度 運用マニュアル(令和3年2月)」(滋賀県土木交通部)に基づくものとする。 滋賀県ホームページ 滋賀県ホームページ「先礼・先配・指定要領」公共工事「記事一覧」余裕期間制度について https://www.pref.shiga.lg.jp/zygyousya/myusatsubaiyaku/kouzi/ 2. 余裕期間は、現地に搬入しない資材等準備の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事等を行ってはならない。なお、余裕期間内における準備は受注者の責により行うものとする。 3. 余裕期間内は、主任技術者または監理技術者を配置することを要しない。また、現場代理人は工事現場に常駐しないものとする。 4. コリジョンへ登録する技術者の従事期間は、実工期の範囲で従事する期間を登録するものとする。(余裕期間を含まないことに留意するものとする。) 5. 受注者は工事開始日の前日までに現場代理人等を定め、所定の様式により届け出るものとする。 6. 実工期：工事開始日から終期日まで(ただし、令和 年 月 日(工事開始日)までに工事を開始すること。) 契約締結後において、工事開始日の変更が必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事開始日の変更を行うことができる。 なお、低入札価格競争等により、上記の工事開始日以降に契約締結となった場合には、余裕期間は適用しない。 ※37 週休2日取組促進型型工事(受注者希望方式) 本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して週休2日に取組む旨を協議した上で工事を実施する(當様工事)週休2日取組促進型型工事(受注者希望方式)である。費用の上乗りの運用にあつては、「(當様工事)週休2日取組促進型型工事実施要領」により行う。 4 週休8休以上の現場事務所(現場休息)を前記に労務費を精正して予定価格を作成しており、4 週休8休に満たない場合は、現場事務所(現場休息)の状況に応じて請負代金のうち労務費補正分を減額する。週休2日の取組みを実施しない場合は、請負代金のうち労務費補正分を減額する。 なお、学校の長期休暇(夏休、冬休)は監督職員と協議の上、非対称期間とするがことできる。 ・大気汚染防止法、労働安全衛生法、労働基準法、労働安全衛生規則、消防その他関係法令に基づき実施すること。 ・石綿の事前調査は、建築物石綿含有建材調査業者調査登録規定に規定する建築物石綿含有建材調査業者、その意見を有する者が実施するように努めること。 ・事前調査結果を作業前に購入し、提示すること。 ・事前調査結果を作業前に購入し、提示すること。 工事施工にあつては、建築基準法、労働基準法、労働安全衛生規則、消防その他関係法令を遵守し、工事に伴う協議や手続等は、発注者の承認のもと受注者責任をもって速やかに行うこと。工事完成までに必要官庁等との協議等は、労務・費用共、受注者の負担とする。 ※40 その他 本工事に関連して実施される図、類または関係図の調査等に協力すること。
1	高(低)圧引込設備 電 気 方 式 相 線 式 V 地 中 6kV EM-CE 6kV EM-CET 600V EM-CE 600V EM-CET OE DV 要 不 要
2	受 変 電 設 備 電 気 方 式 形 式 配 電 盤 変 圧 器 母 線 付 属 品 ・ 予 備 品 高圧引込線接続および各種器取付け及び低圧配電器取付け完了までとする。 1次側 3相3線式6.000V、2次側 3相3線式210V 単相 線式 V 屋内用分電盤 フレーム組立開放型 キュービクル 高圧配電盤 低圧配電盤 変 圧 器 コンデンサ キュービクル 電力ヒューズ(線) フック棒(大・小) 絶縁マット 各種接地抵抗は、関西電力と打合せした値とする。
3	電 灯 ・ コ ン セ ン ト 設 備 電 気 方 式 電 力 分 配 盤 施 工 方 法 使 用 電 線 他 工事範囲及び説明 電灯線より配電盤、器具取付けまでとする。 改修範囲の撤去を行う。廃棄物処分は建築工事と同様に適切に行う。 [露出・隠ぺい] EM-IE 600V EM-CE 600V EM-CET EEF [FP] ※38
4	電 灯 ・ コ ン セ ン ト 設 備 照 明 器 具 配 線 器 具 照 度 測 定 他 工事範囲及び説明 電灯線より器具までの配管配線とする。 漏電遮断器回路は、他の接地線に接続せず単独接地とする。 電 気 方 式 施 工 方 法 使 用 電 線 3相3線式210V 3相 線式 V
5	動 力 設 備 電 気 方 式 施 工 方 法 使 用 電 線 他 工事範囲及び説明 動力線より機器までの配管配線とする。 漏電遮断器回路は、他の接地線に接続せず単独接地とする。 電 気 方 式 施 工 方 法 使 用 電 線 EM-IE HIV ON DV 600V EM-CE 600V EM-CET EER FP-C

種目	適用	項目	特記事項
6	○	工事範囲及び説明	既設スロープの一部取り外し再取付けを行う。
7	○	施工方法 使用電線 機器仕様 その他	EM-IE HIV EM-HP MVVS EM-AE 凡例による
8	○	工事範囲及び説明	保安器取付け及び引込口 よりこれに至る配管、保安器および交換機、端子盤を経て各電路に至る配管、配線、機器取付け、調整までとする。
9	○	施工方法 使用電線	電子ボタン式 電子交換式 GGP(市内COPケーブル) EBT(電子ボタン電話用ケーブル) EM-CPEE(市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル) PE-V(市内ケーブル) EM-TIEF(屋内用通信電線)
10	○	機器仕様	主装置 より子機に至る配管、配線、機器取付け、調整までとする。
11	○	工事範囲及び説明	改修に伴い配管、配線、機器取替え、増設を行う。廃棄物処分は建築工事と同様に適切に行う。 [露出・隠ぺい] EM-CPEE(市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル) GGP(新用EPOD絶縁ビニルシースケーブル) [EM-AE] ※39
12	○	工事範囲及び説明	既設端子盤より末端整合器までの配管、配線、器具取付け、調整までとする。 改修範囲の撤去を行う。廃棄物処分は建築工事と同様に適切に行う。 露出・隠ぺい EM-S-SCFB EM-S-70FB 地上デジタル波対応機器とする。 施工に測定し、各局毎の電界強度測定値を提出する。施工に未端の現況も測定を行う。 アンテナ位置は建築意匠、強度等を考慮監督職員と協議する。
13	○	工事範囲及び説明	改修範囲の撤去を行う。廃棄物処分は建築工事と同様に適切に行う。 メーカ一貫性施工とし、所轄消防署と協議の上、完全に施工する。なお、図示なくも建築構造上取付けが必要が生じたときは、監督職員の指示に従い本工事において取付ける。改修範囲の撤去を行う。廃棄物処分は建築工事と同様に適切に行う。
14	○	施工方法 使用電線 機器仕様	EM-IE HIV HP EM-AE 凡例による
15	○	工事範囲及び説明	受保護 より末端感知器までの配管、配線、器具取付け、調整までとする。 メーカ一貫性施工とし、所轄消防署と協議の上、完全に施工する。なお、図示なくも建築構造上取付けが必要が生じたときは、監督職員の指示に従い本工事において取付ける。
16	○	施工方法 使用電線 機器仕様	EM-IE EM-AE EM-CPEE
17	○	工事範囲及び説明	運動制御盤 より末端感知器・自閉器具までの配管、配線、器具取付け、調整までとする。 なお、メーカの一貫性施工とし、建築工事と打合せの上、施工する。
18	○	施工方法 使用電線 機器仕様	EM-IE HIV HP EM-AE EM-HP
19	○	工事範囲及び説明	突刺取付けより接地棒埋設までの配管配線接続測定を行う。 なお、メーカの一貫性施工とし、建築工事と打合せの上、施工する。 JIS A4201に準じて施工する。
20	○	施工方法 使用電線 機器仕様	容量 KVA 電圧 V 連続 時間運転 日本内電力発電協会認定合格品とする。
21	○	工事範囲及び説明	警備保障会社受用受保護 より各受口までの配管を行う。 警備保障会社と事前に打合せを行い、支障の無いよう施工する。 なお、警備計画の変更、建築構造上の変更等により配線ルートに変更が生じた場合で軽微なものも監督職員の指示により本工事により行う。
使用機材製造者指定			
本工事に使用する機器材料は、下記に指定する製造者のものを使用すること。ただし、同等品を使用する場合には、建築所定の様式により承認を得て使用すること。			
適用	機 材 名	製 造 業 者	
○	ケーブル類	JIS規格等適合品製造業者	
○	電線管類	JIS規格等適合品製造業者	
○	高圧開閉器	高圧開閉器	
○	高圧遮断器	高圧遮断器	
○	変圧器	変圧器	
○	コンデンサ	コンデンサ	
○	キュービクル	キュービクル	
○	配分電盤	新岩村 大 正 三 星 名 神	
○	配線用遮断器	配線用遮断器	
○	照明器具	東芝ライテック 日本電気HE パナソニック 三菱電機 岩崎電気	
○	配線器具	神 保 三菱電機 東 芝 パナソニック	
○	放送機器		
○	時計		
○	トイレ呼出装置	ケアコム(既設メーカー)	
○	テレビ共聴機器		
○	火災報知機器		
○	ガス漏れ警報器		
○	防火戸自閉装置		
○	自家発電機器		
○	蓄電池		
※工事記号等(凡例)は別図()による。			

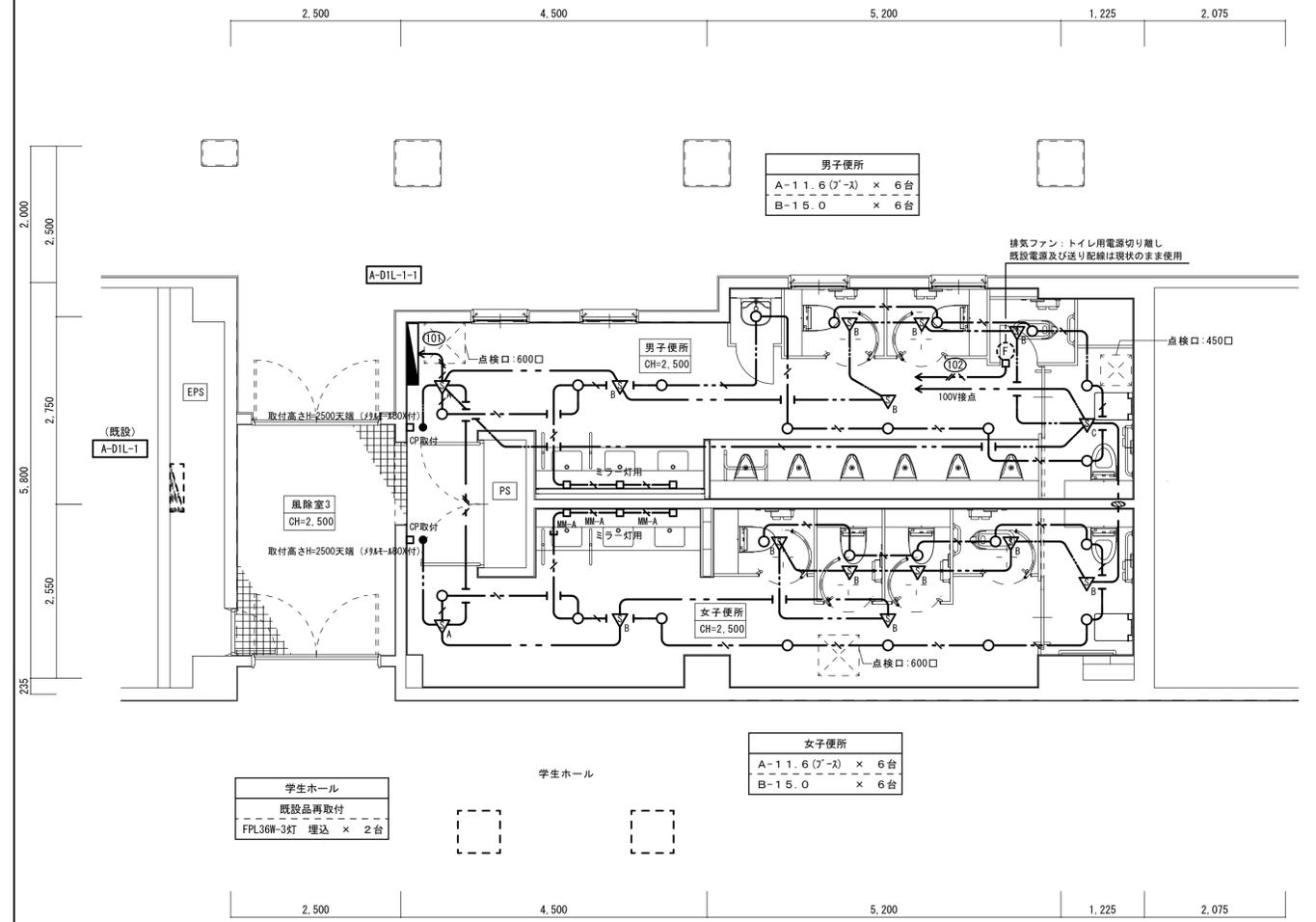


回路No	遮断器	制御回路	電灯	コンセント	負荷名称	回路No	遮断器	制御回路	電灯	コンセント	負荷名称
101	B		340		男子・女子便所電灯	101	B		418		男子・女子便所電灯
102	B	MC	480		排気ファン	102	B	MC	480		排気ファン
301	B		1218		男子便所 自動水栓・電気温水器	301	B		1218		男子便所 自動水栓・電気温水器
302	B		10		男子便所 自動水栓	302	B		15		男子便所 自動水栓
303	B		1205		男子便所 自動水栓・便座	303	B		1205		男子便所 自動水栓・便座
304	B		1218		女子便所 自動水栓・電気温水器	304	B		1205		男子便所 自動水栓・便座
305	B		2		女子便所 騒音装置	305	B		1218		女子便所 自動水栓・電気温水器
306	B		1205		女子便所 自動水栓・便座	306	B		1205		女子便所 自動水栓・便座
SP	B				予備	307	B		1205		女子便所 自動水栓・便座
SP	B				予備	308	B		1205		女子便所 自動水栓・便座
SP	B				スペース	SP	B				予備
SP	B				スペース	SP	B				予備
SP	B				スペース	SP	B				スペース
			小計 (820)	小計 (4858)	計 (5,678VA)				小計 (898)	小計 (8476)	計 (9,344VA)





1階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A1: S=1/100 (撤去図)



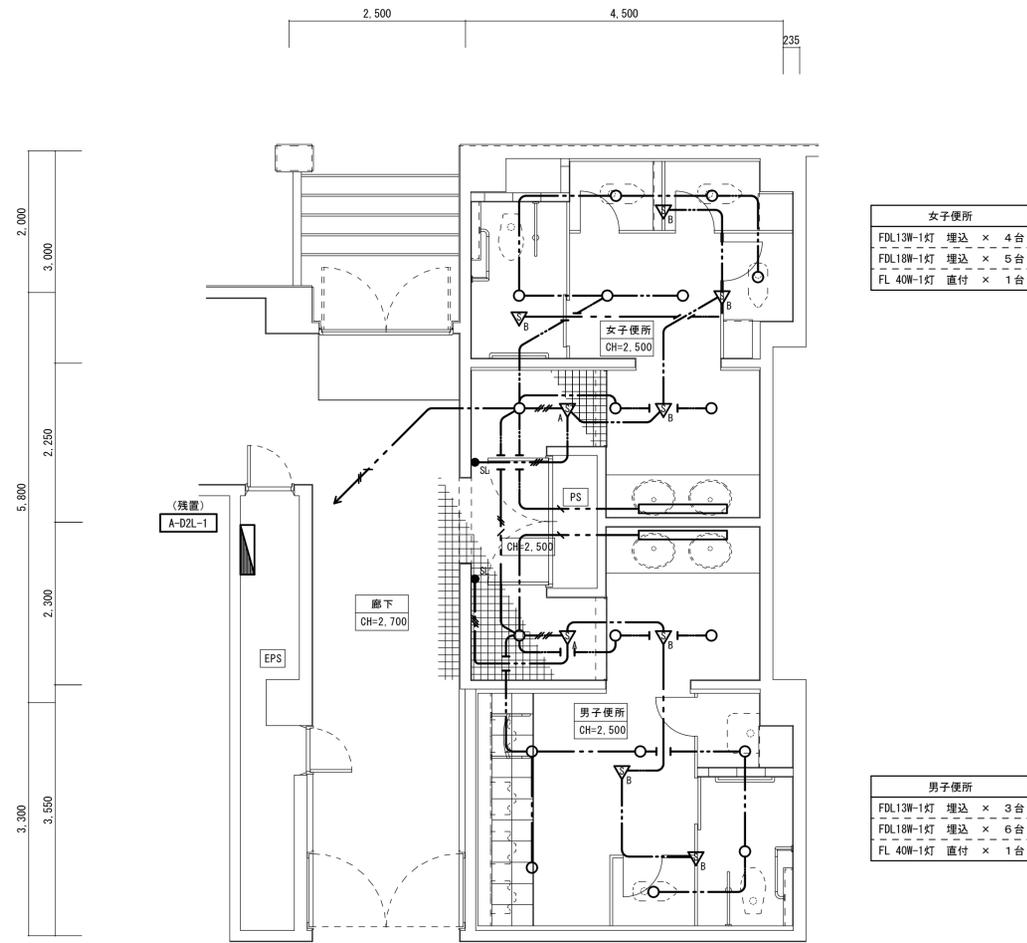
改修 1階平面詳細図 A1: S=1/50
A1: S=1/100 (改修図)

凡	例
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1
●SL	埋込型熱線センサ付自動スイッチ用操作ユニット
▽A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器
▽B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

特記事項	
特記なき配管配線は下記による。	
電灯回路	<ul style="list-style-type: none"> --- VV-F 1.6 - 2C (保護管PF 16) --- VV-F 1.6 - 3C (保護管PF 22) --- VV-F 1.6 - 2Cx2 (保護管PF 28) --- VV-F 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22) --- VV-F 1.6 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルこころがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	
---	天井内隠蔽配管配線工事
---	天井内こころがし配線工事
---	床内隠蔽配管配線工事
---	露出配管工事

凡	例
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1 ネーム付
▽A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器・8Aタイプ・広角形
▽B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器
▽C	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器・換気扇連動用・3系統連動形
○F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
○F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

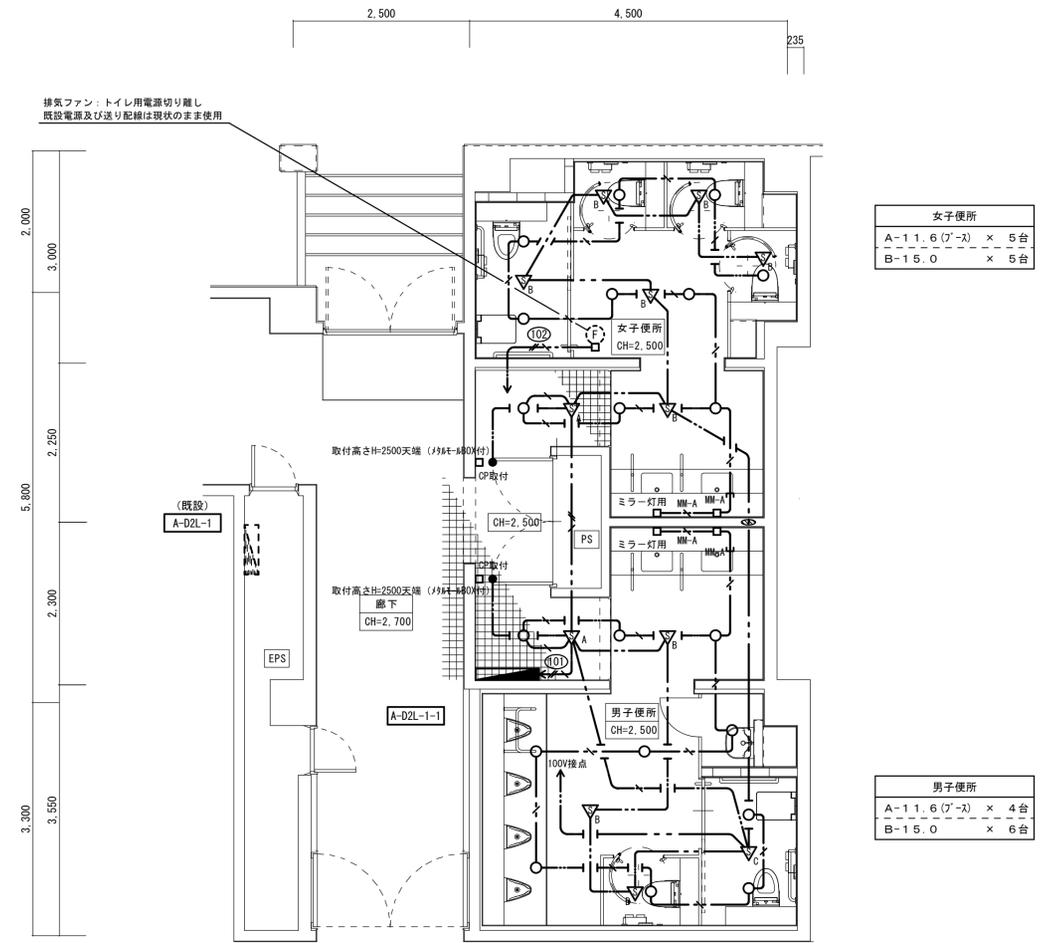
特記事項	
特記なき配管配線は下記による。	
電灯回路	<ul style="list-style-type: none"> --- EM-EEF 1.6 - 2C (保護管PF 16) --- EM-EEF 1.6 - 3C (保護管PF 22) --- EM-EEF 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22) --- EM-EEF 1.6 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルこころがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
貫通穴はコンセントと共用する。	
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
---	天井内隠蔽配管配線工事
---	天井内こころがし配線工事
---	床内隠蔽配管配線工事
---	露出配管工事



2階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (撤去図)

凡	例
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1
●SL	埋込型熱線センサ付自動スイッチ用操作ユニット
▽A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器
▽B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

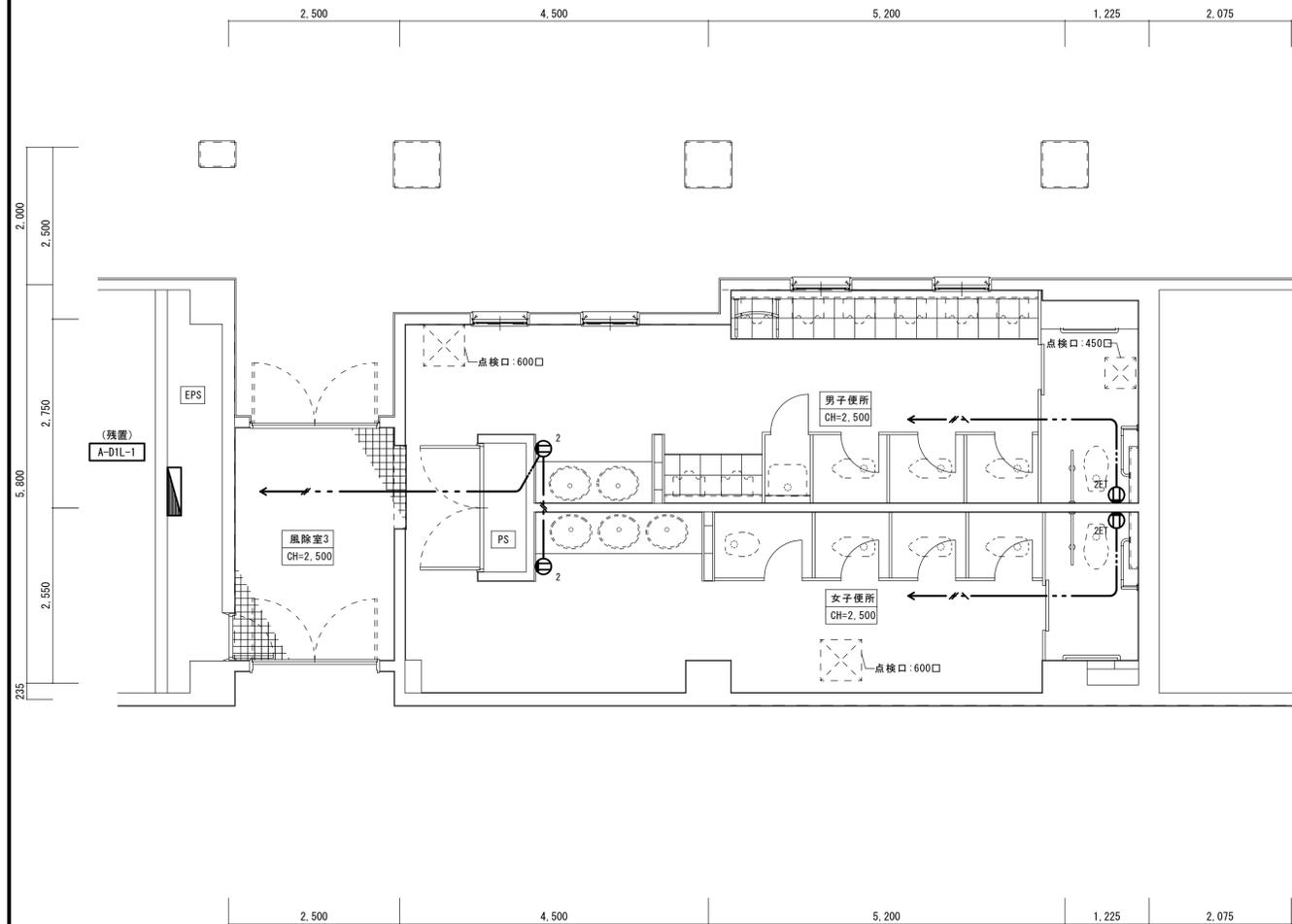
特記事項	
特記なき配管配線は下記による。	
電灯回路	VV-F 1.6 - 2C (保護管PF 16) VV-F 1.6 - 3C (保護管PF 22) VV-F 1.6 - 20x2 (保護管PF 28) VV-F 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22) VV-F 1.6 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はP F電線管にて保護すること。	
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
———	天井内こしがし配線工事
- - - -	床内隠蔽配管配線工事
- - - -	露出配管工事



2階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (改修図)

凡	例
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1 ネーム付
▽A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器・8Aタイプ・広角形
▽B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器
▽C	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器・換気扇連動用・3系統連動形
⊖	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
⊖F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

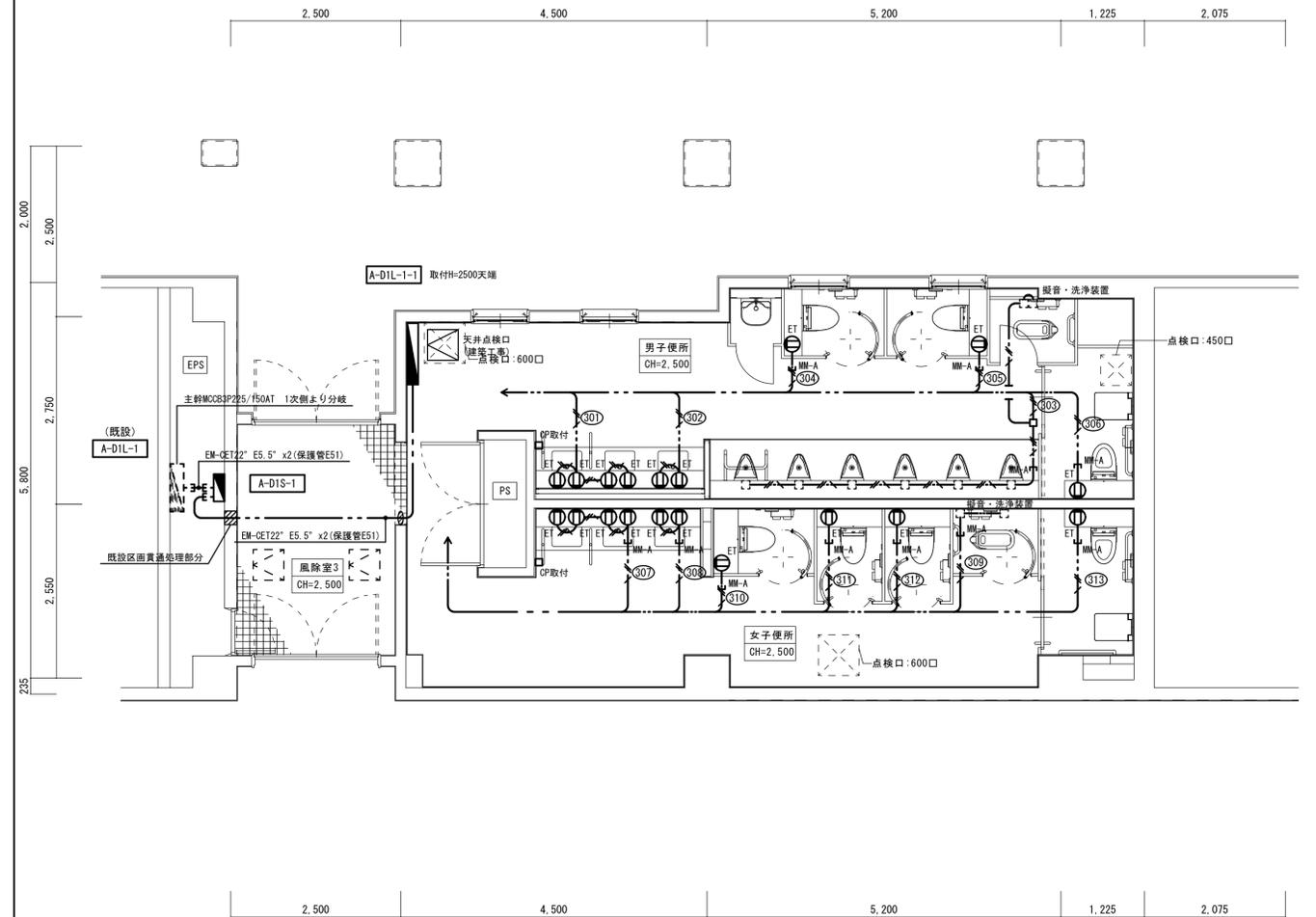
特記事項	
特記なき配管配線は下記による。	
電灯回路	EM-EEF 1.6 - 2C (保護管PF 16) EM-EEF 1.6 - 3C (保護管PF 22) EM-EEF 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22) EM-EEF 1.6 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はP F電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
貫通穴はコンセントと共用する。	
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
———	天井内こしがし配線工事
- - - -	床内隠蔽配管配線工事
- - - -	露出配管工事



1階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (撤去図)

凡 例	
記 号	名 称
Ⓜ	埋込型コンセント 2P15Ax2口
ⓂET	埋込型コンセント 2P15Ax2口 接地端子付
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

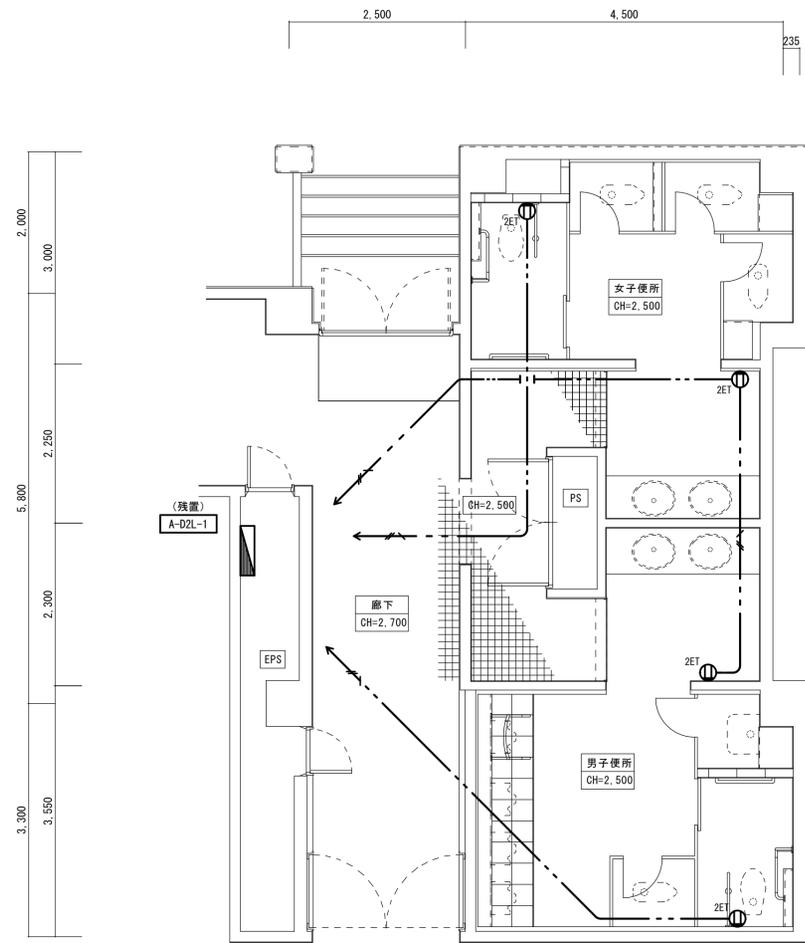
特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
差 込 回 路	VV-F 2.0-2C (保護管PF 22) VV-F 2.0-3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
———	天井内ころがし配線工事
---	床内隠蔽配管配線工事
---	露出配管工事



改修 1階平面詳細図 A1: S=1/50 A1: S=1/100 (改修図)

凡 例	
記 号	名 称
ⓂET	埋込型コンセント 2P15Ax1口 接地端子付
Ⓜ	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
ⓂF	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

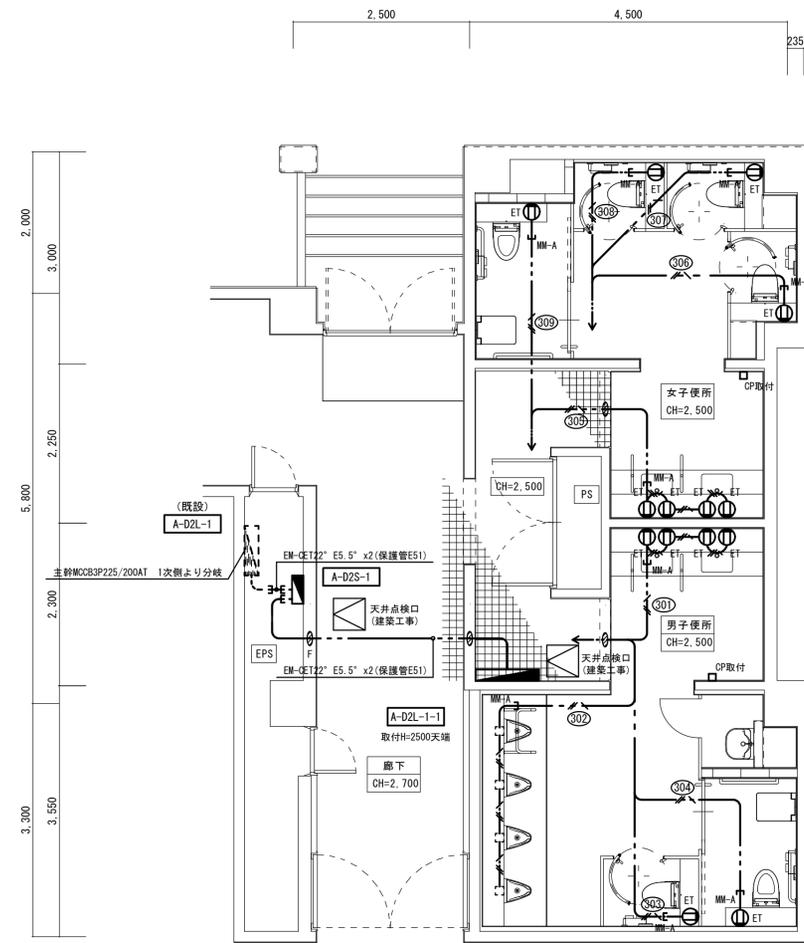
特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
差 込 回 路	EM-EEF 2.0-3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
防火区画及び壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
———	天井内ころがし配線工事
---	床内隠蔽配管配線工事
---	露出配管工事



2階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A1: S=1/100 (撤去図)

凡 例	
記 号	名 称
②	埋込型コンセント 2P15x2口
②ET	埋込型コンセント 2P15x2口 接地端子付
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

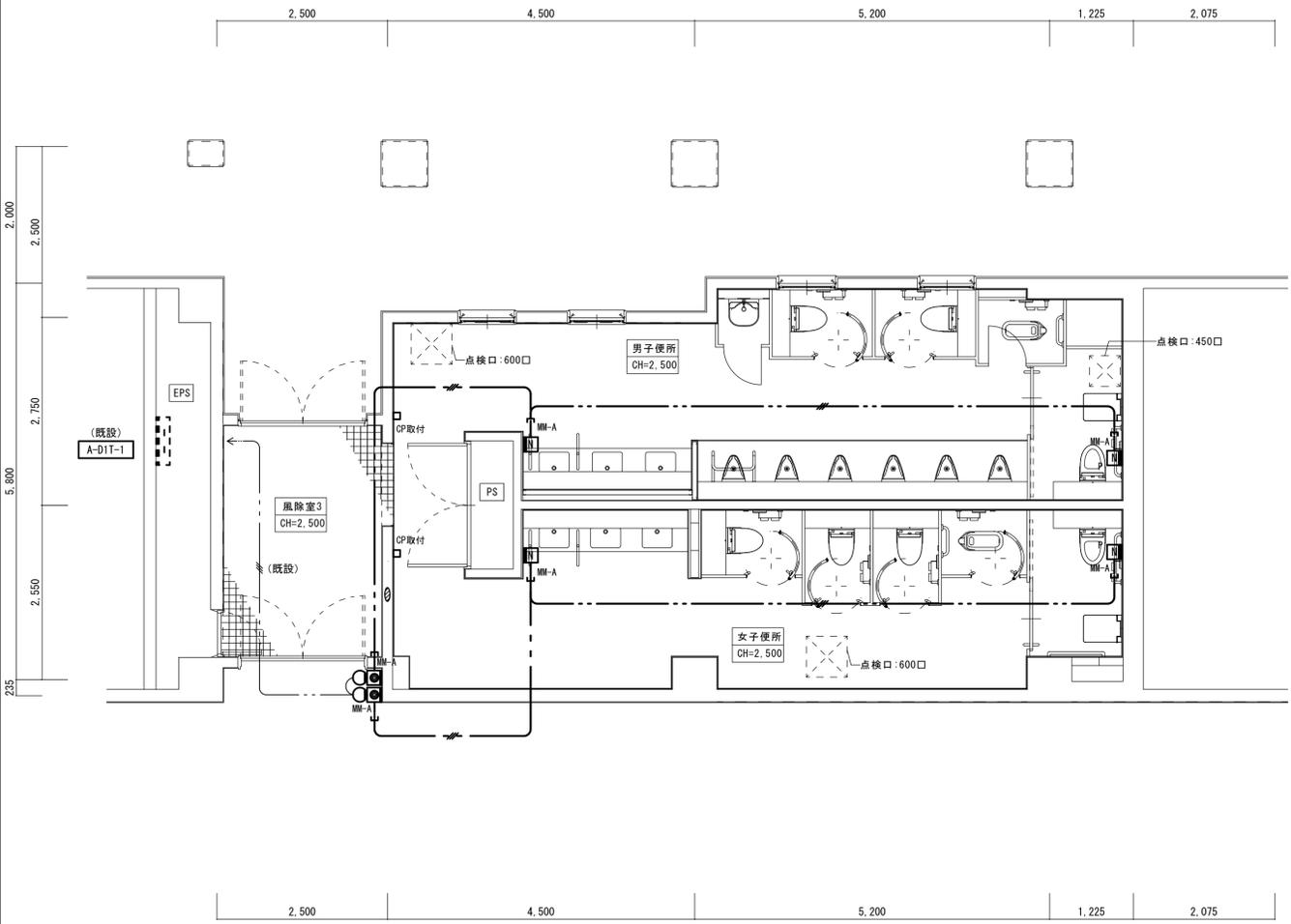
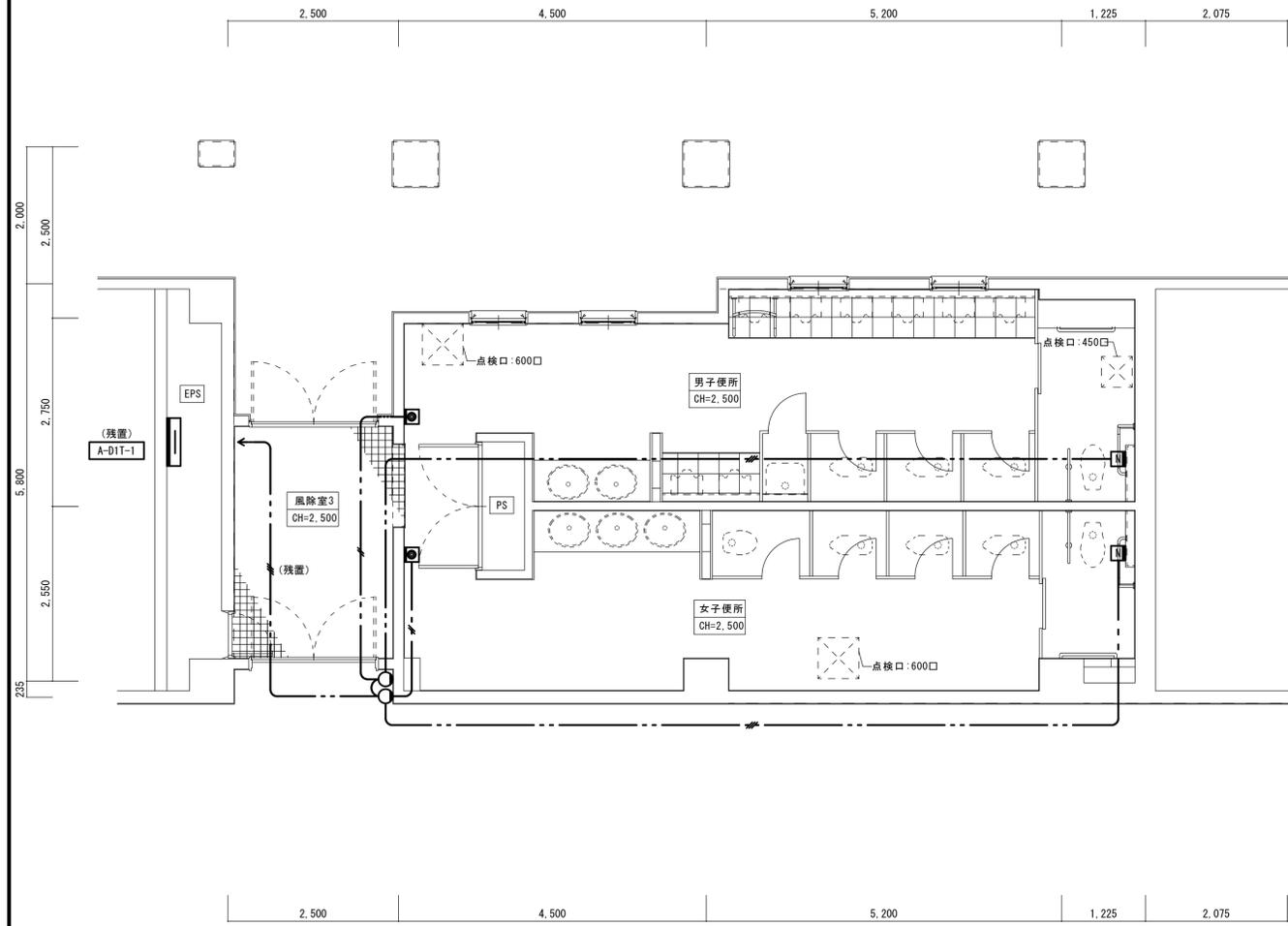
特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
差 込 回 路	VV-F 2.0 - 2C (保護管PF 22)
	VV-F 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルところがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
———	天井内ところがし配線工事
———	床内隠蔽配管配線工事
———	露出配管工事



2階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50
A1: S=1/100 (改修図)

凡 例	
記 号	名 称
②ET	埋込型コンセント 2P15x1口 接地端子付
⊖	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
⊖F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
差 込 回 路	EM-EET 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルところがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
———	天井内ところがし配線工事
———	床内隠蔽配管配線工事
———	露出配管工事



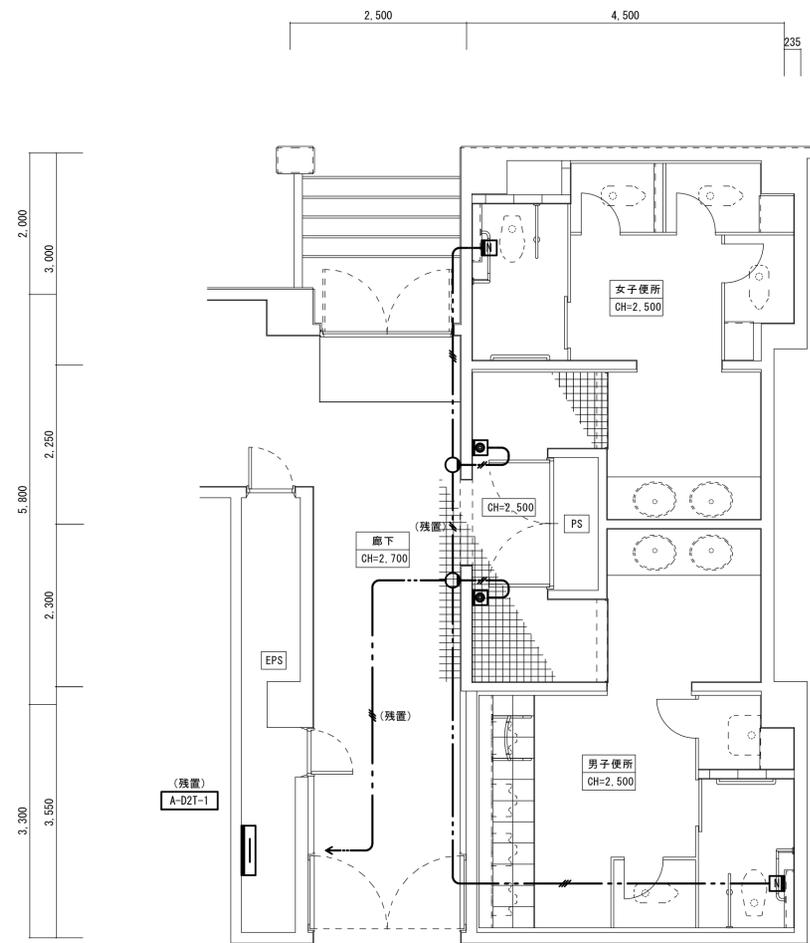
1階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A1: S=1/100 (撤去図)

改修 1階平面詳細図 A1: S=1/50
A1: S=1/100 (改修図)

凡 例	
記 号	名 称
□	トイレ用呼出ボタン ひも付
○	廊下灯
●	復旧ボタン
□	アウトレットボックス VE製
■	弱電端子盤

特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
呼 出 回 路	AE 1.2 - 2C (保護管PF 16)
	AE 1.2 - 3C (保護管PF 16)
二重天井内配線はケーブルころしがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
———	天井内ころしがし配線工事
———	床内隠蔽配管配線工事
———	露出配管工事

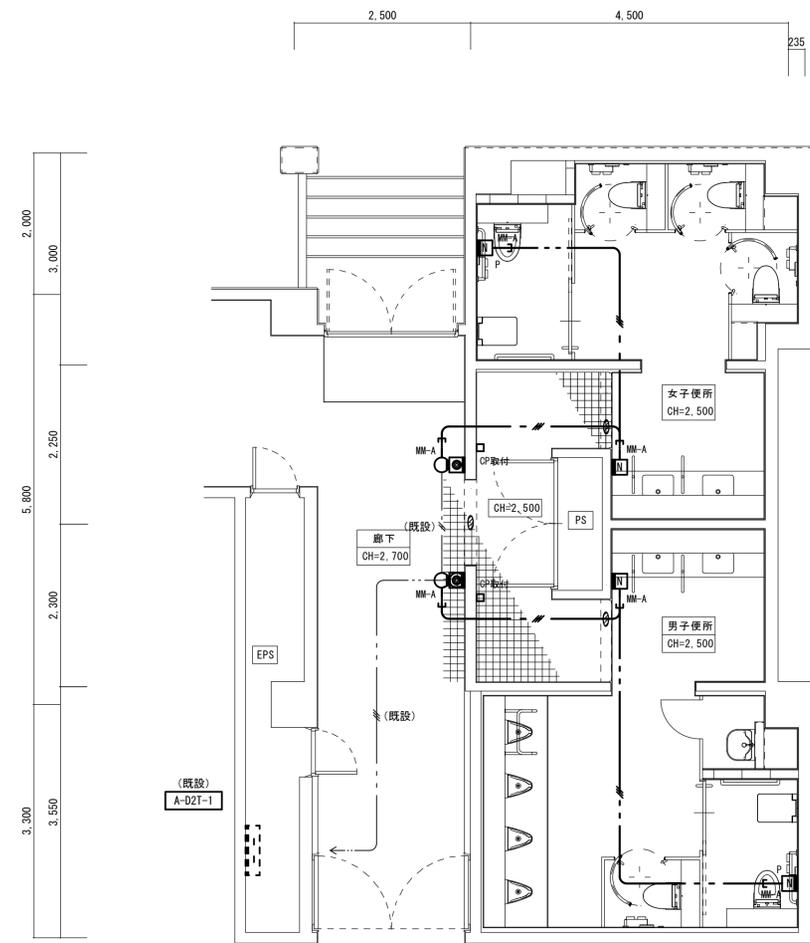
凡 例	
記 号	名 称
□	トイレ用呼出ボタン ひも付
□	トイレ用呼出ボタン
○	廊下灯
●	復旧ボタン
○	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
○	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
■	弱電端子盤



2階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A1: S=1/100 (撤去図)

凡 例	
記 号	名 称
N	トイレ用呼出ボタン ひも付
○	廊下灯
⊙	復旧ボタン
□	アウトレットボックス VE製
— —	弱電端子盤

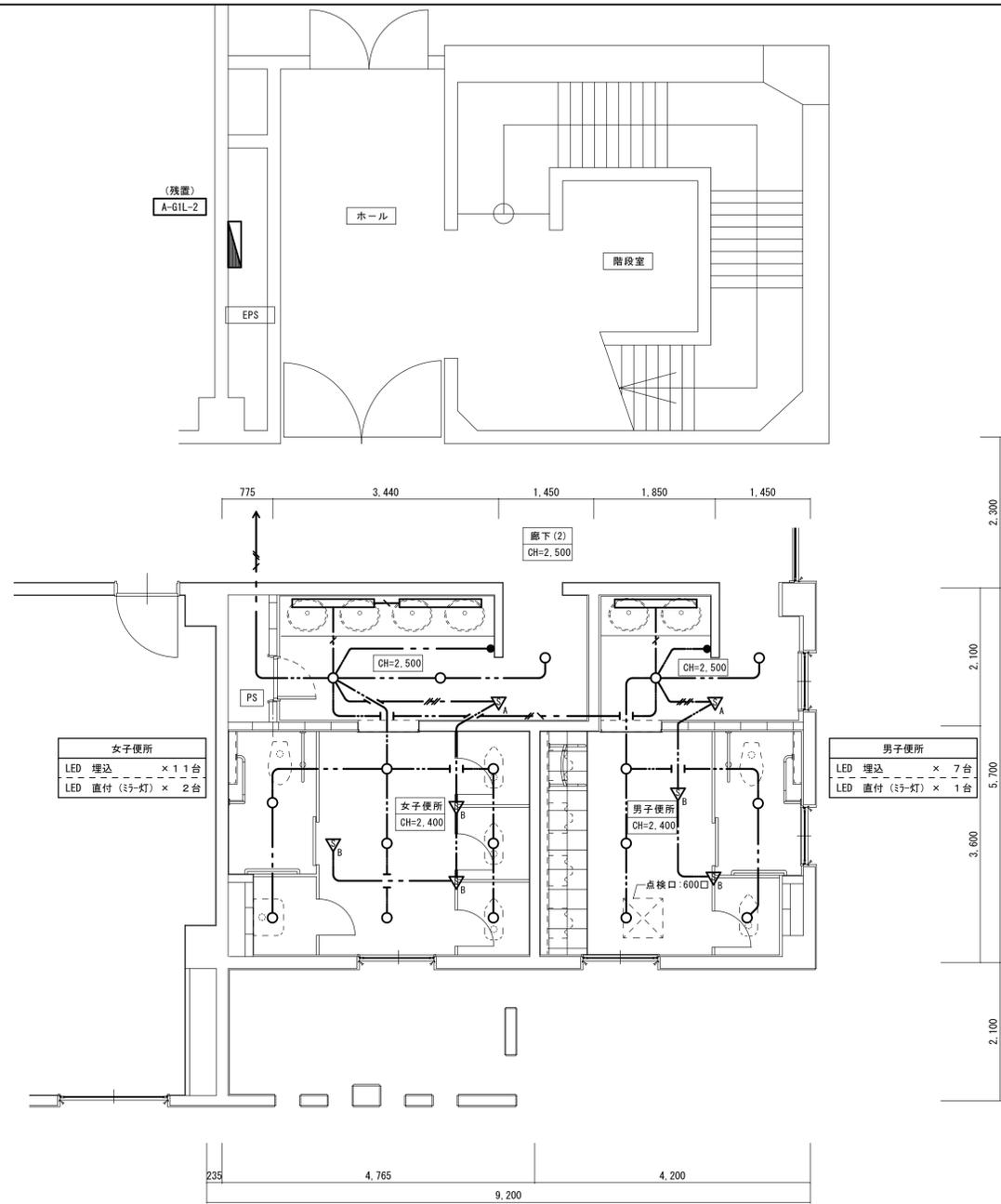
特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
呼 出 回 路	AE 1.2 - 2C (保護管PF 16)
	AE 1.2 - 3C (保護管PF 16)
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
———	天井内こがし配線工事
———	床内隠蔽配管配線工事
———	露出配管工事



2階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50
A1: S=1/100 (改修図)

凡 例	
記 号	名 称
N P	トイレ用呼出ボタン ひも付
N	トイレ用呼出ボタン
○	廊下灯
⊙	復旧ボタン
◇	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
◇ F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
— —	弱電端子盤

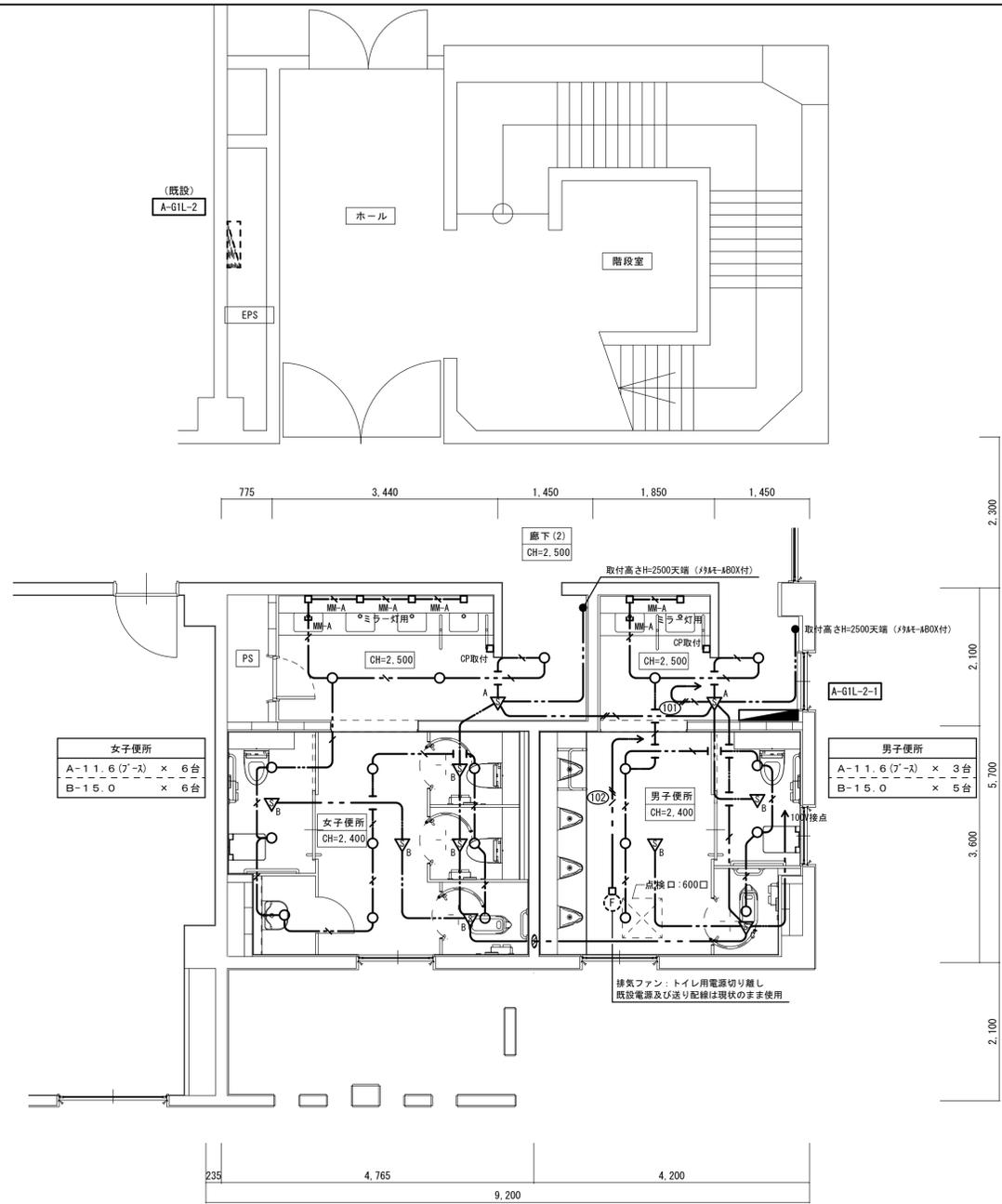
特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
呼 出 回 路	EM-AE 1.2 - 2C (保護管PF 16)
	EM-AE 1.2 - 3C (保護管PF 16)
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
防火区画及び貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
———	天井内こがし配線工事
———	床内隠蔽配管配線工事
———	露出配管工事



1階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (撤去図)

記号	名称
●	埋込型スイッチ IP15Ax1
●SL	埋込型熱線センサ付自動スイッチ用操作ユニット
▽A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器
▽B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

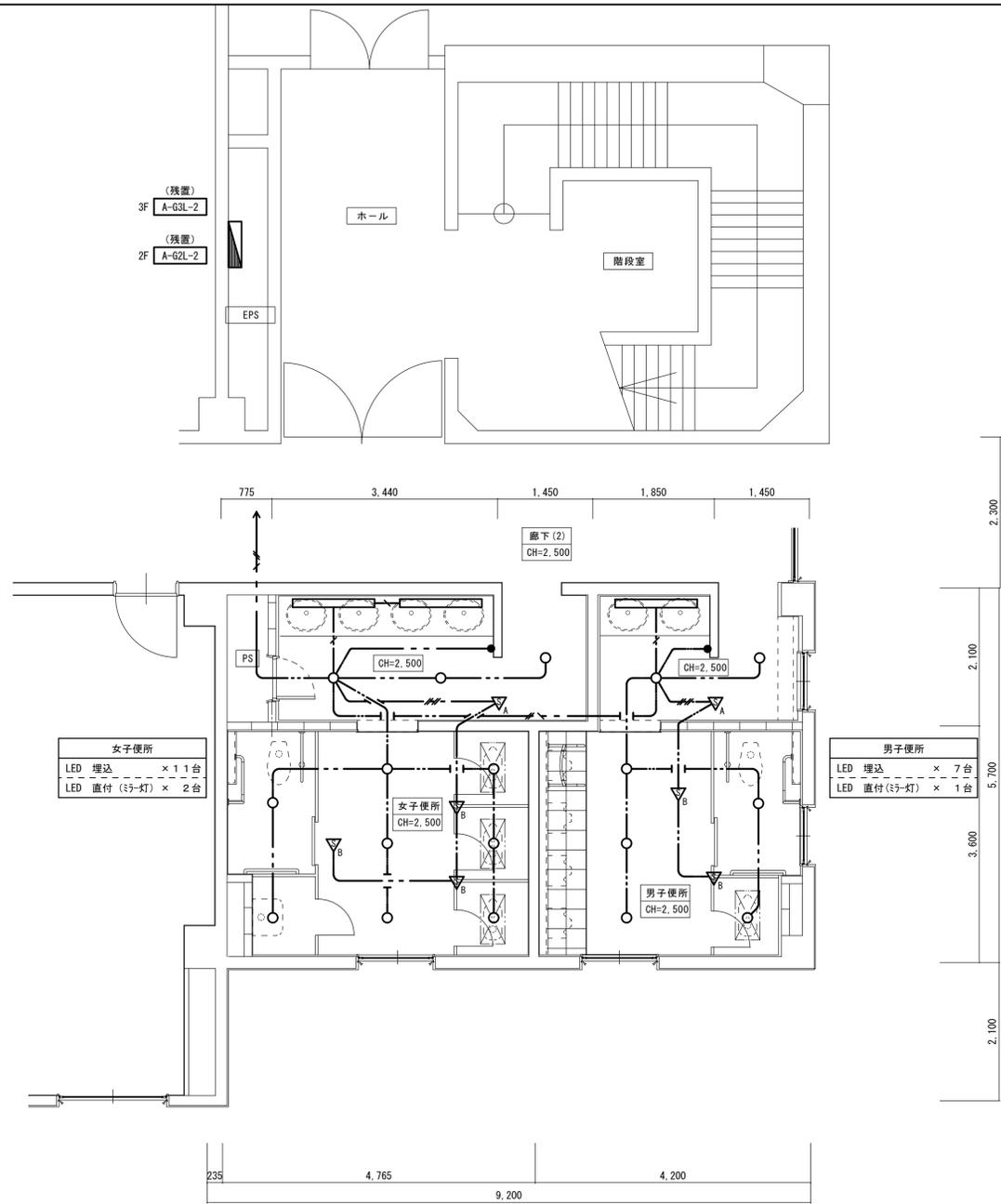
特記事項	
特記なき配管配線は下記による。	
電灯回路	<ul style="list-style-type: none"> VV-F 1.6 - 2C (保護管PF 16) VV-F 1.6 - 3C (保護管PF 22) VV-F 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22) VV-F 1.6 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルところがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
---	床内隠蔽配管配線工事
-----	天井内ところがし配線工事
- - - - -	露出配管工事



1階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (改修図)

記号	名称
●	埋込型スイッチ IP15Ax1 ネーム付
▽A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器・8Aタイプ・広角形
▽B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器
▽C	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器・換気扇連動用・3系統連動形
○	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
○F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

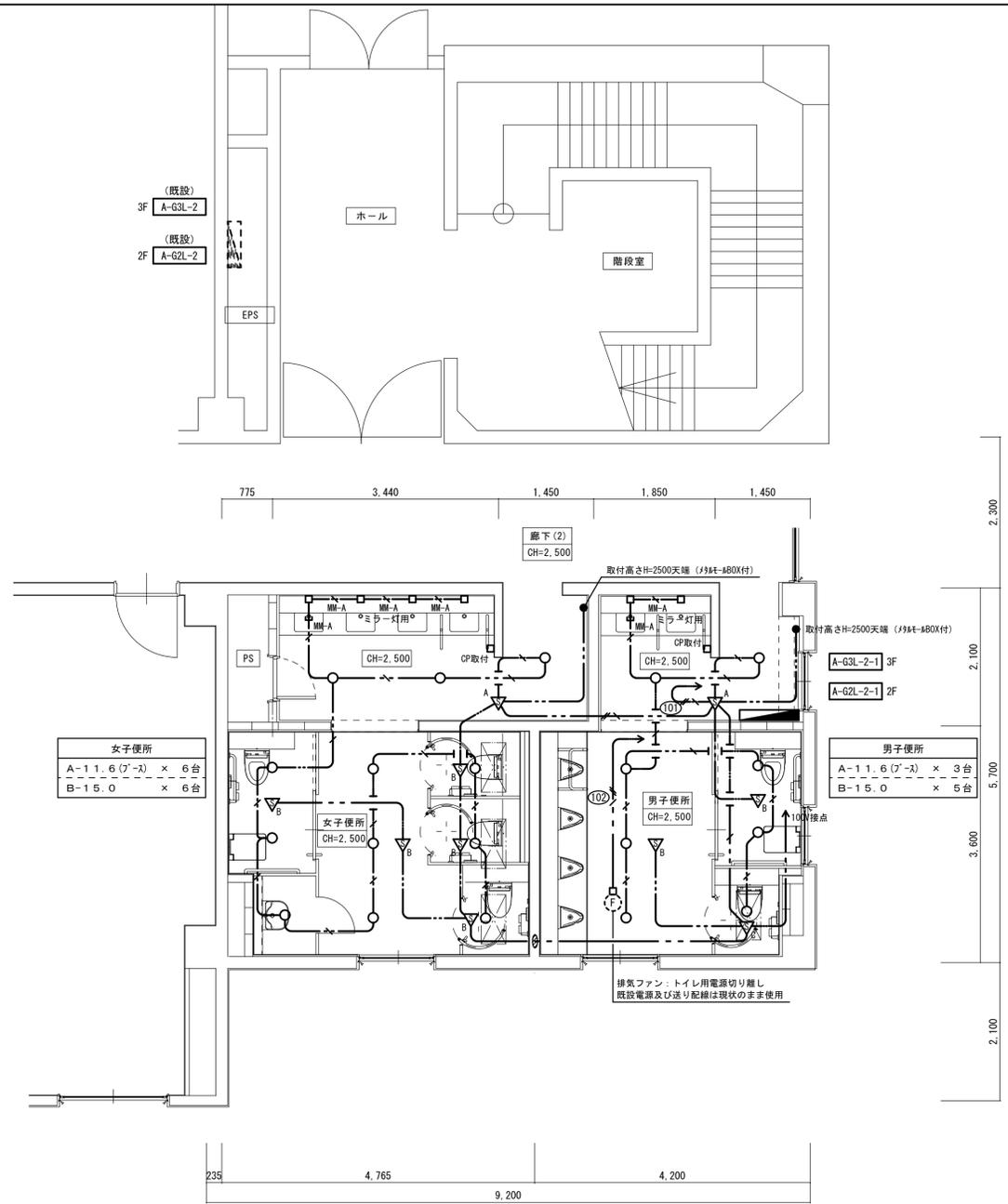
特記事項	
特記なき配管配線は下記による。	
電灯回路	<ul style="list-style-type: none"> EM-EEF 1.6 - 2C (保護管PF 16) EM-EEF 1.6 - 3C (保護管PF 22) EM-EEF 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22) EM-EEF 1.6 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルところがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
貫通穴はコンセントと共用する。	
防火区画及び昇降貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
---	床内隠蔽配管配線工事
-----	天井内ところがし配線工事
- - - - -	露出配管工事



2-3階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (撤去図)

凡 例	名 称
●	埋込型スイッチ IP15Ax1
●SL	埋込型熱線センサ付自動スイッチ用操作ユニット
▽A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器
▽B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

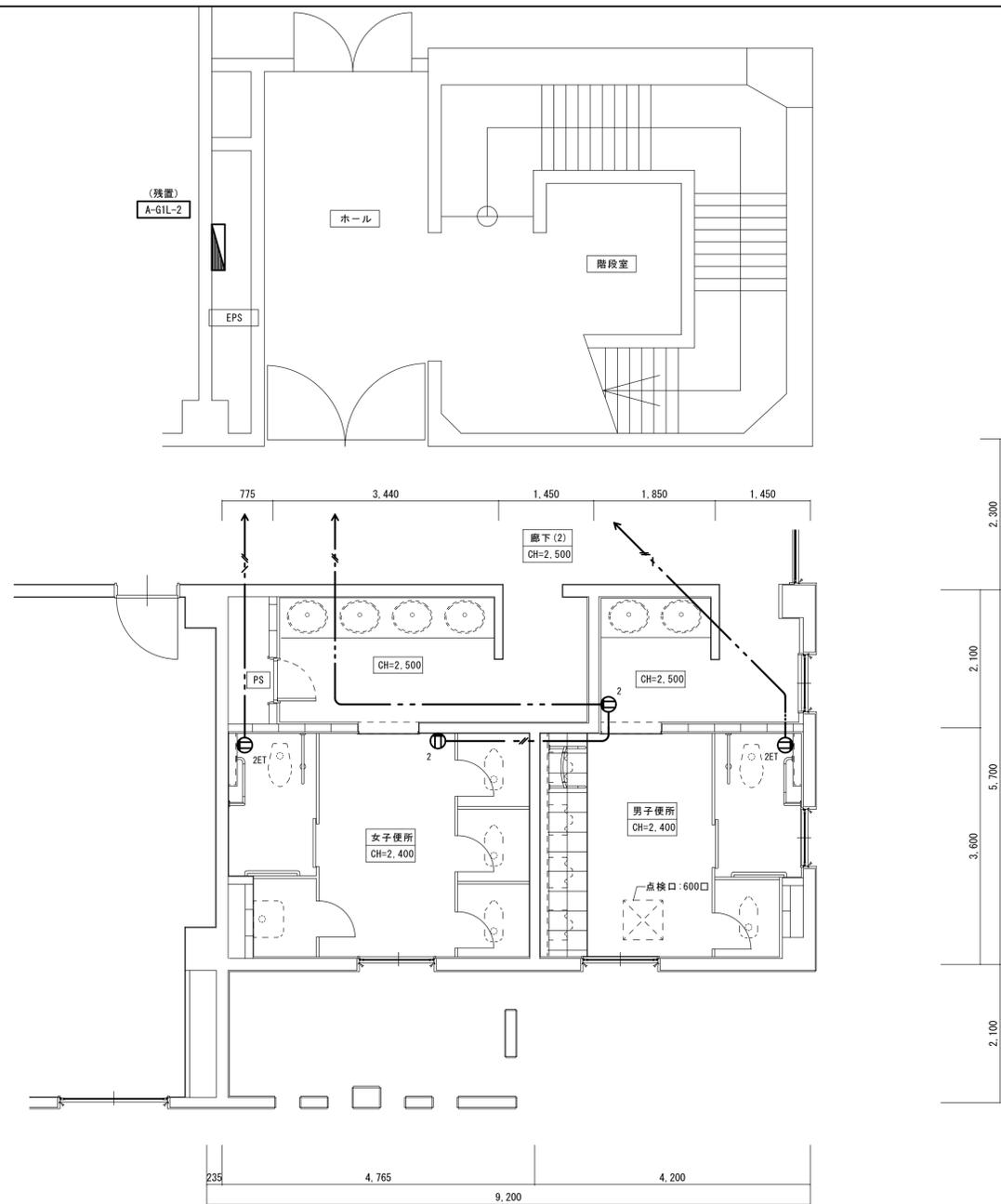
特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
電 灯 回 路	
--- VV-F 1.6 - 2C (保護管PF 16)	
--- VV-F 1.6 - 3C (保護管PF 22)	
--- VV-F 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22)	
--- VV-F 1.6 - 3C(1E) (保護管PF 22)	
二重天井内配線はケーブルところがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	
--- 天井内隠蔽配管配線工事	--- 天井内ところがし配線工事
--- 床内隠蔽配管配線工事	--- 露出配管工事



2-3階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (改修図)

凡 例	名 称
●	埋込型スイッチ IP15Ax1 ネーム付
▽A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器・8Aタイプ・広角形
▽B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器
▽C	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器・換気扇連動用・3系統連動形
○	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
○F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画廻り含む
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

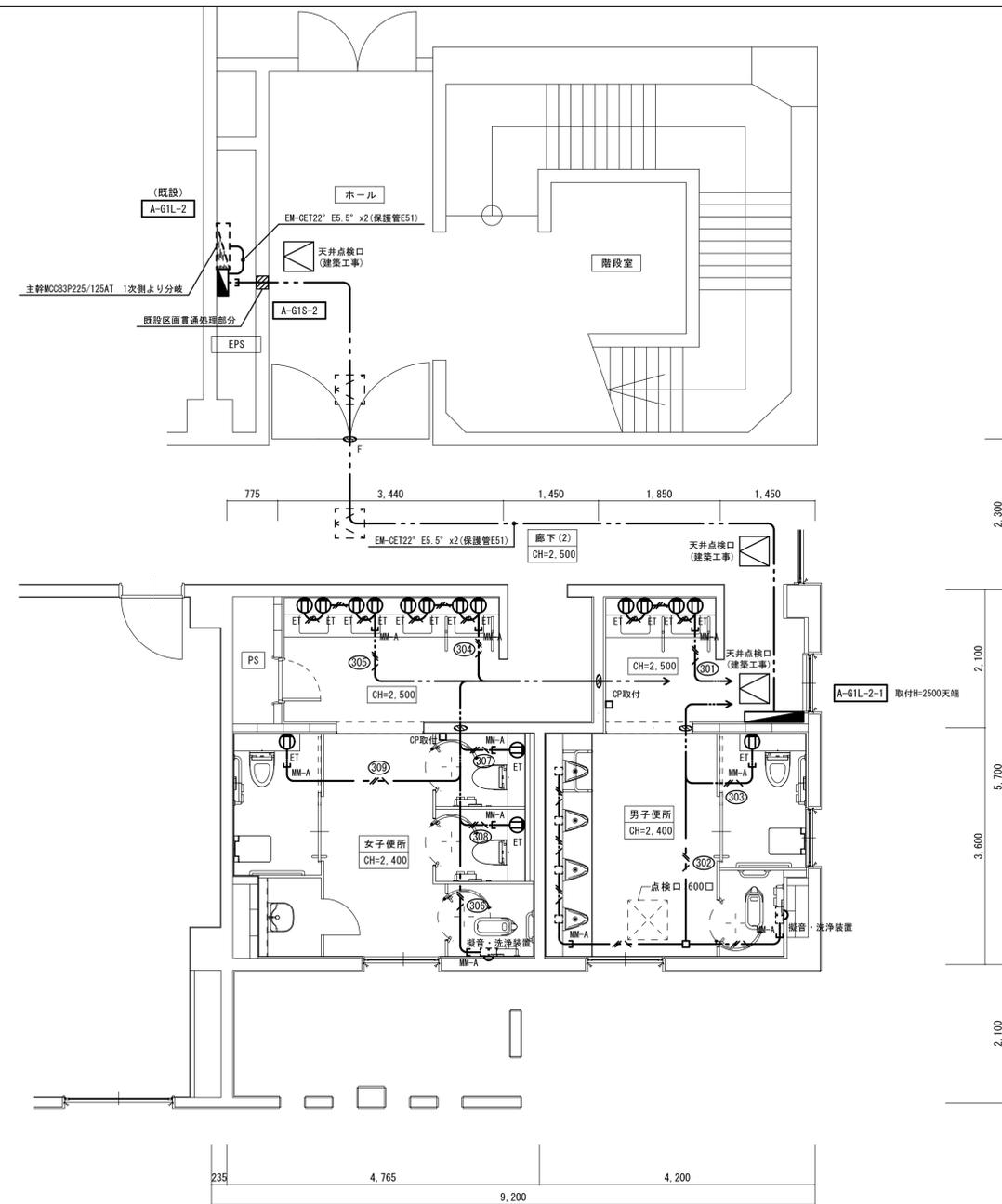
特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
電 灯 回 路	
--- EM-EEF 1.6 - 2C (保護管PF 16)	
--- EM-EEF 1.6 - 3C (保護管PF 22)	
--- EM-EEF 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22)	
--- EM-EEF 1.6 - 3C(1E) (保護管PF 22)	
二重天井内配線はケーブルところがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
貫通穴はコンセントと共用する。	
防火区画及び昇降貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
--- 天井内隠蔽配管配線工事	--- 天井内ところがし配線工事
--- 床内隠蔽配管配線工事	--- 露出配管工事



1階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (撤去図)

凡	例
記号	名称
2	埋込型コンセント 2P15A2口
2ET	埋込型コンセント 2P15A2口 接地端子付
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

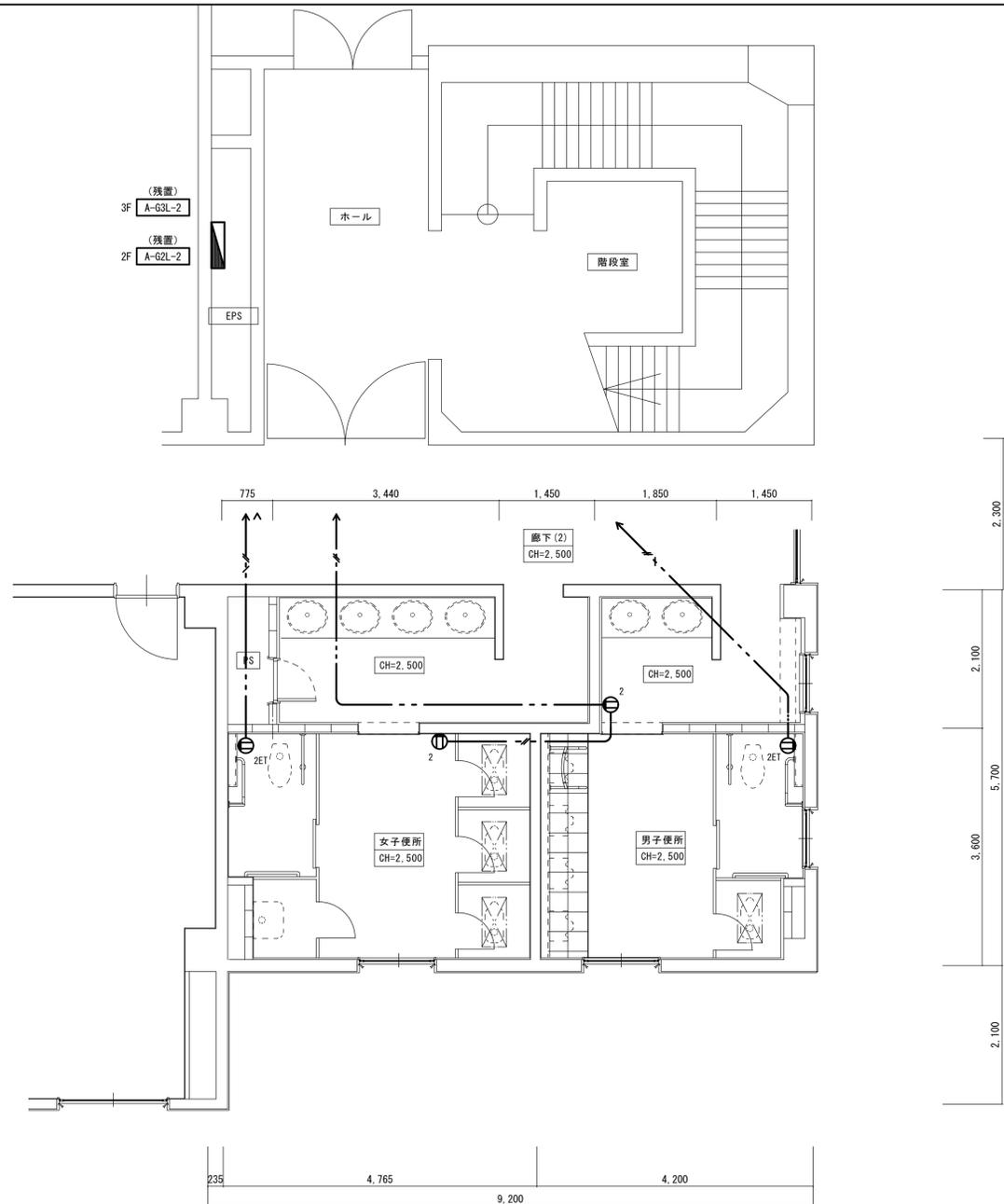
特記事項	
特記なき配管配線は下記による。	
差込回路	VV-F 2.0 - 2C (保護管PF 22)
	VV-F 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	
——	天井内隠蔽配管配線工事
——	天井内こしがし配線工事
---	床内隠蔽配管配線工事
---	露出配管工事



1階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (改修図)

凡	例
記号	名称
ET	埋込型コンセント 2P15A1口 接地端子付
○	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
○F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

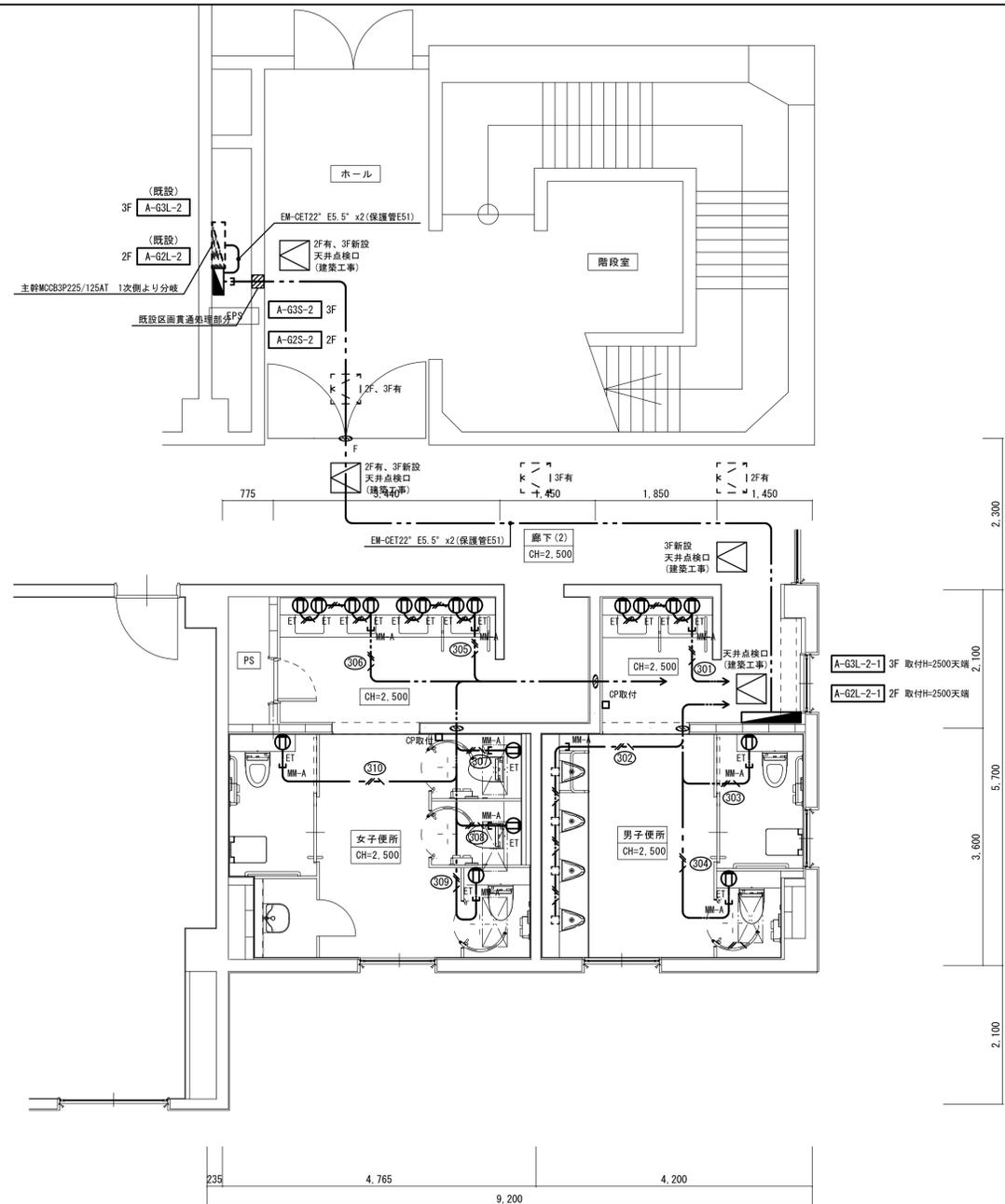
特記事項	
特記なき配管配線は下記による。	
差込回路	EM-EF 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
——	天井内隠蔽配管配線工事
——	天井内こしがし配線工事
---	床内隠蔽配管配線工事
---	露出配管工事



2-3階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (撤去図)

凡	例
記号	名称
2	埋込型コンセント 2P15A2口
2ET	埋込型コンセント 2P15A2口 接地端子付
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

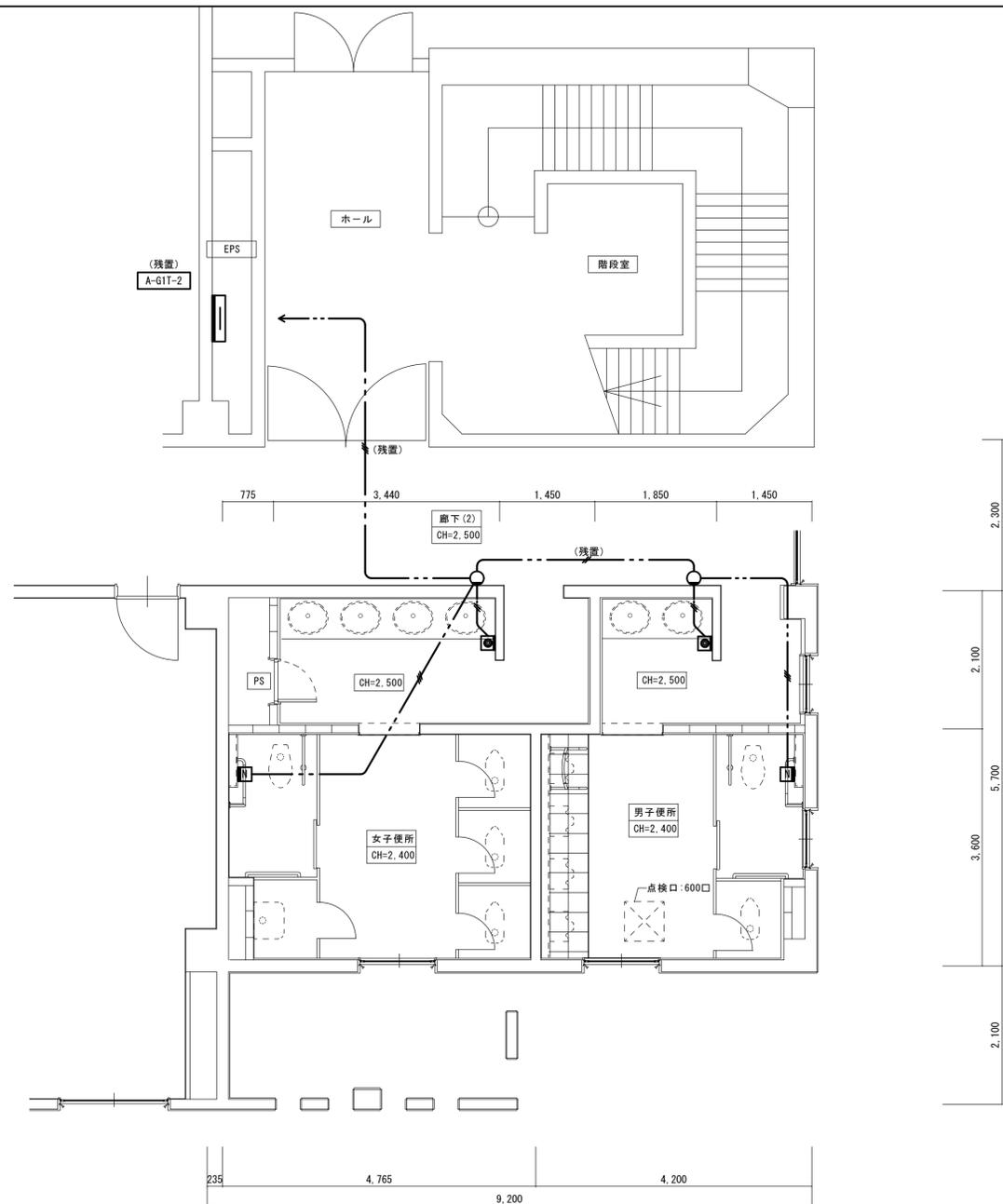
特記事項	
特記なき配管配線は下記による。	
差込回路	VV-F 2.0 - 2C (保護管PF 22)
	VV-F 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	
——	天井内隠蔽配管配線工事
——	天井内こしがし配線工事
---	床内隠蔽配管配線工事
---	露出配管工事



2-3階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (改修図)

凡	例
記号	名称
ET	埋込型コンセント 2P15A1口 接地端子付
○	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
○F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

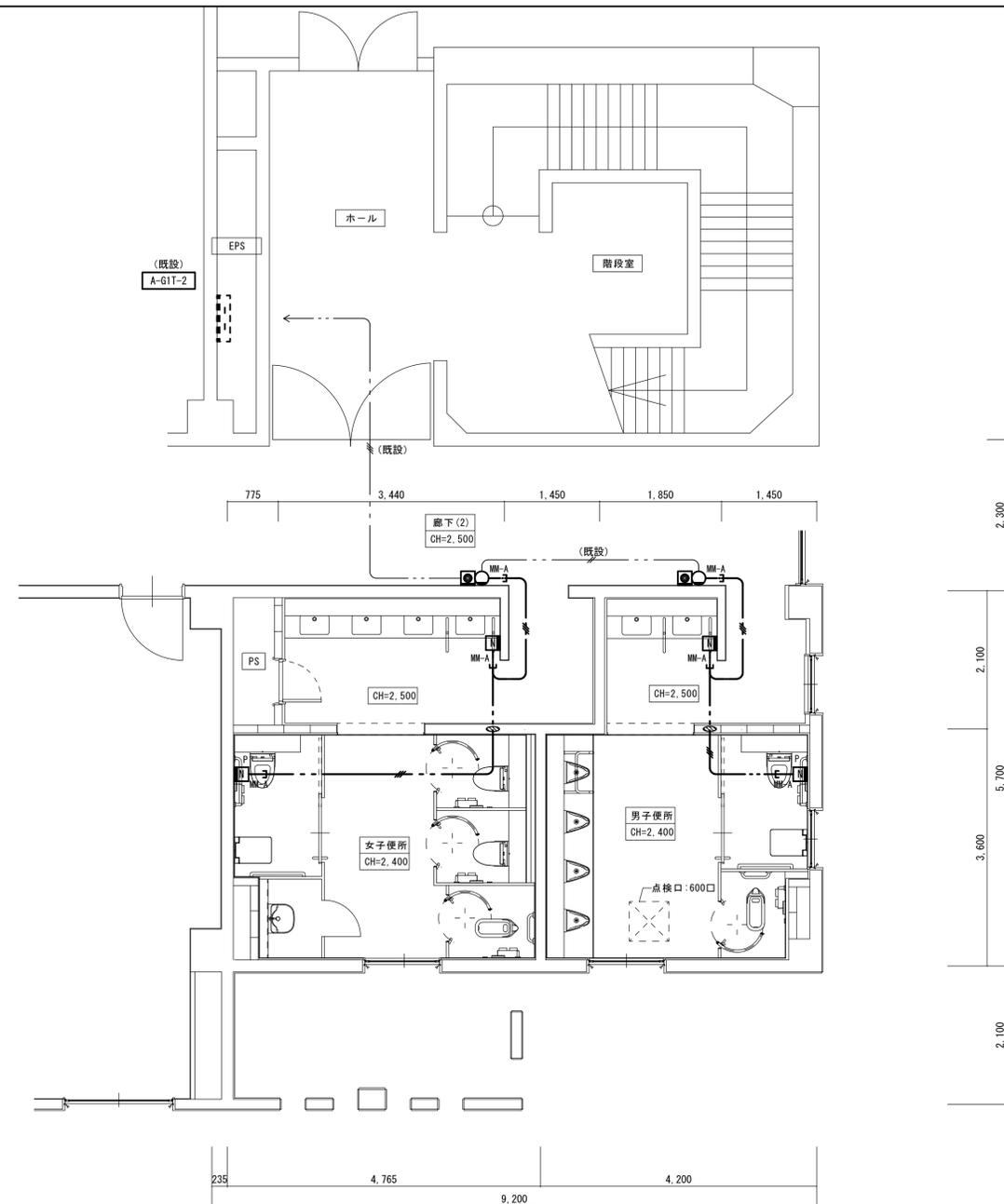
特記事項	
特記なき配管配線は下記による。	
差込回路	EM-EFF 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
防火区画及び昇降貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
——	天井内隠蔽配管配線工事
——	天井内こしがし配線工事
---	床内隠蔽配管配線工事
---	露出配管工事



1階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (撤去図)

記号	名称
N	トイレ用呼出ボタン ひも付
O	廊下灯
R	復旧ボタン
□	アウトレットボックス VE製
≡	弱電端子盤

特記事項	
特記なき配管配線は下記による。	
呼出回路	AE 1.2 - 2C (保護管PF 16)
	AE 1.2 - 3C (保護管PF 16)
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	
——	天井内隠蔽配管配線工事
---	天井内こしがし配線工事
- - -	床内隠蔽配管配線工事
- - - -	露出配管工事

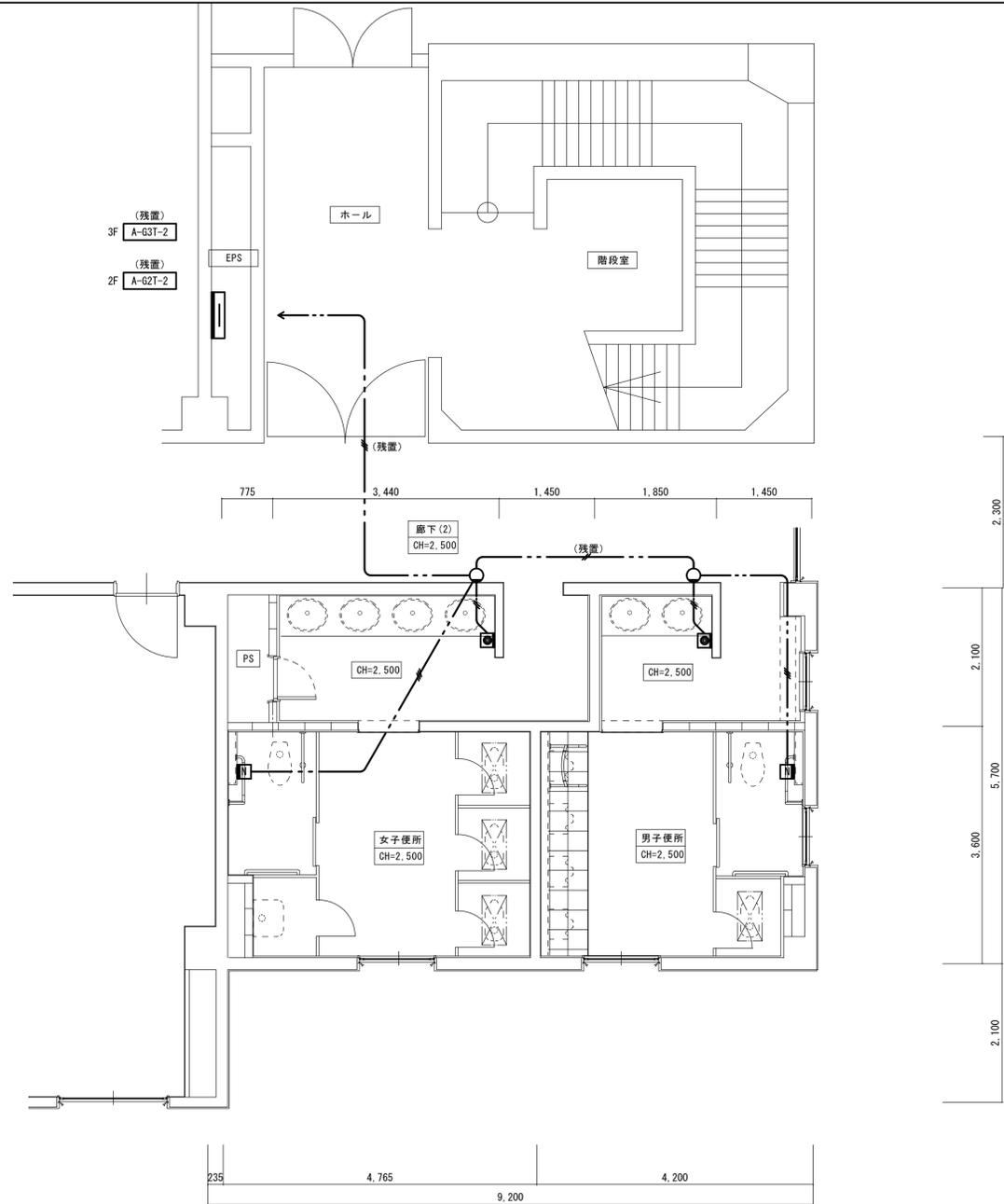


1階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (改修図)

記号	名称
N P	トイレ用呼出ボタン ひも付
N	トイレ用呼出ボタン
O	廊下灯
R	復旧ボタン
◇	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
◇ F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
≡	弱電端子盤

特記事項	
特記なき配管配線は下記による。	
呼出回路	EM-AE 1.2 - 2C (保護管PF 16)
	EM-AE 1.2 - 3C (保護管PF 16)
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
——	天井内隠蔽配管配線工事
---	天井内こしがし配線工事
- - -	床内隠蔽配管配線工事
- - - -	露出配管工事

改修前

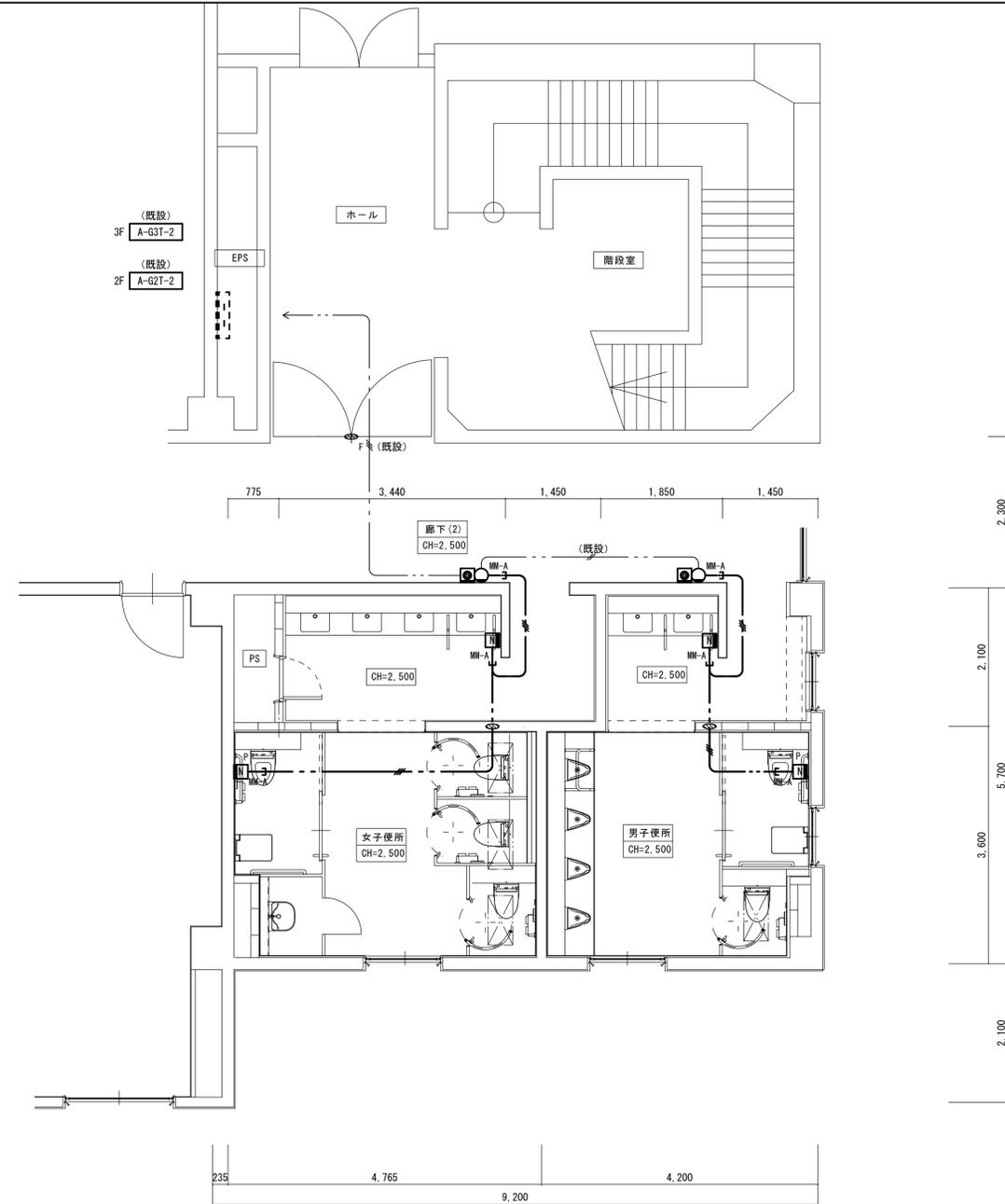


2-3階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A1: S=1/100 (撤去図)

凡	例
記号	名称
□	トイレ用呼出ボタン ひも付
○	廊下灯
●	復旧ボタン
□	アウトレットボックス VE製
—	弱電端子盤

特記事項	
特記なき配管配線は下記による。	
呼出回路	AE 1.2 - 2C (保護管PF 16)
	AE 1.2 - 3C (保護管PF 16)
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	
—	天井内隠蔽配管配線工事
—	天井内こしがし配線工事
—	床内隠蔽配管配線工事
—	露出配管工事

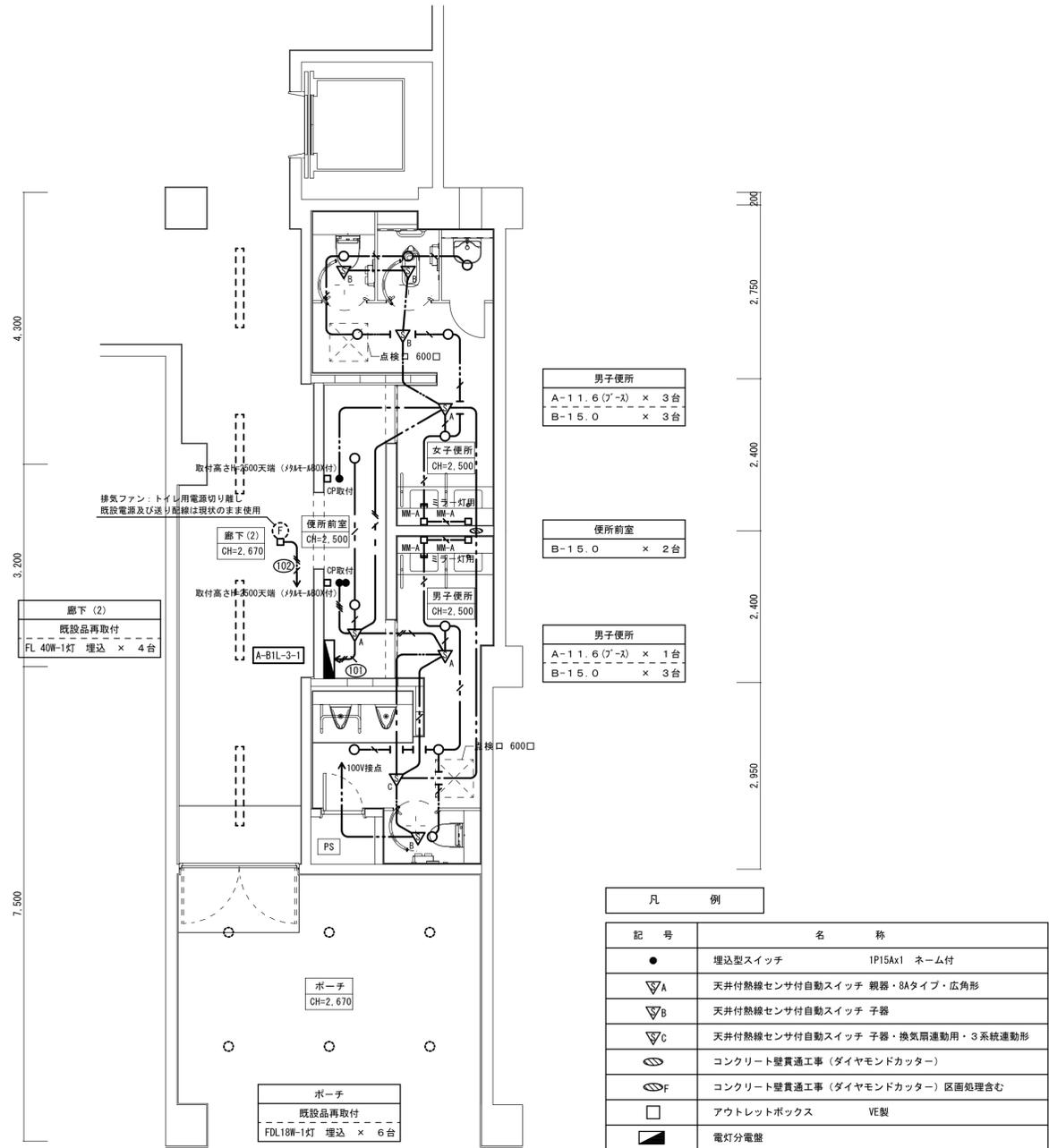
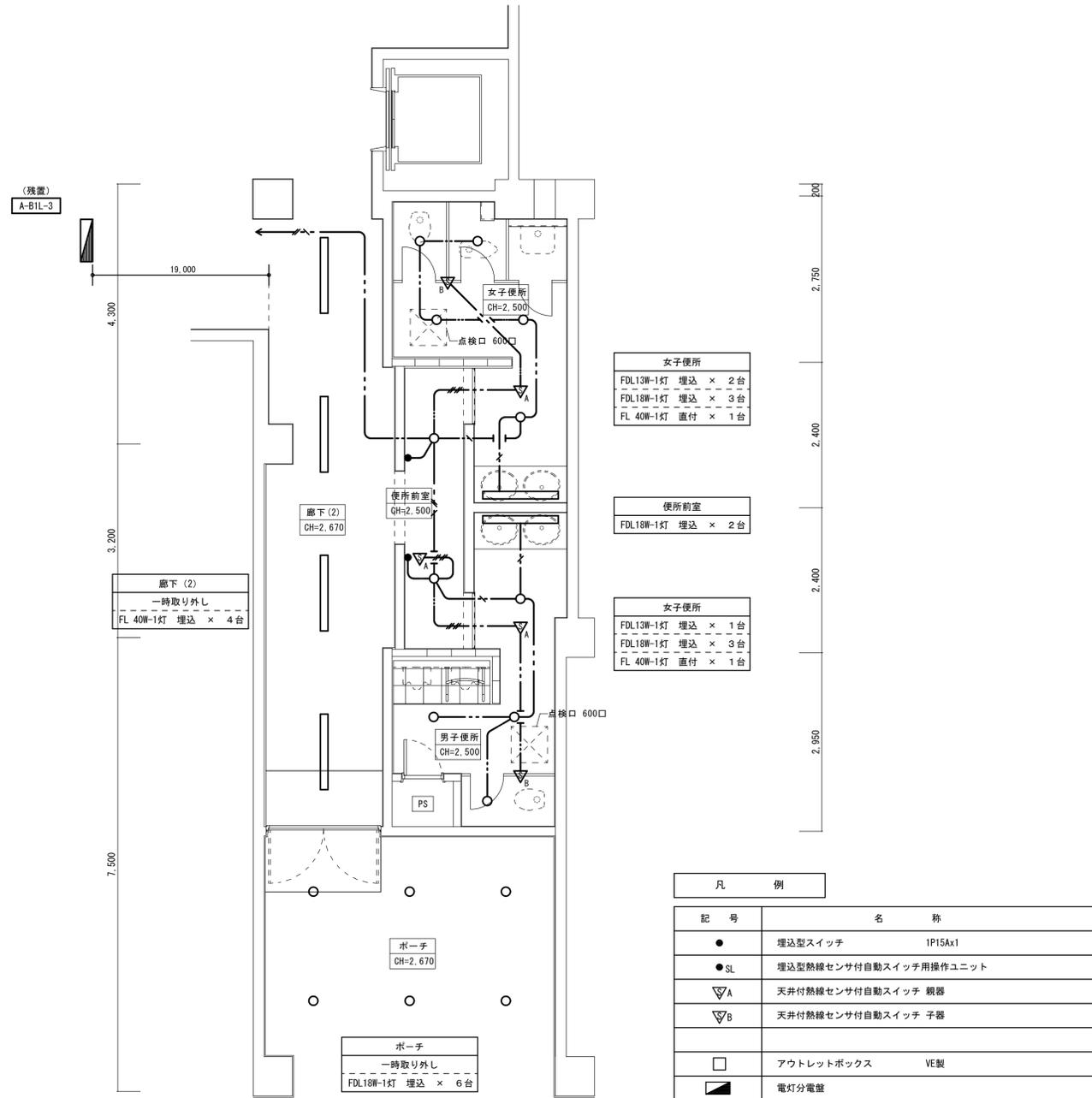
改修後



2-3階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50
A1: S=1/100 (改修図)

凡	例
記号	名称
□	トイレ用呼出ボタン ひも付
□	トイレ用呼出ボタン
○	廊下灯
●	復旧ボタン
○	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
○	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
—	弱電端子盤

特記事項	
特記なき配管配線は下記による。	
呼出回路	EM-AE 1.2 - 2C (保護管PF 16)
	EM-AE 1.2 - 3C (保護管PF 16)
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
—	天井内隠蔽配管配線工事
—	天井内こしがし配線工事
—	床内隠蔽配管配線工事
—	露出配管工事



- 女子便所**
- FDL13W-1灯 埋込 × 2台
 - FDL18W-1灯 埋込 × 3台
 - FL 40W-1灯 直付 × 1台
- 便所前室**
- FDL18W-1灯 埋込 × 2台
- 女子便所**
- FDL13W-1灯 埋込 × 1台
 - FDL18W-1灯 埋込 × 3台
 - FL 40W-1灯 直付 × 1台

- 男子便所**
- A-11.6 (ア-ス) × 3台
 - B-15.0 × 3台
- 便所前室**
- B-15.0 × 2台
- 男子便所**
- A-11.6 (ア-ス) × 1台
 - B-15.0 × 3台

凡 例	
記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1
●SL	埋込型熱線センサ付自動スイッチ用操作ユニット
▽A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器
▽B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

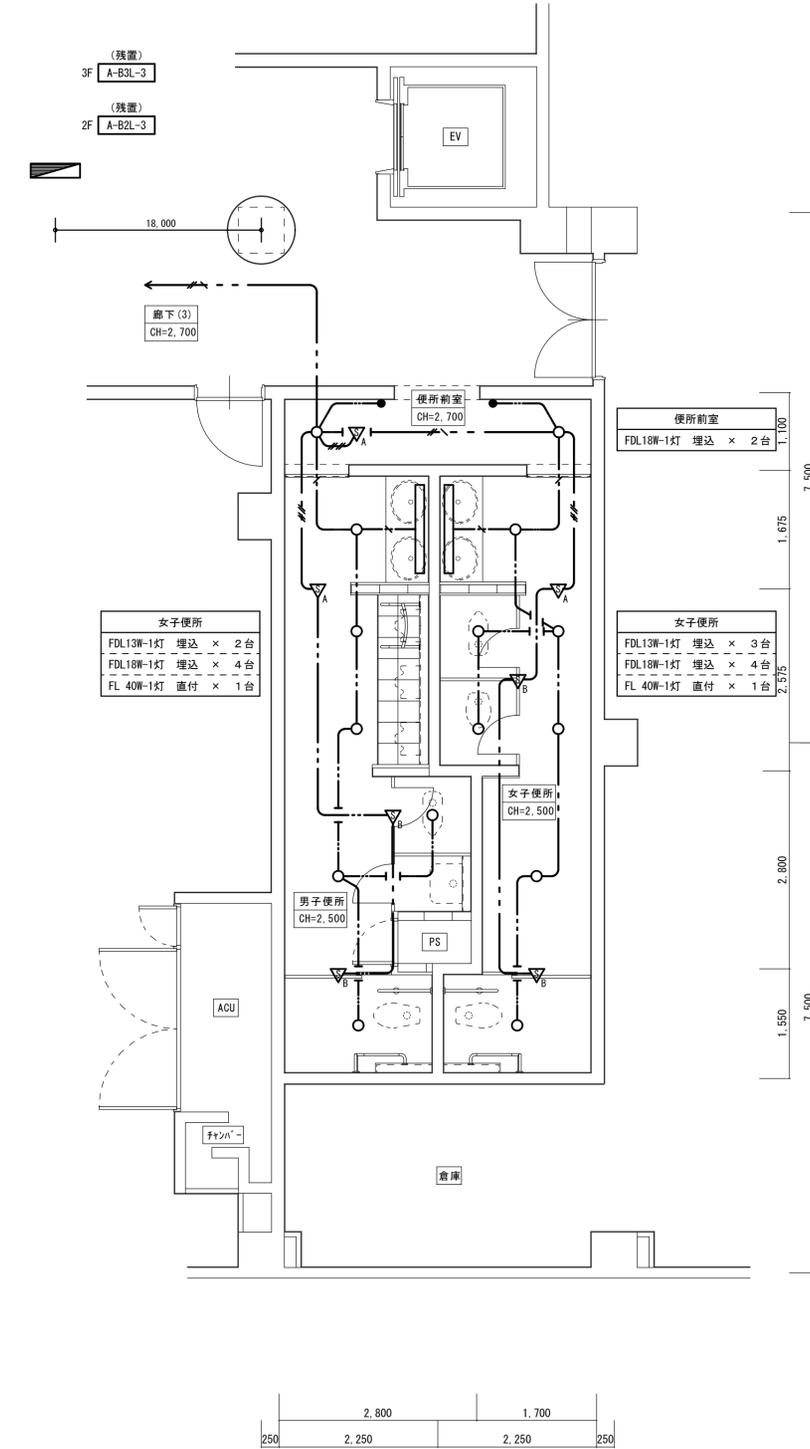
凡 例	
記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1 ネーム付
▽A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器・8Aタイプ・広角形
▽B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器
▽C	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器・換気扇連動用・3系統連動形
○	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
○F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
電 灯 回 路	<ul style="list-style-type: none"> --- VV-F 1.6 - 2C (保護管PF 16) --- VV-F 1.6 - 3C (保護管PF 22) --- VV-F 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22) --- VV-F 1.6 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	<ul style="list-style-type: none"> --- 天井内隠蔽配管配線工事 --- 天井内ころがし配線工事 --- 床内隠蔽配管配線工事 --- 露出配管工事

特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
電 灯 回 路	<ul style="list-style-type: none"> --- EM-EEF 1.6 - 2C (保護管PF 16) --- EM-EEF 1.6 - 3C (保護管PF 22) --- EM-EEF 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22) --- EM-EEF 1.6 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
貫通穴はコンセントと共用する。	
防火区画及び壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	<ul style="list-style-type: none"> --- 天井内隠蔽配管配線工事 --- 天井内ころがし配線工事 --- 床内隠蔽配管配線工事 --- 露出配管工事

1階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (撤去図)

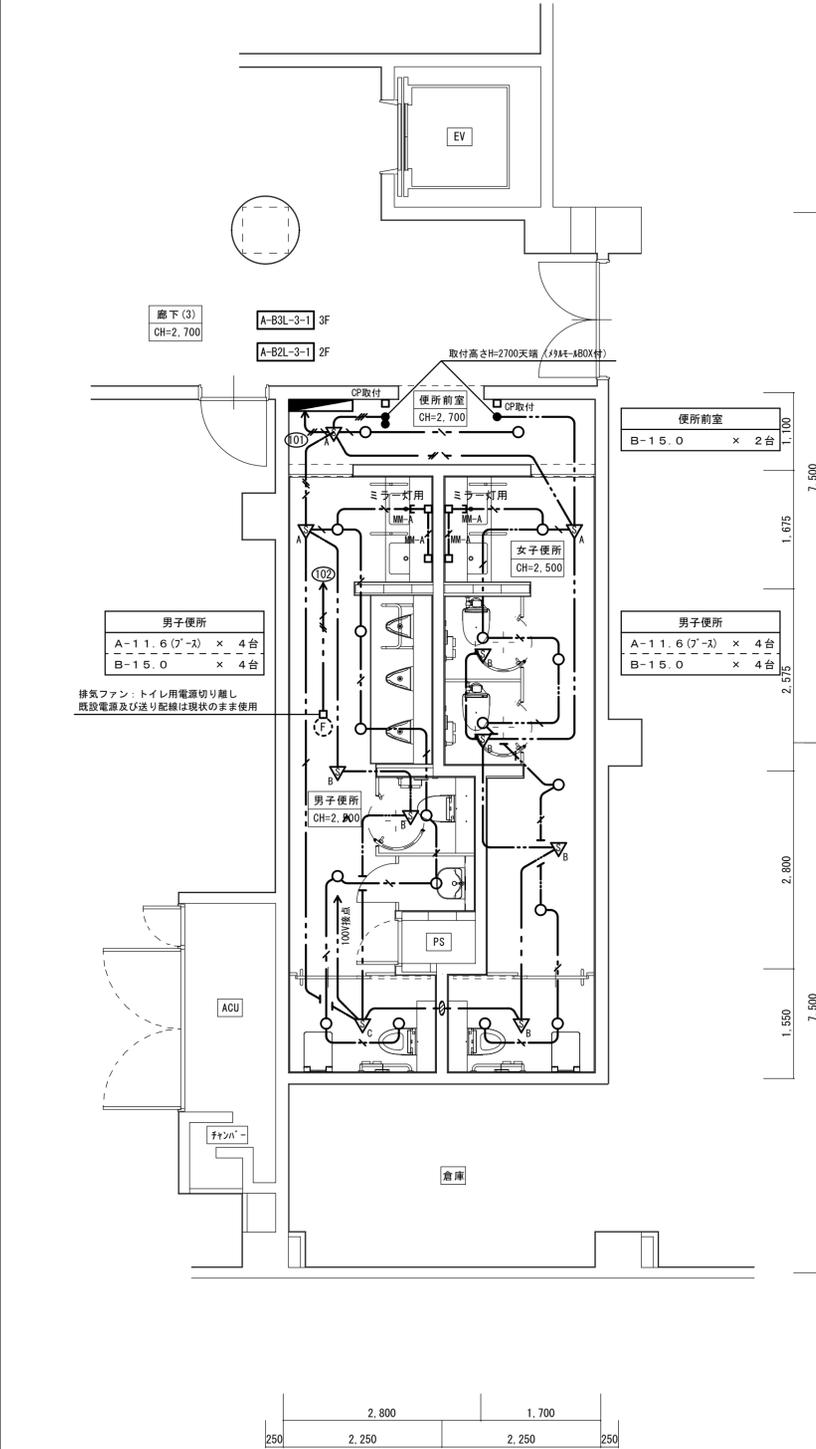
1階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (改修図)



2-3階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (撤去図)

凡 例	
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1
●SL	埋込型熱線センサ付自動スイッチ用操作ユニット
▽A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器
▽B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

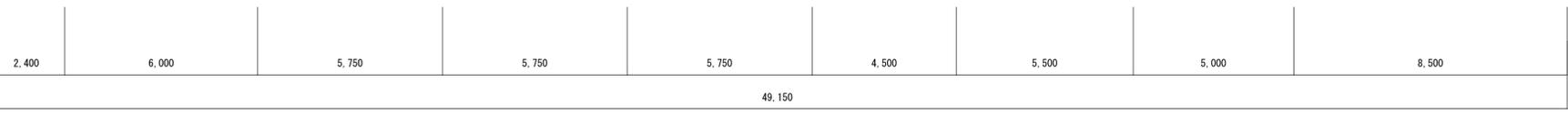
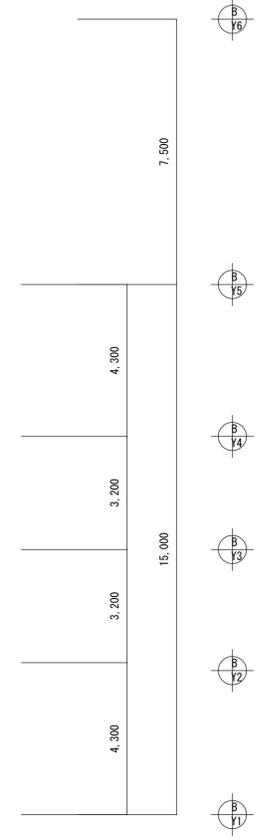
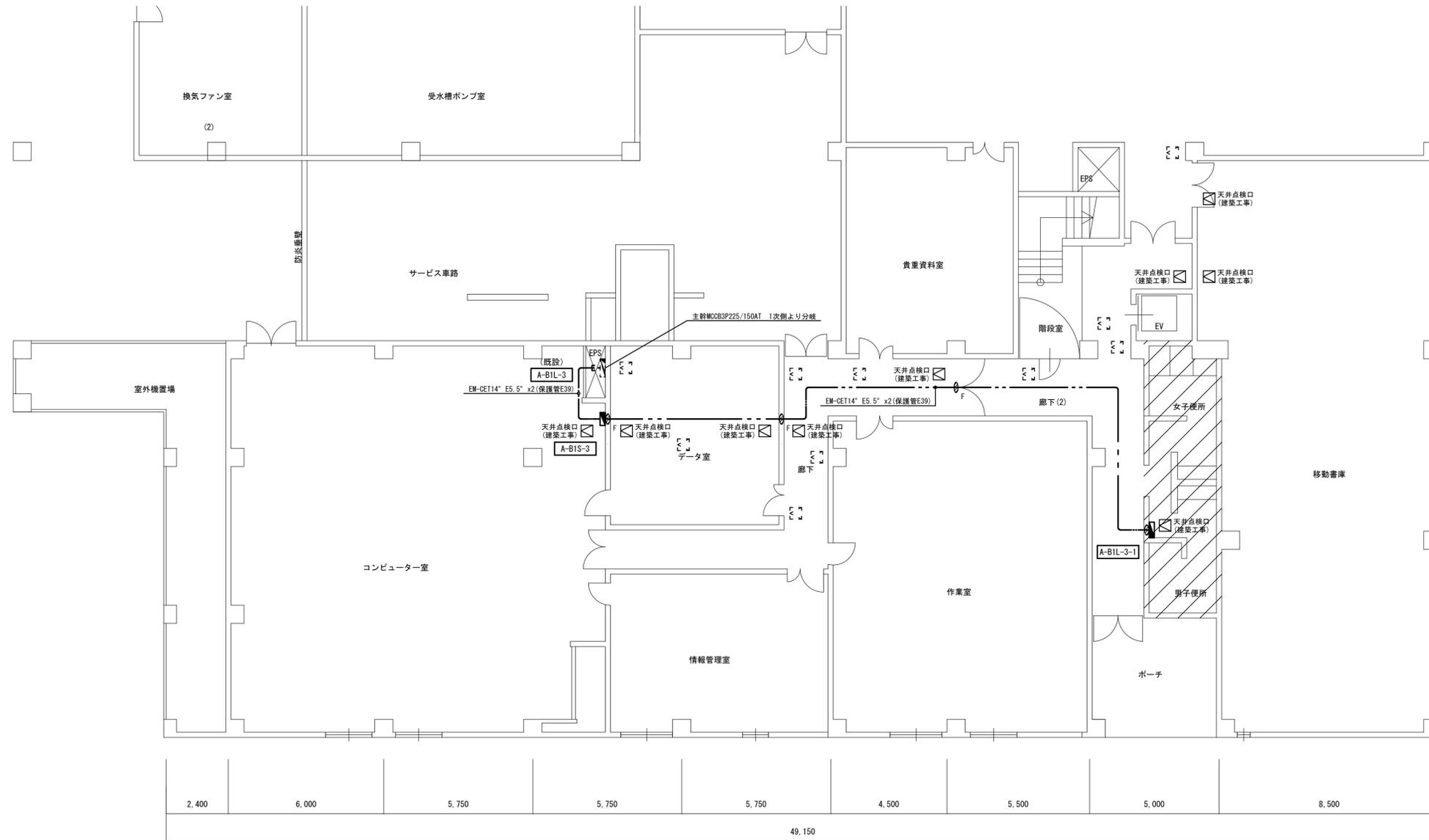
特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
電 灯 回 路	<ul style="list-style-type: none"> VV-F 1.6 - 2C (保護管PF 16) VV-F 1.6 - 3C (保護管PF 22) VV-F 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22) VV-F 1.6 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	<ul style="list-style-type: none"> 天井内隠蔽配管配線工事 天井内こしがし配線工事 床内隠蔽配管配線工事 露出配管工事



2-3階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (改修図)

凡 例	
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1 ネーム付
▽A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器・8Aタイプ・広角形
▽B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器
▽C	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子器・換気扇連動用・3系統連動形
⊖	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
⊖F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
電 灯 回 路	<ul style="list-style-type: none"> EM-EEF 1.6 - 2C (保護管PF 16) EM-EEF 1.6 - 3C (保護管PF 22) EM-EEF 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22) EM-EEF 1.6 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
貫通穴はコンセントと共用する。	
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	<ul style="list-style-type: none"> 天井内隠蔽配管配線工事 天井内こしがし配線工事 床内隠蔽配管配線工事 露出配管工事

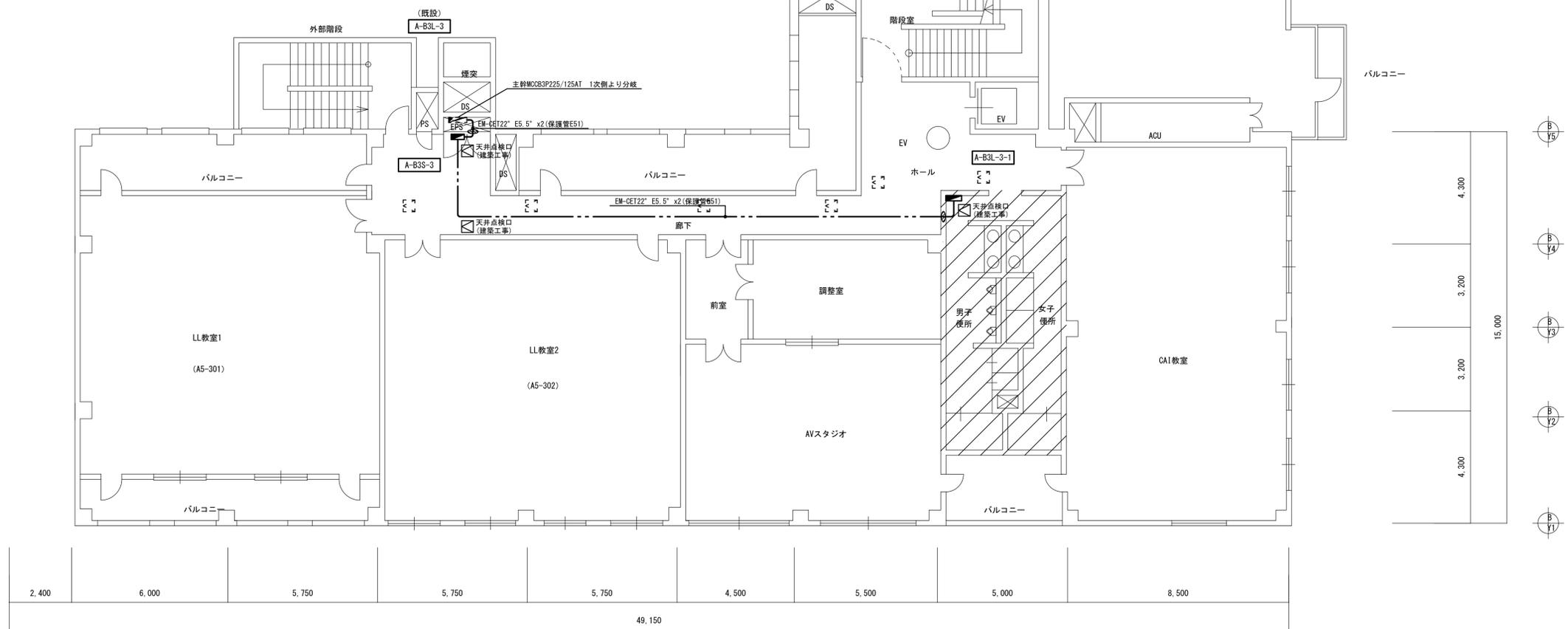


(注) 天井内の施工において、既設配線等に十分注意し施工のこと。(特に情報回路)

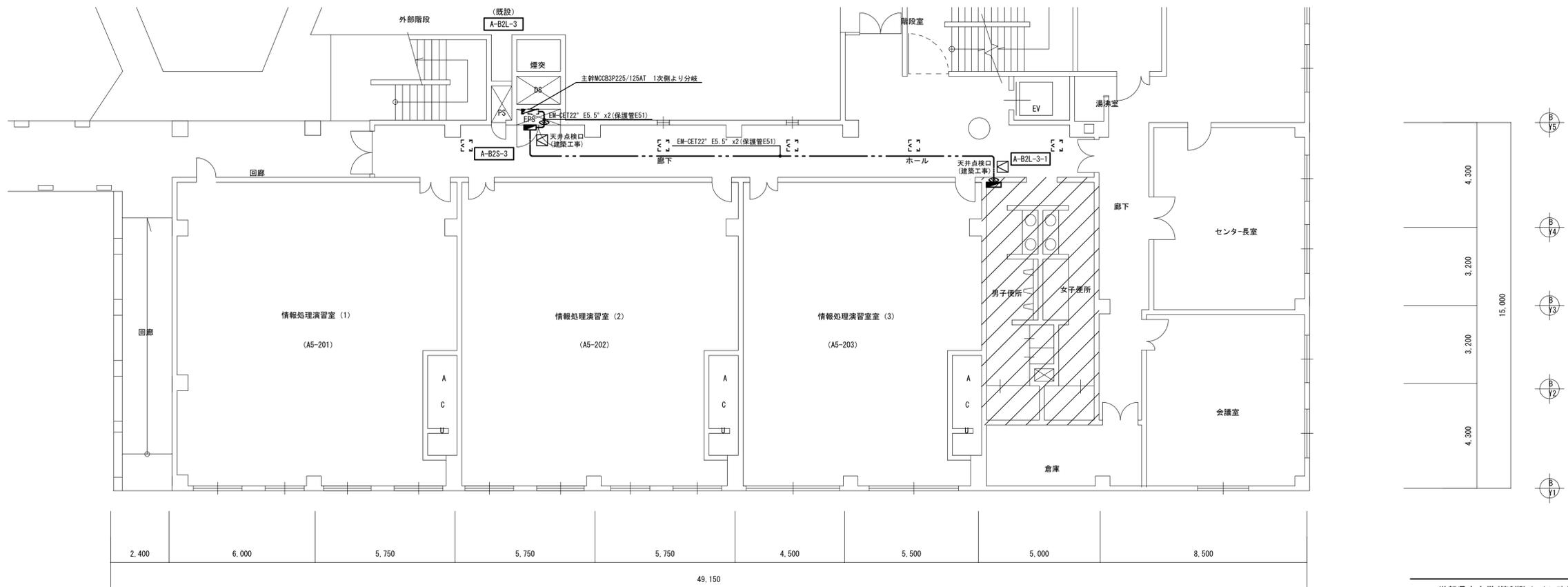
- ⊕ : コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
- ⊖ : コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む

図書情報センター A5棟1階平面図

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図
24枚の内	A5図書情報センター棟	D. R. 05・03
E-18	幹線設備図	担 当
	1階平面図 (改修後)	AT-S17/100 A3-S1/200
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士No.253120 横江 敏 幸

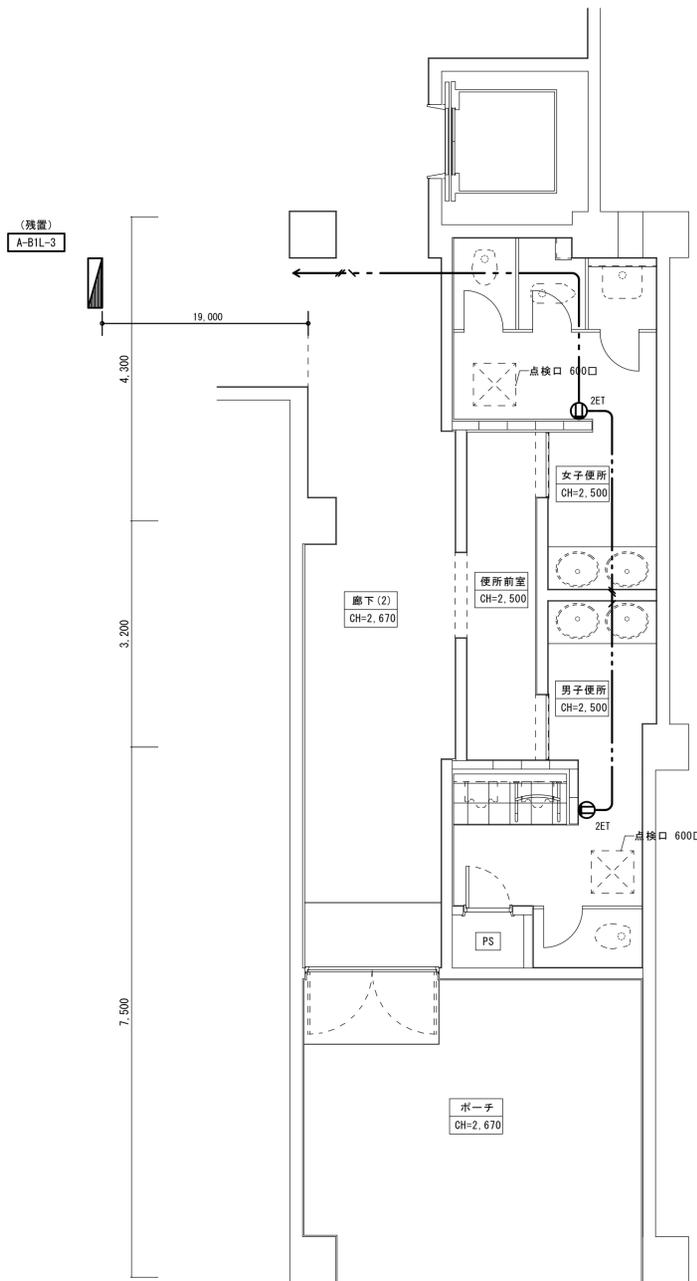


 : コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
 : コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
 図書情報センター A5棟3階平面図



 : コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
 : コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
 図書情報センター A5棟2階平面図

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図
24枚の内	A5図書情報センター棟	D.R. 05・03
E-19	幹線設備図	担 当
	2・3階平面図 (改修後)	A1-S1/100 A3-S1/200
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士No.253120 横江 敏 幸



1階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A1: S=1/100 (撤去図)

凡 例

記号	名称
Ⓛ2	埋込型コンセント 2P15A×2口
Ⓛ2ET	埋込型コンセント 2P15A×2口 接地端子付
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

特記事項

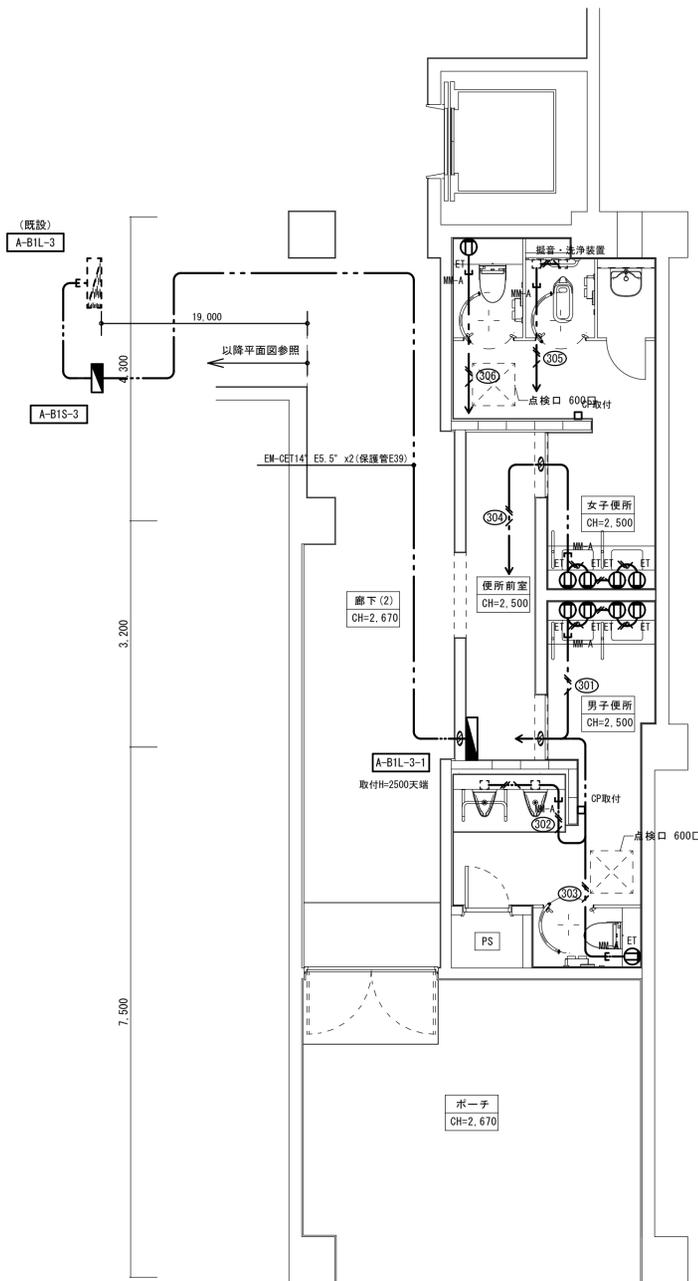
特記なき配管配線は下記による。

差込回路	VV-F 2.0 - 2C (保護管PF 22)
	VV-F 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22)

二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)

配管配線種別

天井内隠蔽配管配線工事	天井内ころがし配線工事
床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事



1階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50
A1: S=1/100 (改修図)

凡 例

記号	名称
ⓁET	埋込型コンセント 2P15A×1口 接地端子付
Ⓛ	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

特記事項

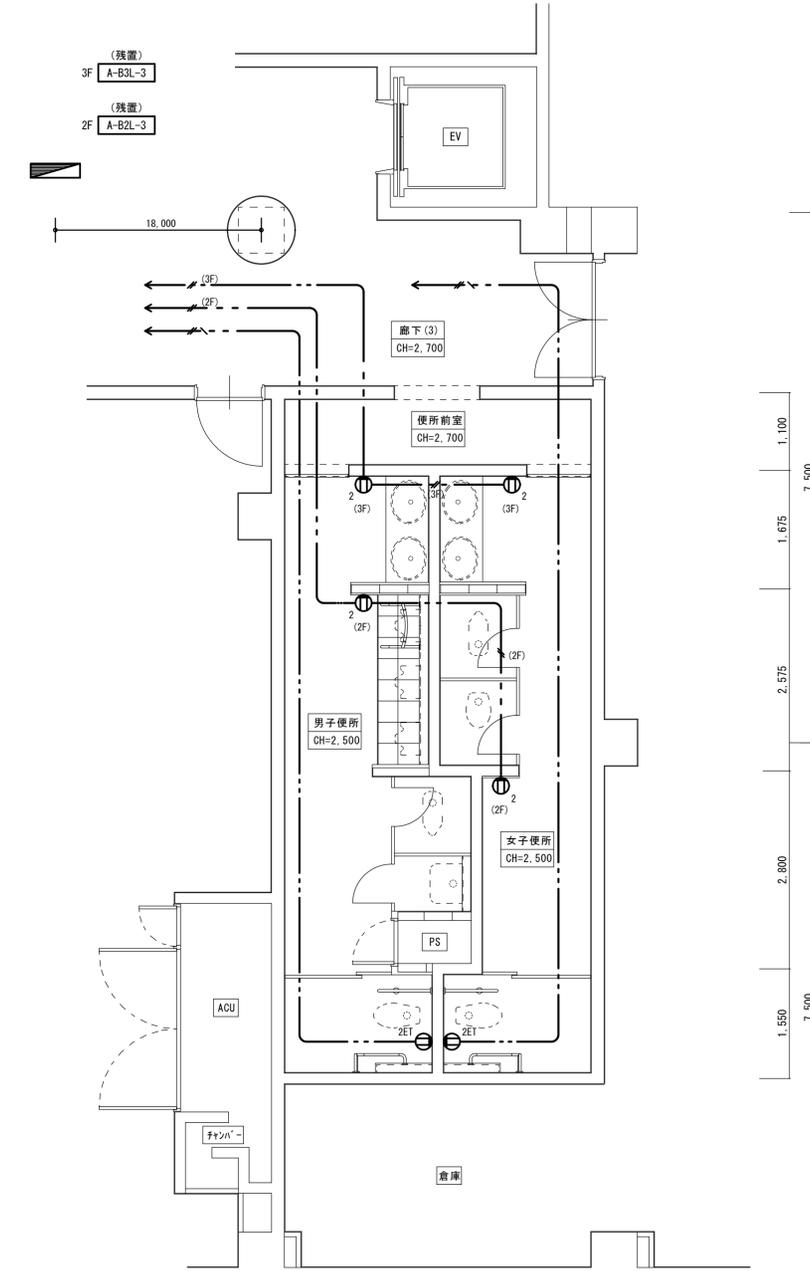
特記なき配管配線は下記による。

差込回路	EM-EEF 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22)
------	--------------------------------

二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。

配管配線種別

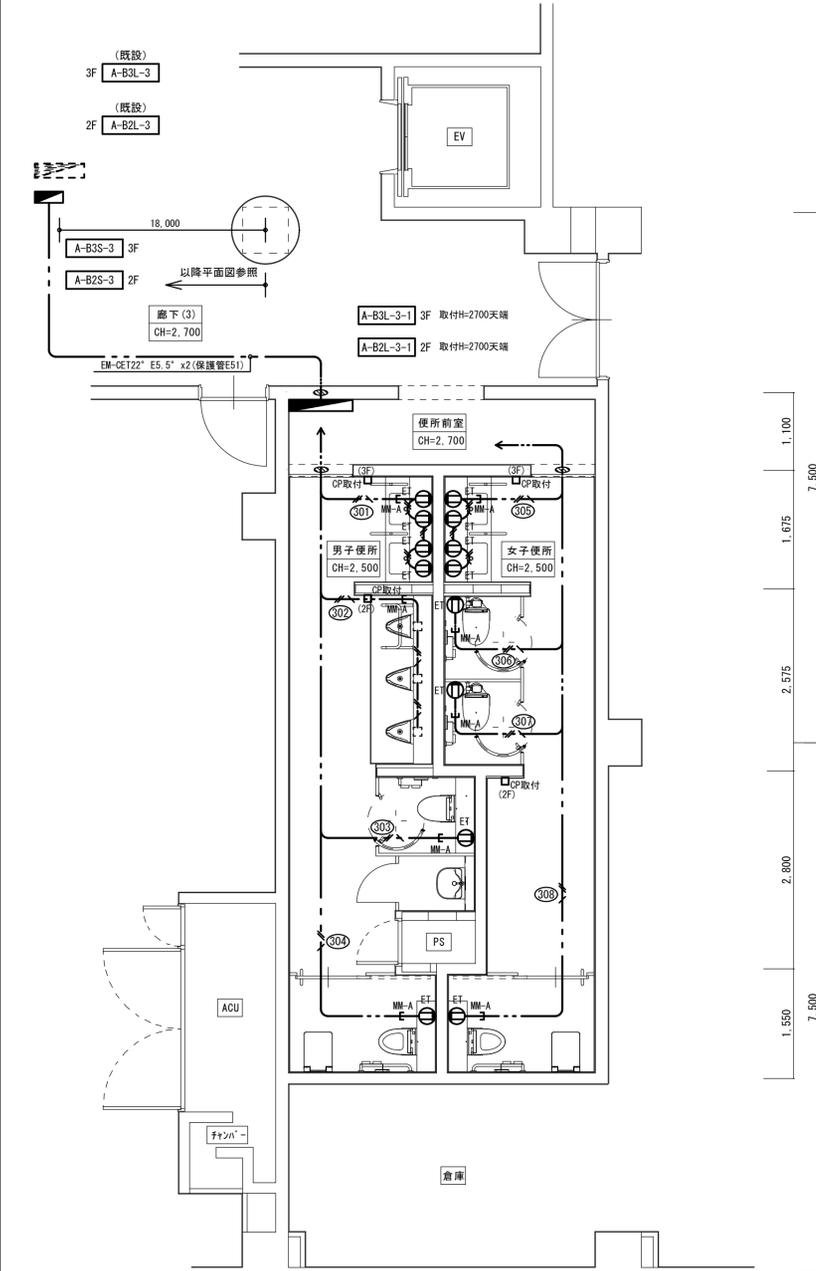
天井内隠蔽配管配線工事	天井内ころがし配線工事
床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事



2-3階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A1: S=1/100 (撤去図)

凡 例	
記 号	名 称
⊙ 2	埋込型コンセント 2P15Ax2口
⊙ 2ET	埋込型コンセント 2P15Ax2口 接地端子付
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

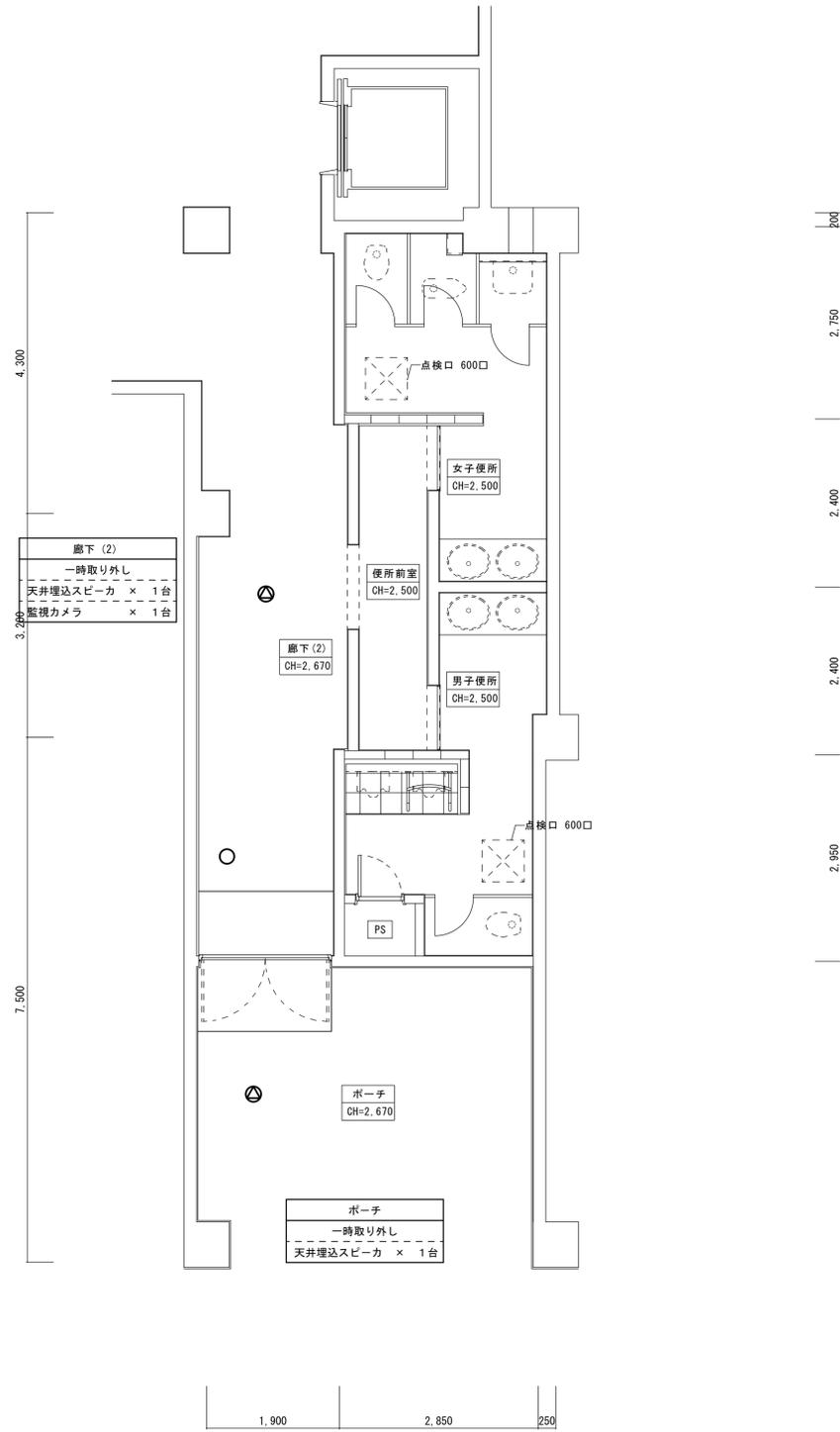
特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
差 込 回 路	VV-F 2.0 - 2C (保護管PF 22) VV-F 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	天井内隠蔽配管配線工事 床内隠蔽配管配線工事 天井内こがし配線工事 露出配管工事



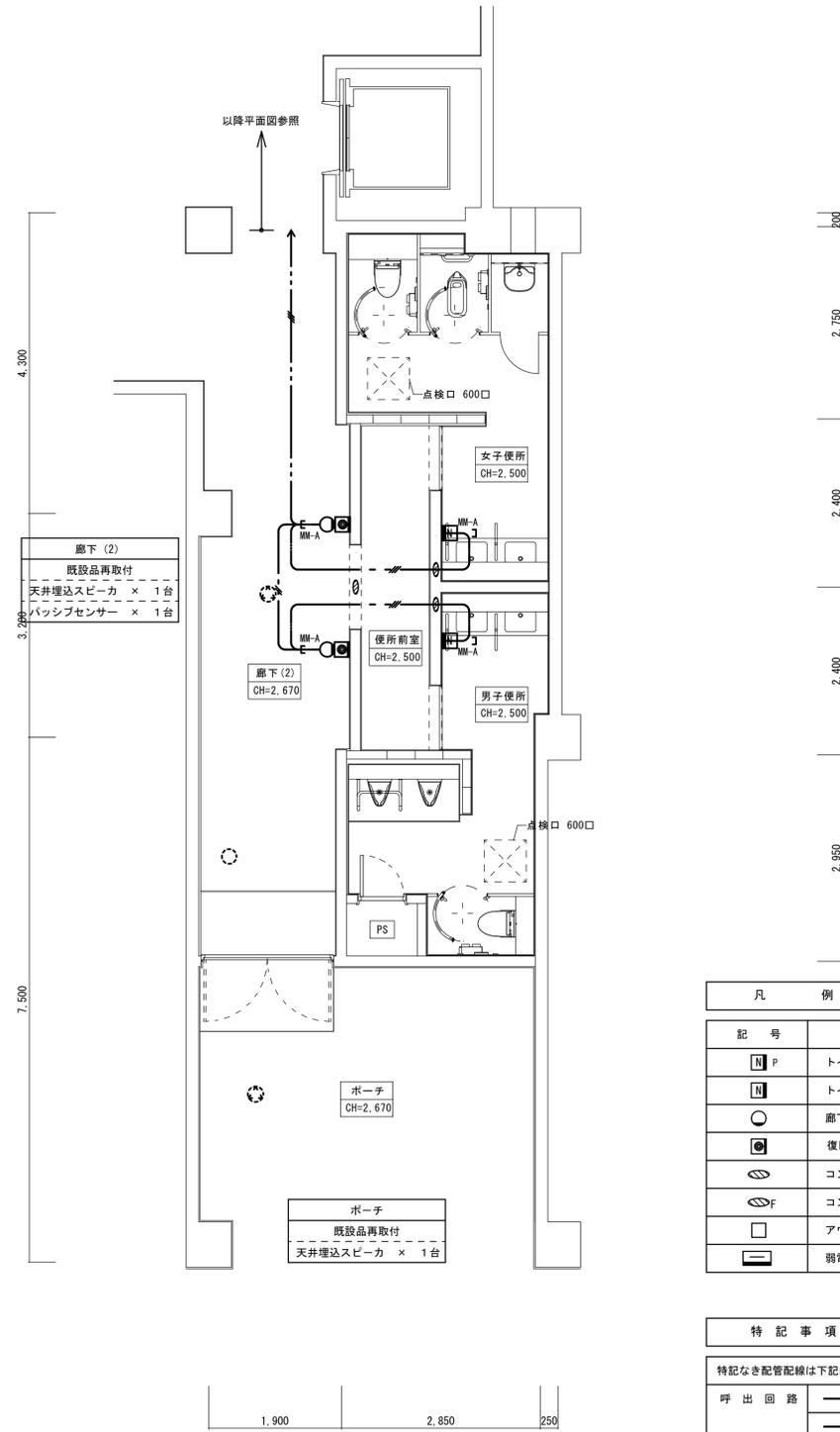
2-3階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50
A1: S=1/100 (改修図)

凡 例	
記 号	名 称
⊙ ET	埋込型コンセント 2P15Ax1口 接地端子付
⊙	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
⊙ F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
■	電灯分電盤

特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
差 込 回 路	EM-EEF 2.0 - 3C(1E) (保護管PF 22)
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	天井内隠蔽配管配線工事 床内隠蔽配管配線工事 天井内こがし配線工事 露出配管工事



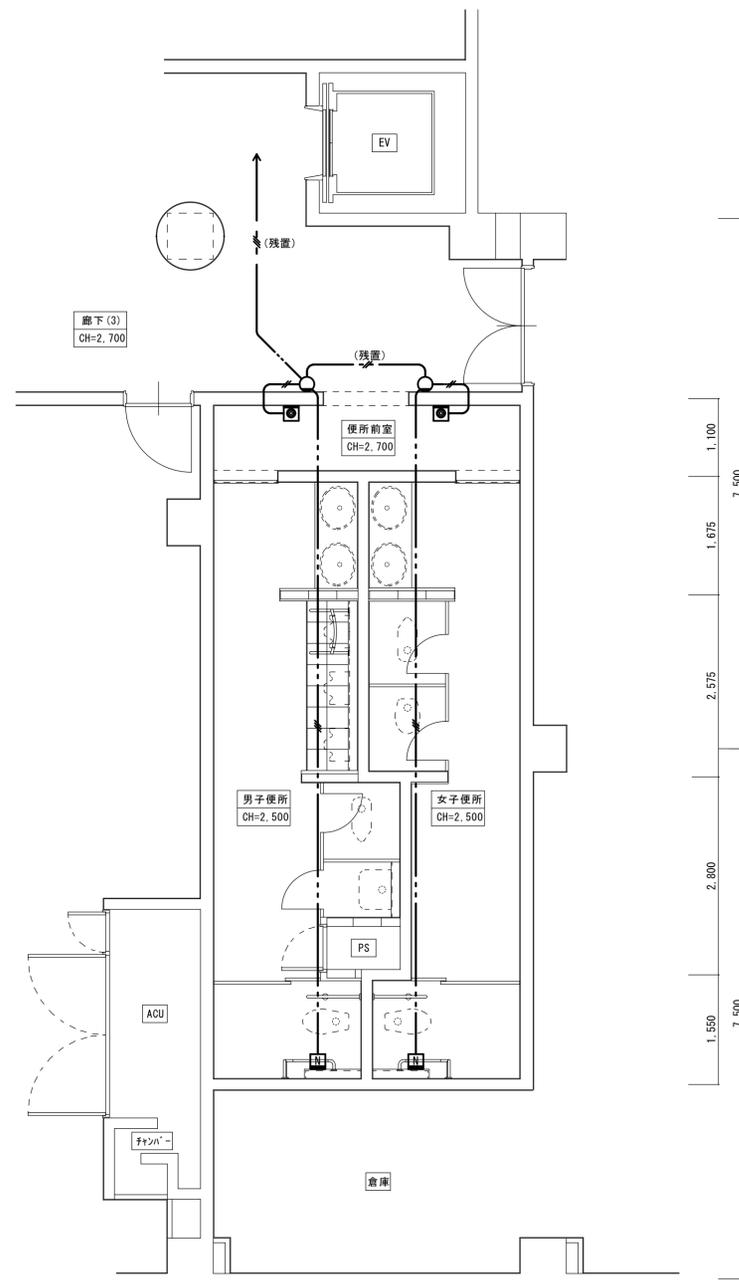
1階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (撤去図)



1階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (改修図)

凡 例	
記 号	名 称
□ P	トイレ用呼出ボタン ひも付
□	トイレ用呼出ボタン
○	廊下灯
□	復旧ボタン
○	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
○ F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
□	弱電端子盤

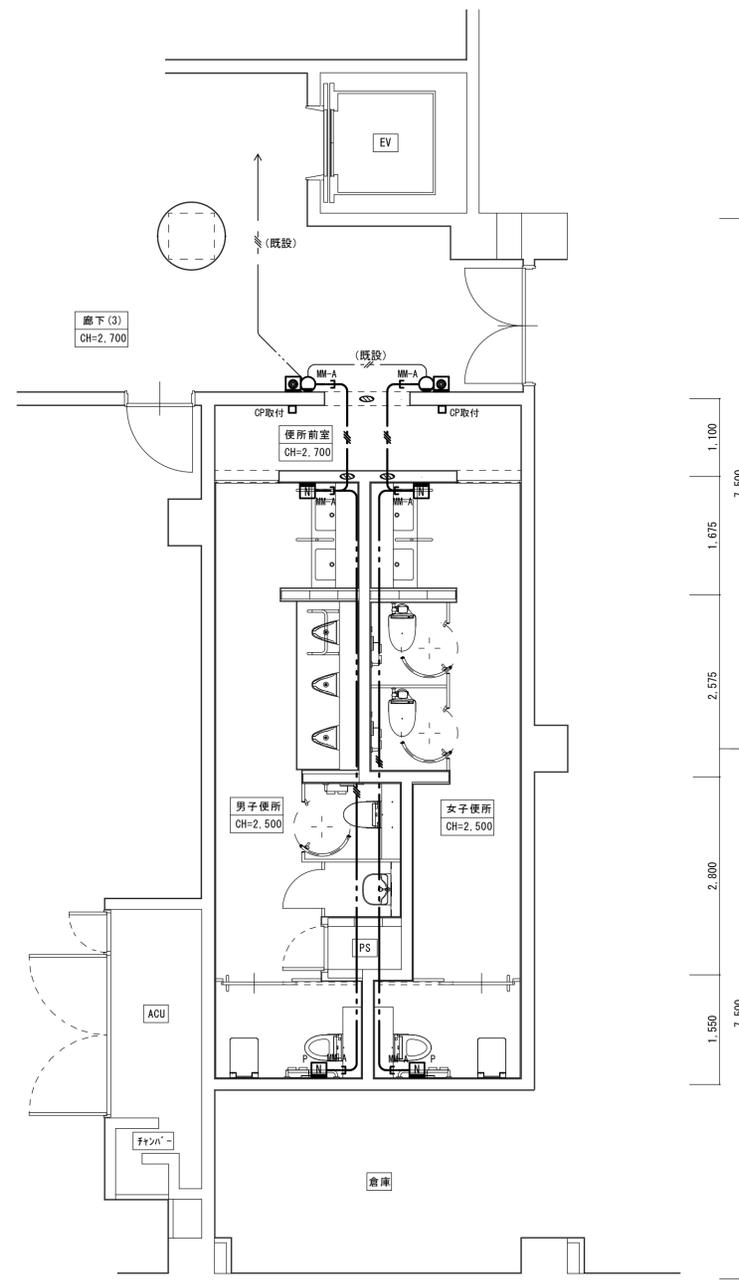
特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
呼 出 回 路	EM-AE 1.2 - 2C (保護管PF 16)
	EM-AE 1.2 - 3C (保護管PF 16)
二重天井内配線はケーブルがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
———	天井内こころし配線工事
---	床内隠蔽配管配線工事
---	露出配管工事



2-3階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (撤去図)

凡 例	
記 号	名 称
NP	トイレ用呼出ボタン ひも付
N	トイレ用呼出ボタン
○	廊下灯
⊙	復旧ボタン
◊	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
◊F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
⊞	弱電端子盤

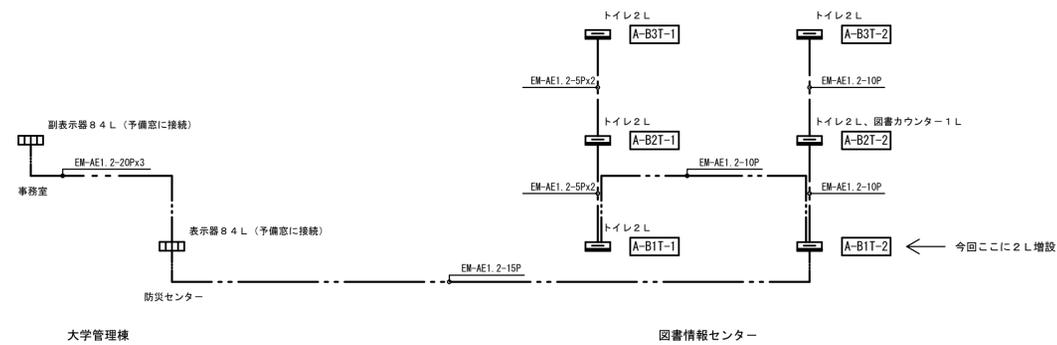
特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
呼 出 回 路	AE 1.2 - 2C (保護管PF 16)
	AE 1.2 - 3C (保護管PF 16)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	天井内隠蔽配管配線工事 天井内ころがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事 露出配管工事



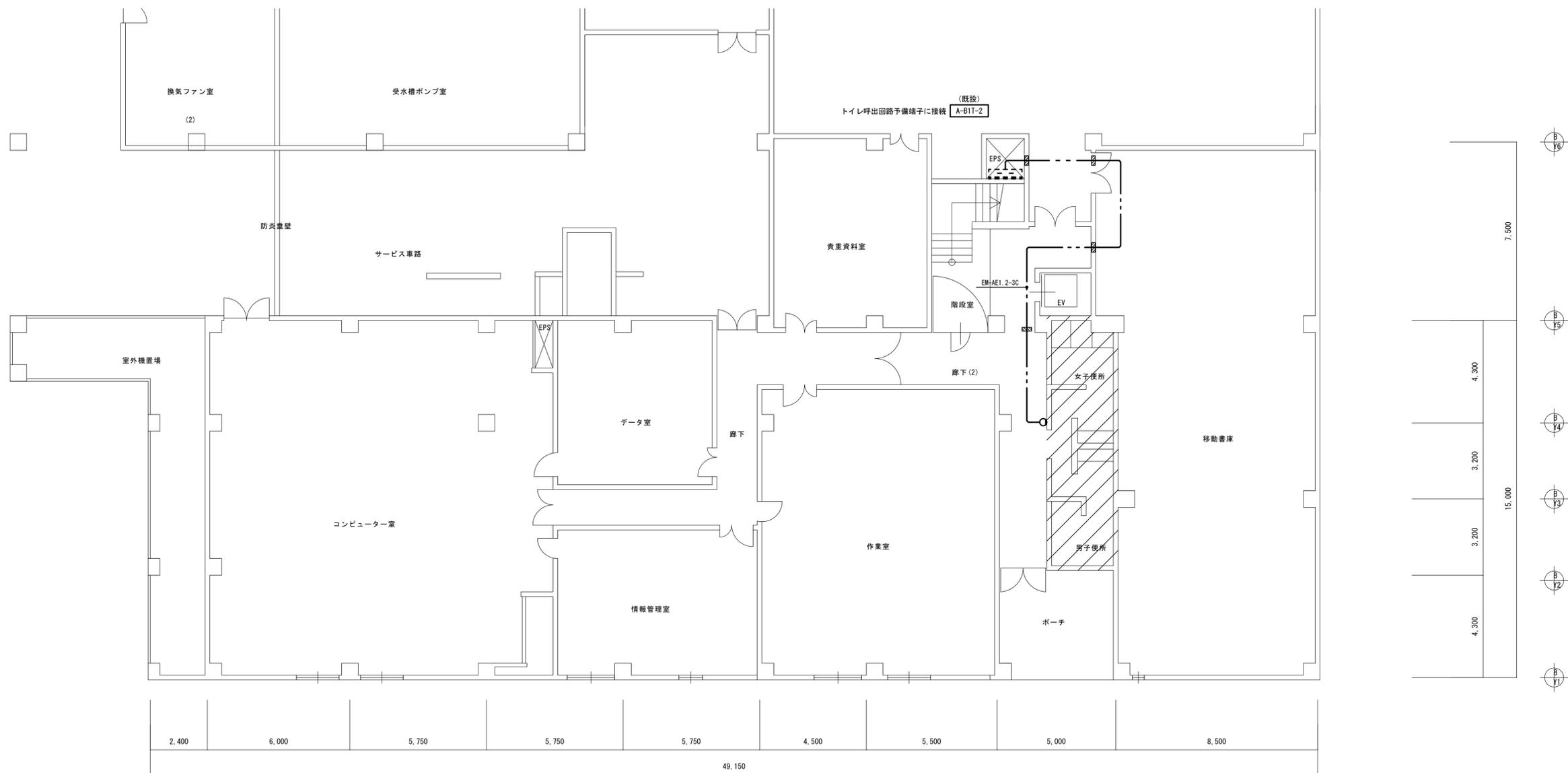
2-3階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50 A1: S=1/100 (改修図)

凡 例	
記 号	名 称
NP	トイレ用呼出ボタン ひも付
N	トイレ用呼出ボタン
○	廊下灯
⊙	復旧ボタン
◊	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
◊F	コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
□	アウトレットボックス VE製
⊞	弱電端子盤

特 記 事 項	
特記なき配管配線は下記による。	
呼 出 回 路	EM-AE 1.2 - 2C (保護管PF 16)
	EM-AE 1.2 - 3C (保護管PF 16)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	天井内隠蔽配管配線工事 天井内ころがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事 露出配管工事



既存トイレ呼出設備系統図



図書情報センター A5棟1階平面図

- : コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター)
- : コンクリート壁貫通工事 (ダイヤモンドカッター) 区画処理含む
- : 既設ラック用区画貫通処理材

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事		設計図
24枚の内	A5図書情報センター棟	D. R. 05・03
E-24	弱電設備図	担 当
	1階平面図 (改修後)	AT-S17/100 A3-S1/100
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士No.253120 横江 敏 幸

〈新設〉衛生器具リスト

器具名	参考品番 TOTO	付属品	合計	屋外	A2学生厚生棟				A4共通講義棟						A5図書情報センター棟						備考
					1階		2階		1階		2階		3階		1階		2階		3階		
					男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	
洋風便器	UAXC3CS1B1 (フラッシュタンク式)	TOF5830S(瞬間式、騒音装置、便蓋あり)、エコリモコン、センサースイッチ、フラッシュタンク式用点検口付ライニング、便器消毒ディスペンサー、SUS製棚付二連式紙巻器(YH702)	23		2	3	1	3		2	1	3	1	3	1	1	1	1			
洋風便器	UAXC3CS1B1 (フラッシュタンク式)	TOF5830YS(瞬間式、騒音装置、便蓋なし)、エコリモコン、センサースイッチ、フラッシュタンク式用点検口付ライニング、便器消毒ディスペンサー、SUS製棚付二連式紙巻器(YH702)	14		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	
洋風便器	CFS494NKNA (フラッシュバルブ式)	TOF5830ADS(瞬間式、騒音装置、便蓋あり)、エコリモコン、センサースイッチ、便器消毒ディスペンサー、SUS製棚付二連式紙巻器(YH702)	4															2		2	
和風便器	C755VU (フラッシュバルブ式)	TEFV70UHA(自動フタ開閉機構)、配管セット、THE27(電波受信ユニット)、TES47MR(加熱付ユニット)、騒音装置(YES412R、AC100V)、SUS製棚付二連式紙巻器(YH702)	5		1	1			1	1						1					
壁掛小便器(2連)	XPU21A (マイクロ波センサー)	小便器(XPU21Ax2)、ライニングパーツ(UAUN62RA1W)、小便器用手すり(T115CU3R#NW1)、ハイドロセラ・フロアPU(AB690BR#HB4x3)	5				1		1		1			1							
壁掛小便器(2連)	XPU21A (マイクロ波センサー)	小便器(XPU21Ax2)、ライニングパーツ(UAUN62NA1W)、ハイドロセラ・フロアPU(AB690BR#HB4x3)	4				1		1		1										
壁掛小便器(3連)	XPU21A (マイクロ波センサー)	小便器(XPU21Ax3)、ライニングパーツ(UAUN63RA1W)、小便器用手すり(T115CU3R#NW1)、ハイドロセラ・フロアPU(AB690BR#HB4x3)	3		1											1			1		
壁掛小便器(3連)	XPU21A (マイクロ波センサー)	小便器(XPU21Ax3)、ライニングパーツ(UAUN63NA1W)、ハイドロセラ・フロアPU(AB690BR#HB4x3)	1		1																
マーブライトカウンター	MLWE-600 ツインデッキタイプ ボール2連・陶器タイプ	L=1480、スペースアップタイプ、自動水栓(REAH03B1RS125A=電気温水器付、AC100V)x2、自動水石けん供給栓(TLK06S04JA)、ﾌﾞﾗｯﾄ共 止水栓、排水金具、ブラケット、カウンター専用専用手すり(M268Nx2)1ヶ所、フロントパネル(扉式)MFS、扉、底板	4													1	1	1	1		
マーブライトカウンター	MLWE-600 ツインデッキタイプ ボール2連・陶器タイプ	L=1510、スペースアップタイプ、自動水栓(REAH03B1RS125A=電気温水器付、AC100V)x2、自動水石けん供給栓(TLK06S04JA)、ﾌﾞﾗｯﾄ共 止水栓、排水金具、ブラケット、カウンター専用専用手すり(M268Nx2)1ヶ所、フロントパネル(扉式)MFS、扉、底板	2											1	1						
マーブライトカウンター	MLWE-600 ツインデッキタイプ ボール2連・陶器タイプ	L=1670、スペースアップタイプ、自動水栓(REAH03B1RS125A=電気温水器付、AC100V)x2、自動水石けん供給栓(TLK06S04JA)、ﾌﾞﾗｯﾄ共 止水栓、排水金具、ブラケット、カウンター専用専用手すり(M268Nx2)1ヶ所、フロントパネル(扉式)MFS、扉、底板	3					1		1		1									
マーブライトカウンター	MLWE-600 ツインデッキタイプ ボール2連・陶器タイプ	L=2150、スペースアップタイプ、自動水栓(REAH03B1RS125A=電気温水器付、AC100V)x2、自動水石けん供給栓(TLK06S04JA)、ﾌﾞﾗｯﾄ共 止水栓、排水金具、ブラケット、カウンター専用専用手すり(M268Nx2)1ヶ所、フロントパネル(扉式)MFS、扉、底板	2				1	1													
マーブライトカウンター	MLWE-600 ツインデッキタイプ ボール3連・陶器タイプ	L=2460、スペースアップタイプ、自動水栓(REAH03B1RS125A=電気温水器付、AC100V)x3、自動水石けん供給栓(TLK06S04JA)、ﾌﾞﾗｯﾄ共 止水栓、排水金具、ブラケット、カウンター専用専用手すり(M268Nx2)1ヶ所、フロントパネル(扉式)MFS、扉、底板	2		1	1															
マーブライトカウンター	MLWE-600 ツインデッキタイプ ボール4連・陶器タイプ	L=3270、スペースアップタイプ、自動水栓(REAH03B1RS125A=電気温水器付、AC100V)x4、自動水石けん供給栓(TLK06S04JA)、ﾌﾞﾗｯﾄ共 止水栓、排水金具、ブラケット、カウンター専用専用手すり(M268Nx2)1ヶ所、フロントパネル(扉式)MFS、扉、底板	3						1		1		1								
マルチシンク	SK500 (シンク)	T200BSQ13(水栓)、T6PMR、TL2200	8		1		1		1		1		1		1	1		1			
モップ掛けパネル	UTR422S		8		1		1		1		1		1		1	1		1			
化粧鏡	EL80017	洗面器用(450x1000)、取付金具共	40		3	3	2	2	2	4	2	4	2	4	2	4	2	2	2	2	
化粧鏡	YMK50K	全身用(300x16x1500)、取付金具共	16		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
フック	YKH22		46		4	5	2	4	2	4	2	4	2	4	1	2	2	3	2	3	
手すり	T112CL9	L型、取付金具共	14		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	
手すり	T112C4	I型、取付金具共	9		1	1			1	1	1	1	1	1		1					
フィッティングボード	YKA41R		14		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	

注) リスト中の数量については参考として、平面詳細図より確認をすること。尚、数量の相違がある場合は、平面詳細図を優先とすること。

注) リストに記載なき必要な付属品は標準品を設置すること。

注) 洋風便器用ライニング、小便器用、マーブライトカウンター等の詳細図寸法について、建築施工図を確認したうえで発注すること。

注) 色の選択が可能な器具類について、発注者と協議のうえで決定すること。

注) 器具取付部分の補強は建築工事とするが、補強の必要箇所及び採用メーカーの取付要領を建築工事施工業者へ提示し、調整を行うこと。

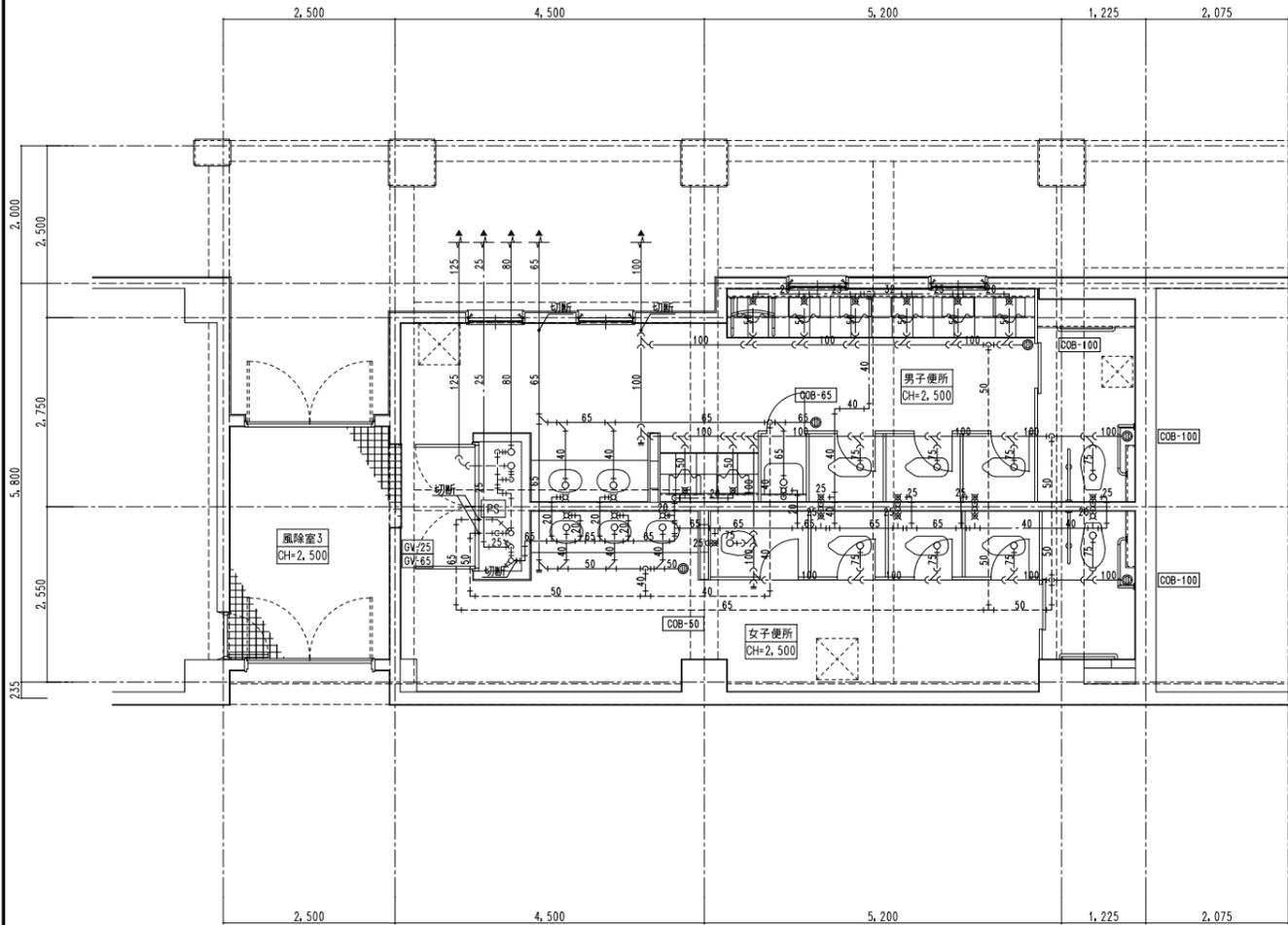
注) 採用するメーカーの仕様書を電気設備施工業者へ提示し、電源供給(器具の位置)等の調整を行うこと。

1階 男子便所		
名称	仕様	数量
和風便器	フラッシュ弁式	3
大便器	フラッシュ弁式	1
紙巻器		4
小便器	壁掛形	7
小便器	床置形	1
掃除用流し		1
はめ込み洗面器	水栓1個	2
化粧鏡		2
洗面カウンター	L=1700	1
手すり	小便器用	1
手すり	大便器用	1
手すり	L型	1

注記) 付属品共、場外搬出処分とする

1階 女子便所		
名称	仕様	数量
和風便器	フラッシュ弁式	3
大便器	フラッシュ弁式	2
紙巻器		5
掃除用流し		1
はめ込み洗面器	水栓1個	3
化粧鏡		3
洗面カウンター	L=2430	1
手すり	大便器用	1
手すり	L型	1

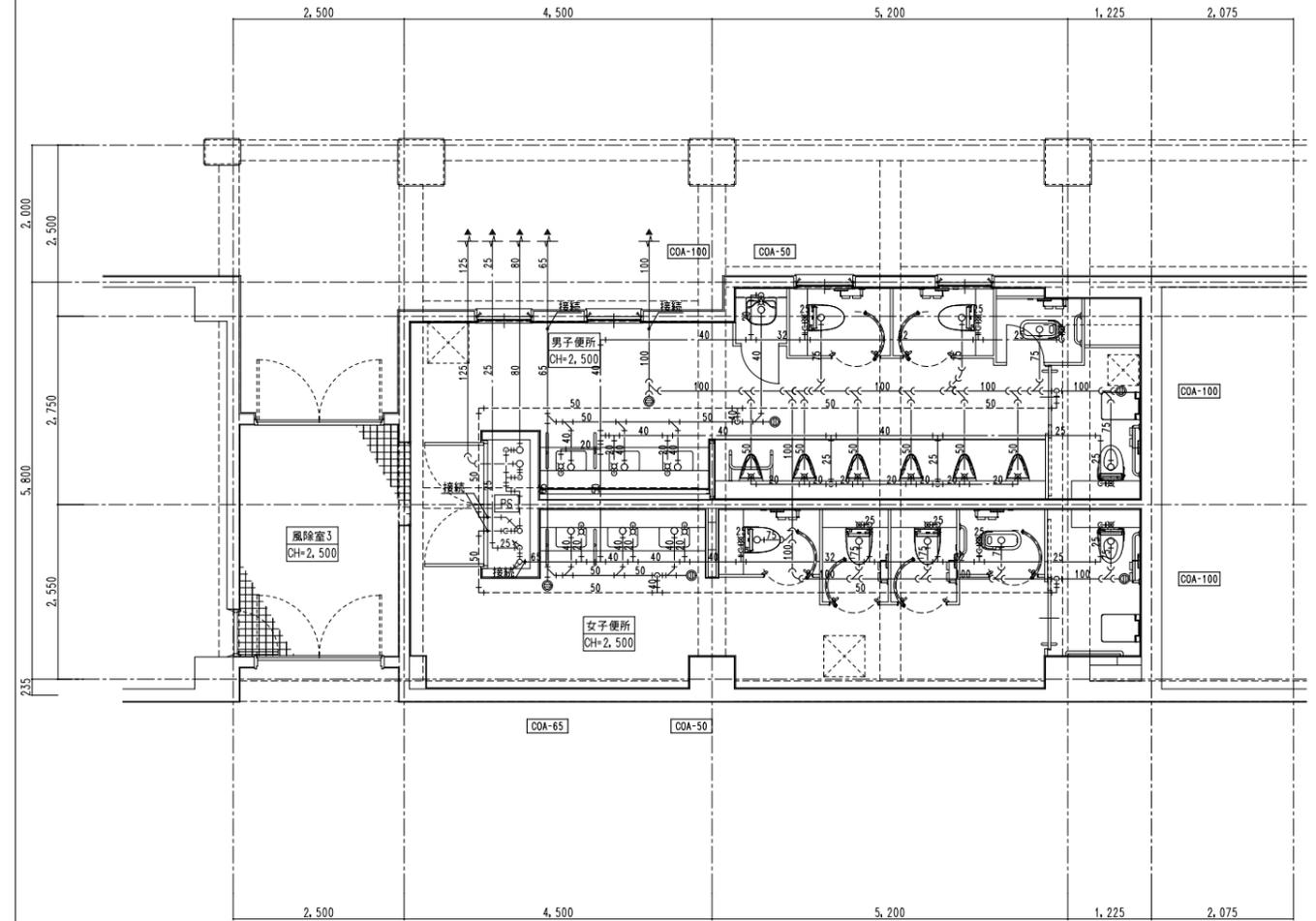
注記) 付属品共、場外搬出処分とする



1階平面詳細図 A1: S-1/50 A3: S-1/100

注記: 特記なき太線は撤去とする。

はつり工事リスト (参考)					
貫通穴仕様	貫通穴仕様	管種	呼び径	給水用	排水用
75φ	200mm	SGP-VA	~25A	18	0
100φ	200mm	SGP-VA	~50A	0	0
		VP	~50A	0	15
125φ	200mm	SGP-VA	~65A	0	0
150φ	200mm	VP	~75A	0	10
175φ	200mm	VP	100A	0	3



1階平面詳細図 A1: S-1/50 A3: S-1/100

注記: 特記なき太線は新設とする。

共通事項	
1.	衛生器具設置に必要な貫通部あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。
2.	穴あけ前に鉄筋探査を行うこと。
3.	鉄筋を切断した場合、鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(100片面)とする。
4.	天井改修は建築工事とする。

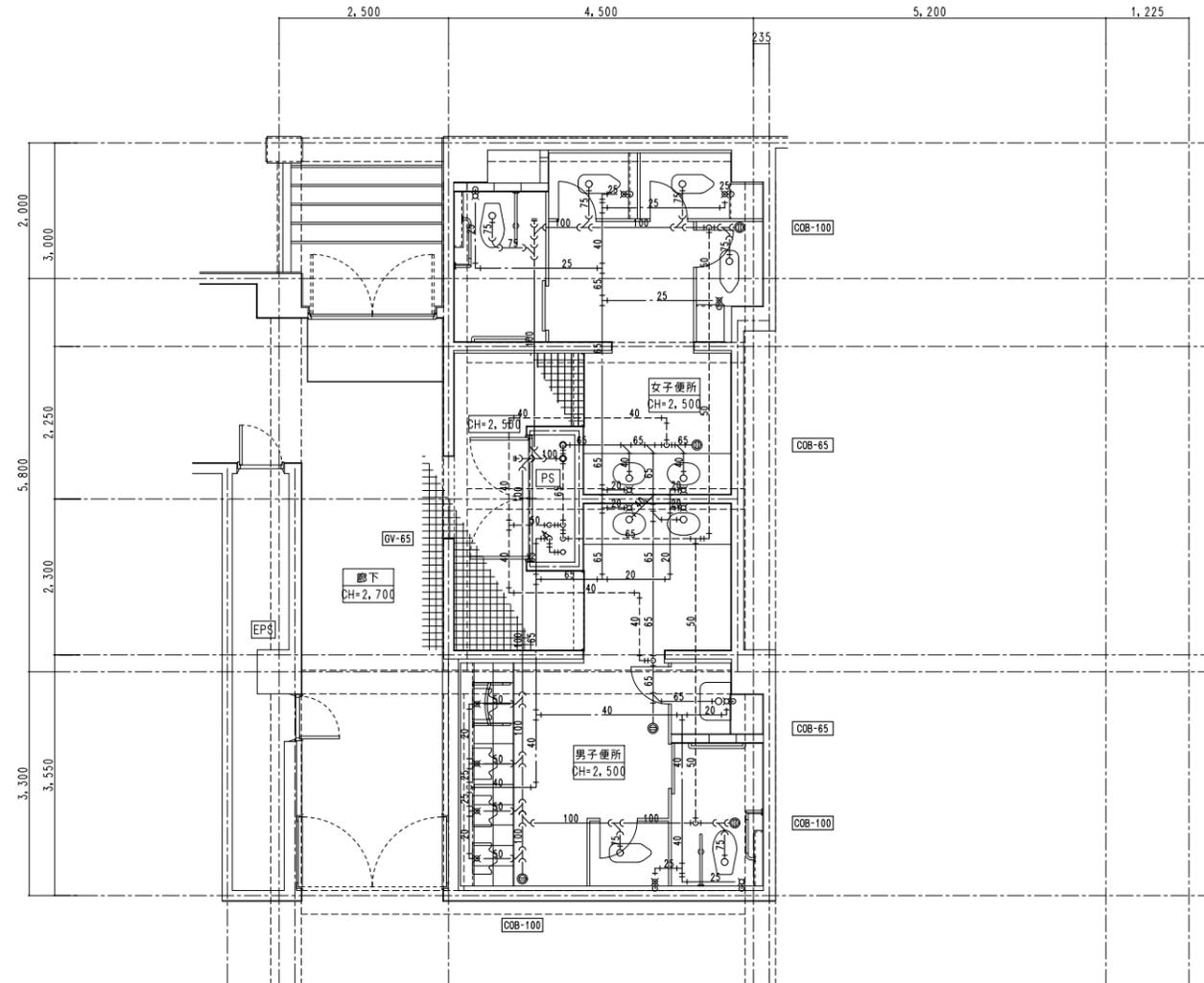
滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事			設計図
** 枚の内	A2学生厚生棟	A1: S-1/50 A3: S-1/100	D. R. 5. 0 3
M-03	給排水衛生器具設備		担 当
1階平面詳細図 (改修前・改修後)			
株式会社 岩佐建築設計事務所			一級建築士 No.253120 横江 敏 幸

2階 男子便所			撤去・処分		
名称	仕様	数量			
和風便器	フラッシュ弁式	1			
大便器	フラッシュ弁式	1			
紙巻器		2			
小便器	壁掛形	3			
小便器	床置形	1			
掃除用流し		1			
はめ込み洗面器	水栓1個	2			
化粧鏡		2			
洗面カウンター	L=2170	1			
手すり	小便器用	1			
手すり	大便器用	1			
手すり	L型	1			

注記) 付属品共、増外搬出処分とする

2階 女子便所			撤去・処分		
名称	仕様	数量			
和風便器	フラッシュ弁式	3			
大便器	フラッシュ弁式	1			
紙巻器		4			
はめ込み洗面器	水栓1個	2			
化粧鏡		2			
洗面カウンター	L=2170	1			
手すり	大便器用	1			
手すり	L型	1			

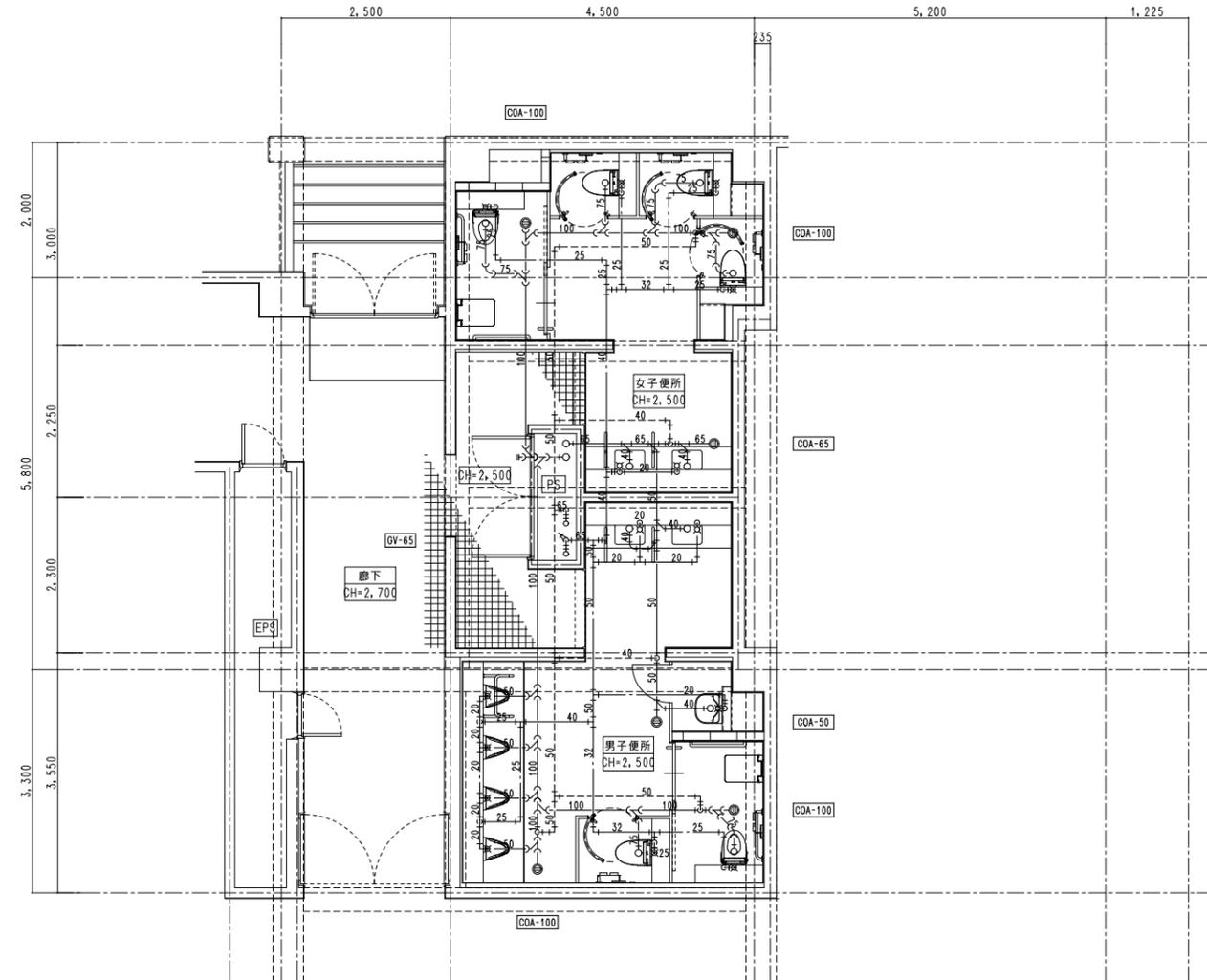
注記) 付属品共、増外搬出処分とする



2階平面詳細図 (改修前) A1: S-1/50
A3: S-1/100

注記: 特記なき太線は撤去とする。

はつり工事リスト (参考)					
貫通穴仕様	管種	呼び径	給水用	排水用	数量
75φ 200mm	SQP-VA	~ 25A	13	0	
100φ 200mm	SQP-VA	~ 50A	0	0	
	VP	~ 50A	0	10	
125φ 200mm	SQP-VA	~ 65A	2	0	
150φ 200mm	VP	~ 75A	0	10	
175φ 200mm	VP	100A	0	5	



2階平面詳細図 (改修後) A1: S-1/50
A3: S-1/100

注記: 特記なき太線は新設とする。

- 共通事項
1. 衛生器具設置に必要な貫通部穴あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。
 2. 穴あけ前に鉄筋探査を行うこと。
 3. 鉄筋を切断した場合、鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(100片面)とする。
 4. 天井改修は建築工事とする。

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事 設計図

** 校の内	A2学生厚生棟	D. R. 5. 03
M-04	給排水衛生器具設備 2階平面詳細図 (改修前・改修後)	担 当

一級建築士 No.253120
株式会社 岩佐建築設計事務所 横江 敏幸

(新設)換気機器リスト

記号	機器名	形式		風量	静圧	ダクト径 羽根径	付属品	電源	電気容量	台数	設置場所	●無きものは一般換気			参考品番
								60Hz				24時間換気 対策	無窓居室 対策	火気使用室 対策	
FED-2300	ストレートシロッコファン	消音形	天吊埋込タイプ	2300m ³ /h	150Pa	300φ	防振吊金物、キャンバス継手x2	3φ-200V	700.0	1	A2学生厚生棟 2階 女子便所x1	---	---	---	BFS-210TUG2
FED-2700	ストレートシロッコファン	消音形	天吊埋込タイプ	2700m ³ /h	150Pa	300φ	防振吊金物、キャンバス継手x2	3φ-200V	810.0	1	A2学生厚生棟 1階 男子便所x1	---	---	---	BFS-240TUA2

注) 採用するメーカーの仕様書を電気設備施工業者へ提示し、電源供給(機器の位置)等の調整を行うこと。

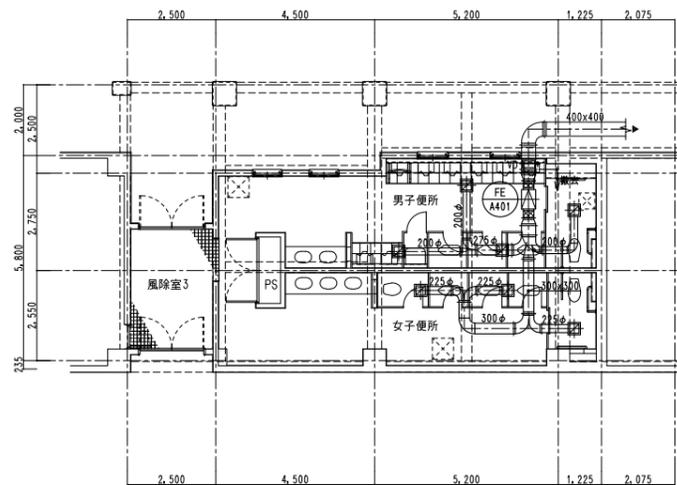
(撤去)換気機器リスト

階数	部屋名	記号	仕様	台数	改修内容
1	A2学生厚生棟 男子便所	FE-A401	静音型ストレートシロッコファン	1	撤去
			番手: #1・1/2x2 2700m ³ /h-150Pa		
2	A2学生厚生棟 女子便所	FE-A402	静音型ストレートシロッコファン	1	撤去
			番手: #2 2300m ³ /h-150Pa		

注) 注記) 付属品共、場外搬出処分とする

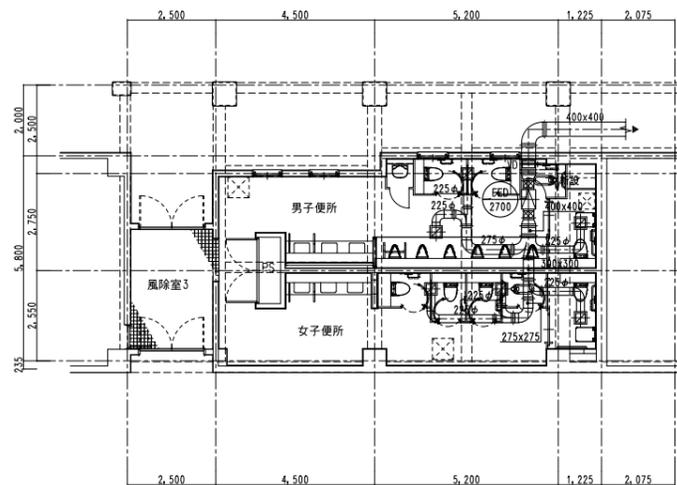
共通事項

1. 衛生器具設置に必要な貫通部穴は本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。
2. 穴あけ前に鉄筋調査を行うこと。
3. 鉄筋を切断した場合、鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(100片面)とする。
4. 天井改修は建築工事とする。



1階平面詳細図(改修前) A1: S=1/100
A3: S=1/200

注記: 特記なき太線は撤去とする。



1階平面詳細図(改修後) A1: S=1/100
A3: S=1/200

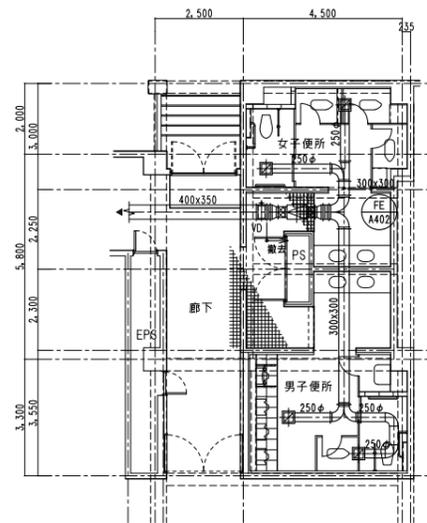
注記: 特記なき太線は新設とする。

男子便所			
EA	HS 300 x 250		4
	BOX 500 x 450 x 400H		

女子便所			
EA	HS 300 x 300		3
	BOX 500 x 500 x 400H		

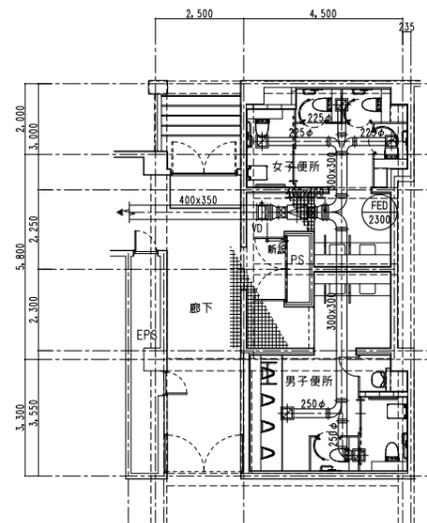
男子便所			
EA	HS 300 x 300		3
	BOX 500 x 500 x 400H		

女子便所			
EA	HS 300 x 300		3
	BOX 500 x 500 x 400H		



2階平面詳細図(改修前) A1: S=1/100
A3: S=1/200

注記: 特記なき太線は撤去とする。



2階平面詳細図(改修後) A1: S=1/100
A3: S=1/200

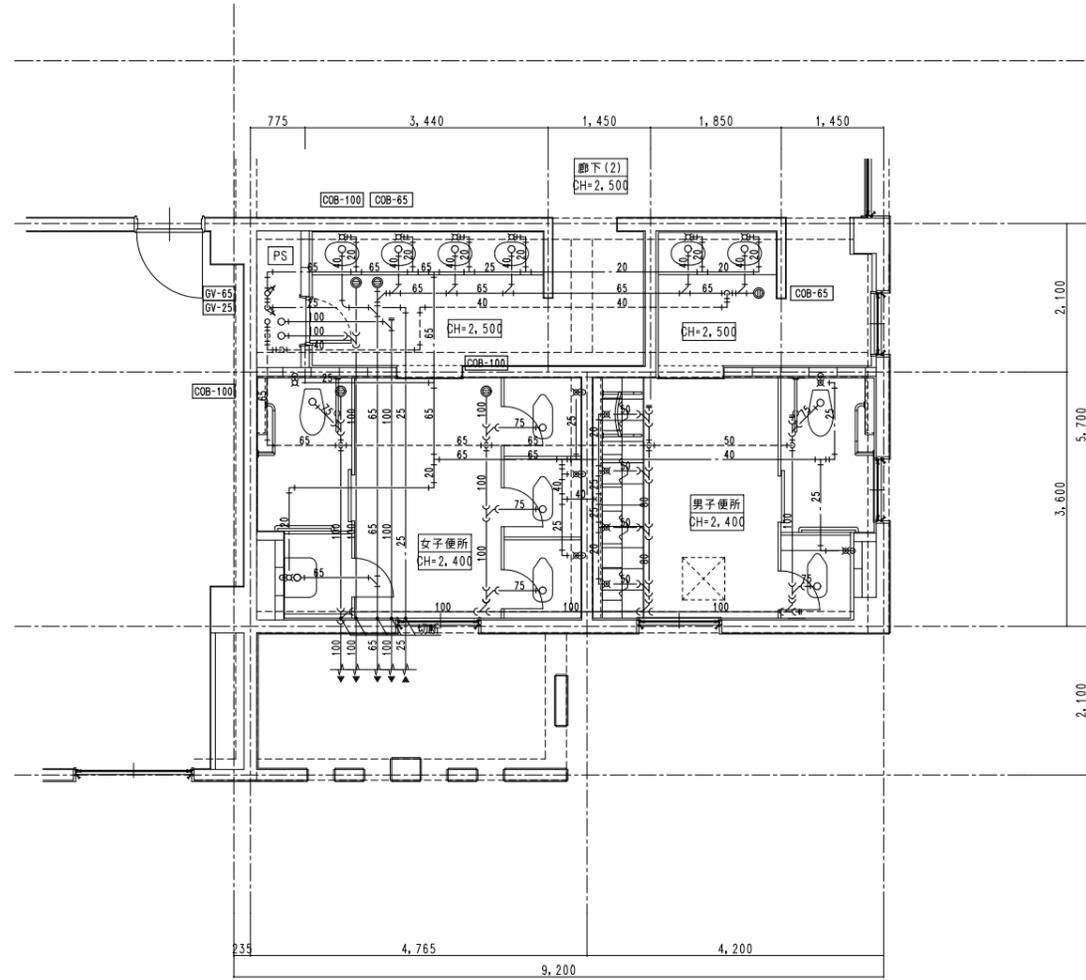
注記: 特記なき太線は新設とする。

1階 女子便所		
名称	仕様	撤去・処分
和風便器	フラッシュ弁式	3
大便器	フラッシュ弁式	1
紙巻器		4
掃除用流し		1
はめ込み洗面器	水栓1個	4
化粧鏡		4
洗面カウンター	L=3270	1
手すり	大便器用	1
手すり	L型	1

注記) 付属品共、場外搬出処分とする

1階 男子便所		
名称	仕様	撤去・処分
和風便器	フラッシュ弁式	1
大便器	フラッシュ弁式	1
紙巻器		2
小便器	壁掛形	3
小便器	床置形	1
掃除用流し		1
はめ込み洗面器	水栓1個	2
化粧鏡		2
洗面カウンター	L=1670	1
手すり	小便器用	1
手すり	大便器用	1
手すり	L型	1

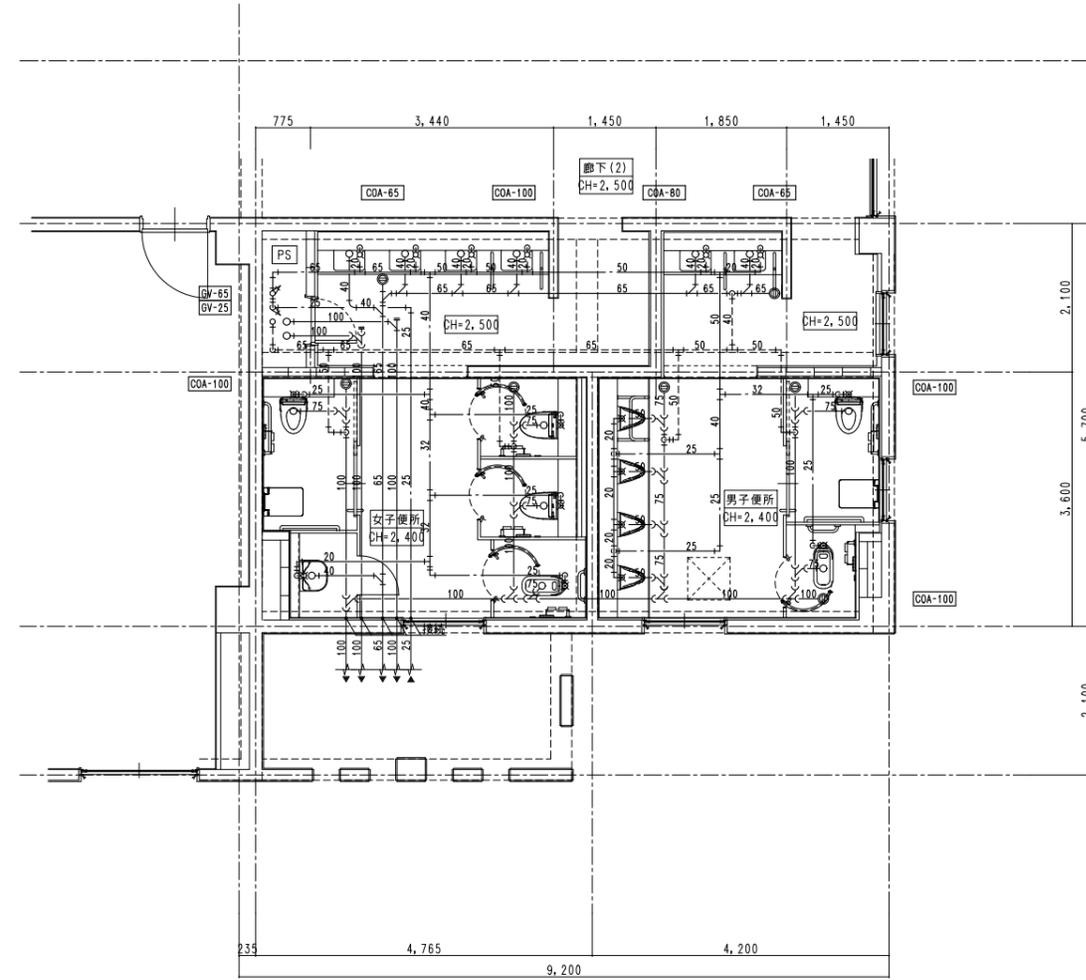
注記) 付属品共、場外搬出処分とする



1階平面詳細図(改修前) A1: S=1/50 A3: S=1/100

注記: 特記なき太線は撤去とする。

はつり工事リスト(参考)				
貫通穴仕様	管種	呼び径	給水用	排水用
75φ 200mm	SGP-VA	~25A	16	0
100φ 200mm	SGP-VA	~50A	0	0
	VP	~50A	0	11
125φ 200mm	SGP-VA	~65A	1	0
150φ 200mm	VP	~75A	0	10
175φ 200mm	VP	100A	0	6



1階平面詳細図(改修後) A1: S=1/50 A3: S=1/100

注記: 特記なき太線は新設とする。

共通事項	
1.	衛生器具設置に必要な貫通部穴あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。
2.	穴あけ前に鉄筋探査を行うこと。
3.	鉄筋を切断した場合、鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(100片面)とする。
4.	天井改修は建築工事とする。

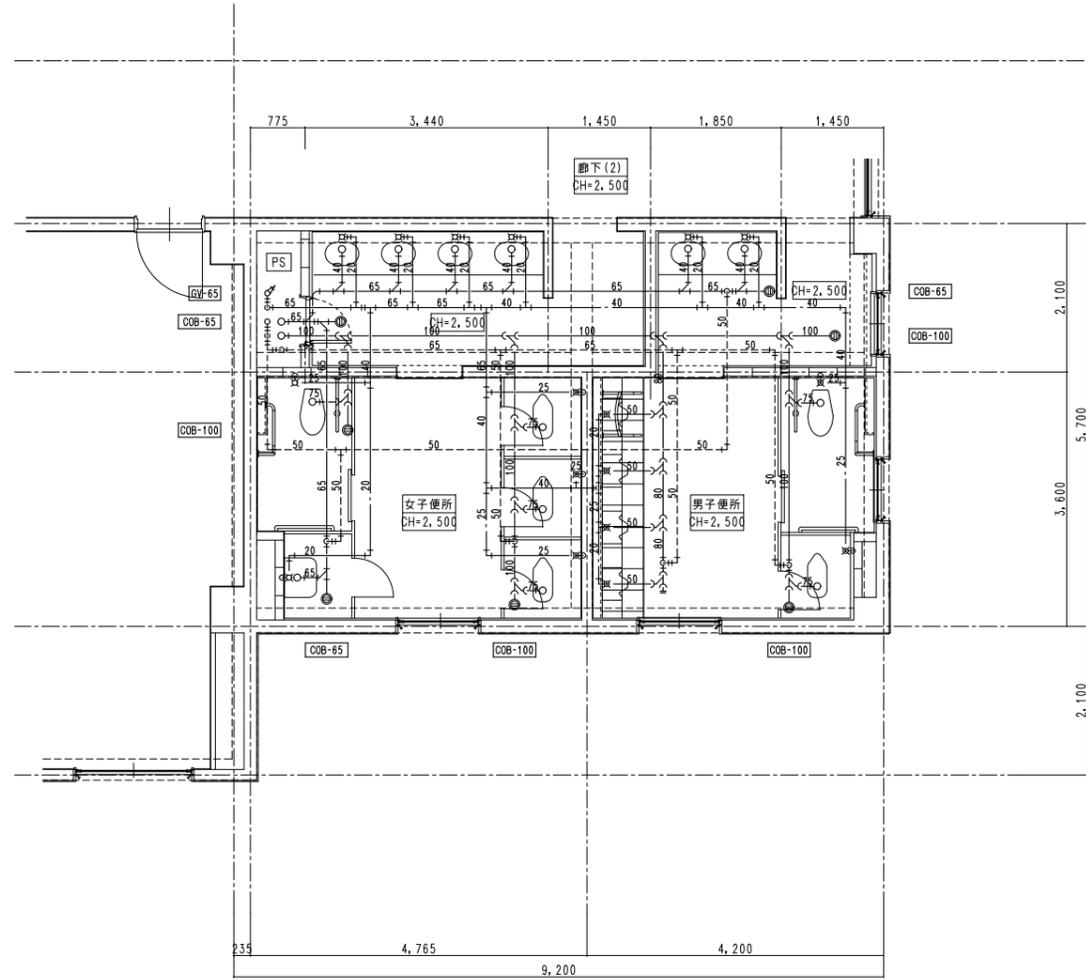
滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事			設計図
** 枚の内	A4共通諸仕様		D. R. 5. 0 3
M-06	給排水衛生器具設備	A1: S=1/50 A3: S=1/100	担 当
1階平面詳細図(改修前・改修後)			
株式会社 岩佐建築設計事務所			一級建築士 No.253120 横江 敏幸

2階 女子便所			撤去・処分		
名称	仕様	数量			
和風便器	フラッシュ弁式	3			
大便器	フラッシュ弁式	1			
紙巻器		4			
掃除用流し		1			
はめ込み洗面器	水栓1個	4			
化粧鏡		4			
洗面カウンター	L=3270	1			
手すり	大便器用	1			
手すり	L型	1			

注記)付属品共、場外搬出処分とする

2階 男子便所			撤去・処分		
名称	仕様	数量			
和風便器	フラッシュ弁式	1			
大便器	フラッシュ弁式	1			
紙巻器		2			
小便器	壁掛形	3			
小便器	床置形	1			
掃除用流し		1			
はめ込み洗面器	水栓1個	2			
化粧鏡		2			
洗面カウンター	L=1670	1			
手すり	小便器用	1			
手すり	大便器用	1			
手すり	L型	1			

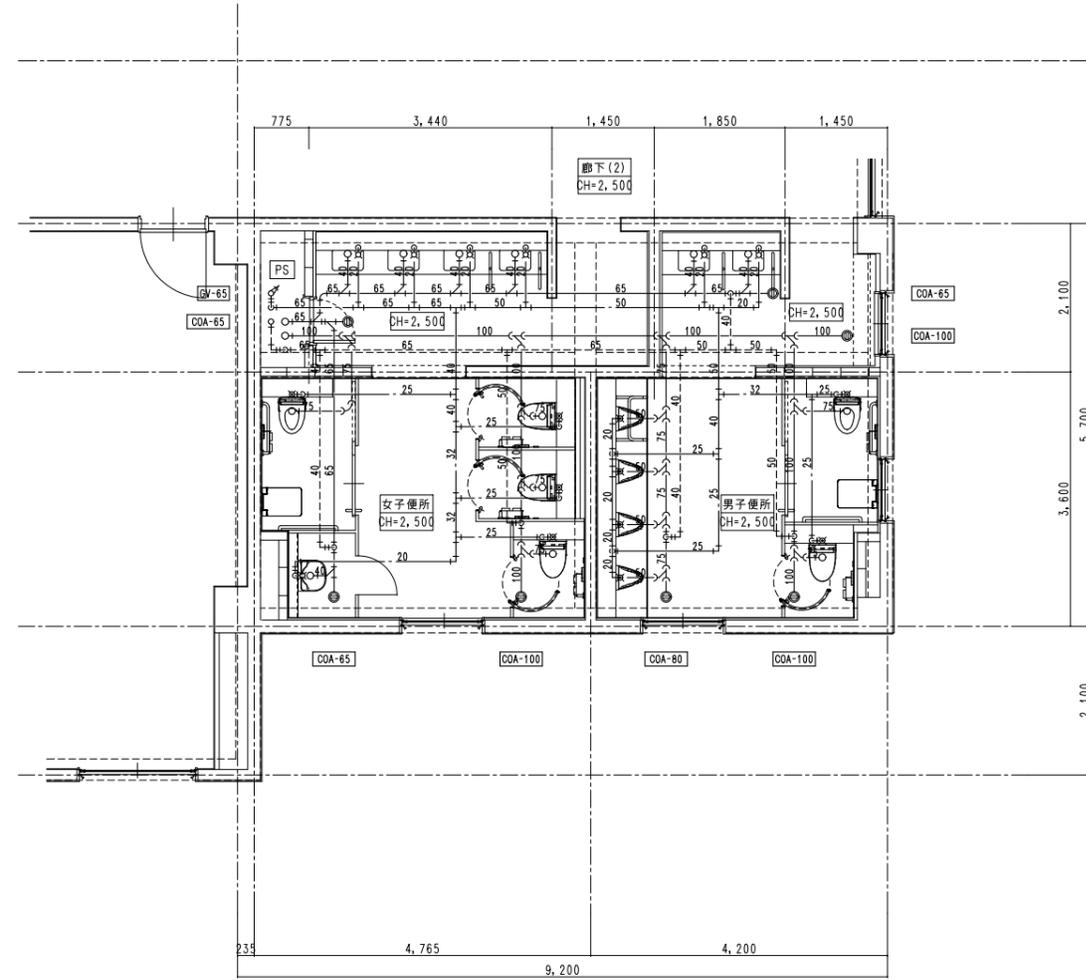
注記)付属品共、場外搬出処分とする



2階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A3: S=1/100

注記: 特記なき太線は撤去とする。

はつり工事リスト (参考)								
貫通穴仕様	開口径	スラブ厚	壁厚	管種	呼び径	数量	給水用	排水用
75φ	200mm			SGP-VA	~25A	15	0	0
100φ	200mm			SGP-VA	~50A	0	0	0
				VP	~50A	0	7	0
125φ	200mm			SGP-VA	~65A	2	0	0
150φ	200mm			VP	~75A	0	12	0
175φ	200mm			VP	100A	0	4	0



2階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50
A3: S=1/100

注記: 特記なき太線は新設とする。

共通事項	
1.	衛生器具設置に必要な貫通部穴あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。
2.	穴あけ前に鉄筋調査を行うこと。
3.	鉄筋を切断した場合、鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(100片面)とする。
4.	天井改修は雑業工事とする。

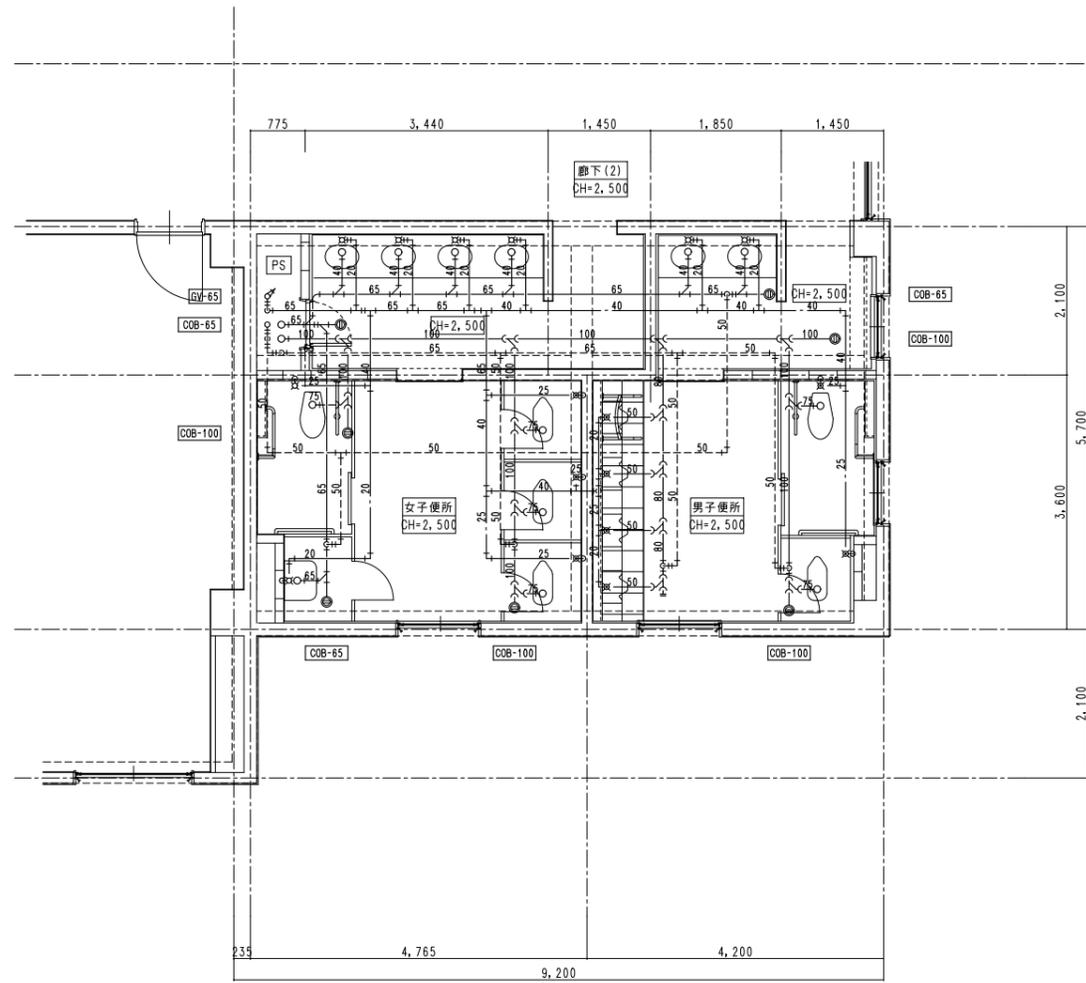
滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事			設計図	
** 枚の内	A4共通諸仕様		D. R. 5. 0 3	
M-07	給排水衛生器具設備	A1: S=1/50 A3: S=1/100	担	当
2階平面詳細図 (改修前・改修後)				
株式会社 岩佐建築設計事務所			一級建築士 No.253120 横江 敏幸	

3階 女子便所			撤去・処分		
名称	仕様	数量			
和風便器	フラッシュ弁式	3			
大便器	フラッシュ弁式	1			
紙巻器		4			
掃除用流し		1			
はめ込み洗面器	水栓1個	4			
化粧鏡		4			
洗面カウンター	L=3270	1			
手すり	大便器用	1			
手すり	L型	1			

注記) 付属品共、場外搬出処分とする

3階 男子便所			撤去・処分		
名称	仕様	数量			
和風便器	フラッシュ弁式	1			
大便器	フラッシュ弁式	1			
紙巻器		2			
小便器	壁掛形	3			
小便器	床置形	1			
掃除用流し		1			
はめ込み洗面器	水栓1個	2			
化粧鏡		2			
洗面カウンター	L=1670	1			
手すり	小便器用	1			
手すり	大便器用	1			
手すり	L型	1			

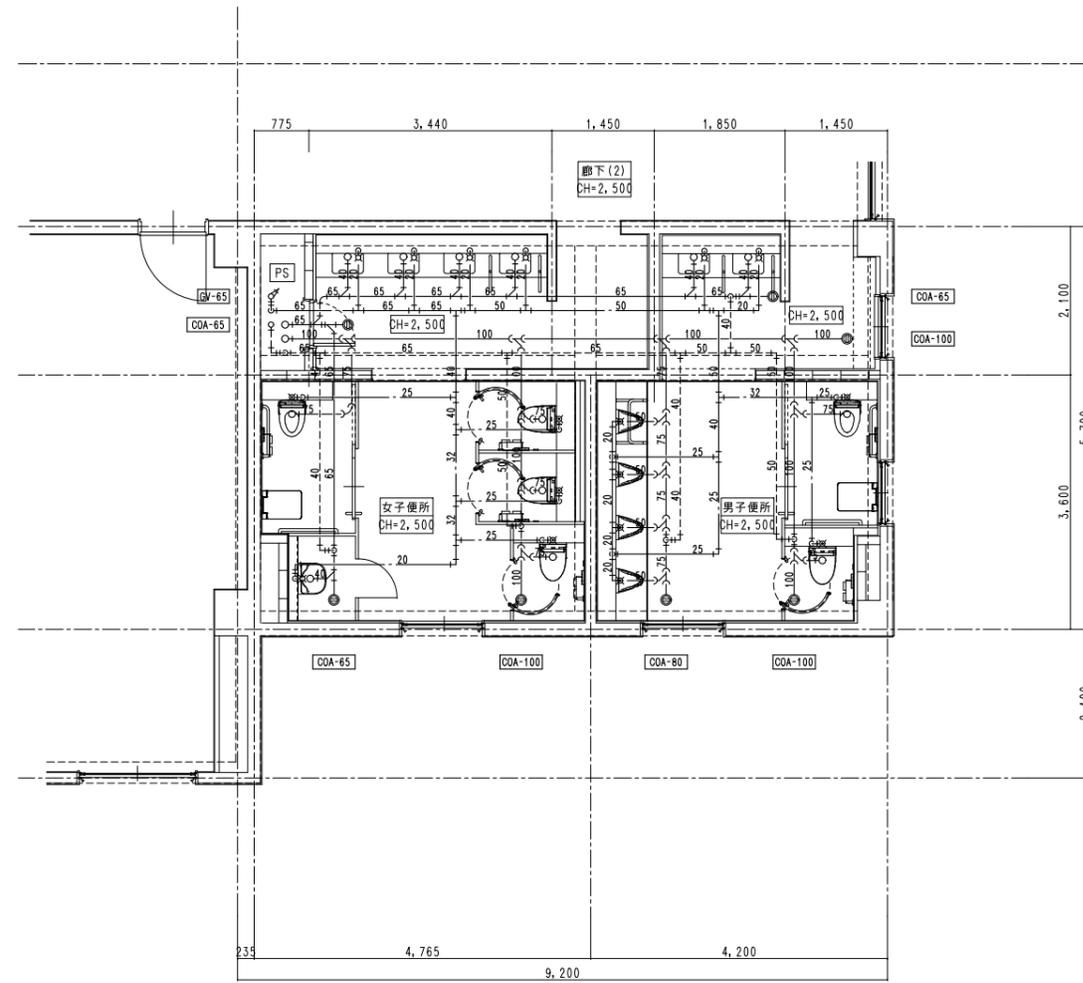
注記) 付属品共、場外搬出処分とする



3階平面詳細図 (改修前) A1: S-1/50
A3: S-1/100

注記: 特記なき太線は撤去とする。

はつり工事リスト (参考)					
貫通穴仕様	貫通穴仕様	管種	呼び径	給水用	排水用
開口径	スラブ厚	壁厚			
75φ	200mm		SGP-VA	~ 25A	15
100φ	200mm		SGP-VA	~ 50A	0
			VP	~ 50A	0
			VP	~ 50A	11
125φ	200mm		SGP-VA	~ 65A	2
150φ	200mm		VP	~ 75A	0
175φ	200mm		VP	100A	0
					4



3階平面詳細図 (改修後) A1: S-1/50
A3: S-1/100

注記: 特記なき太線は新設とする。

共通事項	
1.	衛生器具設置に必要な貫通部穴あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。
2.	穴あけ前に鉄筋検査を行うこと。
3.	鉄筋を切断した場合、鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(100片面)とする。
4.	天井改修は雑業工事とする。

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事			設計図	
** 枚の内	A4共通議義様		D. R. 5. 0 3	
M-08	給排水衛生器具設備	A1: S-1/50 A3: S-1/100	担	当
3階平面詳細図 (改修前・改修後)				
株式会社 岩佐建築設計事務所			一級建築士 No.253120 横江 敏幸	

(新設)換気機器リスト

記号	機器名	形式	風量	静圧	ダクト径 羽根径	付属品	電源	電気容量	台数	設置場所	●無きものは一般換気			参考品番
							60Hz				24h換気 対策	無窓居室 対策	火気使用室 対策	
FED-1700	ストレートシロッコファン	消音形 天吊埋込タイプ	1700 ^{m³/h}	150 Pa	250 φ	防振吊金物、キャンパス継手x2	1φ-100V	490.0 W	3	A4共通講義棟 1階 女子便所x1 2階 女子便所x1 3階 女子便所x1	---	---	---	BFS-150SU02

注)採用するメーカーの仕様書を電気設備施工業者へ提示し、電源供給(機器の位置)等の調整を行うこと。

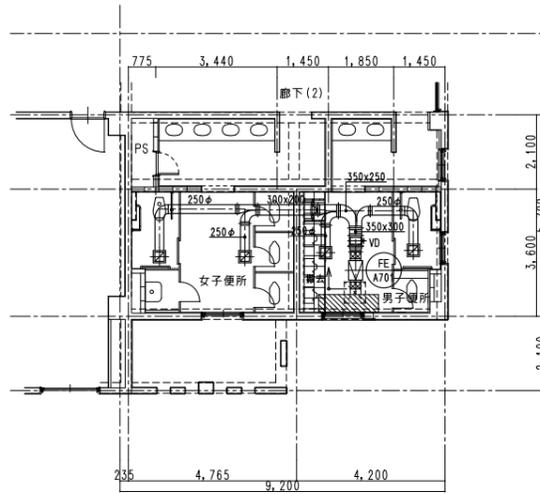
(撤去)換気機器リスト

階数	部屋名	記号	仕様	台数	改修内容
1	A4共通講義棟 女子便所	FE-A701	静音型ストレートシロッコファン	1	撤去
			番手: #1・3/4 1900 ^{m³/h} -150Pa		
2	A4共通講義棟 女子便所	FE-A701	静音型ストレートシロッコファン	1	撤去
			番手: #1・3/4 1900 ^{m³/h} -150Pa		
3	A4共通講義棟 女子便所	FE-A701	静音型ストレートシロッコファン	1	撤去
			番手: #1・3/4 1900 ^{m³/h} -150Pa		

注)注記)付属品共、場外搬出処分とする

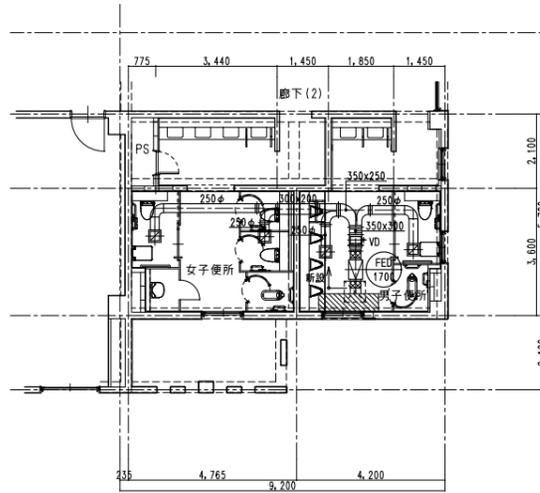
共通事項

1. 衛生器具設置に必要な貫通部穴あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。
2. 穴あけ前に鉄筋検査を行うこと。
3. 鉄筋を切断した場合、鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(100片面)とする。
4. 天井改修は建築工事とする。



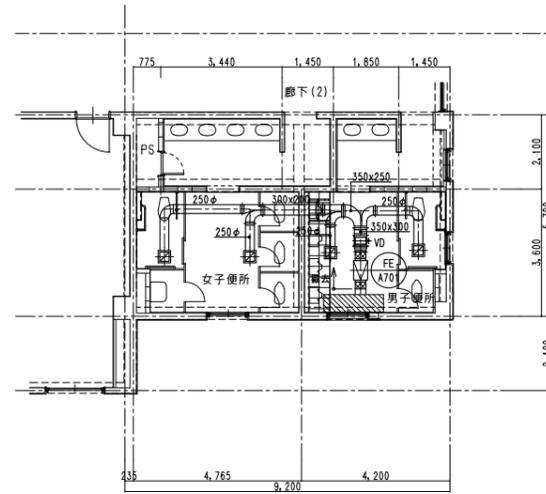
1階平面詳細図(改修前) A1: S=1/100
A3: S=1/200

注記: 特記なき太線は撤去とする。



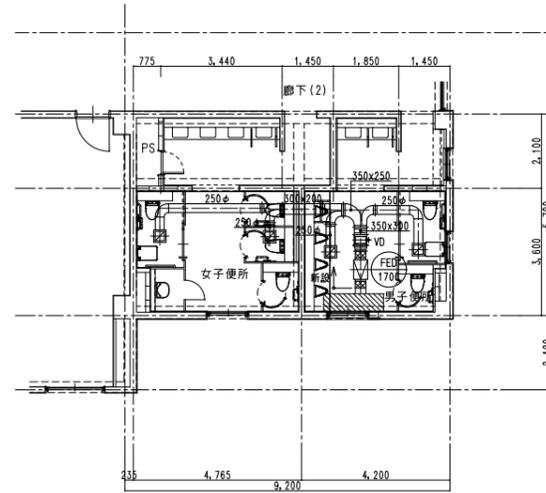
1階平面詳細図(改修後) A1: S=1/100
A3: S=1/200

注記: 特記なき太線は新設とする。



2・3階平面詳細図(改修前) A1: S=1/100
A3: S=1/200

注記: 特記なき太線は撤去とする。



2・3階平面詳細図(改修後) A1: S=1/100
A3: S=1/200

注記: 特記なき太線は新設とする。

** 枚の内	A4共通講義棟	D. R. 5. 0 3
M-09	換気設備 1・2・3階平面詳細図(改修前・改修後)	担 当
株式会社 岩佐建築設計事務所		一級建築士No.253120 横江 敏 幸

1階
女子便所

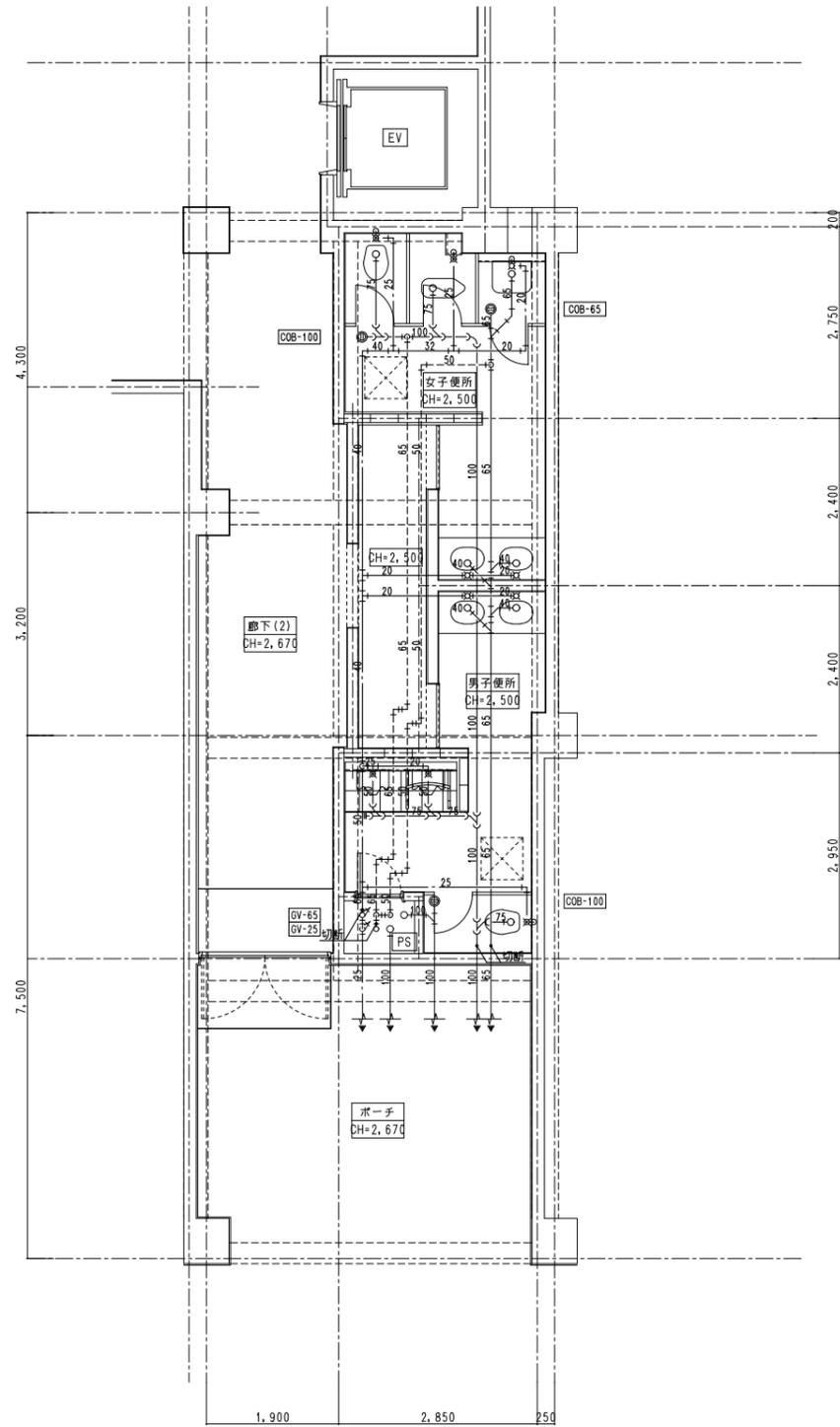
名称	仕様	数量
和風便器	フラッシュ弁式	1
大便器	フラッシュ弁式	1
紙巻器		2
掃除用流し		1
はめ込み洗面器	水栓1個	2
化粧鏡		2
洗面カウンター	L=1530	1

注記)付属品共、場外搬出処分とする

1階
男子便所

名称	仕様	数量
大便器	フラッシュ弁式	1
紙巻器		1
小便器	壁掛形	1
小便器	床置形	1
はめ込み洗面器	水栓1個	2
化粧鏡		2
洗面カウンター	L=1530	1
手すり	小便器用	1

注記)付属品共、場外搬出処分とする



1階平面詳細図(改修前) A1: S=1/50
A3: S=1/100

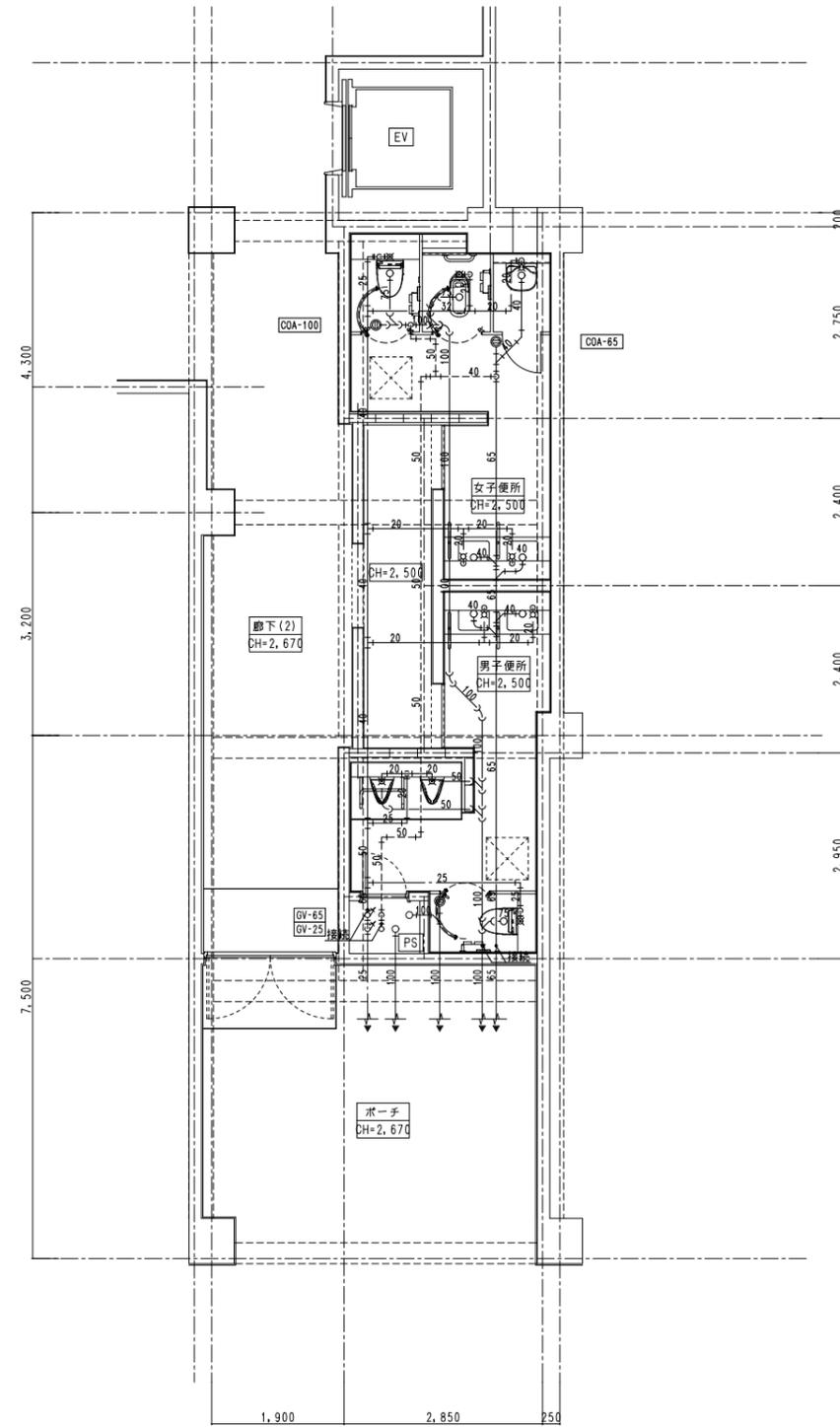
注記: 特記なき太線は撤去とする。

はつり工事リスト(参考)

貫通穴仕様	貫通穴仕様	挿入	呼び径	給水用	排水用
開口径	スラブ厚	管種			
75φ	200mm	SGP-VA	~25A	9	0
100φ	200mm	SGP-VA	~50A	0	0
		VP	~50A	0	7
125φ	200mm	SGP-VA	~65A	0	0
150φ	200mm	VP	~75A	0	7
175φ	200mm	VP	100A	0	1

共通事項

1. 衛生器具設置に必要な貫通部穴あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。
2. 穴あけ前に鉄筋検査を行うこと。
3. 鉄筋を切断した場合、鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(100片面)とする。
4. 天井改修は建築工事とする。



1階平面詳細図(改修後) A1: S=1/50
A3: S=1/100

注記: 特記なき太線は新設とする。

滋賀県立大学(第3期)トイレ改修工事 設計図

** 枚の内	A5図書情報センター棟	D, R, 5, 0, 3
M-10	給排水衛生器具設備	担 当
1階平面詳細図(改修前・改修後)		

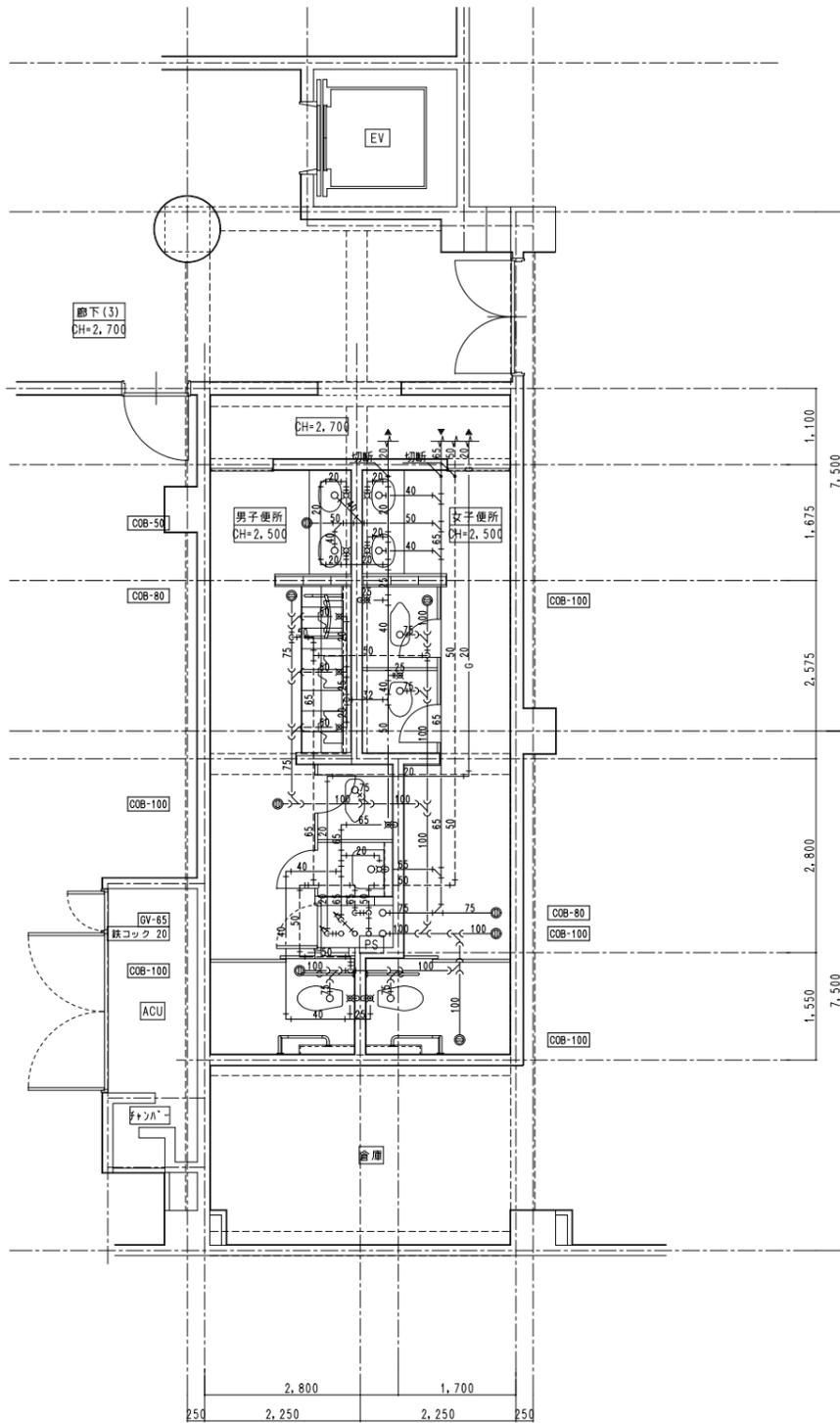
一級建築士No.253120
株式会社 岩佐建築設計事務所 横江 敏 幸

女子便所		
名称	仕様	数量
和風便器	フラッシュ弁式	1
大便器	フラッシュ弁式	2
紙巻器		3
はめ込み洗面器	水栓1個	2
化粧鏡		2
洗面カウンター	L=1490	1
手すり	大便器用	1
手すり	L型	1

注記)付属品共、場外搬出処分とする

男子便所		
名称	仕様	数量
和風便器	フラッシュ弁式	1
大便器	フラッシュ弁式	1
紙巻器		2
小便器	壁掛形	2
小便器	床置形	1
掃除用流し		1
はめ込み洗面器	水栓1個	2
化粧鏡		2
洗面カウンター	L=1490	1
手すり	小便器用	1
手すり	大便器用	1
手すり	L型	1

注記)付属品共、場外搬出処分とする

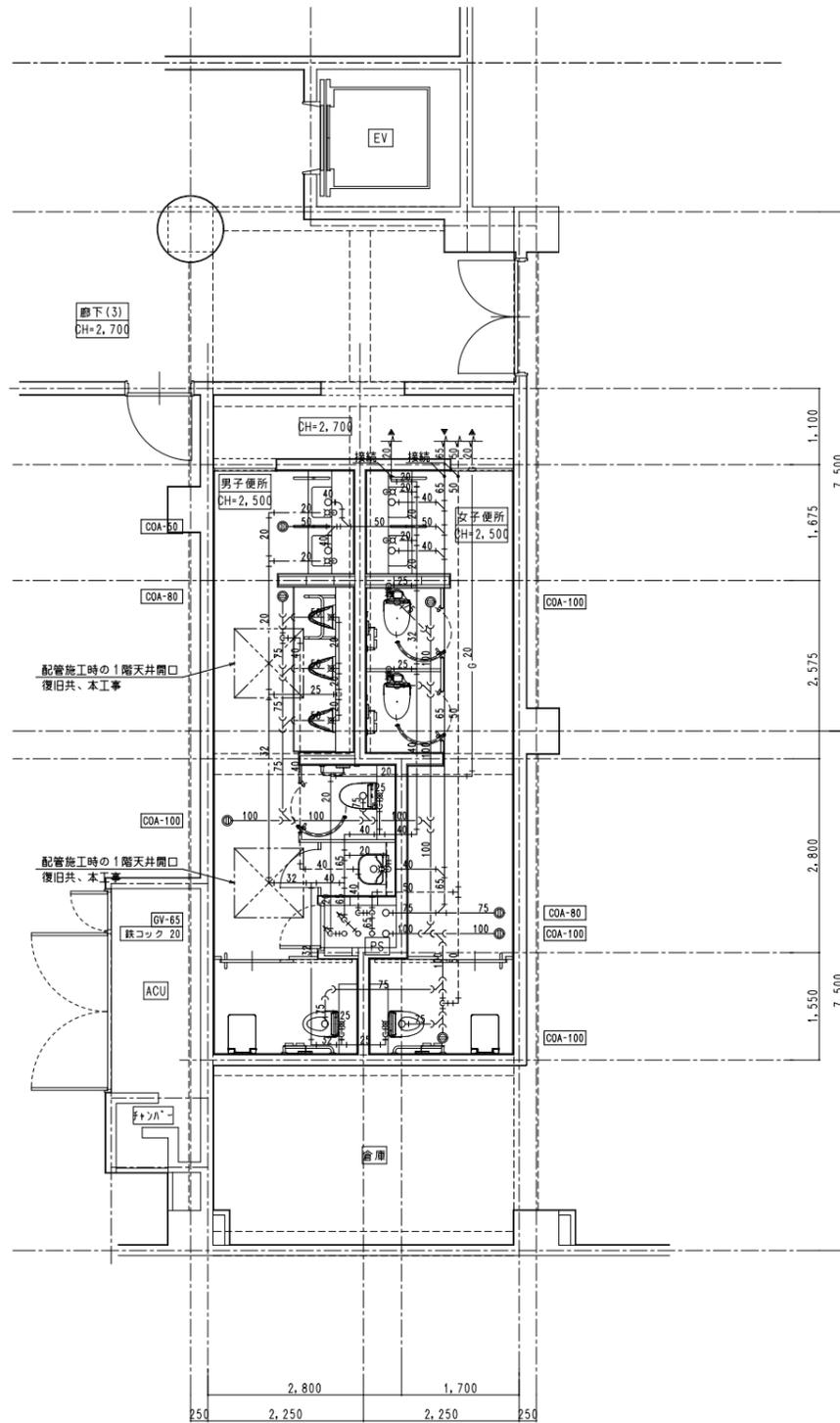


2階平面詳細図(改修前) A1: S=1/50 A3: S=1/100

注記: 特記なき太線は撤去とする。

はつり工事リスト(参考)						
貫通穴仕様	挿入		挿入		数量	
開口径	スラブ厚	管種	呼び径	給水用	排水用	
75φ	200mm	SGP-VA	~25A	11	0	
100φ	200mm	SGP-VA	~50A	0	0	
		VP	~50A	0	10	
125φ	200mm	SGP-VA	~65A	2	0	
150φ	200mm	VP	~75A	0	10	
175φ	200mm	VP	100A	0	5	

- 共通事項
1. 衛生器具設置に必要な貫通部穴あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。
 2. 穴あけ前に鉄筋探査を行うこと。
 3. 鉄筋を切断した場合、鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(100片面)とする。
 4. 天井改修は建築工事とする。(但し、記載無き範囲に限る)



2階平面詳細図(改修後) A1: S=1/50 A3: S=1/100

注記: 特記なき太線は新設とする。

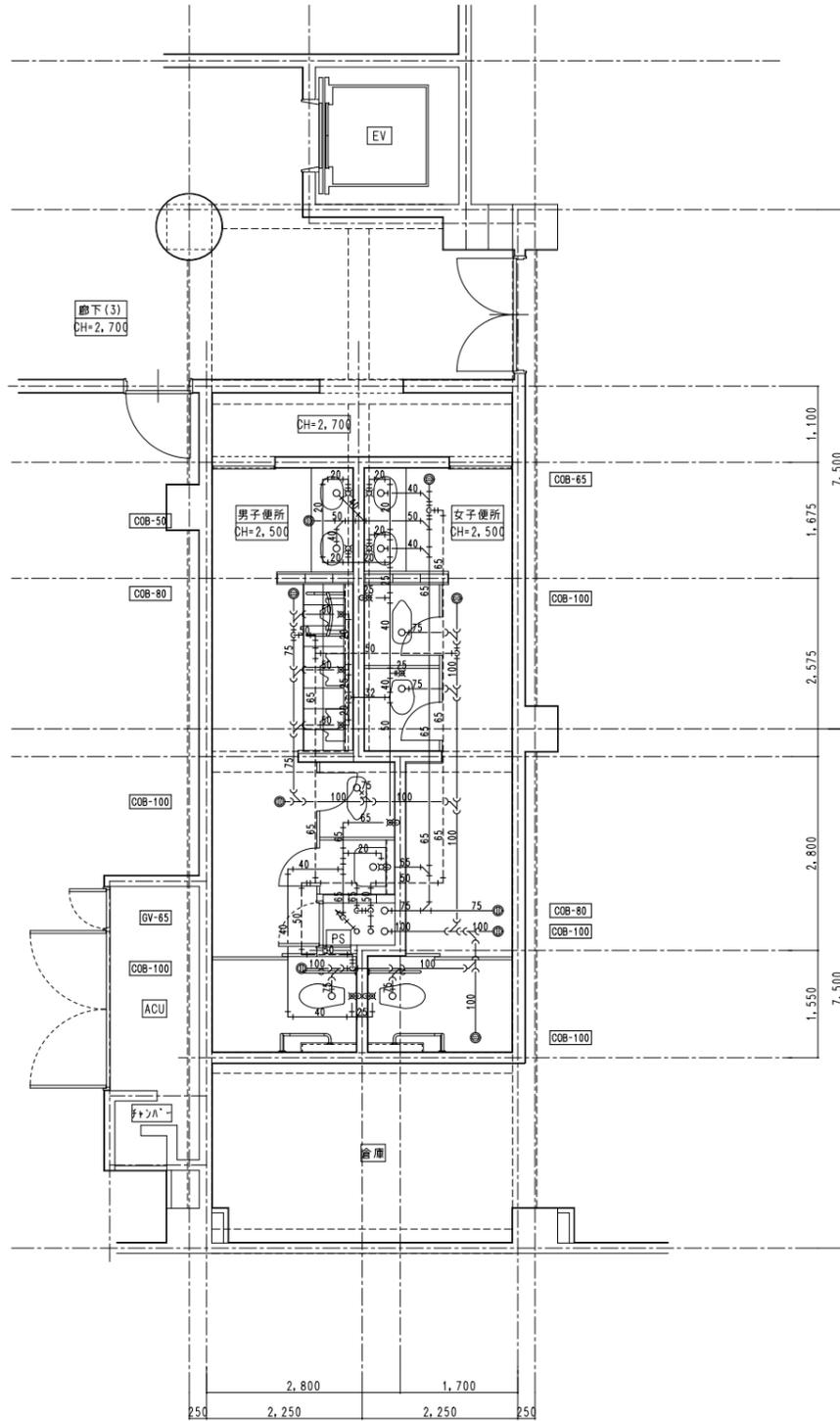
** 枚の内	A5図書情報センター様	D. R. 5. 0 3
M-11	給排水衛生器具設備	担 当
	2階平面詳細図(改修前・改修後)	

2階 女子便所		
名称	仕様	撤去・処分
和風便器	フラッシュ弁式	1
大便器	フラッシュ弁式	2
紙巻器		3
はめ込み洗面器	水栓1個	2
化粧鏡		2
洗面カウンター	L=1490	1
手すり	大便器用	1
手すり	L型	1

注記)付属品共、場外搬出処分とする

2階 男子便所		
名称	仕様	撤去・処分
和風便器	フラッシュ弁式	1
大便器	フラッシュ弁式	1
紙巻器		2
小便器	壁掛形	2
小便器	床置形	1
掃除用流し		1
はめ込み洗面器	水栓1個	2
化粧鏡		2
洗面カウンター	L=1490	1
手すり	小便器用	1
手すり	大便器用	1
手すり	L型	1

注記)付属品共、場外搬出処分とする

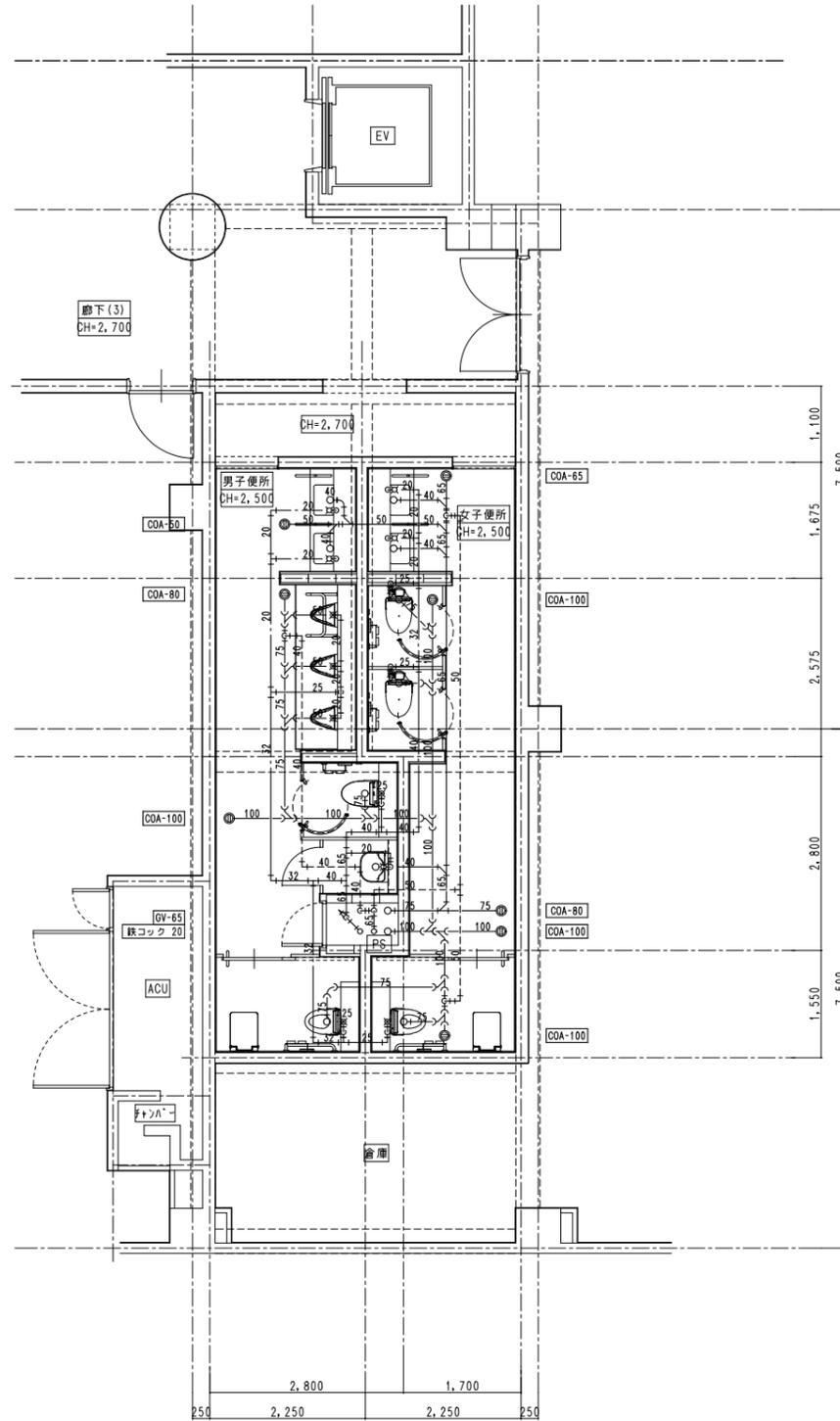


3階平面詳細図 (改修前) A1: S=1/50
A3: S=1/100

注記: 特記なき太線は撤去とする。

はつり工事リスト (参考)						
貫通穴仕様	貫通穴仕様	管種	呼び径	給水用	排水用	数量
75φ	200mm	SGP-VA	~ 25A	11	0	
100φ	200mm	SGP-VA	~ 50A	0	0	
		VP	~ 50A	0	10	
125φ	200mm	SGP-VA	~ 65A	2	0	
150φ	200mm	VP	~ 75A	0	10	
175φ	200mm	VP	100A	0	5	

- 共通事項
1. 衛生器具設置に必要な貫通部穴あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。
 2. 穴あけ前に鉄筋探査を行うこと。
 3. 鉄筋を切断した場合、鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする。
 4. 天井改修は建築工事とする。



3階平面詳細図 (改修後) A1: S=1/50
A3: S=1/100

注記: 特記なき太線は新設とする。

** 枚の内	A5図書情報センター棟	D, R, 5, 0, 3
M-12	給排水衛生器具設備	担 当
	3階平面詳細図 (改修前・改修後)	

(新設)換気機器リスト

記号	機器名	形式	風量	静圧	ダクト径 羽根径	付属品	電源			設置場所	●無きものは一般換気 24時間換気 無窓居室 火気使用室 対策 対策 対策			参考品番 三菱電機
							60Hz	電圧	電流量		台数			
FED-1200	ストレートシロッコファン	消音形 天吊埋込タイプ	1200 m³/h	150 Pa	200 φ	防振吊金物、キャンパス継手x2	1φ-100V	250.0 W	1	A5図書情報センター棟 1階 男子便所x1	---	---	---	BFS-100SU62
FED-1700	ストレートシロッコファン	消音形 天吊埋込タイプ	1700 m³/h	150 Pa	250 φ	防振吊金物、キャンパス継手x2	1φ-100V	490.0 W	2	A5図書情報センター棟 2階 男子便所x1 3階 男子便所x1	---	---	---	BFS-150SU62

注) 採用するメーカーの仕様書を電気設備施工業者へ提示し、電源供給(機器の位置)等の調整を行うこと。

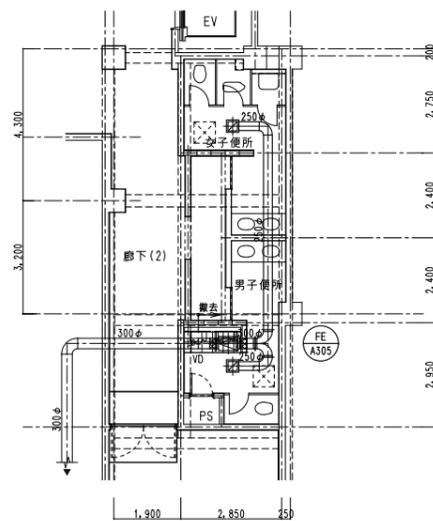
(撤去)換気機器リスト

階数	部屋名	記号	仕様	台数	改修内容
1	A5図書情報センター棟 男子便所	FE-A305	静音型ストレートシロッコファン 番手: #1・1/2 1200m³/h-150Pa	1	撤去
2	A5図書情報センター棟 男子便所	FE-A306	静音型ストレートシロッコファン 番手: #1・3/4 1700m³/h-150Pa	1	撤去
3	A5図書情報センター棟 男子便所	FE-A306	静音型ストレートシロッコファン 番手: #1・3/4 1700m³/h-150Pa	1	撤去

注) 注記) 付属品共、場外搬出処分とする

共通事項

1. 衛生器具設置に必要な貫通部穴あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。
2. 穴あけ前に鉄筋検査を行うこと。
3. 鉄筋を切断した場合、鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(100片面)とする。
4. 天井改修は建築工事とする。

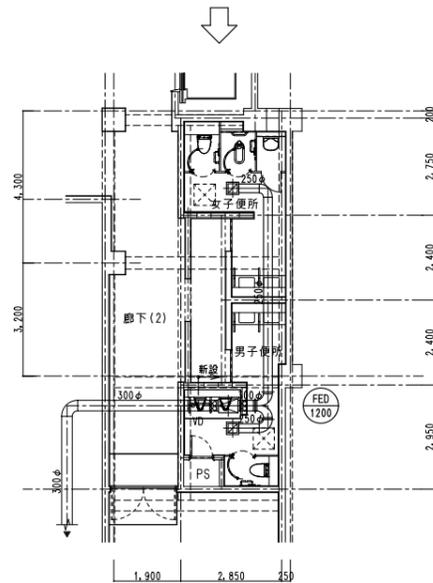


女子便所	
EA	HS 350 x 350 BOX 550 x 550 x 400H
	1

男子便所	
EA	HS 350 x 350 BOX 550 x 550 x 400H
	1

1階平面詳細図(改修前) A1: S=1/100
A3: S=1/200

注記: 特記なき太線は撤去とする。

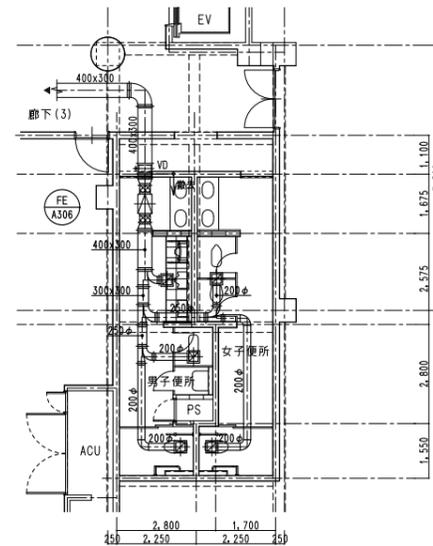


女子便所	
EA	HS 350 x 350 BOX 550 x 550 x 400H
	1

男子便所	
EA	HS 350 x 350 BOX 550 x 550 x 400H
	1

1階平面詳細図(改修後) A1: S=1/100
A3: S=1/200

注記: 特記なき太線は新設とする。

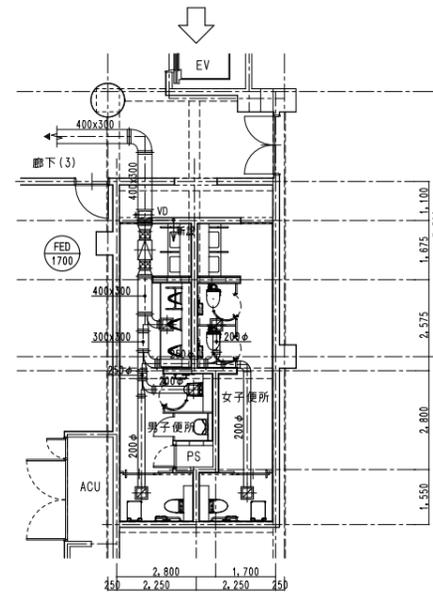


女子便所	
EA	HS 250 x 250 BOX 450 x 450 x 400H
	2

男子便所	
EA	HS 250 x 250 BOX 450 x 450 x 400H
	3

2・3階平面詳細図(改修前) A1: S=1/100
A3: S=1/200

注記: 特記なき太線は撤去とする。



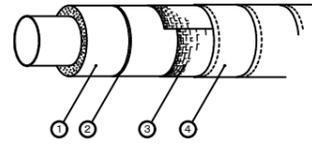
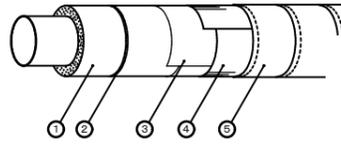
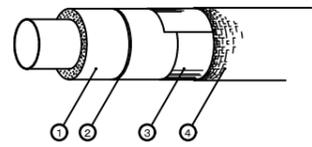
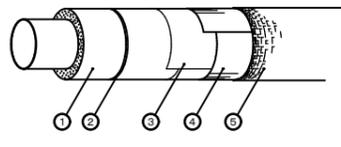
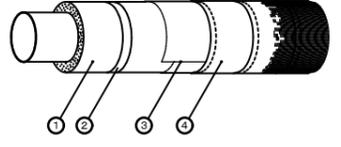
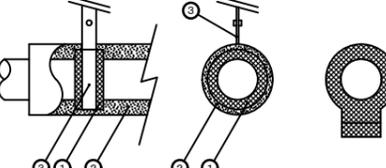
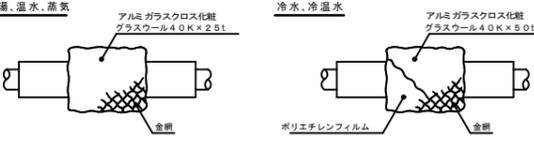
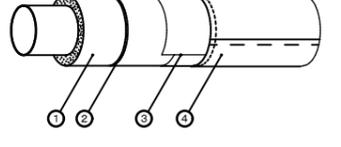
女子便所	
EA	HS 250 x 250 BOX 450 x 450 x 400H
	2

男子便所	
EA	HS 250 x 250 BOX 450 x 450 x 400H
	3

2・3階平面詳細図(改修後) A1: S=1/100
A3: S=1/200

注記: 特記なき太線は新設とする。

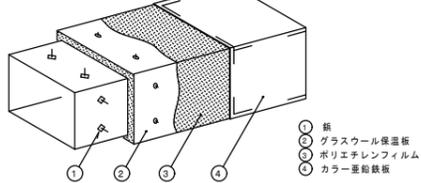
保温施工標準図 No. 1

<p>給水・排水(通気) 空調ドレン管</p>  <table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 グラスウール保温筒</td><td>JIS A 9504</td><td>40K以上</td></tr> <tr><td>2 鉄線</td><td>JIS G 3547</td><td></td></tr> <tr><td>3 合成樹脂製カバー</td><td></td><td>板厚 0.3mm以上</td></tr> </table>	材料名	規格	備考	1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K以上	2 鉄線	JIS G 3547		3 合成樹脂製カバー		板厚 0.3mm以上	<p>給湯・温水(断熱管含む)・蒸気・冷水・冷温水</p>  <table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 グラスウール保温筒</td><td>JIS A 9504</td><td>40K以上</td></tr> <tr><td>2 鉄線</td><td>JIS G 3547</td><td></td></tr> <tr><td>3 ポリエチレンフィルム</td><td>JIS Z 1702</td><td>厚さ 0.05mm</td></tr> <tr><td>4 合成樹脂製カバー</td><td></td><td>厚さ 0.3mm以上</td></tr> </table> <p>※ 給湯、温水、蒸気の場合はポリエチレンフィルムを省略する。</p>	材料名	規格	備考	1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K以上	2 鉄線	JIS G 3547		3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 合成樹脂製カバー		厚さ 0.3mm以上	<p>保温材の厚さ</p> <table border="1"> <tr><th>呼び径</th><th>15</th><th>20</th><th>25</th><th>32</th><th>40</th><th>50</th><th>65</th><th>80</th><th>100</th><th>125</th><th>150</th><th>200</th><th>250</th><th>300</th><th>参考使用区分</th></tr> <tr><td>I R</td><td></td><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>25</td><td></td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td>ロックウール</td><td>温水管</td></tr> <tr><td>G</td><td></td><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>25</td><td></td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td>グラスウール</td><td>給湯管</td></tr> <tr><td>II R</td><td></td><td>20</td><td></td><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>ロックウール</td><td>蒸気管</td></tr> <tr><td>G</td><td></td><td>20</td><td></td><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>グラスウール</td><td>冷水管</td></tr> <tr><td>III R</td><td></td><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>50</td><td></td><td></td><td></td><td>ロックウール</td><td>冷水管</td></tr> <tr><td>G</td><td></td><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>50</td><td></td><td></td><td></td><td>グラスウール</td><td>冷水管</td></tr> <tr><td>P</td><td></td><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>50</td><td></td><td></td><td></td><td>ポリスチレンフォーム</td><td>冷水管</td></tr> <tr><td>IV R</td><td></td><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>25</td><td></td><td></td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td>ロックウール</td><td>給水管</td></tr> <tr><td>G</td><td></td><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>25</td><td></td><td></td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td>グラスウール</td><td>給水管</td></tr> <tr><td>P</td><td></td><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>25</td><td></td><td></td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td>ポリスチレンフォーム</td><td>給水管</td></tr> <tr><td>VII</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>25</td><td>機器、排気管、煙道、内貼</td></tr> <tr><td>IX</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>50</td><td></td></tr> <tr><td>X</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>75</td><td></td></tr> <tr><td>XI</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>機械室・書庫・倉庫・暖かい部25、一般居室・廊下・屋外露出・多湿箇所50 一般ダクト</td></tr> </table> <p>※ 詳細は標準仕様書による。なお、高圧(0.1MP以上)の蒸気管及び蒸気ヘッダーの保温は、特記による。</p>	呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	参考使用区分	I R		20							25		40				ロックウール	温水管	G		20							25		40				グラスウール	給湯管	II R		20		30					40						ロックウール	蒸気管	G		20		30					40						グラスウール	冷水管	III R		30				40					50				ロックウール	冷水管	G		30				40					50				グラスウール	冷水管	P		30				40					50				ポリスチレンフォーム	冷水管	IV R		20						25			40				ロックウール	給水管	G		20						25			40				グラスウール	給水管	P		20						25			40				ポリスチレンフォーム	給水管	VII															25	機器、排気管、煙道、内貼	IX															50		X															75		XI																機械室・書庫・倉庫・暖かい部25、一般居室・廊下・屋外露出・多湿箇所50 一般ダクト	<p>防火区画貫通箇所施工要領</p> <p>〔給排水管〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 鋼管の場合 <ul style="list-style-type: none"> ※ 管径に関係なく通常の保温工事でよい。 ※ 区画貫通箇所はロックウール材又はモルタル詰めを行う。 V.Pの場合 <ul style="list-style-type: none"> 【最上階4階まで 1時間耐火】 ※ 125mm以上は鋼管または大臣認定の耐火二層管を使用する。 ※ 100mmには0.5t亜鉛鉄板を前後1m巻くこと。 ・保温は保温材がポリスチレンフォーム保温筒の場合はロックウール保温筒25tを鉄線にて取り付ける。 ・鉄板は区画貫通箇所を通して、前後1m管材の上に巻きその上に保温を行う。 ※ 75mm以下は鉄板巻き不要である。 ・保温材はポリスチレンフォーム保温筒でよい、ただし貫通箇所はロックウール保温材又はモルタル詰めを行う。 <p>〔ダクト〕</p> <p>〔冷水・冷温水管〕</p> <p>V.P管75A以下は鋼管と同じ貫通部分にポリスチレンフォーム保温筒又はグラスウール保温筒を使用してはならない。</p>
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K以上																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2 鉄線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																																																																																											
3 合成樹脂製カバー		板厚 0.3mm以上																																																																																																																																																																																																																																																																																										
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K以上																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2 鉄線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																																																																																											
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																																																																										
4 合成樹脂製カバー		厚さ 0.3mm以上																																																																																																																																																																																																																																																																																										
呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	参考使用区分																																																																																																																																																																																																																																																																													
I R		20							25		40				ロックウール	温水管																																																																																																																																																																																																																																																																												
G		20							25		40				グラスウール	給湯管																																																																																																																																																																																																																																																																												
II R		20		30					40						ロックウール	蒸気管																																																																																																																																																																																																																																																																												
G		20		30					40						グラスウール	冷水管																																																																																																																																																																																																																																																																												
III R		30				40					50				ロックウール	冷水管																																																																																																																																																																																																																																																																												
G		30				40					50				グラスウール	冷水管																																																																																																																																																																																																																																																																												
P		30				40					50				ポリスチレンフォーム	冷水管																																																																																																																																																																																																																																																																												
IV R		20						25			40				ロックウール	給水管																																																																																																																																																																																																																																																																												
G		20						25			40				グラスウール	給水管																																																																																																																																																																																																																																																																												
P		20						25			40				ポリスチレンフォーム	給水管																																																																																																																																																																																																																																																																												
VII															25	機器、排気管、煙道、内貼																																																																																																																																																																																																																																																																												
IX															50																																																																																																																																																																																																																																																																													
X															75																																																																																																																																																																																																																																																																													
XI																機械室・書庫・倉庫・暖かい部25、一般居室・廊下・屋外露出・多湿箇所50 一般ダクト																																																																																																																																																																																																																																																																												
<p>機械室・書庫・倉庫(閉扉の天井内を含む)</p>  <table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 グラスウール保温筒</td><td>JIS A 9504</td><td>40K</td></tr> <tr><td>2 鉄線</td><td>JIS G 3547</td><td></td></tr> <tr><td>3 アルミガラスクロス</td><td>JIS R 3414 EPI8A</td><td>1㎡ 370g以上</td></tr> </table> <p>※ 原紙+アルミガラスクロスに替えアルミガラス化粧原紙を使用できる ※ 天井、P.S内の場合は原紙を省略し、7&8の51702化粧71702保温筒+7&8の51702化粧71702(幅50mm)とする。</p>	材料名	規格	備考	1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K	2 鉄線	JIS G 3547		3 アルミガラスクロス	JIS R 3414 EPI8A	1㎡ 370g以上	 <table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 グラスウール保温筒</td><td>JIS A 9504</td><td>40K</td></tr> <tr><td>2 鉄線</td><td>JIS G 3547</td><td>厚さ 0.6mm</td></tr> <tr><td>3 ポリエチレンフィルム</td><td>JIS Z 1702</td><td>厚さ 0.05mm</td></tr> <tr><td>4 原紙</td><td></td><td>1㎡ 370g以上</td></tr> <tr><td>5 アルミガラスクロス</td><td>JIS R 3414 EPI8A</td><td></td></tr> </table> <p>※ 給湯、温水、蒸気の場合はポリエチレンフィルムを省略する ※ 原紙+アルミガラスクロスに替えアルミガラス化粧原紙を使用できる ※ 天井、P.S内の場合は原紙を省略する ※ 給湯、温水、蒸気配管の天井、P.S内はアルミガラス化粧グラスウール保温筒+アルミガラスクロス接着テープとする ※ 冷水管はポリスチレンフォーム保温筒とする。</p>	材料名	規格	備考	1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K	2 鉄線	JIS G 3547	厚さ 0.6mm	3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 原紙		1㎡ 370g以上	5 アルミガラスクロス	JIS R 3414 EPI8A		<p>共通事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ポリスチレンフォーム保温筒は、1本(1m)につき2箇所以上粘着テープ2回巻きとする。 テープ巻きその他の重なり幅は、原則として、テープ状の場合は15mm以上(ポリエチレンフィルムの場合は1/2重ね以上)、その他の場合は30mm以上とする。 テープ巻きは、配管の下方向より上向きに巻き上げる。アルミガラスクロス巻き等で、ずれのある場合には、粘着テープ等を用いてずれ止めを行う。 合成樹脂製カバーの取付は、直管の合わせ幅は25mm以上とし、合わせ目を両面テープで貼り合わせた後、150mm以下のピッチで、合成樹脂製カバー用ピンで押さえる。 屋内露出配管の保温見切り部分には菊産を取付ける。 保温筒取り付けの鉄線巻きは1本(1m)につき2箇所2回巻きとする。 鉄線巻きの継目部にはシールを行う。 グラスウール保温筒、保温板の使用困難な箇所は、保温帯または波形保温板を使用してもよい。 ポリスチレンフォーム保温筒の使用困難な箇所は、ロックウール保温筒、ロックウールフェルト、グラスウール保温帯又は波形保温板を使用してもよい。 屋内露出の配管及びダクトの床貫通部は、その保温材保護のため、床面より少なくとも高さ150mmまでステンレス鋼板で被覆する。 通気管の保温は排水径より100mmのみ保温を行う。 	<p>〔ダクト〕</p> <p>〔冷水・冷温水管〕</p> <p>V.P管75A以下は鋼管と同じ貫通部分にポリスチレンフォーム保温筒又はグラスウール保温筒を使用してはならない。</p>																																																																																																																																																																																																																																																											
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2 鉄線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																																																																																											
3 アルミガラスクロス	JIS R 3414 EPI8A	1㎡ 370g以上																																																																																																																																																																																																																																																																																										
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2 鉄線	JIS G 3547	厚さ 0.6mm																																																																																																																																																																																																																																																																																										
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																																																																										
4 原紙		1㎡ 370g以上																																																																																																																																																																																																																																																																																										
5 アルミガラスクロス	JIS R 3414 EPI8A																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>床下(庇・暗渠内)</p> <table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 ポリスチレンフォーム保温筒</td><td>JIS A 9611</td><td>3号</td></tr> <tr><td>2 粘着テープ</td><td>JIS Z 1525</td><td>厚さ 0.2mm</td></tr> <tr><td>3 ポリエチレンフィルム</td><td>JIS Z 1702</td><td>厚さ 0.05mm</td></tr> <tr><td>4 着色アルミガラスクロス</td><td></td><td>黒色</td></tr> </table> <p>※ 共同溝の保温の種別は特記による。 ※ 排水管、空調ドレン管で暗渠内(ピッチ内を含む)、最下階の床下配管及び耐火二層管は保温を行わない。</p>	材料名	規格	備考	1 ポリスチレンフォーム保温筒	JIS A 9611	3号	2 粘着テープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm	3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 着色アルミガラスクロス		黒色	 <table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 グラスウール保温筒</td><td>JIS A 9504</td><td>40K</td></tr> <tr><td>2 鉄線</td><td>JIS G 3547</td><td></td></tr> <tr><td>3 ポリエチレンフィルム</td><td>JIS Z 1702</td><td>厚さ 0.05mm</td></tr> <tr><td>4 着色アルミガラスクロス</td><td></td><td>黒色</td></tr> </table>	材料名	規格	備考	1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K	2 鉄線	JIS G 3547		3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 着色アルミガラスクロス		黒色	<p>冷水・冷温水管の配管支持具</p> <p>ハンガー型断熱支持具</p>  <p>断熱支持具の厚さ(T)と長さ(L)</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>A</th><th>T</th><th>L</th></tr> <tr><td>15A~25A</td><td>20</td><td>50</td><td></td></tr> <tr><td>32A~150A</td><td>30</td><td>50</td><td></td></tr> <tr><td>200A</td><td>30</td><td>100</td><td></td></tr> <tr><td>250A~300A</td><td>40</td><td>100</td><td></td></tr> </table> <p>※ 台型断熱材の厚さはハンガー型と同じとする。 ※ 台型の場合は標準品(既製品+10mm)を使用する。 ※ ハンガー型は緩衝式又は提灯型を使用する。</p>		A	T	L	15A~25A	20	50		32A~150A	30	50		200A	30	100		250A~300A	40	100		<p>弁フランジなどの保温</p> <p>給水・給湯、温水、蒸気</p> <p>冷水、冷温水</p>  <p>※ 給湯、温水、蒸気配管で室内及び暗渠内の伸縮継手、防震継手、フレキシブルジョイント、弁及びフランジは保温を行わない。 ※ 蒸気、温水配管で室内及び暗渠内の各種装置廻りの配管は保温を行わない、ただし火傷の可能性がある場合は火傷防止をおこなう。 ※ 屋外は金網の下にポリエチレンフィルムを巻く。 ※ 給水、給湯、冷水、冷温水用の露出配管で、保温を行う65A以上の弁、ストレーナー等はビスなどにより容易に脱着できる金属製カバーによる外装を施す。 (屋外はステンレス鋼板、屋内はカラー亜鉛鉄板)</p>																																																																																																																																																																																																																																							
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1 ポリスチレンフォーム保温筒	JIS A 9611	3号																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2 粘着テープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm																																																																																																																																																																																																																																																																																										
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																																																																										
4 着色アルミガラスクロス		黒色																																																																																																																																																																																																																																																																																										
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2 鉄線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																																																																																											
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																																																																										
4 着色アルミガラスクロス		黒色																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	A	T	L																																																																																																																																																																																																																																																																																									
15A~25A	20	50																																																																																																																																																																																																																																																																																										
32A~150A	30	50																																																																																																																																																																																																																																																																																										
200A	30	100																																																																																																																																																																																																																																																																																										
250A~300A	40	100																																																																																																																																																																																																																																																																																										
<p>屋外露出(庇・暗渠等)の配管(雨水管等を除く)</p> <table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 ポリスチレンフォーム保温筒</td><td>JIS A 9611</td><td>3号</td></tr> <tr><td>2 粘着テープ</td><td>JIS Z 1525</td><td>厚さ 0.2mm以上</td></tr> <tr><td>3 ポリエチレンフィルム</td><td>JIS Z 1702</td><td>厚さ 0.05mm</td></tr> <tr><td>4 ステンレス鋼板 or カラー亜鉛鉄板</td><td>JIS G 4305 or JIS S 5033</td><td></td></tr> </table> <p>※ 厨房、浴室等の多湿箇所はステンレス鋼板とする。 ※ 排水管、空調ドレン管で屋外露出及び耐火二層管は保温を行わない。</p>	材料名	規格	備考	1 ポリスチレンフォーム保温筒	JIS A 9611	3号	2 粘着テープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm以上	3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 ステンレス鋼板 or カラー亜鉛鉄板	JIS G 4305 or JIS S 5033		 <table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 グラスウール保温筒</td><td>JIS A 9504</td><td>40K</td></tr> <tr><td>2 鉄線</td><td>JIS G 3547</td><td></td></tr> <tr><td>3 ポリエチレンフィルム</td><td>JIS Z 1702</td><td>厚さ 0.05mm</td></tr> <tr><td>4 ステンレス鋼板 or カラー亜鉛鉄板</td><td>JIS G 4305 or JIS S 5033</td><td></td></tr> </table>	材料名	規格	備考	1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K	2 鉄線	JIS G 3547		3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 ステンレス鋼板 or カラー亜鉛鉄板	JIS G 4305 or JIS S 5033		<p>冷媒配管(露出配管)</p> <table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 ステンレス鋼板 or カラー亜鉛鉄板</td><td>JIS G 4305 or JIS S 5033</td><td></td></tr> </table> <p>※ 天井内、P.S内、空腔壁内、床下は断熱材被覆鋼管(保温厚さ20mm)のみとする。</p>	材料名	規格	備考	1 ステンレス鋼板 or カラー亜鉛鉄板	JIS G 4305 or JIS S 5033		<p>配管行先表示板</p> <p>パイプシャフト表示板</p> <p>点検口表示板</p> <p>屋外、室内、P.S内、点検口部分の配管には、原則配管表示板を取り付ける。この表示板には、流体名称、矢印、色別バンド書き込む。(監督員との協議により、配管への文字・方向矢印書きに代えてもよい。)</p> <table border="1"> <tr><th>管種</th><th>色</th><th>管種</th><th>色</th></tr> <tr><td>給水管</td><td>青</td><td>温水管</td><td>緑色</td></tr> <tr><td>排水管</td><td>青</td><td>2本</td><td>冷温水管</td><td>濃青色</td></tr> <tr><td>井水管</td><td>青</td><td>3本</td><td>蒸気管</td><td>濃青色</td></tr> <tr><td>種排水管</td><td>青</td><td>2本</td><td>冷却水管</td><td>淡青色</td></tr> <tr><td>汚水管</td><td>青</td><td>2本</td><td>配管</td><td>緑色</td></tr> <tr><td>通気管</td><td>赤</td><td>2本</td><td>配管</td><td>濃青色</td></tr> <tr><td>消火管</td><td>赤</td><td>2本</td><td>配管</td><td>濃青色</td></tr> <tr><td>ガス管</td><td>赤</td><td>2本</td><td>配管</td><td>濃青色</td></tr> <tr><td>冷水管</td><td>濃青色</td><td>2本</td><td>配管</td><td>濃青色</td></tr> </table> <p>※ 表示板の材質は塩化ビニール樹脂製とする。 ※ 屋内外露出の配管名表示部分には、縦書きの場合は下部、横書きの場合は左側に色別バンドを取り付ける。</p>	管種	色	管種	色	給水管	青	温水管	緑色	排水管	青	2本	冷温水管	濃青色	井水管	青	3本	蒸気管	濃青色	種排水管	青	2本	冷却水管	淡青色	汚水管	青	2本	配管	緑色	通気管	赤	2本	配管	濃青色	消火管	赤	2本	配管	濃青色	ガス管	赤	2本	配管	濃青色	冷水管	濃青色	2本	配管	濃青色																																																																																																																																																																																																					
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1 ポリスチレンフォーム保温筒	JIS A 9611	3号																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2 粘着テープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm以上																																																																																																																																																																																																																																																																																										
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																																																																										
4 ステンレス鋼板 or カラー亜鉛鉄板	JIS G 4305 or JIS S 5033																																																																																																																																																																																																																																																																																											
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2 鉄線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																																																																																											
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																																																																										
4 ステンレス鋼板 or カラー亜鉛鉄板	JIS G 4305 or JIS S 5033																																																																																																																																																																																																																																																																																											
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1 ステンレス鋼板 or カラー亜鉛鉄板	JIS G 4305 or JIS S 5033																																																																																																																																																																																																																																																																																											
管種	色	管種	色																																																																																																																																																																																																																																																																																									
給水管	青	温水管	緑色																																																																																																																																																																																																																																																																																									
排水管	青	2本	冷温水管	濃青色																																																																																																																																																																																																																																																																																								
井水管	青	3本	蒸気管	濃青色																																																																																																																																																																																																																																																																																								
種排水管	青	2本	冷却水管	淡青色																																																																																																																																																																																																																																																																																								
汚水管	青	2本	配管	緑色																																																																																																																																																																																																																																																																																								
通気管	赤	2本	配管	濃青色																																																																																																																																																																																																																																																																																								
消火管	赤	2本	配管	濃青色																																																																																																																																																																																																																																																																																								
ガス管	赤	2本	配管	濃青色																																																																																																																																																																																																																																																																																								
冷水管	濃青色	2本	配管	濃青色																																																																																																																																																																																																																																																																																								

※ 特記以外はこの施工標準図による。
※ 設計図書に明記の無い場合は疑いが生じた場合は監督員と協議する。
※ 現場の収まり、取り合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合は監督員と協議する。
※ 詳細は国土交通省機械設備工事標準仕様書及び同施工監理指針に基づく。

保温施工標準図 No. 2

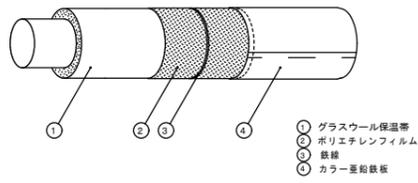
長方形ダクト： 屋内露出（一般居室、廊下）、屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む）、浴室・厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）



材料名	規格	備考
1 紙		
2 グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm
4 鉄線	JIS G 3547 亜鉛メッキ鉄線	線径 1.2mm以上
5 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	厚さ 0.35mm

※ 屋外露出、厨房、浴室等の多湿箇所はカラー亜鉛鉄板をステンレス鋼板に替かえる。
 ※ 屋内露出（一般居室、廊下）はポリエチレンフィルム、鉄線を省略する。
 ※ 保温厚さ：50mm
 ※ ダクトのフランジ部（補強含む）は、厚さ25mmの保温材を重ね巻きを行うか、ダクトの保温厚さをフランジ高さ+10mm以上とする。

スパイラルダクト： 屋内露出（一般露出、廊下） 屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む） 浴室・厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）



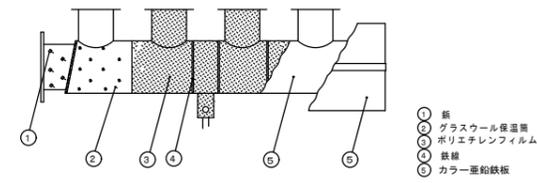
材料名	規格	備考
1 グラスウール保温帯	JIS A 9504 40K	
2 鉄線	JIS G 3547 亜鉛メッキ鉄線	線径 1.2mm以上
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm
4 鉄線	JIS G 3547 亜鉛メッキ鉄線	線径 1.2mm以上
5 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	厚さ 0.35t

※ 屋外露出、厨房、浴室等の多湿箇所はカラー亜鉛鉄板をステンレス鋼板に替かえる。
 ※ 屋内露出（一般居室、廊下）はポリエチレンフィルム、鉄線を省略する。
 ※ 保温厚さ：50mm
 ※ グラスウール保温帯の使用困難な箇所は、波形保温板を使用してもよい。

ポイラー及び温風暖房機、冷凍機、吸収式冷水機、コージェネレーション装置蓄熱ユニット

製造者の標準仕様とする。

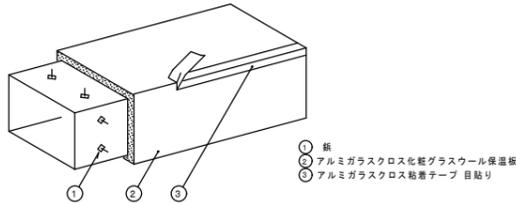
ヘッダー



材料名	規格	備考
1 紙		
2 グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	線径 1.2mm以上
4 鉄線	JIS G 3547 亜鉛メッキ鉄線	厚さ 0.05mm
5 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	厚さ 0.35t

※ 厨房、浴室等の多湿箇所はカラー亜鉛鉄板をステンレス鋼板に替かえる。
 ※ 温水ヘッダー、蒸気ヘッダーはポリエチレンフィルムを除く。
 ※ 保温厚さ：50mm
 ※ グラスウール保温帯の使用困難な箇所は、保温帯又は波形保温板を使用してもよい。

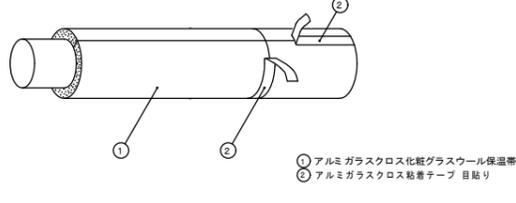
長方形ダクト： 機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内、厨房の天井内



材料名	規格	備考
1 紙		
2 アルミガラスクロス化樹脂グラスウール保温板	JIS A 9504 40K+0.02厚7&8' 5&10&12	
3 アルミガラスクロス粘着テープ 目貼り		

※ 保温厚さ：25mm
 ※ ダクトのフランジ部（補強含む）は、厚さ25mmの保温材を重ね巻きを行うか、ダクトの保温厚さをフランジ高さ+10mm以上とする。

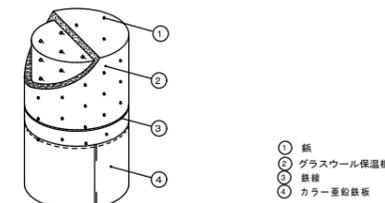
スパイラルダクト 機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内、厨房の天井内



材料名	規格	備考
1 アルミガラスクロス化樹脂グラスウール保温帯	JIS A 9504	
2 アルミガラスクロス粘着テープ		

※ 保温厚さ：25mm
 ※ アルミガラスクロス化樹脂グラスウール保温帯の使用困難な箇所は、アルミガラスクロス化樹脂グラスウール波形保温板としてもよい。

熱交換器、温水タンク、温水タンク、膨張タンク、貯湯タンク

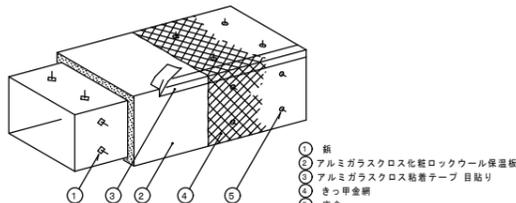


材料名	規格	備考
1 紙		
2 グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	
3 鉄線	JIS G 3547	線径 1.2mm以上
4 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	厚さ 0.35t

※ 保温厚さ：熱交換器、温水タンク、温水タンクは、50mm
 膨張タンク、貯湯タンクは、25mm
 ※ 屋外露出、厨房、浴室等の多湿箇所はカラー亜鉛鉄板をステンレス鋼板に替かえる。

※ 露出配管にて、火傷すると思われる範囲は保護を行う。

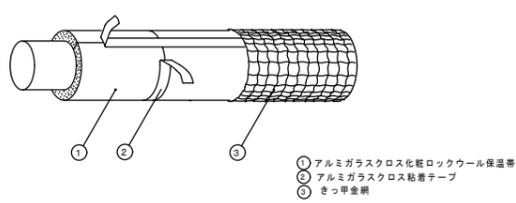
長方形ダクト： 排煙ダクト



材料名	規格	備考
1 紙		
2 アルミガラスクロス化樹脂ロックウール保温板	JIS A 9504 1号 2号 +0.02厚7&8' 5&10&12	
3 アルミガラスクロス粘着テープ 目貼り		
4 きっ甲金網	JIS G 3554 線径0.4mm 16mm目	
5 亜鉛		

※ 保温厚さは、一般ダクトの区分に準ずる。

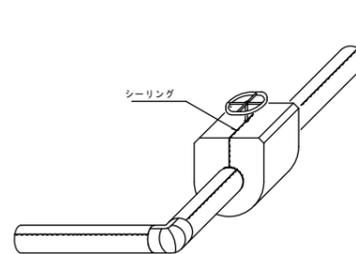
スパイラルダクト：排煙ダクト、排気筒



材料名	規格	備考
1 アルミガラスクロス化樹脂ロックウール保温帯	JIS A 9504 1号 2号 +0.02厚7&8' 5&10&12	
2 アルミガラスクロス粘着テープ	JIS G 3554 線径0.4mm 16mm目	
3 きっ甲金網		

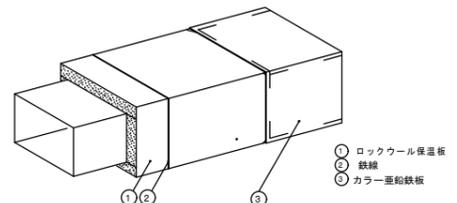
※ 保温厚さは、一般ダクトの区分に準ずる。

シーリングの要領（屋外）



※ 網目、合わせ目、支持金物の切り込み部シーリングを行う。
 ※ シーリング材：シリコン系

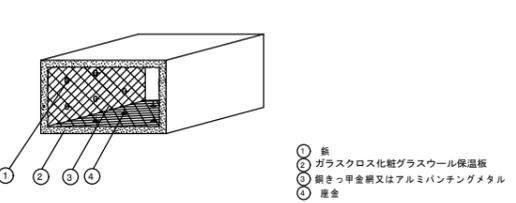
煙道、煙突



材料名	規格	備考
1 ロックウール保温板	JIS A 9504 1号 2号	
2 鉄線	JIS G 3547 亜鉛めっき鉄線	線径 1.2mm以上
3 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	厚さ 0.35t

※ 保温厚さ：75mm
 ※ ロックウール保温板をロックウールブランケットとしてもよい。
 ※ 天井内はカラー亜鉛鉄板を省略できる。その場合、きっ甲金網で結束する。
 ※ 保温止め用鉄線及びカラー亜鉛鉄板止め鋼材は必要に応じて取り付ける。

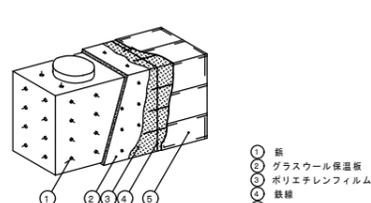
消音内張 サプライチャンパー、消音チャンパー、消音エルボ、ボックス、ブリーズライン



材料名	規格	備考
1 紙		
2 ガラスクロス化樹脂グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	
3 網きっ甲金網又はアルミバンテングメタル	(網きっ甲金網)線径0.5mm 網目 20	
4 亜鉛		

※ 保温厚さ：サプライチャンパー=50mm厚 その他は25mm厚
 ※ 消音チャンパー、消音エルボ、ボックス、ブリーズラインは網きっ甲金網を省略できる。
 ※ サプライチャンパーにてアルミバンテングメタルを使用する場合は特記による。

冷水タンク、冷水タンク、鋼板製タンク



材料名	規格	備考
1 紙		
2 グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm
4 鉄線	JIS G 3547 亜鉛メッキ鉄線	線径 1.2mm以上
5 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	厚さ 0.35t

※ タンクの厚さはグラスウール保温板をロックウール保温帯（金網にて補強）に替かえる。
 ※ 保温厚さ：50mm厚
 ※ 膨張タンク、貯湯タンクのふたの保温は行わない。（補強かーのみ施工する）
 ※ グラスウール保温板の使用困難な箇所は、保温帯又は波形保温板を使用してもよい。
 ※ 屋外露出、厨房、浴室等の多湿箇所はカラー亜鉛鉄板をステンレス鋼板に替かえる。